中西部
ヤングサッカーニュース
2004 1
発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部理事長　鎌田昌治　企画構成編集責任者／滝本義三郎

頑張れ！中西部を巣立ったJリーガー

アテネ五輪アジア最終予選、ドイツW杯アジア予選と、世界に向かう注目の大会が続く。



©T. YAMAZOE

山田　暢久
浦和レッドダイヤモンズ　MF
1975・9・10生
稲葉小→藤枝中→藤枝東高

あけましておめでとうございます。

2003年は、自分自身にとって大変充実したシーズンとなりました。所属する浦和レッズではヤマザキナビスコカップで優勝し、自分がレッズに入って初めてタイトルを獲得することができました。また、日本代表でも11試合に出場することができ、特にフランスでのコンフェデレーションズカップでは、自分が日本代表として初めて迎える真剣勝負の国際大会ということで、予選リーグ敗退という結果ではありましたが非常にいい経験を積むことができました。

昨年のご挨拶において、自分自身が目標としたレッズでのタイトル獲得、日本代表でのレギュラー獲得という2つの大きな目標が現実のものとなり、本当に嬉しく思っているのと同時に、来るべく新シーズンに向けてまた気持ちも新たにしているところです。

今年は、ドイツワールドカップに向けたアジア予選も始まり、浦和レッズもフッバルト新監督を迎えます。新たなシーズンに向けて気持ちも切り替えてがんばっていきたいと思います。

中西部支部の皆様におかれましても、ご自分の夢や目標に向かって、充実した毎日を過ごされますことを、心から願っております。



Photo/Y.F.C.JUBILO/A・KUBO

成岡　翔
ジュビロ磐田　MF
1984・5・31生
六合小→六合中（EWSFC）→藤枝東高

あけましておめでとうございます。

2003年を振り返ってみると、たくさんの事を経験できた1年だったと思います。プロ1年目、初めてのシーズンを過ごしました。自分の思った以上の早さでデビュー戦をむかえ、2nd ステージではコンスタントに試合出場し、自分なりにも手ごたえをつかんでいたが、優勝したブラジルとの対戦で、日本では味わえないようなプレッシャーの中でプレーすることができ、今の自分に足りないものがはっきり見えてきました。

こういった貴重な経験がたくさんできた1年目を過ごせたのはとても幸運だったと思います。

他にも、11・12月に行われたワールドユースにも出場することができ、U－17時代以上にコンスタントに試合に出られるよう努力し、世界大会を経験しました結果はベスト8で終わりましたが、優勝したブラジルとの対戦で、日本では味わえないようなプレッシャーの中でプレーすることができ、今の自分に足りないものがはっきり見えてきました。

こういった貴重な経験がたくさんできた1年目を過ごせたのはとても幸運だったと思います。

2004年シーズンは、昨年以上にコンスタントに試合に出られるよう努力し、得点などの結果を残せるように頑張りたいと思います。



©T.YAMAZOE

長谷部　誠
浦和レッドダイヤモンズ　MF
1984・1・18生
青島東小→青島中→藤枝東高

あけましておめでとうございます。

昨年はJリーグ全30試合中、28試合にコンスタントに出場することができ、充実したシーズンを過ごすことができました。

ヤマザキナビスコカップでは、予選リーグの初戦で退場処分となってしまいましたが、予選リーグ5試合最高の気分でした。

ワールドユースU-17大会のメンバーからは、はずれてしまいましたが、自分にはまたオリンピック代表メンバーに入るチャンスもあり、まずは自分のチームで活躍して、こうした代表に呼ばれるようにがんばりたいと思います。

中西部地区のみなさんも、スタジアムやテレビで僕のプレーを見ていただく機会がありましたら、ぜひ応援してください。



谷澤　達也
柏レイソル　MF
1984・10・3生
大井川東小→大井川中（EWSFC）→静岡学園高

新年明けましておめでとうございます。

20日本代表メンバーにも選ばれ、楽しく充実した1年になりました。試合に出場するチャンスをもらって、自分が得意とするドリブルがどこまで通用するのか、足りないものが何なのかを把握し、フィジカル強化など今後の課題も見つかりました。

今年はゴールをたくさん決めて、試合を観に来てくれるお客さんを楽しませるようなプレーをしたいと思っています。レイソルは若い選手も多く、それぞれの選手が別々の個性を持っています。自分としてはドリブルに注目してもらえると嬉しいです。

今年も応援よろしくお願いします。


石井　俊也
ベガルタ仙台　MF
1978・1・19生
大洲小→大洲中→静岡学園高→浦和レッドダイヤモンズ



石川　竜也
鹿島アントラーズ　DF
1979・12・25生
西益津小→西益津中→藤枝東高→筑波大


久保山　由清
清水エスパルス　FW
1976・7・21生
東益津小→東益津中→静岡学園高→横浜フリューゲルス


渡辺　毅
柏レイソル　DF
1972・9・10生
西益津小→西益津中→藤枝東高→中央大



名波　浩
ジュビロ磐田　MF
1972・11・28生
西益津小→西益津中→清水商業高→順天堂大



中山　雅史
ジュビロ磐田　FW
1967・9・23生
岡部小→岡部中→藤枝東高→筑波大


岡田　佑樹
コンサドーレ札幌　DF
1983・10・4生
藤枝中央小→藤枝中(EWSFC)→藤枝東高→中央防犯藤枝SC


鈴木　良和
湘南ベルマーレ　MF
1982・6・1生
葉梨小→東海大一中→東海大翔洋高


大石　鉄也
川崎フロンターレ　MF
1979・11・26生
大井川西小→大井川中→静岡学園高→川崎フロンターレ→ヴァンフォーレ甲府


朝比奈　伸
サガン鳥栖　DF
1976・8・20生
大洲小→大洲中→清水商業高→同志社大→ガンバ大阪



大井　健太郎
ジュビロ磐田　DF
1984・5・14生
高洲南小→高洲中(ACMブルックスFC)→藤枝東高



河村　崇大
ジュビロ磐田　MF
1979・10・4生
六合小→六合中→常葉菊川高(ジュビロ磐田Y)→クラブアテレティコリバープレイト(アルゼンチン)

NTT西日本静岡グループカップ 第36回 静岡県サッカースポーツ少年団大会 目指せ！エコパ 11チームが出場


藤枝中央ＳＳ


相良ＳＳ


榛原川崎ＳＳ

藤枝中央ＳＳ　杉本　一平

ＮＴＴカップ県大会に出場することは、スポ少に入った時からみんなの夢でした。6年生になってフジハンカップやリーグ戦で優勝できたけど、この大会に一番勝ちたかったので、みんな休まずに練習してきました。だから、県大会に出場できてとてもうれしいです。県大会では、絶対にエコパに行って、コーチや父母に喜んでもらいたいと思います。応援してください。

相良ＳＳ　増田　浩史

ぼくは、榛原地区予選を通して感じたことがあります。前半2点リードされながら、ハーフタイムでコーチに気合いを入れてもらい、後半3点入れかえし逆転した時、絶対あきらめない心をわすれないことと仲間の熱い応援があったからこそ勝てたと思います。こんなに苦しい試合を通してつかんだ県大会出場は、本当にうれしくてたまりません。目標は、初戦突破です。みんな力を合わせてがんばっていこう。「集中ヨーシ」

焼津南ＳＳ　浦山　卓郎

ぼく達、焼津南サッカースポーツ少年団は、4年、5年と県大会に出場することができました。しかし、フジハンカップは惜しくも出場を逃してしまいました。負けた悔しさをバネに、ぼく達は必死に練習しました。そして、ＮＴＴカップ志太地区予選で念願の1位。この大会が6年間の中で最後の県大会なので、一戦一戦悔いのないよう、仲間と楽しく、そして勝つことを目標にがんばります。


焼津南ＳＳ

ここまでやってこれたのは、同じ目標をもった仲間と、サッカーの楽しさときびしさを教えてくれたかんとく、コーチ、そしていつも見守ってくれたお父さん、お母さんのおかげだと思います。感謝の気持ちをこめて、プレー、ゴールを目指します。


朝比奈ＳＳ

朝比奈ＳＳ　長島　貫志

僕たち朝比奈サッカースポーツ少年団は、県大会に出場することを目標に、がんばって練習してきました。今までたくさんのチャンスをのがして、くやしい思いをしてきました。でも、最後のチャンスであるＮＴＴカップで、県大会に出場することができて、とてもうれしいです。お父さん、お母さん、いつも応えありがとうございます。県大会では、チームワークが大切なので、みんなで一生けん命練習して、全力でがんばります。


西益津ＳＳ

榛原川崎ＳＳ　伊村　拓浩

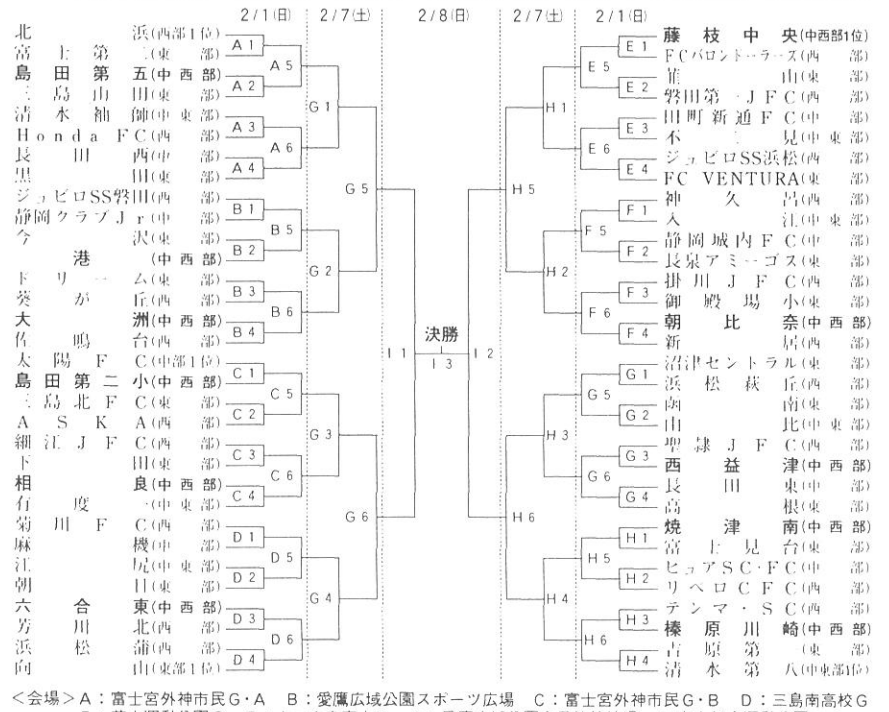
ぼくたち川崎少年団は、6年12人、5年5人で力を合わせてＮＴＴ西日本カップ予選を勝ってきました。ぼくたちは県大会出場が4回目となりますが、県大会のかべは大きく勝つことができませんでした。でも、その悔しい思いをバネに、チームに足りなかった得点力を上げ、先制されても「絶対に負けない」という気持ちで、チームみんなで練習をしてきました。だから、県大会の一戦一戦を、1日1日の練習を思い出して戦っていき、まずは1点、1勝といきたいと思います。

ここまで、ぼくたちを指導してくれた監督、コーチ、父母のみなさんに感謝しています。6年生での試合も少なくなってきましたが、このメンバーで1日でも多く戦っていきたいです。

西益津ＳＳ　渡部　亮平

僕達は、藤枝地区予選を勝ち抜いて県大会に出場することができました。今までたくさんの練習をしてきました。基本練習やミニゲーム、5分間走は特にきつかったです。きびしい練習だったけど、一人もくじけずにがんばってきました。県大会では、5年生の時のしずぎんカップよりいい成績を残せるようがんばります。コーチ、ご父兄のみなさん、県大会もご指導、応援よろしくお願いします。

ＮＴＴ西日本静岡グループカップ　第36回　静岡県サッカースポーツ少年団大会　組み合わせ



<会場>A：富士宮外神市民G・A　B：愛鷹広域公園スポーツ広場　C：富士宮外神市民G・B　D：三島南高校G
E：韮山運動公園G　F：トヨタ東富士G　G：愛鷹広域公園多目的競技場　H：富士総合運動公園
I：静岡スタジアム・エコパ

<時間>2／1・7＝①9：30　②10：30　③11：30　④12：30　⑤14：00　⑥15：00
2／8＝＝＝①10：00　②11：00　③14：00

ＮＴＴ西日本静岡グループカップ 第36回 静岡県サッカースポーツ少年団大会 中西部支部プレーオフ

12月14日(日)　〈島田市民グラウンド〉

島田第二・港・大洲が県大会出場権獲得

予選リーグ

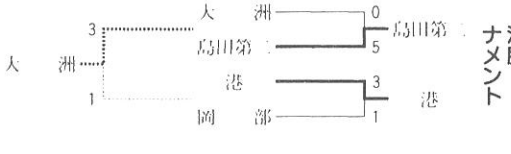
Aブロック	大洲	島田第二	吉田中央	勝点	得失点差	順位
大洲		○4－3	○6－0	6	7	1
島田第二	●3－4		＜3－3	1	－1	2
吉田中央	●0－6	＜3－3		1	－6	3

Bブロック	島田第一	金谷	豊田	勝点	得失点差	順位
島田第一		○2－1	○1－0	6	2	1
金谷	●1－2		●0－1	0	－2	3
豊田	●0－1	○1－0		3	0	2

Cブロック	港	藤枝	島田第三	勝点	得失点差	順位
港		＜1－1	○5－1	4	4	1
藤枝	＜1－1		○4－1	4	3	2
島田第三	●1－5	●1－4		0	－7	3

Dブロック	白羽	岡部	瀬戸谷	勝点	得失点差	順位
白羽		●0－2	＜0－0	1	－2	3
岡部	○2－0		＜0－0	4	2	1
瀬戸谷	＜0－0	＜0－0		2	0	2

決勝トーナメント



試合前の円陣

六合東ＳＳ　提坂　俊介

6年生にとってNT下の大会は、一番、意味のある大会です。この大会で県大会出場できた事は、団にとっても、ぼくたちにとっても、本当に一番のよろこびです。

コーチやお父さんお母さん達の協力があったから、6年間の感謝の気持ちをこめて、今までの練習のせいかを出しきり、くいのない試合をしていきたいです。六合東というチームがどこまでいけるか、がんばりたいと思います。練習をいっぱいして、チームワークをもっと高め、最高のコンディションで県大会にのぞみたいと思います。


六合東ＳＳ

島田第五ＳＳ　河村　亮平

ぼくたち島五サッカースポーツ少年団は、今年度から大津小といっしょにサッカーをやり、6年生全員でやっと11人になりました。11人でも一人、一人が最後まであきらめずに、ボールを追い、声をかけ合い、5年生の応援などみんなの力で頑張って、苦しかった島田予選を勝つことができて初めての県大会に出場できた時は、うれしかったです。県大会でも一人一人が元気を出し、最後まであきらめずに声を出してがんばって、チーム全員で楽しくサッカーをやって、絶対勝ち進んで行きたいです。応援よろしくお願いします。絶対優勝をしたいです。


島田第五ＳＳ

島田第二小ＳＳ　稲守　雄介

僕達は、この県大会が3度目の挑戦です。島田地区予選では残念ながら負けてしまいました。しかし、みんなは、あきらめずに太田コーチにお願いして、週2回の練習に加え水曜練習をやってきました。遊ぶ間もおしんで、みんなは必死に練習をしてきました。その結果、プレーオフでは、見事県大会出場を決めて、みんなで大喜びしました。

小さな目標だけど、まずは1勝して、今まで6年間で覚えた技術で最高の力を出したいです。


島田第二ＳＳ

港ＳＳ　田形　元

ぼくたち港サッカースポーツ少年団は、NT下の地区予選で県大会出場を決められませんでしたけれど、プレーオフの苦しい戦いの中で、勝ちたいというみんなの気持ちが一つになって勝つことができました。

今ぼくたちは、県大会に向け厳しい練習をやりぬいてがんばっています。本大会では、練習のせいかを充分に発揮して、まずは初戦を突破できるようにがんばりたいです。気持ちなら絶対相手に負けません。あきらめなければ絶対「勝利」という文字が出てくると思っています。


港ＳＳ


大洲ＳＳ

試合中よし！ゴールをめざせ！がんばれ！大洲

大洲サッカースポーツ少年団

大洲ＳＳ　内藤　大佑

ぼくたち大洲サッカースポーツ少年団は、このNT下の大会で県大会に行くことを目標に一生懸命練習に取り組んできました。けっして強いチームではないが、一人一人の強い思いがかなえ、県大会出場という目標を達成することができました。

県大会では、チーム一丸となりみんなで声を出し合い、一戦一戦自分たちの力を出しがんばりたいです。応援よろしくお願いします。



平成15年度　5支部リーグ戦

焼津豊田ＦＣ　県3部リーグ昇格



県内5支部の各社会人リーグ優勝チームが参加して、県リーグ昇格をかけて争う5支部リーグ戦が、11月16日から12月14日まで行われた。中西部からは焼津豊田ＦＣが出場し、5チームによる総当たり戦で、初戦のベイビーズに引き分けたものの、続く3試合に勝利3勝1分けで1位となり、平成16年度の県3部リーグへ昇格を決めた。

順位	チーム名	焼津豊田ＦＣ	富士根クラブ	ヘイビーズ	横内ＦＣ	豊田ＦＣ	勝点	失点	総得点
1	焼津豊田ＦＣ		○4－1	△1－1	○4－2	○2－1	10	6	11
2	富士根クラブ	●1－4		○4－3	○2－1	○2－1	9	0	9
3	ヘイビーズ	△1－1	●3－4		●1－2	○4－0	4	2	9
4	横内ＦＣ	●2－4	●1－2	○2－1		●0－2	3	−4	5
5	豊田ＦＣ	●1－2	●1－2	●0－4	○2－0		3	−4	4

※4・5位は総得点より

鈴村路子の　もっと知りたいサッカー　No.76

Only 1 に

思いもかけない不幸が親戚にあって、気分が寒いだ年末だった。大晦日、少しでも元気が出るように、自分自身をも奮い起たせるようとし、全校生徒にさせできるような気持ちでラッ沢球技場まで出かけたが、藤枝東高無い。藤枝東はオンリーワンは残念な結果に終わってしまった。帰りのバスの中で考えた。今日の結果を多く の人たちが批判的にいうだろう。でも、高校野球もそうだが、高校サッカーもアマチュアである高校生のスポーツにすぎない。周囲の大人が過剰に期待をかけすぎたり、思い入れが強すぎるのではないかと思う。

夜、ボブ・サップと喋の試合を見てNHKに変えたら、紅白のラストでSMAPが歌っていた。「世界に一つだけの花」だ。歌詞の中の"ナンバーワンより、オンリーワン"というフレーズがその夜は心に響いた。藤枝東は、"ナンバーワンになることなく全国大会を終えたが、藤枝東のような学校が他にあるだろうか。開校の時からサッカーを校技とし、全校生徒にさせできた学校なんて全国どこにもまで出かけたが、藤枝東高無い。藤枝東はオンリーワンなのである。このことを誇りに思い、次からまた頑張ってほしい。勿論、どのチームもまた一つのチームであり、オンリーワンであることをお忘れなく。

以前読んだ"サッカーを知的に愉しむ"という本に、戦術やシステムの流行はあるが、その国独自のサッカーがあってよい、ということが書かれていた。オンリーワンの考え方ではないかと思う。日本の場合は、審判を欺くような行為をしないとか、ファウルを受けても痛みをこらえて黙って立ち上がる、というような潔いサッカーを世界に示していったらどうかとしている藤枝東は、"ナンバーワンに

1・2月 その他の予定

- 静岡県女子リーグ
- 平成15年度静岡県高校新人サッカー大会
  - 中部地区大会2次トーナメント　1月17日(土)、18日(日)、24日(土)、25日(日)
  - 県大会1次リーグ　1月31日(土)、2月1日(日)、7日(土)
  - 決勝トーナメント　2月11日(祝)、14日(土)、15日(日)、21日(土)
- キンパラカップ第19回静岡県中学ジュニアユース新人サッカー大会
  - 1月10日(土)、17日(土)　＜磐田スポーツ交流の里ゆめりあ＞
- 第1回中西部ジュニアユースリーグ（松永杯争奪中西部中学校サッカー大会）兼・第25回ふれあいカップ静岡県中学生サッカー選手権大会中西部地区予選
  - 予選リーグ　1月24日(土)～2月22日(日)
- 平成15年度静岡県高校女子新人サッカー大会
  - 予選リーグ　1月24日(土)、31日(土)、2月7日(土)
  - 決勝トーナメント　2月11日(祝)、14日(土)、21日(土)
- 第8回藤枝市女子サッカー選手権大会　2月8日(日)、22日(日)　＜藤枝市民G他＞
- 第1回中西部社会人フットサルリーグ
  - 1月11日(日)、2月8日(日)、22日(日)、3月7日(日)　＜焼津市民体育館＞
- 中西部理事会　2月13日(金)　・中西部審判委員会　2月8日(日)
- 平成15年度中西部地区4級審判資格認定講習会
  - 焼津・大井川地区　1月24日(土)　＜大井川中央公民館＞
  - 島田地区　1月24日(土)　＜プラザおおるり＞
  - 藤枝地区　1月25日(日)、31日(土)　＜藤の瀬会館＞
  - 榛原地区　2月14日(土)　＜榛原町文化センター＞

中西部サッカー協会事務局　〒421-0206　大井川町上新田292-1　大井川高校内・鎌田昌治理事長
TEL054-622-3411　FAX054-622-3472

年間購読受付　「ヤングサッカーニュース」を毎月お手元に
購読料：年間3,000円(送料含む)　期間：平成16年4月号～平成17年3月号
ご希望の方は、住所・氏名・電話番号をご記入の上、現金書留にて下記までお送りください。（継続の方も同様）
〈申込先〉〒426－0041　藤枝市高柳1丁目18番23号
共立印刷株式会社　清水俊哉　Tel 054－635－4651

静岡県選抜 初優勝！



第7回全日本女子ユース（U－18）サッカー選手権大会で、静岡県選抜が初優勝を果たした。

12月23日から28日まで高知県で行われたこの大会（全国9地域の代表と開催県高知の16チームが参加して、グループリーグと決勝トーナメントで争われた。静岡県選抜はグループリーグで3戦全勝の1位となり、決勝トーナメントに進むと、昨年の決勝で敗れた相手、東京都選抜との準決勝、大阪府選抜と対戦した決勝と2試合続けて、共に無得点のまま延長でも決着がつかず、PK戦までもつれ込む接戦を制した。過去6回の大会で3度準優勝している静岡県は、昨年に続く決勝進出で初の栄冠に輝いた。

中西部勢では県選抜に8人が選出され、優勝に貢献した。

静岡県選抜（中西部勢）

位置	氏名	所属チーム	学年
MF	長谷川絵梨	藤枝順心高校	2
MF	青島　雅	藤枝順心高校	1
DF	澤木　芳美	藤枝順心高校	1
DF	杉山　紫乃	藤枝順心高校	1
GK	小林　美里	藤枝西高校	2
DF	山口小百合	藤枝西高校	2
MF	奥山このみ	藤枝FCアミーガ	中3
MF	杉本　恵理	藤枝FCアミーガ	中3

試合結果

〈予選リーグ・Bグループ〉
静岡県 8－0 高知県
静岡県 1－0 奈良県
静岡県 5－0 奈良県
宮城県 8－1 高知県
奈良県 0－0 高知県
静岡県 3－2 宮城県
〈準決勝〉
静岡県 0－0（PK4－3）東京都
〈決勝〉
静岡県 0－0（PK5－4）大阪府

田村幸司コーチ（藤枝西高校教諭）に聞く

90分45ハーフという試合で6日間に5試合と、選手たちには肉体的にも精神的にもきつかったと思いますが、よく頑張ってくれましたその中でグループリーグの3試合目、宮城戦が一番のポイントだったと思います。宮城も2勝してくると思っていたので、高知、奈良との試合では、勝つだけでなく、得点を取れる時に確実に取って、失点しないように注意しました。そして（2試合で13得点、失点0）得失点差で宮城より上回ることができ、プラン通りにいきました。

宮城戦では、立ち上がりすぐに静岡が先制し、追いつかれたが取り返して、いいリズムで戦えていました。後半の半ば過ぎにまた追いつかれましたが、このまま引き分けでもいいので集中させました。そして、終了直前に得点を挙げ、勝って終わることができたことは、引き分けで終わる以上に弾みがつきました。

準決勝、決勝はどちらも強い相手でしたが、組織的にしっかり守れていました。静岡も相手も決定的な場面はあったのですが、決められませんでした。互いに疲れている中で、決勝は特に気持ちでどこまでもつかが勝負でしたが、集中して強い気持ちで戦えたと思います。昨年もメンバーに入っていた選手が多く、決勝で敗れた悔しい思いをしたことなど、経験が生きたのだと思います。



第82回全国高校サッカー選手権大会

静岡東 初戦で涙

全国高校サッカー選手権大会に出場した藤枝東は、1回戦で立正大淞南に逆転負けを喫し、涙をのんだ。

12月31日に三ツ沢球技場で行われた1回戦、藤枝東は寄せの早い相手にパスを切られ、攻めの起点となるサイドへ思うようにつなげない。だが17分、初めて右サイドでフリーになった鈴木崇に本村からパスが出ると、その鈴木が中へ折り返し、ゴール前で待っていた中村が頭で合わせて先制した。しかし、その1分後にカウンターで失点。相手左サイドから速いボールが送られ押し込まれた。30分を過ぎると、左サイドバックの立田が幾度も攻め上がり両サイドからの攻撃が増えたが、シュートは枠を外れた。39分には滝口のヘディングシュートもクロスバーに跳ね返された。

後半は立ち上がりからボールを支配するもシュートは決まらず、徐々に「ボールを回しているだけ」（服部監督）となり、外から前寄り場面も減り中へ集中、攻めを欠いていった。そして33分、相手ゴール近くでFKを得て前に上がっていたところを、GKからのロングキック1本で競ったDF2人がFWにかわされ、勝ち越し点を許してしまった。その後、猛攻をみせたが、固い守りに阻まれついに追いつくことはできなかった。

課題は解消されず

シュート数は相手4本に対し藤枝東は16本と、4倍の数だが得点は1点。監督も選手も異口同音に「決められなかった」と悔やんだ。課題の決定力不足に苦しむうちに、カウンターで失点。守備は選手権県大会で修正されたかに思われたが、プリンスリーグで敗れた時の悪い形が出てしまった。

全国大会の経験の差

選手たちには経験の差もあった。連続出場の相手に対し、6年振りの藤枝東では選手にとって全国選手権は始めての舞台。木村主将が「独特の雰囲気があった」と語ったように、独特の緊張があったようだ。1試合目はあったがこの貴重な経験を今後に生かしてほしい。

試合結果

〈1回戦〉
立正大淞南 2－1 藤枝東

『1級審判員誕生』



田尻　智計

2003年、中西部から2名の1級審判員が誕生した。田尻智計氏と数原武志氏。今後の活躍に期待し、今回と次回にわたり2名を紹介する。

1協会であり、1級候補育成は日本サッカー界のためになる」との理由より多くのチャンスを与えて頂きました。また、本年度静岡県に移籍すると同時に1級試験が始まり、試験に対するプレッシャーと新天地で認められるだろうかという不安の中、東海地域・静岡県・中西部支部の各審判委員長をはじめとする方々に温かく迎えて頂き、静岡においても国体をはじめとして多くの経験をさせて頂きました。その他にも、全国大会等で指導して下さった日本サッカー協会のインストラクターの方々や、審判活動に理解し応援して下さった家族や友人、審判仲間の存在がありました。また各大会において私達が審判に専念できるように会場を準備して下さった方など数え切れない方々に支えられ、私にとっては何一つ欠くことのできない存在でした。

1級審判員となってもワッペンの色が違うだけで私一人ではゲームの割り当てをもらうこともできませんし、副審や第4の審判なくしてはゲームをコントロールできません。これからも多くの方に支えられて初めて審判活動ができるという感謝の気持ちを忘れずに、さらに上級の国際審判員を目指して頑張りたいと思います。

……たじろともかず／高校まで兵庫県でプレーし、北海道大学水産学部に進む。98年に4級審判資格を取得後、99年に3級、00年に2級と昇級し、01年には審判育成Jリーグコースに参加。03年に1級審判に昇級。26歳。

静岡U－16ナショナルトレセン参加選手

11月21日～25日
Jヴィレッジ



山本　真希　MF
大津小→島田第二中(清水エスパルスＪＹ)→静岡学園高1年(清水エスパルスY)



鈴木　崇記　MF
浜松芳川小→浜松東陽中→藤枝東高1年



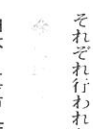
中村　祐輝　FW
静岡竜南小→静岡安東中(清水エスパルスＪＹ)→藤枝東高1年



佐野　克彦　DF
焼津西小→大村中(清水エスパルスＪＹ)



池田　康彦　MF
初倉小→初倉中(清水エスパルスＪＹ)



山本　真希　MF



鈴木　真司　MF
高洲小→高洲中(清水エスパルスＪＹ)→静岡中央高2年(清水エスパルスY)



松島　寛季　FW
藤枝小→藤枝中(ジュビロ掛川)→清水商業高2年



山本　達也　MF
西益津小→西益津中(藤枝明誠ＳＣ)



杉山　琢磨　FW
瀬戸谷小→瀬戸谷中(藤枝明誠ＳＣ)

強化拠点整備事業 サッカー競技（ジュニア合宿）前期合宿

「地域における強化拠点事業」の一環として、静岡県ではサッカー、テニス、陸上の3競技が冬休みを利用して強化合宿を行った。サッカー競技では中学3年生を対象として12月20日～23日に、高校1・2年生を対象として12月23日～27日にそれぞれ行われた。2004年度の国体に向けた少年の部の最初の強化合宿となる高校の部では、全国高校選手権に出場した藤枝東を除く高校から選考会を経て選ばれた選手が参加した。（注）し、清水エスパルスユースの選手はJユースカップ出場のため不参加）

ヤングサッカーニュース200号記念に向けて



編集委員長　希本義一郎

この機関紙は志太・榛原地域の活性化、サッカー技術の向上、健全な子供達の育成を図る目的で、11人の編集委員で発案にスタートしました。

「継続は力なり」と言われるように、15年の月日が流れました。毎月2回、勤務終了後に集合し、記事の収集、レイアウトの検討、校正など、会議数も360回を越えるなど、編集委員の熱意の積み重ねがあったと思います。

第1号が発刊され、平成16年度で200号の記念の年となります。

1988年4月に月間新聞として、「ヤングサッカーニュース」

紙面には、藤枝市役所、日本リーグ2部昇格、藤枝FC・全日本少年大会準優勝、全国中学生大会・西益津中第3位、県ユース少年団大会・藤枝中央優勝等、輝かしい記事が掲載されています。まさに中西部サッカーの歴史の足跡が紙面を通して振り返ることができます。

日本のサッカーの大改革の年、1993年Jリーグが誕生し、向島建（清水）、鈴木正治（横浜）、杉山誠（鹿島）の3選手がプロデビュー。1994年ジュビロ磐田がJリーグ加盟で中山雅史選手がデビューを飾り、以後得点王を含め大活躍し、初のW杯フランス大会へ出場し活躍しました。

同年、山田暢久選手が浦和へ入団し、プロ10年目にして日本代表のW杯ドイツ大会アジア予選において活躍が期待されます。

1997年100号記念誌で曽根恵津広会長の挨拶文に、中西地域のサッカーの低迷が久しいが底辺の拡大や競技力の向上にインパクトを与えてきた、と書かれています。深津敏夫理事長（故）が、中西部の選手が頑張って良かったと思えるような新聞を作らなければならないと言っていました。

ヤングサッカーニュースが中西部地域の選手によって支えられているということを今一度念頭に置き、編集委員を代表して新年のご挨拶とさせていただきます。

平成15年度
中西部
ヤングサッカーニュース
編集委員

発行責任者	鎌田　昌治
編集責任者	滝本義一郎
1種担当	三須　真佳
2種担当	澤木　徹
3種担当	野田　忠邦
4種担当	塚本　金作
5種担当	大石　正之
焼津地区担当	鈴木　勝敏
藤枝地区担当	河守　正記
島田地区担当	柳原　三郎
榛原地区担当	樋渡　温徳
編集委員	本野　徳子
編集委員	鈴村　路子
編集委員	橋村　弘子
会計	西野　孝之

中西部
ヤングサッカーニュース
2004 2

発行責任者／静岡県中西部サッカー協会理事長　鎌田昌治　企画構成編集責任者／滝本義三郎

第12回 藤枝市長杯争奪ジュニアユースサッカー大会

中西部トレセン、準優勝



藤枝市長杯争奪ジュニアユースサッカー大会が12月26日から28日までの3日間で行われ、中西部トレセンが準優勝した。県内外のクラブチームやトレセンチームなどを招き、中西部からは中西部トレセンに各地区のトレセンチームが出場。16チームが4組に分かれて予選リーグを行い、その順位ごとにトーナメント戦で争った。

予選リーグを全勝で終え1位トーナメントに進んだ中西部トレセン（以下、TC）は、準決勝で名古屋TCと対戦し、前半に吉井が決めて先制。後半に一旦は追いつかれたが、杉山の勝ち越しゴールが決まり、決勝へ駒を進めた。

決勝の相手はヴィヴァイオ船橋。前半は球離れが遅くパスをカットされ、押されて気味の中西部TC。それでも共に無得点で折り返したが、後半4分に失点。その後は動き出しが速くなり、幾度か攻め込むがゴールは奪えず、そのままタイムアップ。0－1で惜敗した。

中西部TCの指導者は、相手のプレスが厳しく時間の余裕がない時の判断の早さを課題に挙げた。

なお、表彰式では優秀選手11人が発表され、中西部TCから3選手が選ばれた。

優秀選手（中西部勢のみ）
MF 由本達也（中西部TC）
MF 吉井涼（中西部TC）
MF 南川直哉（中西部TC）

第19回 静岡県ヤングサッカーフェスティバル

3月14日(日)　藤枝総合運動公園で開催

対戦カード　＜藤枝総合運動公園サッカー場＞

●U－12の部　10：00 Kick off（20分ハーフ）
静岡県小学選抜 VS 県中西部小学選抜

●U－15の部　11：00 Kick off（30分ハーフ）
静岡県中学選抜 VS 県中西部中学選抜

●U－18の部　12：30 Kick off（35分ハーフ）
ジュビロ磐田ユース VS 藤枝東高等学校

●U－18の部　14：20 Kick off（40分ハーフ）
静岡県高校選抜 VS 日本高校選抜

エキジビションゲーム ＜陸上競技場＞

●女子U－12
9：00 Kick off（20分ハーフ）

●女子U－15
10：00 Kick off（30分ハーフ）

●キッズ
11：30 Kick off（10分ハーフ）

入場料（税込）　前売券発売中

	前売券	当日券
大学生・一般	1,000円	1,200円
中学生・高校生	600円	800円
小学生	300円	500円
親子ペア	1,200円	なし

※親子ペアは小学生１名と親又は中学生以上１名有効
※小学生未満は入場無料

予選リーグ（中西部勢の結果のみ）

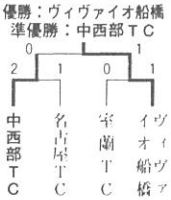
〈Aリーグ〉
中西部TC 4－2 富山県TC
中西部TC 5－0 京都洛北FC
中西部TC 2－0 島田TC
島田TC 1－0 富山県TC
島田TC 1－0 京都洛北FC

〈Bリーグ〉
焼津TC 1－0 札幌TC
名古屋TC 3－0 焼津TC
習志野選抜 2－1 焼津TC

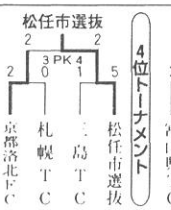
〈Cリーグ〉
榛原TC 0－0 宮崎TC
前橋TC 2－0 榛原TC
榛原TC 8－1 三島TC

〈Dリーグ〉
ヴィヴァイオ船橋 1－0 藤枝選抜
藤枝選抜 6－0 相模原FC
藤枝選抜 2－1 松任市選抜

1位トーナメント
優勝：ヴィヴァイオ船橋
準優勝：中西部TC



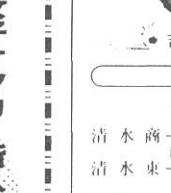
2位トーナメント



3位トーナメント



4位トーナメント



平成15年度 静岡県高校新人サッカー大会

藤枝東・藤枝明誠が決勝トーナメント進出

男子の県高校新人大会は、各地区予選を勝ち抜いた32校による予選リーグが、1月31日、2月1日、7日の3日間で行われ、各ブロックに分かれて争われた、8ブロックの上位2校が進む決勝トーナメントは2月11日にスタートし、決勝は21日に愛鷹広域公園で行われる。また、今年度は3位決定戦などの順位決定戦も実施され、決勝と同日に同会場で行われる。なお、決勝進出の2校は、3月に行われる東海大会の出場権を獲得する。



予選リーグ試合結果（中西部勢のブロックのみ）

〈Aブロック〉
藤枝東 1－1 沼津東海大翔洋
藤枝東 3－2 沼津東海大翔洋
藤枝東 3－0 沼津工
藤枝東 0－0 沼津工
藤枝東 2－0 沼津北
藤枝明誠 4－1 静岡
藤枝明誠 4－1 静岡
藤枝明誠 4－1 静岡
藤枝明誠 4－2 静岡
藤枝明誠 4－1 静岡

〈Bブロック〉
吉田 2－2 清水東
吉田 3－2 富士上
吉田 7－1 富士上
清水東 0－0 磐田東
清水東 1－1 富士上
磐田東 1－0 吉田
磐田東 1－1 沼津東海大翔洋
磐田東 2－0 藤枝明誠
磐田南 0－0 静岡
磐田南 2－0 藤枝明誠
磐田南 2－0 藤枝明誠
磐田南 5－2 吉田工
磐田南 2－0 島田工

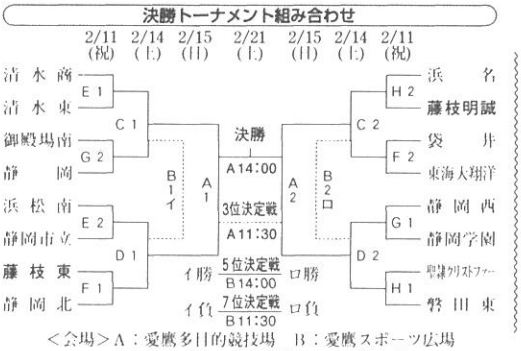
〈Cブロック〉
清水商 1－1 藤枝西
清水商 5－0 磐田東
清水商 2－0 浜名
清水商 1－0 藤枝西
清水商 1－0 藤枝明誠
静岡西 1－0 藤枝明誠
静岡西 5－2 吉田工
静岡西 1－0 藤枝明誠
静岡西 2－1 藤枝明誠
静岡西 1－0 藤枝明誠

〈Dブロック〉
藤枝東 5－0 静岡工
藤枝明誠 4－1 静岡工
藤枝明誠 2－0 島田工
藤枝明誠 1－1 静岡工
藤枝明誠 2－1 静岡市立
藤枝明誠 2－1 静岡市立
藤枝明誠 2－0 静岡学園
藤枝明誠 7－0 静岡市立
藤枝東 2－1 藤枝東
藤枝東 2－1 藤枝東

〈Eブロック〉
清水東 3－1 藤枝明誠
清水東 2－0 島田工
清水東 1－1 静岡工
清水東 1－0 静岡東
清水東 1－0 静岡東
静岡東 1－0 島田工
静岡東 1－0 清水工
清水工 1－1 東海大翔洋

〈Fブロック〉
藤枝東 3－2 磐田北
藤枝東 0－0 沼津工
藤枝東 2－0 磐田北
藤枝明誠 2－0 磐田南
藤枝明誠 1－2 磐田南
藤枝明誠 0－0 磐田南
藤枝明誠 1－1 磐田南
藤枝明誠 2－0 磐田南
藤枝明誠 2－0 磐田南
藤枝明誠 2－0 磐田南

決勝トーナメント組み合わせ



＜会場＞A：愛鷹多目的競技場　B：愛鷹スポーツ広場
C：日大三島　D：沼津東　E：清水商
F：藤枝東　G：静岡西　H：磐田東
＜時間＞1 11：00　2 13：30

中部地区大会 2次トーナメント 試合結果

1月17日(土)・18日(日)
24日(土)・25日(日)

〈1回戦〉
清水商 1－0 藤枝西

〈2回戦〉
藤枝東 5－0 静岡工
藤枝明誠 4－1(2) 静岡工
清水東 3－1 藤枝明誠
藤枝東 7－0 静岡市立
清水東 2－1 藤枝東

〈3・4位決定戦〉
藤枝東 2－0 静岡学園

〈5～8位決定戦〉
藤枝明誠 2－1 静岡市立

〈5・6位決定戦〉
静岡西 1－0 藤枝明誠

〈敢者戦〉
清水工 1－1(PK5－4) 藤枝西
吉田 2－0 静岡東
静岡東 1－0 島田工

〈9～12位決定戦〉
吉田 1－0 清水工

〈9・10位決定戦〉
吉田 1－1(PK1－3) 東海大翔洋

〈準決勝〉
清水東 2－1 延長 藤枝東

〈3・4位決定戦〉
藤枝東 2－0 静岡学園

〈5～8位決定戦〉
藤枝明誠 2－1 静岡市立

〈5・6位決定戦〉
静岡西 1－0 藤枝明誠

〈敢者戦〉
清水工 1－1 藤枝西

〈9～12位決定戦〉
吉田 1－0 静岡東
静岡東 1－0 島田工

〈9・10位決定戦〉
吉田 1－1(PK1－3) 東海大翔洋

〈準決勝〉
清水東 2－1 藤枝東

〈3・4位決定戦〉
藤枝東 2－0 静岡学園

〈5～8位決定戦〉
藤枝明誠 2－1 静岡市立

〈5・6位決定戦〉
静岡西 1－0 藤枝明誠

〈敢者戦〉
清水工 1－1 藤枝西

〈9～12位決定戦〉
吉田 1－0 静岡東
静岡東 1－0 島田工

〈9・10位決定戦〉
吉田 1－1(PK1－3) 東海大翔洋

平成15年度 静岡県高校女子サッカー新人大会

藤枝順心・榛原 決勝トーナメント進出

女子の高校新人大会は、吉田・藤枝西 12チームが参加して1月24日、31日、2月7日に予選リーグが行われた。4組に分かれて争われ、各組の上位2校、計8校が決勝トーナメントに進んだ。中西部勢は藤枝順心、吉田、藤枝西、榛原の参加4校が全て決勝トーナメント進出を決めた。

決勝トーナメントは2月11日から始まり、21日に決勝と3位決定戦が愛鷹広域公園で男子の順位決定戦に先立って行われる。


藤枝西 VS 沼津西


榛原 VS 桐陽

決勝トーナメント 組み合わせ



＜会場＞A：愛鷹多目的競技場
B：愛鷹スポーツ広場
C：清水蛇塚G
D・E：富士川町河川敷G（2面）
＜時間＞1 11：00　2 12：30

予選リーグ試合結果

〈Aブロック〉
清水国際 3－1 磐田北
吉原 1－0 清水国際
吉原 2－0 磐田北

〈Bブロック〉
清水南 5－0 磐田東
清水南 10－0 清水南
藤枝順心 6－1 磐田東

〈Cブロック〉
吉田 1－0 藤枝西
藤枝西 1－0 沼津西
吉田 1－1 沼津西

〈Dブロック〉
榛原 1－0 静岡精華
桐陽 6－0 静岡精華
榛原 3－0 吉原

ゴール裏から

島田市サッカー協会
技術委員長
長谷川　繁

島田トレセンは、小学生3学年、中学生3学年の全6カテゴリーで練習を実施しております。市サッカー協会、各指導者や父母の皆様のご理解で、各カテゴリ1週1～2回の練習を1年間通して確実に活動出来るまでになりました。特に指導者ですが、まだまだ層が薄く、年1回の指導者講習会で更なるレベルアップを志して頑張っています。目標は「Jリーガーを数多く育成していきたい」と願うのは当然ですが、「サッカーを通して、人間的にもプレーヤーとしても成長してほしい」という事を目標に、各指導者が頑張っていただけていると信じています。子供達には「目標を設定し、「自分は何をすればその目標を達成できるのか？」「自分はトレセンに何を求めて参加しているのか？」をよく考えて練習してほしいと思っています。

近年、ジュビロ磐田所属の河村・成岡両選手、清水エスパルス所属の阿部選手をはじめ、各年代ですばらしい選手が島田市という土地から輩出しはじめました。この状況に満足する事なく、前へ前へ進んでいきたいと思います。そして、各少年団・各中学校の指導者のみなさんや、近隣の指導者のみなさんとより一層深い結びつきを持って、子供達の指導に少しでもプラスになる様、島田トレセン指導者一同、頑張っていきたいと思います。



第34回 松永杯争奪中西部サッカー選手権大会

FC FARRAGO 初優勝



松永杯争奪中西部サッカー選手権大会が、12月14日に藤枝市民グラウンドで行われ、予選トーナメントを勝ち上がったFC FARRAGOが、カップ獲得を目指した準決勝第1試合は、藤枝西高校とFC・FARRAGOが対戦し、FARRAGOが後半に浜村、藤元のゴールで2点を奪って勝利した。藤原高校とASHが対戦した第2試合は、藤原高校が後半23分に挙げた原田の得点を守り切り、決勝に進んだ。

決勝は、序盤から押し気味に進める藤原高校が前半28分に先制ファーサイドに上がったCKの折り返しを大井が押し込んだFARRAGOもスペースを使い徐々にペースをつかむと、31分に得たPKを藤元が決めて同点とした後半に入り進一退のなかで、29分にFARRAGOはCKを大行が頭で合わせて逆転。これが決勝点となり、FARRAGOが初優勝し、松永杯を獲得した。

●――試合結果――●

〈準決勝〉
FC FARRAGO　2―0　藤枝西高校
藤原高校　1―0　ASH

〈決勝〉
FC FARRAGO　2―1　藤原高校

第4回 静岡県社会人サッカーリーグ トーナメント大会

藤枝ネルソンCF 準優勝

静岡県社会人リーグ～3部に所属する36チームが参加して争われるトーナメント大会が、11月9日から12月14日まで行われ、藤枝ネルソンCFが準優勝した。

準決勝で静岡市役所に3対2で競り勝ち、決勝に進んだ藤枝ネルソンは、佐川急便中京と対戦。前半で2点のリードを許したが、後半に津高、門田の得点で、日は同点に追いついたが、終了間際にPKを与えて勝ち越しを許してしまった。

●――試合結果――●
（中西部勢の結果のみ）

〈2回戦〉
富士通沼津　7―1　焼津信用金庫

藤枝ネルソンCF　VS　静岡市役所

コスモスSC　1―1（PK1―3）FC遠州
岡部FC　3―0　清水クラブ
藤枝ネルソンCF　9―2　SJ・ワカバン
コスモスSC　6―0　富士通沼津

〈3回戦〉
佐川急便中京FC　7―0　大井川町役場
静岡市役所　2―1　岡部FC
藤枝ネルソンCF　3―1　ユナイテッドFC

〈準々決勝〉
ティヘイ　6―1　コスモスSC
藤枝ネルソンCF　9―1　八坂ユース

〈準決勝〉
藤枝ネルソンCF　3―2　静岡市役所

〈決勝〉
佐川急便中京FC　3―2　藤枝ネルソンCF

第1回 中西部ジュニアユースリーグ（松永杯争奪中西部中学生サッカー大会）開幕

兼・第25回ふれあいカップ静岡県中学生サッカー選手権大会中西部地区予選

毎年1～5月に行われていた松永杯争奪中西部中学生サッカー大会が、今回から開始時期を早めて、中西部ジュニアユースリーグとして、リーグ戦の試合数が多い大会に生まれ変わった。

参加37チームが4組に分かれて争う予選リーグは、1月24日に開幕し、2月22日まで行われる。この順位によって、1～4位が決勝リーグへと進む（1月10日～24日）更に、16チームを1組に分けて行う決勝リーグからは、各組上位2チームが決勝トーナメント（4月29日・5月1日）へ進出。

この大会は、5月に開催されるふれあいカップ静岡県中学生サッカー選手権大会の中西部地区予選を兼ねており、決勝トーナメントの上位3チームが出場権を獲得する。

第19回 しずぎんカップ 静岡県ユースU―11サッカー大会

3月13日(土)
20日(土)
21日(日)

5チームが出場

榛原川崎SSS　松浦　拓馬

ぼく達は、榛原地区予選の決勝で善戦したくやしさをバネに、中西部地区順位決定戦にいどみ一位になることができました。これも監督、コーチ、父母、少年団の仲間にささえられたおかげだと思います。

ぼく達のチームは声を出す、まわりを見る、ボールに寄る、というように、基本に気をつけながら練習をしています。県大会では、ハスをつなぎチーム一丸となって中西部地区の代表としてはずかしくない試合をしたいです。

焼津豊田SS　海野　湧也

ぼくたち5年生を中心としたチームは、色々なトーナメント戦で全く良い成績ではなかったので、たくさんくやしい思いをしてきました。そのくやしさをバネに、生懸命に練習を積んできました。その結果、しずぎんカップ志太予選で1位になることができました。それも熱心に教えてくださった監督、コーチやいつも応援してくれるお父さんお母さん達のおかげだと思います。

1位決定戦では決勝戦で負けてしまいましたが、この負けたくやしさをすべて今度の県大会にぶつけたいと思います。チームも少しずつまとまってきたので、メンバー全員の力を全て出し切り後悔しない試合を行いたいです。中西部代表チームとして出場するので、どんな強いチームが相手でも気持ちでは絶対負けないで、皆で声を出し合い必ず勝ちたいと思います。

藤枝SS　山本　章太

ぼくたちは、今度初めて県大会出場を決めました。それまでは、チームがひとつになれなくて勝つことができませんでした。ぼくにできることは、人一倍大きな声を出してみんなを引っぱっていくことです。1年生の協力もあって段々、勝てるようになりサッカーが面白くなってきました。それも根気良く指導してきた監督、コーチ、どんな時も応援してくれた父母の皆さんのおかげです。県大会1勝を目指します。

島田第二小SS　松浦　大雅

ぼくたち島田第二小サッカースポーツ少年団5年生は、今回初めて念願の県大会に出場します。島田市内の予選で1位になり、県大会の出場が決まりましたが、思うようなチームとしての戦いが出来なかったです。チームのメンバーは元気がよすぎて、いつもコーチに怒られながらも、生懸命練習にはげんでいます。この調子にみんなで力を合わせてなんとか勝つことができました。そして、決勝で大きくほえるロングシュートで点を取ることができました。その後みんなで点を守り、勝つことができました。そして県大会に出場が決定しました。

県大会では、ぜったい勝てるように、チーム一丸となってがんばりたいです。

青島北SS　長田　圭介

ぼくたちは、藤枝地区の予選で藤枝にカウンターで点を入れられて負けました。そのときは、すごくくやしかったです。なのでフレーオフでぜったい1位になりたいと思っていました。フレーオフでは、最初に細江にみんなで力を合わせてなんとか勝つことができました。そして、決勝で大きくほえるロングシュートで点を取ることができました。その後みんなで点を守り、勝つことができました。そして県大会に出場が決定しました。

県大会では、ぜったい勝てるように、チーム一丸となってがんばりたいです。


榛原川崎SSS

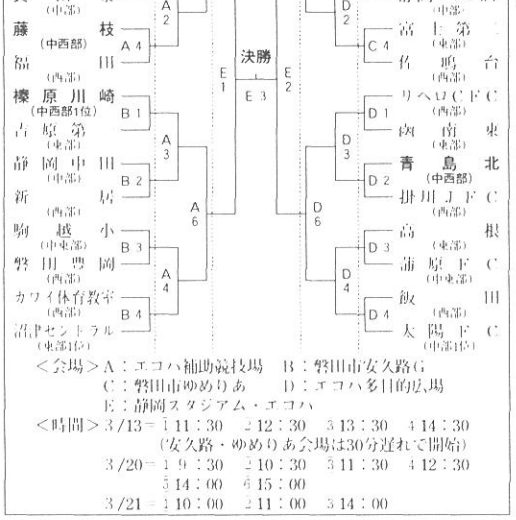

焼津豊田SS


藤枝SS


島田第二小SS


青島北SS

しずぎんカップ静岡県ユースU―11サッカー大会 組み合わせ



＜会場＞A：エコパ補助競技場　B：磐田市安久路G
C：磐田市ゆめりあ　D：エコパ多目的広場
E：静岡スタジアム・エコパ

＜時間＞3/13＝1 11：30　2 12：30　3 13：30　4 14：30
（安久路・ゆめりあ会場は30分遅れで開始）
3/20＝1 9：30　2 10：30　3 11：30　4 12：30
5 14：00　6 15：00
3/21＝1 10：00　2 11：00　3 14：00

平成15年度 東海地区中学生選抜サッカー大会

トレセン活動の一環で、中学1・2年生を対象とする各県選抜がリーグ戦で争う、東海地区中学生選抜大会が1月24日、25日に行われた。今年度は1年の部と2年の部に分けてチームを編成し、学年別に試合が行われた。

この大会で東海トレセンU―14に参加する選手が選考され、2月～3月に3回の合宿が行われる。そして、その中から3月25日～29日にJヴィレッジで行われるナショナルトレセンU―14の参加選手が決定する。

●――試合結果――●

1年の部

静岡県 2―0 岐阜県
静岡県 5―0 三重県
静岡県 0―0 愛知県
【順位】①静岡県 ②愛知県 ③岐阜県 ④三重県

2年の部

静岡県 4―0 岐阜県
静岡県 0―0 三重県
愛知県 2―1 静岡県
【順位】①愛知県 ②静岡県 ③三重県 ④岐阜県

第12回 全日本大学女子サッカー選手権大会

予選リーグ 12月20日(土)～22日(月)

早稲田大	2―0	静岡産業大	
武庫川女子大	2―0	松山大	
早稲田大	9―0	松山大	
武庫川女子大	2―0	静岡産業大	
早稲田大	3―1	武庫川女子大	
静岡産業大	6―0	松山大	

予選リーグブロック分け

Aリーグ	Bリーグ	Cリーグ	Dリーグ
青島北中	中川根中	菓梨中	六合中
広幡中	島田第一中	ACMブルックス	大井川中
愚中	金谷中	青島中	東益津中
西益津・新庄中	豊田中	焼津中	御前崎中
小川・大村中	高洲中	エスハルス榛原	大洲中
附属島田中	島田第二中	藤枝東FC	藤枝FC中
エスハルス藤枝	岡部中	大富中	藤枝中
EWSFC	和田中	榛原中	TMBFC
初倉中	藤枝明誠SC	川根中	吉田中
相良中			

中西部勢参加選手

1年の部			
曽根大翔	DF	清水エスパルス（青島中）	
2年の部			
小関教平	DF	清水エスパルス（六合中）	
後藤亮太	FW	常葉学園橘中（高洲南小出身）	

藤枝南ロータリークラブ杯U―10サッカー大会

（藤枝市4年生サッカーチャンピオン大会）1月10日(土)・11日(日)

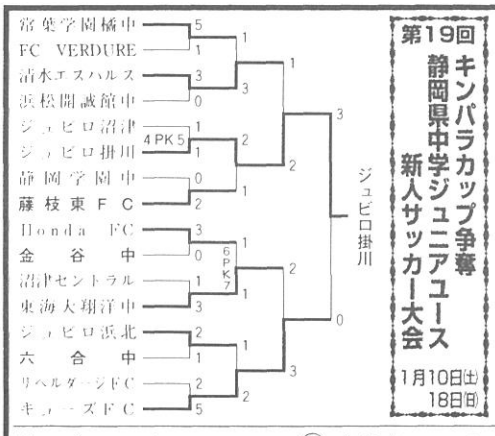


優勝 葉梨SS

葉梨ＳＳ４年　松葉　智之

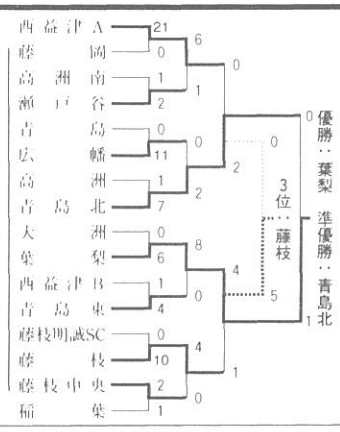
ぼくたちのゆう勝したわけは、2つあります。1つ目は、だいたいの人が休まず、きびしい練習にたえたことです。2つ目は、どこにも負けないぐらいのチームワークです。1回戦の大洲では、ぼくたちがおされる立場になるので、ぼくたちもぬかれないようにもっと練習しがんばりたいです。

ぼくたちのゆう勝した理由は、思いやりがあったからだと思います。決勝戦の青島北では、ハスを出しては取られるのくり返しでした。みんなの勝ちたいという気持ちが勝った理由だと思います。決勝戦の青島北では、ハスを出しては取られるのくり返しでした。みんなの勝ちたいという気持ちでついに1点入れました。今度からは、ぼくたちがおされる立場になるので、ぼくたちもぬかれないようにもっと練習しがんばりたいです。



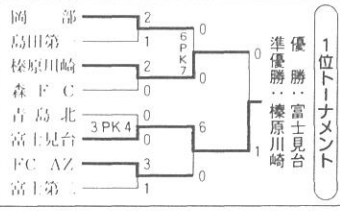
第19回 キンパラカップ争奪 静岡県中学ジュニアユース新人サッカー大会

1月10日(土)・18日(日)



第29回 岡部町長杯争奪 少年サッカー大会

1月24日(土)・25日(日)



ありがとうサッカー

卒業と共にそれぞれの道へ進む高校３年生。さまざまな思いを胸にサッカーを続けてきた彼らに、その思いを綴ってもらった。

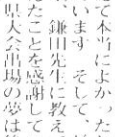
大井川高校



高木　克規

私たちの学年のサッカー部員は、28人もいました。サッカーが好きで、練習が終わった後もミニゲームをしたり、走り込みをしたりしていました。インターハイ終了後も、3年生が16人も残り選手権大会に臨みましたが、結果は初戦敗退となってしまいました。しかし、私は、この28人に出会えて本当によかったと思っています。そして、長池先生、鎌田先生に教えてもらえたことを感謝しています。県大会出場の夢は後輩に託します。大高に幸あれ!!

藤枝北高校



山本　竜也

僕たち藤枝北高校は、県ベスト8を目標にして頑張ってきました。毎日、人一人が高い目標を持ち、つらい練習でも自分に負けることなく、精一杯努力してきました。しかし、選手権では、3回戦で敗退してしまいました。目標にはほど遠い結果だったけど、みんなで同じ目標を持ち、それに向かって頑張った事は、とてもいい経験になったと思います。

藤枝西高校



杉山　公彦

高校サッカーの3年間を振り返ると、とても早い3年間でした。僕らの学年は第2期生で、男子サッカー部も創部2年目でしたので、他校に比べて部員は少なく、苦労が多く大変でした。でも、先輩達が県大会出場の歴史を刻んでくれ、僕もそれに貢献できました。自分達の代では、あと一歩の所で県大会には行けませんでしたが、仲間と3年間頑張った事は一生の思い出です。自分達が果たせなかった目標を後輩達に託したいと思います。

藤枝東高校



増田　哲也

選手権に出るために藤枝東高校に入学し、日本になるために3年間続けてきました。日々の練習、数多くの遠征、どれも最高の環境でした。その中であのような終わり方をしてしまい本当にすみませんでした。

しかし私は、3年間素晴らしい仲間と大好きなサッカーができたことを誇りに思っています。最高の思い出です。これも、先生やスタッフ、応援してくださった皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

藤枝明誠高校

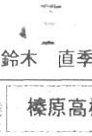


橋詰　慎太郎

サッカーに費やしたこの3年間は、非常に早く過ぎ去っていきました。自分は、この学校に入り、一日のほとんどを大好きなサッカーに費やしました。良き施設、環境に恵まれ、優秀なスタッフ陣、そしてたくさんの仲間と出会えた事が、一生の思い出です。自分が3年キャプテンになってから、改めて僕たち年代は周囲から期待されていると感じました。しかし、自分はそれを重荷に感じるよりも自信に変えました。非常に個性の強い集団でしたが、周囲の協力もあり、時間はかかりましたが、なんとかまとめる事ができました。キャプテンとして試合に出場する機会は少なかったけれど、たくさんの部員から信頼される人間になれたのは、今後の人生にプラスになったと思います。大会の結果も大事ですが、このメンバーで3年間サッカーができ、本当に充実した高校サッカー人生でした。

最後に毎回試合を見に来てくださった父兄の方々を始め、いろいろサポートして下さった諸先生方、そして、何よりも、毎日健康な食事を与えてくれて、たくさんのワガママを聞いてくれた両親に心の底から感謝したいと思います。3年間、本当にどうもありがとうございました。

川根高校



鈴木　直季

高校生活最後の大会となる高校サッカー選手権大会が、静岡県予選1次トーナメントで初戦敗退という結果に終わってしまいました。

僕たち3年生は、毎年順調に勝ち進んでいたので、この大会を最後に引退したくありませんでした。

僕たちがやってきた3年間の高校サッカーを振り返ってみると、本当にいろいろなことがあったと思います。嬉しい、楽しい思い出もあれば、悔しい、苦しい思い出も多い、そんな多くの思い出の中でも、2年生の時に出場したインターハイ予選は、特に印象的である。1次リーグを突破し、十数年ぶりに2次トーナメントに進出することができた最終結果は、1回戦敗退で悔しかったけれど、とても良い思い出となった。

卒業後は、辛い事や困難な事がたくさんあると思うけど、この3年間のサッカーを通して学んできた事を忘れず、フルに生かして、頑張っていきたいと思う。また、今後も体が動く限りみんなとボールを蹴り続けたいと思う。

最後に、これまで僕たちを応援してくださった家族や先生方、本当にありがとうございました。

静清工業高校

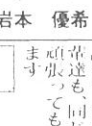


増井　洋平

私が悩んでいる時、相談に乗ってくれたのはチームメイトでした。そして間違ったことを叱ってくれたのは先生でした。朝早くからお弁当を作ってくれたのは母でした。自分の周りに関わる多くの人に支えられて、好きなサッカーを3年間続けられたことを感謝し、本当に幸せに思っています。

またサッカーを通し、グラウンドで学んだことは、社会に出ても通じる挨拶、人間関係の大切さ等を学びました。このことは、自分自身の糧としたいと思います。

吉田高校

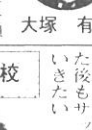


岩本　優希

僕にとって、この3年間は、とても良い経験ができた3年間でした。1年の時は県大会出場、2年の時は新人戦県大会出場、3年の時は総体中部大会2位で県大会出場し、選手権ではベスト12という結果を残す事ができました。

今まで一緒にやってきた後輩達には、すごく感謝しています。今年はユースAリーグ僕達より良い経験ができると思うので、大会で良い結果を残せるように頑張って欲しいです。

榛原高校

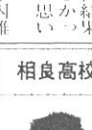


大塚　有記

僕たち3年生は、毎年順調の先生が代わり大変な年、昨年度は高校選手権で初の2次リーグ進出を果たすことができました。今年度の高校総体では、ベストメンバーが揃わず苦労しましたが、持てる力の全てを出し切って戦い抜くことができました。

サッカーを通して出会えた指導者の方々、友人、先輩、後輩、そして陰で支えてくれた父母会の方々に感謝すると共に、この3年間で養った集中力、最後まで諦めない心、そして耐え抜く力を、これからも生かしていきたいです。

相良高校



藤波　裕丈

僕達相良高校サッカー部は、3年間、選手権2次リーグ進出を目標に努力してきました。厳しい練習にも、部員全員が一丸となり良い雰囲気で取り組むことができました。3年最後の選手権では、2回戦敗退という悔しい結果に終わってしまいましたが、本当に今自分が持てる力を全て発揮する事ができたと思います。この試合で共に涙してくれた後輩達も、同じ目標を目指し、頑張ってもらいたいと思います。

島田高校



齋藤　裕介

僕にとって、高校でのサッカーは自分を成長させてくれた最も大切な思い出です。キャプテンとして力不足だった自分に協力し、支えてくれた仲間の存在があったからだと思います。

今、高校でのサッカーを終えて、サッカーを続けてきて本当によかったと思っています。大会では思うような結果を残す事ができませんでしたが、自分の仲間の大切さをこの3年間で学ぶことができました。3年間サッカーを続けてよかったなと思っています。最後に色々と教えてくれたサッカーにありがとう。

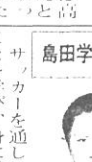
金谷高校



村松　大輔

金谷高校サッカー部は高校3年間で試合に勝てたという事は、本当に少なかった。だから、結果だけみたら、悔いが残ってしまったかもしれない。しかし、負けた中でも得たものは、たくさんあった。結果以上にチームメイトとのコミュニケーションは、よく出来ていたと思う。技術面では他校に対抗するのは難しかったが、気持ちの面では負けていなかったと思う。高校を卒業した後もサッカーと関わっていきたい。

島田学園高校



平出　侑樹

サッカーを通して様々なことを学び、身に付けることができました。辛いことや嫉妬などから逃げずに向き合ってきた仲間とは、「忍耐力」ではへこたれない「精神力」もちろんサッカーにおける技術やフィジカルの面も大いに成長したと思います。また、キャプテンを任されたことは、私にとって本当に良い経験となりました。

最後の選手権では、今力を出し切ったが負けてしまい、とても悔しかった。この悔しさ・高校生活で得たことを社会に出てからも活かし、サッカーを続けていきます。

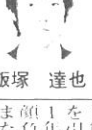
島田商業高校



平井　大輔

ボクの高校サッカーの思い出は辛かった事の方が多かったです。顧問は毎年替わり毎年新しいスタイルになり、キャプテンになってからは部員をまとめるのは苦労をしました。先輩や顧問との衝突もあり、チームがまとまらない時もありました。今ではとてもよい経験になったと思います。選手権やインターハイでは結果が残らなかったけど楽しかったです。

島田工業高校



飯塚　達也

今、高校でのサッカーを終えて、サッカーを続けてきて本当によかったと思っています。大会では思うような結果を残す事ができませんでしたが、自分の仲間の大切さをこの3年間で学ぶことができました。3年間サッカーを続けてよかったなと思っています。最後に色々と教えてくれたサッカーにありがとう。

焼津水産高校



橋本　伊織

サッカーを通じ、水産高校で色々なことを教わりました。プレーはもちろんのこと、特に周りのみんなには、心の支えになってもらい、とても感謝しています。2年生は、少人数の僕たち3年生を盛り上げ、チームを引っ張ってくれました。1年生は、試合で、3年生顔負けの得点を決めたり、また、休日を返上して守ってくれました。チームはなかなか結果がでませんでしたが、仲間と共に成長できたと思います。

焼津中央高校



岸端　剛史

中央サッカー部でのこの3年間、私達の目標は常に高い位置にあり、その目標にも果たすべく、厳しい練習にも常に高い集中力を保ちながらこなしてきました。また先生とのコミュニケーションを多くとり、自分達のサッカーを創りだすべく必死にプレーしてきました。話題も自然とサッカーの話となり、生活の中心はサッカーでした。それによりこの3年サッカーを楽しむことができました。高校で得たこの経験を活かし、一生サッカーをしていきたいです。

第1回静岡県クラブユース（U－15）新人戦2003 最終成績

1部リーグ

順位	チーム名	勝	負	分	勝点	得失点差
1	ジュビロ掛川	12	0	1	38	37
2	清水エスパルス	12	1	1	37	59
3	ジュビロ浜北	12	2	0	36	40
4	Honda FC	12	2	0	36	35
5	ジュビロ沼津	9	5	0	27	12
6	キューズFC	9	5	0	27	9
7	ジュビロ磐田	6	7	1	19	−11
8	ACMブルックスFC	6	8	0	18	−12
9	藤枝明誠SC	3	7	4	13	−7
10	聖隷JrYSC	4	10	0	12	−16
11	エスパルスSS藤枝	3	10	1	10	−20
12	エスパルスSS静岡	3	10	1	10	−21
13	清水FC	3	10	1	10	−24
14	FC雄踏	2	9	3	9	−44
15	ヴァロルFC	1	11	2	5	−37

2部リーグ

順位	チーム名	勝	負	分	勝点	得失点差
1	藤枝東FC	13	0	1	40	76
2	EWSFC	9	2	3	30	44
3	マツバラSC	9	3	2	29	36
4	沼津セントラル	9	4	1	28	14
5	城内FC	8	3	3	27	31
6	掛川JFC	7	2	5	26	21
7	静岡クラブ	8	4	2	26	20
8	T&TSC	6	6	2	20	8
9	クラッキFC	6	7	1	19	−15
10	リベルダージFC	6	8	0	18	4
11	浅羽FC	5	8	1	16	−6
12	ASASFC	3	7	4	13	−11
13	レゾン袋井FC	2	12	0	6	−63
14	ピュアFC	1	13	0	3	−80
15	田原FC	0	13	1	1	−79

3部リーグ

順位	チーム名	勝	負	分	勝点	得失点差
1	ＥＳＳＦＣ	16	1	1	49	89
2	カルトゥーラ小笠FC	16	2	0	48	68
3	リベロFC	13	2	3	42	73
4	FUJIMIFC	13	3	2	41	49
5	FC LESTE	11	4	3	36	42
6	湖西FC	11	5	2	35	35
7	森FCアルゴス	10	5	3	33	18
8	太陽FC	10	5	3	33	18
9	サルファス・小鳥囀内	7	4	7	28	−4
10	三ヶ日・天竜	8	9	1	25	−5
11	エスパルスSS榛原	7	8	3	24	−18
12	ASKAFC	8	10	0	24	−22
13	大須賀FC	6	11	1	19	−11
14	TMBFC	4	11	3	15	−50
15	長泉アミーゴス	4	12	2	14	−28
16	FC雄踏	4	13	1	13	−34
17	Fukuroi FC	3	13	2	11	−50
18	OSADAFC	1	16	1	4	−92
19	NFC	0	18	0	0	−78

※1部下位4チームと2部上位4チームが自動入替
2部下位4チームと3部上位4チームが自動入替

平成15年度 中西部女子サッカーリーグ戦 最終成績

順位	チーム名	勝	負	分	勝点	得失点差
1	藤枝姉妹FC	4	0	2	14	29
2	榛南ドルフィン	4	0	2	14	13
3	島田プリンセス	4	1	1	13	21
4	焼津クイーンズ	3	2	1	10	1
5	大井川中学校	2	4	0	6	−17
6	藤枝FCエスペレ	1	5	0	3	−15
7	榛原中学校	0	6	0	0	−32
8	第一製薬ローザ	—	—	—	—	—

社会人シニア女子ユース リーグ戦（中西部勢の試合結果）

シニアリーグ 12月14日・1月11日

（シニア50）
焼津飛魚クラブ　3－3　沼津
藤枝FC　2－2　焼津飛魚クラブ

静岡県女子リーグ 12月7日～1月18日

藤枝FCアミーガ　1－0　静岡産業大学
静岡産業大学　5－0　ジュビロ磐田
蒲原クラブ　2－0　藤枝FCアミーガ

静岡県女子リーグチャレンジ戦

藤枝姉妹FCが県リーグ昇格を目指す

県内各支部の女子リーグ優勝チームが、県リーグ勢との入替戦進出をかけて争うチャレンジ戦が、2月22日、29日の両日に行われる。中西部からは藤枝姉妹FCが出場し、トーナメント戦に臨む。この上位2チームが、県リーグ下位2チームと対戦する入替戦（3月14日・藤枝総合運動公園サッカー場）の出場権を得る。

チャレンジ戦組み合わせ

藤枝姉妹FC　2/22㈯ 富 10:00
VALOR FC DIANA
聖隷ウイングス　2/29㈯ 蛇 14:00
桐陽高校　富 11:10

＜会場＞富：富士川町河川敷
蛇：蛇塚北グラウンド

1級審判員誕生㉒

2003年に中西部から誕生した1級審判員を前号に引き続き紹介する



数原　武志

はじめまして、私は2003年度日本サッカー協会1級審判員に合格することが出来ました、数原武志（すはらたけし）と申します。

小・中・高・大学と選手を続けておりましたが、大学入学と同時に審判という未知の世界に飛び込み、多くの方々に支えられここまでくることが出来ました。しかしながら、まだまだ自分は未熟者であり、やっと第一歩踏み出したばかりです。今後も多くの試合を経験し、自分のレベルアップと共に中西部地区、静岡県、更には日本サッカー界のレベルアップに一生懸命務めていきます。

このような私を、中西部ヤングサッカーニュースに載せて頂いた事を光栄に思います。又、今までご指導下さった方々に、この場を借りて感謝のお礼を申し上げます。ありがとうございました。今後もよろしくお願い致します。

すはらたけし／富士市伝法
SSでサッカーを始め、島田市初倉南小時代は吉田町白畑SSでプレーする。初倉中時代には県選抜入り。静岡学園高から静岡産業大に進む。96年に日本サッカー協会Jリーグ審判特別養成コースに参加。翌年に2級審判資格取得。03年に1級取得。島田市在住。26歳。

鈴村路子の もっと知りたいサッカー No.77

不健康なサッカー

今年も卒業生を送り出す季節となった。高校サッカーを終えた元選手の皆さん、まさか煙草に手が伸びていませんか。今まで薬学講座とか保健の授業などでさんざん聞かされてきた通り、煙草にはタールを始め、百種類以上の有害物質が含まれており、あらゆる部位のガンや心臓病、脳血管障害、歯周病などの原因になる。タールも恐ろしいけれど、スポーツをやる人にとっては、ニコチンや一酸化炭素の方がより深刻な害をもたらすのではないかと思う。ニコチンが体内に入ることにより、血圧が上がり、心拍数が増え、皮膚温度が下がる。社会人の試合会場ではハーフタイムや終了後に煙草を吸っている人をよく見かける。また、審判でも喫煙している人を見ることがあるハーフタイムなどの短い時間に急いで煙草を吸うことなど、心臓によいはずはないと思うのだがスポーツをする時には体の細胞は、十倍もの酸素を必要とするのに、喫煙者は肺や心臓の機能が低下しているので、必要な酸素を筋肉に提供することができない。喫煙することで体内に取り込まれる、酸化炭素は、血液中のヘモグロビンと結びつき、酸素を運ぶ能力を大幅に妨げ、海抜2500mもの高地にいると同じ位の酸欠状態になるとさえ言われる。煙草を吸うことですぐに息切れし、チームに迷惑をかけることもあるかもしれない。喫煙により、多くのビタミンも破壊されるので、育ち盛りの若い人たちにはよいことは一つも無い。

そして、大人のサッカー関係者の皆さん、まさか子供たちを風下において、副流煙を吸わせている、なんてことはありませんよね。

中西部地区　平成15年度　審判合格者

（2級合格者）
（藤枝市）
川久保　忠彦

（3級合格者）
（藤枝市）
西形　光晴
下川　晴久
野田　聡
松原　幸則
後藤　浩之
寺田　弘幸
斉藤　邸大
杉崎　陽子
竹井　要
池谷　裕
鈴木　公則
吉田　昌俊
黒松　宏美
川端　行
（志太郡）
青島　明広
浦田　洋史
高樹
（島田市）
松倉　和彦
川村　啓
長谷川
（榛原郡）
諸橋　好美
山田　亮成
河野　聖
三浦　裕

2・3月　その他の予定

- 第10回静岡県ユースリーグ・開幕式　3月13日㈯
- 東海高校新人サッカー大会
- 第1回中西部フットサルリーグ　2月22日㈰、3月7日㈰　＜焼津市民体育館＞
- 第30回静岡県つま恋ユースU－11選抜サッカー大会
  2月28日㈯、29日㈰　＜掛川市つま恋＞
- サークルKカップ第19回静岡県キッズU－10・8人制サッカー大会
  中西部順位決定戦　3月7日㈰　＜藤枝市民G＞
- 中西部理事会　3月12日㈮　・中西部審判委員会　3月14日㈰

中西部サッカー協会事務局　〒421-0206　大井川町上新田292-1 大井川高校内・鎌田昌治理事長
TEL054-622-3411　FAX054-622-3472

平成16年度　3級レフリースクール　受講者募集

㈳静岡県サッカー協会中西部支部審判委員会では、平成16年度に実施する3級レフリースクールの受講者を募集します。

＜実施日＞　平成16年4月18日㈰　雨天決行
＜会　場＞　藤枝総合運動公園サッカー場
＜受講資格＞　平成16年4月1日現在、満15歳以上で、4級審判員資格を有する者
＜内　容＞　筆記テスト（選考基準：70点以上）
体力測定（選考基準：12分走　男子2,200m、女子2,000m以上）
＜申込方法＞　・住所（郵便番号）・氏名・年齢・職業（学生は学校名）・電話番号
・4級登録番号
以上を明記の上、審判委員長・下田までFAXで送付してください。
＜申込締切＞　平成16年3月末　※後日、詳細を連絡します。
＜申込・問合せ先＞　㈳静岡県サッカー協会中西部支部審判委員会
委員長　下田　勉　TEL＆FAX 054－639－0333

JR西焼津駅北口駐車場
（有）入山一
TEL & FAX 054-628-7383

レッカー作業24時間対応
M・K Cars co. RS24
TEL 054-625-1722
焼津市三ヶ名新田379-1
㈲エム・ケイ自動車

ご婚礼の老舗　会席披露宴
小杉苑
藤枝市青木2丁目2-48
TEL 054-641-3321

警備保障
ACM 株式会社 中央防犯

拡げます。デジタルネットワーク
共立印刷株式会社

YAIZU FUTSAL倶楽部
ICHIMARU SPORTS VILLA
〒425-0052　焼津市田尻1122
お問い合せ　054（625）0011（代）
ご予約　0120－210812
ICHIMARU SPORTS VILLA

めざせ ワールドカップ
清水屋スポーツ
藤枝市本町3丁目6－8
☎（054）641－1358
フットボールギア
藤枝市前島1丁目6－3
☎（054）636－6108

ビジネスホテル シルビア
〒426-0022 静岡県藤枝市稲川1丁目11－48
TEL 054－643－0500（代）

(1) 平成１年12月18日第三種郵便物認可　昭和63年４月20日創刊　　平成16年３月15日（月曜日）発行（毎月15日発行）

中西部 ヤングサッカーニュース 2004 3

発行責任者／静岡県中西部サッカー協会理事長　鎌田昌治　企画構成編集責任者／滝本義三郎

平成15年度　静岡県高校女子サッカー新人大会

藤枝順心　初優勝

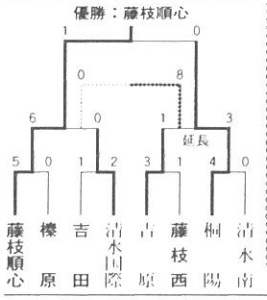


静岡県高校女子新人大会は２月21日、愛鷹競技場で決勝戦が行われ、藤枝順心が桐陽を１対０で破り、初優勝を果たした。優位に進める藤枝順心は、前半18分にDF杉山のロングボールが相手GKの前に落ちると、飛び出したFW福岡が、瞬く間にゴールを決めた。後半は相手の猛攻を受けるがしのぎ、１点のリードを守り切った。

フィジカルとメンタルが課題

長短のパスを使い攻勢の前半とは一転、後半はサイドから突破を許し押し込まれた。運動量が落ちた終盤には、セットプレーなどからフリーにした選手に決定的なシュートを許す場面もあった。初めてのタイトルがかかった試合に「緊張で動けなかった選手もいた」と多々良監督。息切れした後半のプレーは、フィジカルとメンタルの弱さが現れた。長谷川主将もフィジカルの強化を課題に挙げ、それができれば「自分たちのサッカーが試合を通してできると思う」と語った。先発メンバーの大半を１年生が占める若いチームだけに、今後の成長が期待される。

決勝トーナメント　試合結果



中西部３校は決勝T初戦で涙

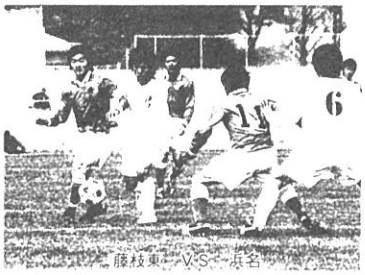
２月７日に行われた決勝トーナメント１回戦、榛原は優勝した藤枝順心と対戦した。早い寄せと粘り強い守りで、前半は藤枝順心の攻撃を１点に抑えたが、後半は地力の差が出て４点を失った。

清水国際と対戦した吉田は、前半５分に中山のシュートで先制するも、25分に同点とされる。後半はシュートまで持ち込めず、逆に28分に決勝点を奪われた。

怪我人などのため８人で臨んだ藤枝西は吉原と対戦。粘り強くボールを追い、奪うと素早く前線に送り押し上げる。18分にCKから失点を許すと、後半15分、25分にも追加点をとりえてしまう。だが、27分には右サイドに出たクロスボールを加塩がドリブルで持ち上がり中へ折り返すと、前島が押し込んで一矢を報いた。

平成15年度　静岡県高校新人サッカー大会

藤枝東　準優勝



２月11日から始まった男子の県高校新人大会決勝トーナメントは、21日に愛鷹広域公園で順位決定戦が行われ藤枝順心と榛原は優勝した藤枝順心と対戦した。早い寄せと粘り強い守りで、前半は藤枝順心の攻撃を１点に抑えたが、後半は地力の差が出て４点を失った。

清水国際と対戦した吉田は、前半５分に中山のシュートで先制するも、25分に同点とされる。後半はシュートまで持ち込めず、逆に28分に決勝点を奪われた。

怪我人などのため８人で臨んだ藤枝西は吉原と対戦。粘り強くボールを追い、奪うと素早く前線に送り押し上げる。18分にCKから失点を許すと、後半15分、25分にも追加点をとりえてしまう。だが、27分には右サイドに出たクロスボールを加塩がドリブルで持ち上がり中へ折り返すと、前島が押し込んで一矢を報いた。

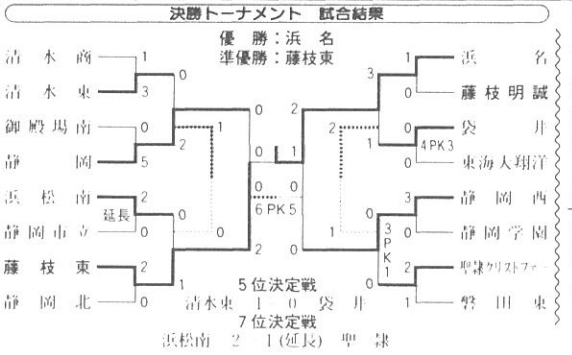
後半は押し気味に進めるも、相手の堅い守りに最後までゴールを割れず惜敗し、準優勝となった。

藤枝東は、各県の１位２校が参加する東海新人大会（３月13日・14日、愛知県豊川市運動公園）の出場権を獲得。１回戦で岐阜１位の各務原と対戦する。

藤枝明誠は総体シード獲得ならず

フリンスリーグ参加校と新人大会六位を合わせた８校には、高校総体県大会出場のシード権が与えられる。藤枝明誠は16校が対戦した決勝トーナメント１回戦で、優勝した浜名に後半の１失点で惜しくも敗れ、シード権を逃した。

決勝トーナメント　試合結果



財静岡県サッカー協会中西部支部ホームページ開設

http ://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

◆◆中西部でも３事業を実施◆◆ JFAキッズプログラム プロモートFA

キャプテンズミッションの幼児年代からの普及・育成体制の整備（JFAキッズ（U－６）プログラム）において、事業計画が認められプロモートFAに選ばれた静岡県協会が、支部ごとに行った「キッズ指導者養成スクール」キッズ巡回指導・キッズクリニック「キッズサッカーフェスティバル」の３事業が、中西部でも昨年12月から２月にかけて実施された。この事業は平成17年度までの３年間行われる。

キッズ指導者養成スクール

キッズ指導者養成スクールは12月５日に藤枝市民体育館で、講師に日本協会キッズプロジェクト委員の山本浩義氏を招いて開かれた。高校生や大学生、社会人は少年団の指導者や幼稚園の教諭など男女合わせて80人が参加した。講義と実技に分けて行われ、講義ではキッズ年代の精神や身体の特徴、それに伴う指導ポイントや捌し方などがわかりやすく説明された。また、実技ではまず「動く」ことから始まり、いろんなジャンプやボールだけでなく大きな輪やコーンなどを使い、遊び感覚でできるメニューを実践。その際も褒めて楽しませ、やる気を出させる声の掛け方が説明され進められた。最後に、受講者には「キッズコーチ認定証」が渡された。



実技指導を受ける受講者



キッズ巡回指導・キッズクリニック

県キッズ巡回指導委員の堀池巧氏（元日本代表）、山田淳愛氏、木岡一葉氏（共に元日本女子代表）らが指導に回った巡回指導は、中西部キッズ委員会が募集した中から選ばれた４つの幼稚園・保育園で行われた。

12月16日の焼津中央幼稚園を皮切りに、法城学園こばと幼稚園（藤枝市）、藤枝順心付属幼稚園と回り、最終日の２月24日に吉田町立さくり保育園で指導された。

参加した子供達の人数に合わせて内容を変え、ボール捌けやドリブルゲーム、シュートゲームにミニゲームなど、楽しめる内容で行われた。

「泣かない・コーチのあきらめない・コーチの言うことを静かに聞く」を約束事として、守れた参加者全員に「がんばり賞」の賞状が渡された。また、実施施設には使用したミニゴールやボール、コーンなどが贈られた。



キッズサッカーフェスティバル

キッズフェスティバルは１月25日に藤枝総合運動公園陸上競技場に200人を超える幼稚園児を中心とした子供達が集まり、行われた。

坂根英人静岡県サッカー協会キッズ委員長、萩原昌明同協会中西部支部長の挨拶の後、雄踏那雄中西部キッズ委員長のホイッスルを合図に、ミニゲームのほか、キックターゲット、シグザグドリブル、コーン当てゲームなどを楽しんだ。各コーナーを回り、シールを集め、がんばって７つ以上を集めた子供には「JFAがんばり賞」が渡された。







ゴール裏から――

榛原トレセン３種代表

竹下　知行

榛原トレセンは、南北に長い地域で７つの中学校の生徒から編成されています。スタッフは、一輪昌弘技術委員長をはじめ、指導者は中学校教員10名、地域指導員２名で運営しています。前・後期の２期制とし、年間約20回の活動を行っています。

目的は、「地域のサッカーに対する関心を高め、技術の向上のため、その中核となるジュニア層のレベルアップを図ること」と「地域のサッカーにおける指導者の連携を図り、指導技術の向上等の研修の場とすること」です。

昨年度からは、１年はジュビロカップ・２年は24クラスリングカップ・３年は藤枝市長杯の大会に参加し、どの学年も大会参加を通して、一年間のまとめを行っていくことができるようになりました。

３年前から参加していただいている、地域指導員の宮部コーチ、宮部コーチの熱意ある意欲的な指導が、生徒のやる気を引き出し、活動を盛り上げています。

そして、３年間で、習った指導を行うことが可能になりました。これは榛原トレセンにとっての大きな財産になったと思います。そして、郡内のトレセン活動充実のために、多忙の中指導してくださっている先生方やトレセン活動のみならず、各種大会で御理解・御協力いただいている榛原サッカー協会の方々には本当に感謝の気持ちで一杯です。

今後も、もっと多くの地域の方に参加していただき、さらにトレセン活動の充実を図っていきたいと思います。

第9回 藤枝市女子サッカー選手権大会

静岡産業大学が2連覇

中西部支部内の8チーム（藤枝市サッカー選手権大会）が2月8日、22日に行われた藤枝市女子サッカー選手権大会に参加した。



静岡産業大学



藤枝ＦＣアミーガ



榛南トルフィン

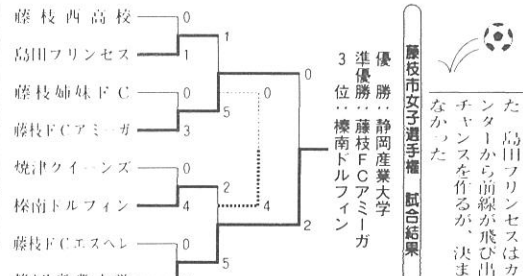
決勝に進んだのは、準決勝で島田フリンセスを破った藤枝ＦＣアミーガと、榛南トルフィンを下した静岡産業大学。中盤でボールを奪い合い、進一退で進んだ前半も終盤の27分、静岡産業大は法月が右サイドからドリブルで切れ込みシュートを決めて先制した。さらに後半15分には、ゴールキックをカットした大西がそのまま駆け込んで2点目を捕らえきれず、静岡産業大が2対0で勝利。準決を控えた一期の1年生にとっては最後の大会で2年連続の優勝を飾り、花を添えた。

シュート数も増え攻め合ったが、アミーガのシュートは枠を戦、優位に進める榛南トルフィンが対フィンが、前半に大石と野村の得点で2点をリード後半にも大石、野村のゴールで突き放し、3位となった。島田フリンセスはカウンターから前線が飛び出しチャンスを作るが、決まらなかった。

3位決定戦は島田フリンセスと榛南トルフィンが対

藤枝市女子選手権　試合結果

優　勝：静岡産業大学
準優勝：藤枝ＦＣアミーガ
3　位：榛南トルフィン



第2回 指導者実技講習会

U―12・13年代の指導のあり方

藤枝市サッカー協会
技術委員長　下田　友規

2月21日、藤枝総合運動公園サッカー場にて指導者講習会が行われた。この講習会は藤枝市サッカー協会技術委員会の主催で実施され、昨年末に続き、2回目である。

今回は日本協会コーチの池内豊氏をお迎えして、「攻撃のしかけ」のテーマで藤枝トレセン1年を指導する形で行われた。藤枝市少年団、中西部地区3種の指導者が集まり、活発な質疑応答など充実した講習会となった。できれば、4種の指導者がもっと多く参加できると日頃の実践に役立つであろうと感じた。その点は残念であった。



来年度もアグレッシブに指導者対象の講習を開催していきます。

第12回 静岡県・浙江省友好少年サッカー大会

静岡県U―12選抜　中国遠征

中西部勢5人参加

静岡県・浙江省友好の少年サッカー大会が中国浙江省で行われ、それに出場する静岡県U―12選抜が3月24日から30日まで中国に遠征する。選抜メンバーには中西部から5人が選ばれた。

静岡県U―12選抜

番号	位置	氏名	所属チーム	学年
1	GK	長谷川佑樹	清水ＦＣ	6
2	DF	山崎　教史	静岡ＪＦＣ	6
3	DF	大石明日希	藤枝ＦＣ	6
4	DF	鶴見　辰吾	ＦＣ浜名	6
5	DF	森田　隆廣	清水ＦＣ	6
6	MF	浦山　卓郎	焼津ＪＦＣ	6
7	MF	青木　達也	清水ＦＣ	6
8	MF	風間　宏希	清水ＦＣ	6
9	FW	村田　直陛	浜松ＪＦＣ	6
10	MF	鍋田亜人夢	清水ＦＣ	6
11	FW	提坂　俊介	ＦＣ島田	6
12	GK	芹沢　賢人	富士ＪＦＣ	6
13	MF	大井　淳平	静岡ＪＦＣ	6
14	FW	長谷川誠也	三島ＦＣ	6
15	MF	松下　夏月	榛原ＦＣ	6
16	DF	加藤　喬大	焼津ＪＦＣ	6

平成15年度 静岡県高校選抜イタリア遠征

中西部勢5人参加

来年度の埼玉国体に向けた強化の一環として、静岡県高校選抜が3月19日から29日まで海外遠征を行う。今回はイタリアに遠征し、ローマにおいてセリエＡのU―18チームなどと4試合を行う予定になっている。遠征メンバーには選手17人が選出され、中西部勢では5人が参加する。

静岡県高校選抜

位置	氏名	所属チーム	学年
GK	八田　直樹	ジュビロ磐田Ｙ	2
GK	石井　健太	東海大翔洋（岡部小出身）	1
DF	武田　憲明	清水商	2
DF	平岡　康裕	清水商	2
DF	森下　俊	ジュビロ磐田Ｙ	2
DF	伊藤　優太	浜松北	2
DF	小関　佑典	藤枝東	2
MF	倉橋　秀幸	浜名	2
MF	松本　征也	浜名	2
MF	中村　友亮	静岡学園	2
MF	狩野　健太	静岡学園	2
MF	中村　豪	ジュビロ磐田Ｙ	2
MF	赤星　貴文	藤枝東	2
FW	藤井　貴	ジュビロ磐田Ｙ	2
FW	岡本　達也	ジュビロ磐田Ｙ	2
FW	松島　寛季	清水商（藤枝中出身）	2
FW	中村　祐輝	藤枝東	1

平成15年度 (財)静岡県サッカー協会 女子U―14中国遠征

中西部勢5人参加



中学1・2年生を対象とする静岡県女子U―14選抜が、3月22日から26日までの5日間で中国遠征を行う。上海に滞在し、トレーニングのほか、地元チームとの試合も3試合予定されている。2月に行われた選考会により選手25人が選出され、中西部からは5人が選ばれた。

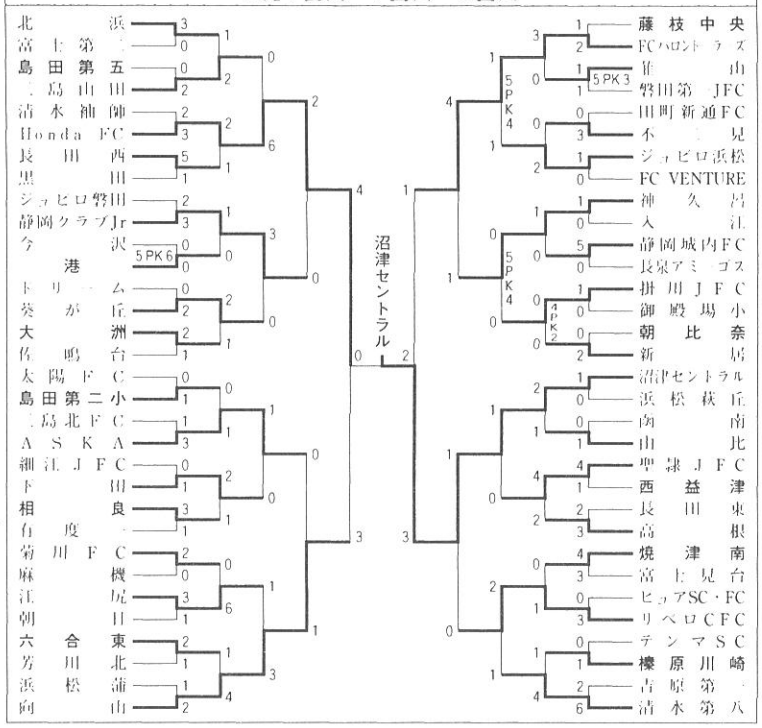
昨年度までは、全日本女子ユース東海予選を控えるU―18県選抜が8月に中国遠征を行っていた。だが、今年度からは、若い年代からの強化を考え、夏に行われる一つ下のカテゴリーU―15の大会へ臨む中学年代の遠征に切り替えられた。

静岡県女子U―14選抜

位置	氏　名	所属チーム	学校名	学年
GK	増田　歩穂	島田プリンセス	島田第一中	2
MF	本村　春奈	島田プリンセス	六合中	2
FW	長澤　まどか	藤枝ＦＣアミーガ	青島北中	2
FW	河原崎　希	藤枝ＦＣアミーガ	大洲中	2
DF	八木　一恵	藤枝ＦＣアミーガ	岡部中	2
MF	岩崎　茉美	富士宮レディースFC	小山中	2
FW	鈴木　友望	清水ＦＣ女子	清水第八中	2
GK	平岡　佑梨	清水ＦＣ女子	清水庵原中	2
DF	池ヶ谷夏美	清水ＦＣ女子	中島中	1
MF	富本　美緒	清水ＦＣ女子	清水第六中	1
MF	市川　舞	清水ＦＣ女子	沼津原中	1
DF	伊藤　麻里	VALOR　FC	清水第三中	1
FW	安本紗和子	VALOR　FC	駒越中	1
MF	堀　佳織	VALOR　FC	清水第四中	2
MF	田中　光	Ａ．Ｓ．Ｃ	観山中	1
FW	佐藤　美紗	Ａ．Ｓ．Ｃ	沼津今沢中	2
DF	藤原　智美	Ａ．Ｓ．Ｃ	沼津金岡中	2
MF	中塚　理加	Ａ．Ｓ．Ｃ	清水飯田中	2
MF	岸沢麻衣子	蒲原ＦＣ女子	御殿場南中	2
FW	深谷　知世	浜松ジョリィフィーユ	浜松南陽中	2
FW	佐藤　麻由	Ｈｏｎｄａ　ＦＣ	丸塚中	1
FW	金札　杏	Ｈｏｎｄａ　ＦＣ	天竜中	1
FW/DF	小倉　彩	ジュビロ磐田レディース	袋井中	2
MF	寺田　玲子	ジュビロ磐田レディース	豊田南中	2
GK	土村　綾	ジュビロ磐田レディース	磐田城山中	1

NTT西日本静岡グループカップ 第36回 静岡県サッカースポーツ少年団大会 試合結果

2月1日(日)・7日(土)・8日(日)



第1回 中西部ジュニアユースリーグ（松永杯争奪中西部中学生サッカー大会）

兼・第25回ふれあいカップ 静岡県中学生サッカー選手権大会中西部地区予選

予選リーグ終了　決勝リーグは4月10日から

松永杯争奪中西部大会を兼ねた中西部ジュニアユースリーグは、2月28日に予選リーグが終了した。37チームが4組に分かれて争われた予選リーグから、1～4位が決勝リーグ、5～7位が中位リーグ、8～10位が下位リーグへと進む。

決勝リーグは4月10日～24日に行われ、16チームを4組に分けて争われる。そして、各組上位2チームが決勝トーナメント（4月29日・5月11日）へ進出し、ふれあいカップ県大会の出場権獲得を目指す。

予選リーグ最終成績

順位	Aリーグ	勝	分	負	勝点	得失点差
1	EWSFC	8	1	0	25	58
2	吉島北中	8	0	1	24	35
3	エスパルスSS藤枝	6	0	3	18	8
4	港中	4	2	3	14	6
5	初倉中	4	2	3	14	2
6	附属島田中	4	1	4	13	14
7	西益津・瀬戸谷中	3	1	5	10	−9
8	相良中	2	2	5	8	−3
9	小川・大村中	1	1	7	4	−37
10	広幡中	0	0	9	0	−74

順位	Bリーグ	勝	分	負	勝点	得失点差
1	藤枝明誠SC	8	0	0	24	31
2	金谷中	6	1	1	19	23
3	ASASFC	5	2	1	17	7
4	豊田中	3	2	3	11	5
5	島田第一中	3	2	3	11	0
6	島洲中	2	2	4	8	1
7	岡部中	2	1	5	7	−2
8	中川根中	1	2	5	5	−5
9	和田中	0	0	8	0	−60

順位	Cリーグ	勝	分	負	勝点	得失点差
1	ACMブルックスFC	7	1	0	22	27
2	榛原中	4	3	1	15	6
3	焼津中	4	2	2	14	8
4	葉梨中	4	1	3	13	0
5	島田第二中	4	0	4	12	1
6	青島中	2	5	1	11	3
7	エスパルスSS榛原	3	1	4	10	0
8	川根中	1	1	6	4	−18
9	大富中	0	0	8	0	−27

順位	Dリーグ	勝	分	負	勝点	得失点差
1	藤枝東FC	7	1	0	22	41
2	六合中	6	1	1	19	18
3	藤枝中	5	1	2	16	12
4	御前崎中	5	0	3	15	2
5	大洲中	3	1	4	10	−3
6	吉田中	1	4	3	7	−6
7	大井川中	2	1	5	7	−10
8	TMBFC	1	1	6	4	−17
9	東益津中	1	0	7	3	−37

決勝リーグブロック分け

Aリーグ	Bリーグ	Cリーグ	Dリーグ
EWSFC	藤枝明誠SC	ACMブルックスFC	藤枝東FC
六合中	榛原中	金谷中	吉島北中
焼津中	藤枝中	エスパルスSS藤枝	ASASFC
豊田中	港中	御前崎中	葉梨中

会場

焼津	中央高校G	島田工業高校G
藤枝東	高校G	島田高校G
藤枝北	高校G	島田学園高校G
藤枝明誠	高校G	大井川高校G
静清工業	高校G	吉田高校G
藤枝西	高校G	榛原高校G
		相良高校G

第12回 日本クラブユース（U－15）サッカー選手権大会 静岡県大会

日本クラブユース（U－15）選手権静岡県大会は、昨年より1チーム多い148チームが参加して、4月10日から1次リーグ、2次リーグとスタートする。1次リーグ、決勝トーナメントの3段階で進められ、上位7チームが東海大会の出場権を獲得する。

先に行われた県クラブユースリーグ（U－15）新人戦の結果により、Aリーグの上位8チームにシード権が与えられ、2次リーグからの出場となる。中西部勢ではACMブルックスFCが8位でシードに入った。

1次リーグは40チームが6ブロックに分かれて争われ、各ブロックの上位4チームが2次（上位）リーグに進む。1次リーグでシードに入った8位のACMブルックスFCが2次（上位）リーグを勝ち上がった24チームにシードとして8チームを合わせた32チームが、更に8ブロックに分かれてリーグ戦を行い、上位2チームずつの16チームが決勝トーナメントに進出する。また、1次リーグで上位になった18チームによるブロックごとに順位決定リーグと、その順位決定戦も実施される予定。

1次リーグは4月29日まで行われ、5月に2次リーグと決勝トーナメントが実施される。そして、6月6日に決勝戦が行われる予定になっている。

1次リーグブロック分け

Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	Fブロック
EWSFC	エスパルスSS藤枝	藤枝東FC	聖隷JrユースSC	藤枝明誠SC	マツバラSC1994
城内FC	エスパルスSS静岡	FC雄踏	FCアスルクラロ静岡	VALOR FC	清水FC
クラッキFC	リベルダージFC	浅羽FC	T&TSC	掛川JFC	静岡クラブ
F.C VERDURE	レヴン袋井FC	Fuji Ardito FC	カルトゥーラ小笠FC	ASASFC	リベロFC
森FCアルゴス	ヒュアSC	太陽FC	田原FC	FC LESTE	湖西FC
ASKA FC	長泉アミーゴス	Fukuroi FC	エスパルスSS榛原	大須賀FC	サルファスoRs
OSADA FC	YAIZU TMB FC	NFC	天竜FC		

第35回 全国高校サッカーフェスティバル 開催

3月27日(土)～31日(水)

全国の高校生チームが中西部地区に集い、交流試合を行う全国高校サッカーフェスティバルが、今年も3月27日から31日までの5日間で開かれる。全国各地から41チームが集まり、中西部の全17チームを含む県内18チームを合わせた計59チームが参加して、中西部内の各高校グラウンドを会場に試合を行う。

参加チーム

北海道	登別大谷高校	福井	一乗高校
青森	青森山田高校	愛知	愛知産業大三河高校
青森	青森山田高校	愛知	刈谷工業高校
東京	東京農大一高校	愛知	豊川工業高校
東京	駒場高校	岐阜	長良高校
東京	大泉高校	岐阜	加納高校
神奈川	相模原高校	三重	上野高校
神奈川	鎌倉学園高校	大阪	北千里高校
神奈川	三浦高校	滋賀	水口東高校
神奈川	金井高校	滋賀	水口高校
神奈川	厚木高校	和歌山	新宮高校
神奈川	横浜商科大高校	静岡	小笠高校
神奈川	川崎北高校	中西部	焼津中央高校
神奈川	綾瀬FCユース	中西部	藤枝東高校
神奈川	高岡高校	中西部	静清工業高校
神奈川	日大藤沢高校	中西部	藤枝北高校
神奈川	横須賀高校	中西部	藤枝明誠高校
神奈川	住吉高校	中西部	藤枝西高校
神奈川	川崎中ノ橋高校	中西部	藤枝工業高校
埼玉	志木高校	中西部	島田商業高校
千葉	君津商業高校	中西部	島田高校
千葉	暁星国際高校	中西部	島田学園高校
群馬	西邑楽高校	中西部	大井川高校
山梨	日本航空高校	中西部	吉田高校
新潟	一条東高校	中西部	榛原高校
長野	田川高校	中西部	相良高校
長野	長野日大高校	中西部	金谷高校
長野	須坂東高校	中西部	川根高校
長野	松本農業高校		
石川	金沢泉丘高校		

平成15年度 中西部社会人サッカーリーグ 2部・3部 最終成績

順位	2部リーグ	勝	分	負	勝点	得失点差
1	S.K.YOSHIDA	8	0	1	24	10
2	ダイレクトスターズ	7	1	1	22	12
3	K.F.LUZA	6	1	2	19	9
4	金谷チャッキリーズ	4	2	3	14	6
5	1969	3	2	4	11	2
6	FCトランカーズ	3	1	5	10	−7
7	雑草クラブ	3	1	5	10	−10
8	インヘリアル	3	0	6	9	−4
9	スクラッチヒューストン	2	0	7	6	−8
10	白井産業FC	1	2	6	5	−10

順位	3部Aリーグ	勝	分	負	勝点	得失点差
1	FCサンロード	8	1	1	25	31
2	ブルーフラネット	6	4	0	22	22
3	アルディーテ島田	7	1	2	22	16
4	ハルテノス	6	0	3	19	7
5	矢崎榛原	6	0	4	18	33
6	富士フィルムFC	5	2	3	17	−2
7	FCオリゴ	5	1	4	16	2
8	K.H.FC	4	0	6	12	−4
9	FCブラッツ	1	1	8	4	−13
10	島田信用金庫	1	1	8	4	−37
11	白虎隊FC	1	0	9	3	−55

順位	3部Bリーグ	勝	分	負	勝点	得失点差
1	FC Zionixs	9	1	0	28	50
2	FC.隼	6	2	2	20	11
3	日清紡島田	5	2	3	17	9
4	ツムラ	5	2	3	17	8
5	豊友クラブ	5	2	3	17	−1
6	藤枝紫サッカークラブ	5	1	4	16	−1
7	中部電力浜岡	4	1	5	13	−4
8	M.A.CHAKAZ.	3	3	4	12	−8
9	エンブレム	3	1	6	10	−7
10	FC BURRN!	2	1	7	7	−22
11	FCシエスタ	0	0	10	0	−35

平成16年度 中西部社会人サッカーリーグ 開幕

中西部社会人リーグは1部リーグが4月4日に開幕し、2部・3部リーグも4月に開幕の予定になっている。1部にはS.K.YOSHIDA、ダイレクトスターズ、K.F.LUZAの3チームが昇格し10チームで争われる。2部にはFCサンロード、ブルーフラネットの3チームが昇格し、今年は9チームとなった。また、3部にはFC.HEAVEN、FC.SEISEI、リアルジャハンの3チームが新加入し、Aリーグ10チーム、Bリーグ11チームで行われる。

1部リーグ	2部リーグ	3部Aリーグ	3部Bリーグ
FC.FARRAGO	FC SCRATCH	スクラッチヒューストン	白井産業FC
志太サッカークラブ	FCヤザキ	ハルテノス	アルディーテ島田
FCヘアーズ	金谷チャッキリーズ	豊友クラブ	ツムラ
藤北クラブ	1969	富士フィルムFC	矢崎榛原
焼津FC	雑草クラブ	M.A.CHAKAZ.	藤枝紫サッカークラブ
瀬戸谷S.C	インヘリアル	K.H.FC	FCオリゴ
JIOVINEZZA	FCサンロード	島田信用金庫	FC.隼
S.K.YOSHIDA	FC Zionixs	エンブレム	FCシエスタ
ダイレクトスターズ	ブルーフラネット	FC HEAVEN	FCブラッツ
K.F.LUZA		FC SEISEI	白虎隊FC
			リアルジャハン

第30回 静岡県つま恋ユースU-11 選抜サッカー大会 試合結果

2月28日(土)・29日(日)

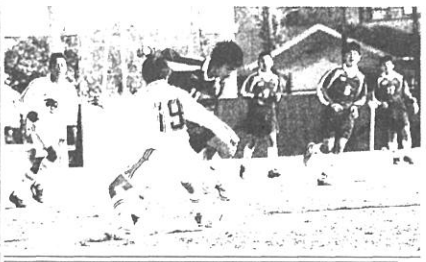


藤枝FC　VS　田方FC



焼津JFC　VS　FC.島田







第2回静岡県社会人フットサルリーグ　最終成績

ブロックリーグ

順位	Aブロック	勝	分	負	勝点	得失点差
1	Butantan（中西部）	3	0	1	9	11
2	セレゾン浜松フットサルクラブ（西部）	3	0	1	9	10
3	Kaido FC（中東部）	3	0	1	9	10
4	ゴラッソ（中部）	1	0	3	3	−17
5	丸塚クラブ（西部）	0	0	4	0	−14

順位	Bブロック	勝	分	負	勝点	得失点差
1	Hero Futsal Club（中西部）	2	1	0	7	4
2	田原FC AFP（西部）	2	1	0	7	2
3	Loco（中東部）	1	0	2	3	1
4	Praia Grande（東部）	0	0	3	0	−7

順位リーグ

順位	上位リーグ	勝	分	負	勝点	得失点差
1	田原FC AFP（西部）	3	1	0	10	12
2	セレゾン浜松フットサルクラブ（西部）	3	1	0	10	7
3	Hero Futsal Club（中西部）	2	0	2	6	−2
4	Butantan（中西部）	1	0	3	3	−4
5	Kaido FC（中東部）	0	0	4	0	−13

順位	下位リーグ	勝	分	負	勝点	得失点差
1	Y.S.T FUTSAL	5	1	1	16	32
2	Companero Futsal	4	1	2	13	22
3	YANCHARS	3	2	2	11	1
4	小泉内閣	3	1	3	10	2
5	LOOZ	2	1	4	7	−21
6	RESPECT	1	1	5	4	−30
7	GLORY	0	1	6	1	−31



昨年度に県の社会人フットサルリーグが開始されたのに伴い、普及とレベルアップを目的に、中西部でも今年度より社会人リーグを実施することになった。中西部登録の8チームが参加して、焼津市民体育館を会場に1月11日に開幕。2月8日、22日、3月7日の4日間で行われた。そして、初代チャンピオンにはC.F.FUTTが輝いた。

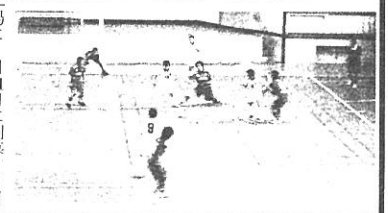
C.F.FUTTは3月20日に行われる県リーグ入れ替え戦に出場する。入れ替え戦は、5支部の各代表に県リーグ最下位チームを加えた6チームで争われる3チームずつの2組に分かれてリーグ戦を行い、各組1位による決定戦により昇格チームが決まる。

第１回中西部社会人フットサルリーグ

C.F.FUTTが初代王者に

県リーグ昇格を目指し入れ替え戦に臨む





静岡県女子リーグ　チャレンジ戦　入れ替え戦

藤枝姉妹FCが入れ替え戦出場権獲得

中西部女子リーグ優勝の藤枝姉妹FCが、チャレンジ戦で2位になり、県リーグ昇格のかかった入れ替え戦の出場権を獲得した。チャレンジ戦は中部を除く4支部の優勝チームが参加して、2月22日、29日の両日に行われた。この上位2チームが県リーグ下位2チームとの入れ替え戦へ進出。藤枝姉妹FCは入れ替え戦（3月14日・藤枝総合運動公園陸上競技場）で、県リーグ9位のジュビロ磐田レディースとの対戦が決まった。

チャレンジ戦試合結果

藤枝姉妹FC　4PK3　1
VALOR FC DIANA　1
桐陽高校　5
聖隷ウイングス　3

優　勝：桐陽高校
準優勝：藤枝姉妹FC

第19回 静岡県女子サッカーリーグ　最終成績

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失差
1	Honda FC	8	1	0	25	36
2	清水FC女子	8	1	0	25	28
3	富士見FCエンジェルス	7	0	2	21	21
4	蒲原クラブ女子メジャール	5	1	3	16	1
5	静岡産業大学女子サッカー部	4	1	4	13	12
6	藤枝FCアミーガ	3	1	5	10	−3
7	清水第八スポーツクラブ	3	0	6	9	0
8	吉原高校女子サッカー部	2	1	6	7	−14
9	ジュビロ磐田レディース	1	1	7	4	−37
10	富士宮レディースFC	0	1	8	1	−44

鈴村路子の　もっと知りたいサッカー　No.78

オマーンてどこ？

フル代表はW杯アジア次予選でオマーンと、U−23はオリンピックアジア地区最終予選でバーレーン、レバノン、UAEと、中東の国々と気の抜けない戦いが続いている。イラクのことは毎日のようにニュースが流れてくるけれど、他の中東の国々について何か知っていますか？

オマーンは、アラビア半島南東の端の国。アラビア半島に位置することから、民族的には当然アラブ人が多いわけだが、オマーン戦を見て、黒人系の選手がいたのに気がつかなかっただろうか。オマーンの国民は沿岸住民、山岳民、砂漠の遊牧民（ベドウィン）に分けられるが、沿岸住民には、かつて東アフリカのザンジバル島を支配していたことから、黒人との混血も多いという。首都はマスカット「山が海に落ちるところ」或いは「停泊港」という意味を持つ緑色のぶどうの産地かな、と思うかもしれないが、ぶどうのマスカットはアフリカのアレクサンドリアが原産である。オマーンのFIFA加盟は1980年。世界大会の出場はまだ無いが、若年層でのレベルは着実に上がっている。

バーレーンは、地図上ではちょっと見つけにくいかもしれない。ペルシャ湾に突き出るカタールの近くに位置する、大小33の島々から成る国。ちなみにカタールの首都はドーハであるレバノンはアラビア半島のお付け根、シリアとイスラエルに挟まった地中海に面した国で、FIFA加盟は1935年と古い。いずれもアジア杯決勝大会の出場経験を持つ。UAE（アラブ首長国連邦）はオーマンの隣国。1990年イタリアW杯に出場した実績がある。

３・４月　その他の予定

- 静岡県社会人リーグ１・２・３部
- 中西部社会人リーグ１・２・３部
- 静岡県女子リーグ
- プリンスリーグU−18東海２００４
- 第10回静岡県ユースリーグB・Cリーグ
- 平成16年度静岡県高校総合体育大会サッカー競技
  男子　中部地区大会　／　女子　予選リーグ
- 全国交歓中学サッカーフェスティバル　3月24日(水)　＜吉島中G＞
- 第19回しずぎんカップ静岡県ユースU−11サッカー大会
  3月13日(土)、20日(土)、21日(日)　＜エコパ他＞
- 中西部理事会　4月9日(金)　・中西部審判委員会　4月11日(日)

中西部サッカー協会事務局　〒421-0206　大井川町上新田292-1 大井川高校内・鎌田昌治理事長
TEL054-622-3411　FAX054-622-3472

第9回スルガカップ静岡県ユースリーグ　B・Cリーグ　最終成績

藤枝西高校　Bリーグへ昇格　　吉田高校　Aリーグへ昇格

順位	Cリーグ	勝	分	負	勝点	得失点差
1	加藤学園暁秀	10	0	1	30	32
2	藤枝西	7	3	1	24	17
3	浜北西	7	3	1	24	15
4	静岡市立	7	1	3	22	7
5	静岡	6	3	2	21	14
6	磐田南	6	1	4	19	6
7	吉原	5	2	4	17	12
8	浜松江之島	3	1	7	10	−9
9	小笠	2	2	7	8	−11
10	沼津東	2	0	9	6	−22
11	庵原	2	0	9	6	−31
12	清水南	1	0	10	3	−30

※上位2チームがBリーグ昇格

順位	Bリーグ	勝	分	負	勝点	得失点差
1	常葉学園橘	8	1	2	25	8
2	吉田	7	2	2	23	12
3	東海大翔洋	7	1	3	22	8
4	静岡西	6	3	2	21	10
5	袋井	6	3	2	21	7
6	聖隷クリストファー	5	3	3	18	7
7	浜松西	4	3	4	15	−2
8	浜松南	4	2	5	14	−2
9	藤枝北	3	1	7	10	−5
10	富士東	1	5	5	8	−9
11	常葉学園菊川	1	2	8	5	−19
12	飛龍	1	0	10	3	−15

※上位2チームがAリーグ昇格
下位1チームがCリーグ降格

JR西焼津駅北口駐車場
（有）入山一
TEL & FAX 054-628-7383

レッカー作業24時間対応
M・K/Cars co. RS24
TEL 054-625-1722
焼津市三衛門新田379-1
㈲エム・ケイ自動車

ご婚礼の老舗　会席披露宴
小杉苑
藤枝市青木2丁目2-48
TEL 054-641-3321

警備保障
ACM 株式会社 中央防犯

拡げます。
デジタルネットワーク
共立印刷株式会社

YAIZU FUTSAL倶楽部
ICHIMARU SPORTS VILLA
〒425-0052　焼津市田尻1122
お問い合せ　054（625）0011（代）
ご 予 約　0120−210812
ICHIMARU SPORTS VILLA

めざせ ワールドカップ
清水屋スポーツ
藤枝市本町3丁目6−8
☎(054)641−1358
フットボールギア
藤枝市前島1丁目6−3
☎(054)636−6108

ビジネスホテル
シルビア
〒426-0022 静岡県藤枝市稲川1丁目11−48
TEL 054−643−0500(代)

中西部

ヤングサッカーニュース

2004 4

発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部理事長　鎌田昌治　企画構成編集責任者／滝本義三郎

第16回　ジュビロ磐田Jrユース地区代表選手大会

2年生の部　中西部トレセン　優勝



平成15年度の中学1・2年生を対象とした各地区トレセンなどが参加する「ジュビロ磐田Jrユース地区代表選手大会がつま恋などを会場に、3月21日からの3日間で行われた。学年別に争われ、2年生の部で中西部トレセンが5年ぶりの優勝を果たした。

中部トレセンとの準決勝を、前半に挙げた宮木のゴールで勝利した中西部トレセンは、決勝でジュビロ浜北と対戦。攻撃陣は「フレッシャーを早くかけて、前で取って早く攻める」3トップがポジションを広く取りサイドを使う」（田中）ことを、守備陣は「アプローチを早くし、コミュニケーションをしっかり取ってマークの受け渡しをする」（森田）ことを意識し、それが機能した。そして、後半16分に大場のゴールで先制すると、18分には山本のCKに後藤が頭で合わせて2点目を奪い、勝利を手にした。

この大会で、次の試合に向けた生活面と、相手に気持ちで勝つことの大切さがわかった」と小川。ここで学んだことを、各自のチームで仲間にも伝えていってほしい

中西部トレセン代表
遠又　光好

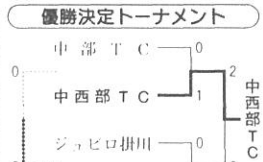
5年ぶりの優勝。今大会は相手の良さをどれだけ消せるのか、そして自分たちの良さをだしていくことをテーマにチーム作りが始まった。中学3年生や、高校生とのゲームを通して特にディフェンス面の確認ができ、大会に臨むことができた。初戦はうまく戦えず、2試合目からは、気持ちを切りかえて戦うことができた。2日目を終わって、富士TCと勝ち点が並び、得失点差でかろうじて決勝トーナメントに出場できることが決まった。決勝トーナメントでは、高いモチベーションの中で集中した戦いができ、選手が自分の良さを最大限発揮し、しかも結果をだすことができた。決勝戦でも、ボール支配率も高く気持ちよく試合ができた

今回は選手が大会を通して成長したことがすごくうれしいです。選手は、自分のコンディショニングにも気を配り、100以上で戦える体をつくることにも努めました。コンディショニング能力（休養・食事・睡眠・ゲーム分析）も、この年代では非常に大切なことであると改めて感じました。今後のトレーニングでは、「オフザボールの動き」や「周囲・相手の状況をしっかりと視て、プレーできること」が大きな課題であると感じました。今回御協力頂いた各チーム関係者や応援してくださった保護者の皆様やスタッフに感謝申し上げます

2年生の部　予選リーグ

	Bブロック	富士TC	中西部TC	西部選抜	島田TC	ジュビロ掛川	勝点	得失点差	順位
	富士TC		●0－2	○1－0	○3－0	△1－1	7	2	3
	中西部TC	○2－0		○2－0	△0－0	●0－1	7	3	2
	西部選抜	●0－1	●0－2		○7－0	●0－1	3	3	4
	島田TC	●0－3	△0－0	●0－7		●1－4	1	−13	5
	ジュビロ掛川	△1－1	○1－0	○1－0	○4－1		10	5	1

優勝決定トーナメント



下位リーグ

ジュビロ磐田　2－1　県選抜U−13
ジュビロ磐田　2－1　島田TC
島田TC　3－0　県選抜U−13

1年生の部　順位決定リーグ

（4位リーグ）
静岡TC　3－0　榛原TC

（5位リーグ）
藤枝TC　1－1　静岡TC
藤枝TC　3－1　榛原TC
沼津TC　3－0　島田TC

中西部トレセン

番号	位置	氏名	所属チーム
1	GK	杉本　拓也	藤枝明誠SC
2	DF	森田　憲	藤枝明誠SC
3	DF	小川　雄大	附属島田中
4	DF	岩倉　匡吾	藤枝明誠SC
5	DF	山本　純一	藤枝明誠SC
6	MF	桑畠　周芳	藤枝明誠SC
7	MF	松下　慎吾	藤枝明誠SC
8	MF	長谷川隼音	藤枝明誠SC
9	MF	後藤　純一	藤枝明誠SC
10	FW	田中　将紀	エスパルス藤枝
12	MF	曽根　康成	エスパルス藤枝
13	MF	吉野　拓真	ACMブルックスFC
14	MF	笈木伸太郎	ACMブルックスFC
16	FW	大場　晴史	ACMブルックスFC
17	MF	朝比奈　誠	大洲中
18	MF	市川　俊	ACMブルックスFC

第19回　静岡県ヤングサッカーフェスティバル
藤枝総合運動公園で開催

静岡県ヤングサッカーフェスティバルは今回、中西部支部が主管となり会場運営を行い、3月14日に藤枝総合運動公園で開催された。好天にも恵まれ、5000人を超す観客が集まり声援を送った。

メイン会場のサッカー場では、U−12の部で中西部小学選抜と、静岡県小学選抜、U−15の部で中西部中学選抜と静岡県中学選抜と対戦し、U−18の部の第1試合では藤枝東高校がジュビロ磐田ユースと、そして第2試合では今年の埼玉国体を目指す静岡県高校選抜が、先に行われた全国高校選手権大会の優秀選手体の日本高校選抜と対戦した

西部トレセンとして週1回の活動をしている中の選抜チームです。今年度のトレーニングの主体は、対人の強化と個人戦術の習得に努めましたが、チームとしての活動は限られ、年に1回U−12の静岡世界大会に参加をするのが唯一の大会となり、今年度は県内の地域トレセンの中では最高の5位と健闘し、海外のチームにも対等に戦えるまで成長していると自負しています。

さすがにチーム練習の無い即席チームでは、連係プレーに問題は多々ありましたが、随所に1年間の練習成果が出ていたと思えます。数年後この中西部出身の選手達が大きく育ってくれる事を期待しています。また今大会は対戦相手の県選抜にも中西部の選手が5人参加し中心選手として活躍していたことも大変うれしく思います

U−12の部

静岡県小学選抜　2－0　中西部小学選抜

中西部小学選抜
監督　岸　登志満

中西部選抜とは、焼津・藤枝・島田・榛原の各地区トレセンに所属する選手を対象に選考会を行ない、将来日本サッカー界で活躍できる選手、またチームのリーダーとなりうる技術と人格をもつ選手を選抜し、中



中西部小学選抜

U−15の部

中西部中学選抜　0－0　静岡県中学選抜

中西部中学選抜
監督　遠又　光好

8回の強化練習を行い、対県選抜に向けてチームづくりが始動した。個々の能力は相手の方が上なので、いかに相手の良さを消して、どうヘースをつかむかをテーマとして取り組んだ前半からプレスをかけて、ヒッチーとこでもフレッシャーをかけて、積極的にボールを奪い、できるだけ早く前線につないでチャンスをつくることを大きな目標とした

試合はどちらも中盤が省略されたゲーム展開となり、徐々に相手のスピードに慣れてきて、走り負くボールを拾えるようになってきた。そして後半は決定的な場面も2・3度あり、チャンスを多く作ることができた。結果は0対0であったが、選手一人一人がチームのコンセプトを理解しトレーニングでやった成果も発揮できた。3年生は、このフェスティバルで県のトップとこれだけ戦えたという大きな自信と勇気を高校サッカーにつなげてほしいと思った



中西部中学選抜

U−18の部

藤枝東高校　1－0　ジュビロ磐田Y

前半は藤枝東のヘースで進んだが、後半は互いに譲らず時間は過ぎた。しかし、後半32分にCKのチャンスをつかんだ藤枝東は、間谷の体を反転させたシュートが決まり勝利した

静岡県高校選抜　1－1　日本高校選抜

開始早々、小関（藤枝東）からのロングフィードに飛び出した岡本（ジュビロY）が決めて静岡県選抜が先制した。しかし、逃げ切れるかと思われた後半37分に追いつかれ引き分けた



静岡県高校選抜VS日本高校選抜



藤枝東高校 VS ジュビロ磐田ユース

エキジビションゲーム
女子の部を開催
キッズの部

陸上競技場ではエキジビションゲームとして、女子の部の試合が行われた。まずはU−12の部で中西部選抜と藤枝FCバンビースが、続いてU−15の部で中西部選抜と静岡県U−14選抜が対戦した。最後にキッズの部として、6歳以下の子供達の6チームが参加して、フィールドを3つに分け、対戦チームを変えて2試合ずつを行って楽しんだ

女子U−12の部

藤枝FCバンビース　3－0　中西部選抜



中西部選抜 VS 藤枝FCバンビース

女子U−15の部

中西部U−15選抜　2－1　静岡県U−14選抜

キッズの部　参加チーム

焼津中央ドラゴンズ（焼津）
初倉ベッカム（島田）
島ラティアス（島田）
レオキッズ（藤枝）
タカナンキッズ（藤枝）

ゴール裏から——

中西部技術委員長
田村　和彦

平成16年度はじめの文ということで、技術委員会からの基本方針について、アウトラインを紹介したいと思う。具体的内容については、追ってこの新聞を通して報告をしたいと考えている

基本的には、大きく分けて2つ。一つは選手の強化及び育成であり、もう一つは指導者の養成と資質向上である

選手育成においては、今年度からの試みとして、部活動所属（学校体育）のフレーヤーの、特に中3の9月以降に焦点をあてて、活動の場と体系だてた指導をしていきたいと考えている

これは、ユース（高校）年代に入ってからスムーズに移行していくための策でもある

指導者養成においては、公認コーチ資格取得はもちろんのこと、最新情報を具有することによって、各々の資質の向上に努めることを主眼に、テーマ設定の研修会を定期的に実施していきたいと考えている

いずれも今後、検討すべき点はあるが、必ず実施するという強い意志のもと、現在進行中である。様々な御意見をいただきたい

第1回 中西部ジュニアユースリーグ（松永杯争奪中西部中学生サッカー大会）
兼・第25回ふれあいカップ静岡県中学生サッカー選手権大会中西部地区予選
上位リーグ 組み合わせ

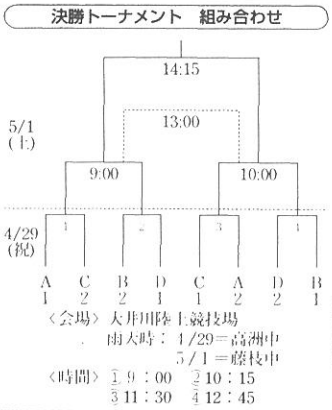
	Aリーグ		Bリーグ	
時間	4/10㈯	大井川陸上競技場	4/10㈯	港中学校
9:00	E W	S－豊田中	藤枝明誠SC－港	中
10:00	六合中	－焼津中	榛原中－藤枝	中
13:00	E W	S－焼津中	藤枝明誠SC－藤枝	中
14:00	六合中	－豊田中	榛原中－港	中
時間	4/17㈯	大井川陸上競技場	4/18㈰	藤枝中学校
9:00	E W	S－六合中	藤枝明誠SC－榛原	中
10:00	焼津中	－豊田中	藤枝中－港	

	Cリーグ		Dリーグ	
時間	4/18㈰	金谷中学校	4/10㈯	葉梨中学校
9:00	A C	M－御前崎中	藤枝東FC－葉梨	中
10:00	金谷中	－エスパルス藤枝	青島北中－ASAS	
13:00	A C	M－エスパルス藤枝	藤枝東FC－ASAS	
14:00	金谷中	－御前崎中	青島北中－葉梨	中
時間	4/24㈯	金谷中学校	4/17㈯	青島北中学校
9:00	A C	M－金谷中	※藤枝東FC－青島北	中
10:00	エスパルス藤枝	－御前崎中	4/18㈰	葉梨中学校
	※の時間は10:00		※ASAS－葉梨	中

中西部ジュニアユースリーグは予選リーグが終了し、4月10日から2次リーグがスタートした。4組に分かれて争われた予選リーグから、各組の上位1チームと、上位3チームに与えられるふれあいカップ県大会出場権獲得を目指す。

上位リーグは16チームが4組に分かれて争い、各組上位2チームの8チームが決勝トーナメント（4月29日、5月1日）に進むそして、上位3チームに与えられるふれあいカップ県大会（5月22日、30日）の出場

決勝トーナメント　組み合わせ



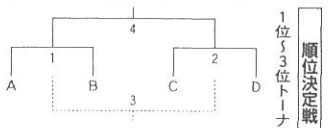
〈会場〉大井川陸上競技場
雨天時：4/29＝高洲中
5/1＝藤枝中
〈時間〉①9：00　②10：15
③11：30　④12：45

第3回 志太カップ争奪 ジュニアユースサッカー大会 開催

志太カップ争奪ジュニアユースサッカー大会が5月2日からの3日間で開催される。県内外から5チームを招き、中西部の7チームを合わせた12チームが参加する。2日は終日フレンドリーマッチに当てられ、3日に4グループに分かれての予選リーグ、4日に順位トーナメントが行われる

中西部内の中学校を会場とし、1位トーナメントは大井川陸上競技場で行われる

参加チーム・ブロック分け	ア	イ	ウ
Aグループ	青島中	港中	那珂湊中（茨城県）
Bグループ	金谷中	藤枝明誠SC	富竹中（山梨県）
Cグループ	藤枝中	初倉中	羽島中（岐阜県）
Dグループ	葉梨中	視山中（静岡市）	三島TC（三島市）



〈会場〉
1位T＝大井川陸上競技場
2位T
3位T　青島中・藤枝中のどちらか
〈時間〉①9：00　②10：15
③14：00　④15：15

順位決定戦　5月4日㈷
1位～3位トーナメント共通

予選リーグ　5月3日㈷
A～Dブロック共通

時間	対戦
9:00	アーイ
12:00	イーウ
15:00	アーウ

〈会場〉A＝青島中
B＝金谷中
C＝藤枝中
D＝葉梨中



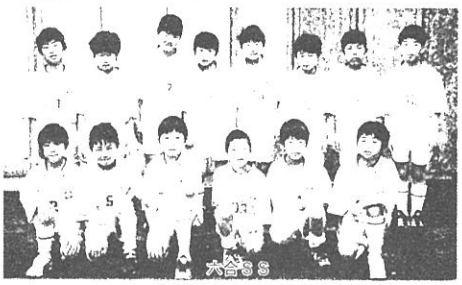
サークルKカップ　第19回 静岡県キッズU－10・8人制サッカー大会
5月8日㈯、9日㈰、16日㈰
〈西部地区〉

青島北SS　阿井　雄平

ぼくたちは、サークルK藤枝地区予選で1位になりました。でもぼくはあまり試合に出ませんでした。下Wの時は、トラップやパスがあまり上手ではなく、時々いいパスを見逃したり、オフサイドをしてしまったこともありました。その時はやばいと思いました。青島小との試合では、0－0で引き分けでしたけれども、その後の試合でなんとか勝って県大会に出場できました。とてもうれしかったです。県大会でも優勝したいです。

大富SS　池上　大喜

ぼくたち大富サッカースポーツ少年団は、県大会出場をめざしてがんばってきました。志太地区予選では、とても苦しい試合ばかりで、1位になった時はとてもうれしかったです。ぼくたちをはげましたり、指どうしてくれたコーチや、たくさんのおうえんをしてくれたお父さん、お母さん、ありがとうございました。県大会でもみんなで力を合わせ、一試合、一試合、生けん命プレーして、中西部地区の代表としてがんばってきます。



六合SS　園田　聖

ぼくたち3年生チームは、たくさん試合を勝ちぬいてきました。サークルKカップは、強いチームがいっぱい集まって、静岡県で一番を決める大会で、ぼくたちもその一つのチームなのでがんばりたいと思います。試合では、せいいっぱいがんばってゆう勝をねらいたいと思います。



五和SS　鈴木　崇正

ぼくたち五和サッカースポーツ少年団はサークルKカップの県大会に初めて出場する事ができました。ぼく達のチームの練習は土、日の午前中だけど、みんなで相談して放課後自主トレをしました。『声を出そう　最後まであきらめない』と、約束しました。試合の時は必死でボールをおいかけて、みんなの気持ちがつになりました。あぶない時もあったけど、熱心に指導してくれたかんとく、コーチ、応えんしてくれた他の選手、父兄のおかげで勝つ事ができました。県大会では、また気持ちを一つにして、中西部地区の代表としてはずかしくないようにがんばります。



初倉FC　宿島　幹人

ぼくたち初倉FCは、地区予選では決勝で負けてしまいました。その時はとてもくやしかったです。でも、くじけずにみんなでいっぱい練習しました。そして、フレーオフで県大会への出場を決めました。フレーオフではさいしょから勝ちたかったけど、しあい日は同点で終わり、まけすすきんちょうしてしまいました。でも、後のしあいは勝ち、とても気持ちよかったです。これで初倉FCは3年連続県大会出場をはたしました。チームみんなで大よろこびしました。県大会では自信を持って、大きな声を出して走りまわりたいです。そして、しあいでも多く勝てるようにど力したいです。全員でひとつになってがんばります。

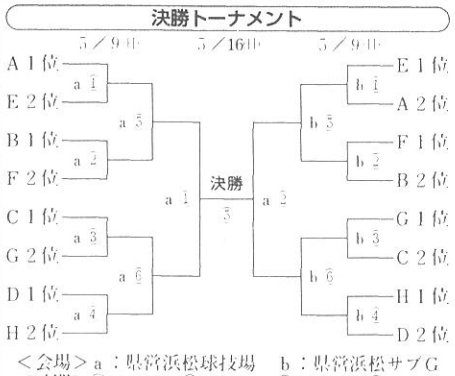
サークルKカップ　静岡県キッズU－10・8人制サッカー大会　組み合わせ

	1	2	3	4
A	入江（中東1）	下田（東部）	リベロ（西部）	初倉（中西部）
B	バディFC（西部）	カワハラ（中部）	広沢（西部）	愛鷹（東部）
C	三島北（東部）	竜洋（西部）	五和（中西部）	城北（中部）
D	浜松能禅寺（西部1）	六合（中西部）	大富士（東部）	有度（中東部）
E	ヒュアSC（中部1）	門池（東部）	蒲原（中東部）	聖隷（西部）
F	富士第一（東部1）	北浜（西部）	大富（中西部）	テンマ（西部）
G	浜岡黒潮（西部）	SALFUS oRs（中東部）	芳川（西部）	長伏（東部）
H	青島北（中西1）	静岡中田（中部）	長穂小（東部）	HondaFC（西部）

予選リーグ　5／8㈯

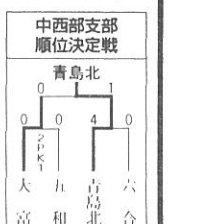
時間	小笠山総合運動公園内8会場／補助競技場・多目的広場・芝生広場のいずれか（未定）								
10:30	A1－A2	A3－A4	C1－C2	C3－C4	E1－E2	E3－E4	G1－G2	G3－G4	
11:10	B1－B2	B3－B4	D1－D2	D3－D4	F1－F2	F3－F4	H1－H2	H3－H4	
12:40	A1－A3	A2－A4	C1－C3	C2－C4	E1－E3	E2－E4	G1－G3	G2－G4	
13:20	B1－B3	B2－B4	D1－D3	D2－D4	F1－F3	F2－F4	H1－H3	H2－H4	
14:00	A1－A4	A2－A3	C1－C4	C2－C3	E1－E4	E2－E3	G1－G4	G2－G3	
14:40	B1－B4	B2－B3	D1－D4	D2－D3	F1－F4	F2－F3	H1－H4	H2－H3	

決勝トーナメント



〈会場〉a：県営浜松球技場　b：県営浜松サブG
〈時間〉①10：00　②10：50　③11：40　④12：20
⑤14：00　⑥14：50

中西部支部 順位決定戦



中西部支部プレーオフ

	初倉	大井川南	青島東	金谷	勝点	順位
初倉		○1－0	△1－1	○2－1	7	1
大井川南	●0－1		○1－0	○2－1	6	2
青島東	△1－1	●0－1		○1－1	4	3
金谷	●1－2	●1－2	●1－1		0	4

JFAプリンスリーグU―18東海2004開催

藤枝東　全日本ユース選手権出場を目指す



昨年度から始まったJ下（U―18）選手権大会の出場Aプリンスリーグ戦は今年度の東海のリーグ戦は4月17日に開幕する。昨年の上位8チームに、各県の代表で争った参入戦を勝ち上がった2チームを合わせた10チームが参加し、7月17日まで行われる。そして、この上位には全日本ユース出場を目指す

参加チーム（10チーム）

＜静岡県＞
藤枝東高校
静岡学園高校
浜名高校
清水エスパルスユース
ジュビロ磐田ユース

＜愛知県＞
名古屋グランパスエイトユース
東邦高校

＜三重県＞
四日市中央工業高校
暁高校

＜岐阜県＞
岐阜工業高校

中西部勢は昨年に続き藤枝東高校が参戦し、全日本ユース出場を目指す

第1回 大学女子サッカー6地域対抗戦

静岡産業大学6選手が東海選抜で参加

大学女子サッカーのレベルアップと普及振興を目的に、全国を6地域に分けて選抜チームで争う6地域対抗戦が初めて開催された。3月10日から12日まで鳴之島（鹿児島県）の全6地域の選手が集い、初日にはサッカークリニックが開かれた。そして、2日から2組に分かれてのリーグ戦と、同順位同士による順位決定戦が行われた。東海選抜は残念ながら勝ち星を挙げることはできなかった

●――試合結果――●

〈予選リーグ〉
北関東 1―0 東海
西日本 3―0 東海

〈5・6位決定戦〉
北日本 2―0 東海

東海選抜参加選手

位置	氏名	学年
GK	丸橋　美紀	2
DF	大池　彩美	1
MF	堀江　愛紀	3
MF	秋山　晴美	3
MF	小林　文架	1
FW	法月　愛	1

第10回 スルガカップ静岡県ユースリーグ開幕

10年目を迎えるスルガカップ静岡県ユースリーグが3月14日に開幕した。この日、草薙球技場でA・B・C各リーグの加盟チームが出揃い開幕式が行われた。そして、オープニングゲームが行われ、Aリーグの藤枝明誠が常葉橋と対戦。前半カウンターから2点先取するが、藤枝明誠は23分に寺坂のミドルシュートが決まると、35分には松崎の左CKを寺坂が今度は頭で合わせて同点とした。後半は共に決定機を生かせず、そのまま引き分けた。

試合は、Aリーグがこのあと一旦中断し、7・8月に行われるB・Cリーグは高校総体の期間を除いて秋まで行われる予定

来季のチーム入れ替えは、Aリーグ下位2チームとBリーグ上位2チーム、Bリーグ下位2チームとCリーグ1位2チーム、そして、Cリーグ下位3チームと各地域リーグから権利を得た3チームが、それぞれ自動入れ替えとなる。各地域リーグは東部2・中部1・西部2のリーグで構成され、各代表5チームによるリーグ戦で昇格の3チームを決定する。なお、プリンスリーグとの関係により降格チーム数には変動もある

中西部勢5チームが参加

県ユースリーグに中西部勢では5校が参加しているAリーグには開幕戦を戦った藤枝明誠とBリーグから昇格した吉田が所属し、上位2チームに与えられるプリンスリーグ参入戦の出場権獲得を目指す。Bリーグには焼津中央と藤枝北、そしてCリーグから昇格した藤枝西が所属する

Aリーグ（10チーム）	Bリーグ（12チーム）
藤枝明誠	焼津中央
清水商	東海大翔洋
清水東	静岡学園
静岡工	聖隷クリストファー
浜松西	浜松北
浜松工	藤枝北
藤枝東	富士宮北
常葉橋	吉田
静岡商	暁
吉原	藤枝西
磐田東	沼津セントラル
静岡中央	焼津水産
富士東	島田工
東海大翔洋	常葉菊川
聖隷クリストファー	浜松湖東
静岡北	浜松東
静岡南	藤枝東
清水国際	富士宮東
清水桜が丘	常葉橋
清水南	磐田東
静岡東	静岡中央
静岡市立	清水商
静岡市商	清水東
静岡学園	静岡北
島田商	静岡南
聖光学院	静岡市立
清水桜が丘	静岡市商
静岡清水	静岡国際
静岡商業	静岡工
島田学園	島田商
焼津水産	聖光学院



藤枝明誠高校

第19回 しずぎんカップ静岡県ユースU―11サッカー大会

試合結果
3月13日(土)
20日(土)
21日(日)



焼津中央高校



吉田高校



藤枝西高校



藤枝北高校

平成16年度 静岡県高校総合体育大会（男子サッカー）中部地区大会 始まる

静岡県高校総体の中部地区大会が4月11日にスタートした。今年度は、同時期に試合のあるフリンスリーグ東海に出場する3校と新人戦県大会の上位校を合わせた8校に、シードとして県大会の出場権がもらえる中部地区では藤枝東を除く5校が地区大会を免除される。残る31校が県大会出場を目指し、1次リーグと2次トーナメントを戦う。8組に分かれて争われる1次リーグから各組上位2校の計16校が2次トーナメントに進み、県大会（5月15日～）へは8校が出場する。中西部勢はシードの藤枝東を除く16校が参加し、県大会出場を目指す

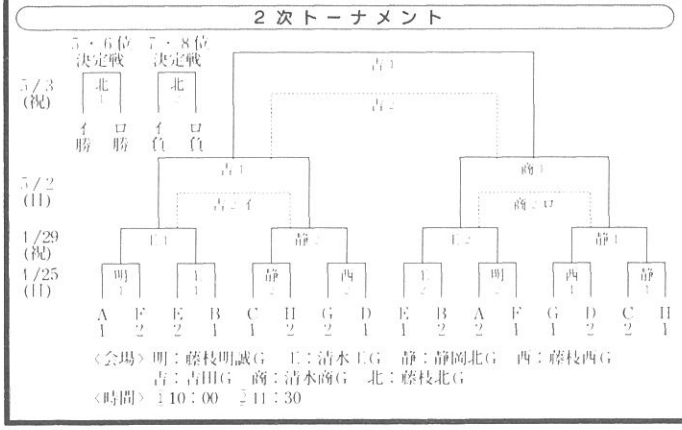
1次リーグ
〈時間〉
①10：00
②11：30
③13：00

◆4月11日(日)◆

A	藤枝明誠	島田工	金谷	焼津水産		
B	清水工	常葉橋	静岡学園	島田商	聖光学院	
C	東海大翔洋	静岡東	焼津中央	庵原		
D	吉田	焼津中央	藤枝北	川根		
E	清水商	藤枝北	大井川	清水南		
F	静岡市立	大井川	榛原	相良		
G	藤枝西	榛原	相良	静岡南		
H	静岡北	静岡工	静岡南	静岡商		

(1)G 藤枝西―静岡商 〈会場〉藤枝西
(2)G 榛原―相良 〈会場〉榛原
(1)B 常葉橋―島田学園 〈会場〉常葉橋
(2)A 島田工―金谷 〈会場〉島田工
(1)H 静岡北―静清工 〈会場〉静岡北
(2)H 静岡工―静岡南 〈会場〉静岡工
(1)A 藤枝明誠―焼津水産 〈会場〉藤枝明誠

2次トーナメント



◆4月17日(土)◆

(1)C 東海大翔洋―島田商 〈会場〉東海大翔洋
(2)G 藤枝西―相良 〈会場〉東海大翔洋
(1)B 常葉橋―島田学園 〈会場〉常葉橋
(2)B 清水工―島田学園 〈会場〉常葉橋
(1)G 榛原―静岡商 〈会場〉榛原
(2)A 藤枝明誠―金谷 〈会場〉榛原
(1)A 島田工―焼津水産 〈会場〉島田工
(2)H 静岡工―静清工 〈会場〉静岡工
(1)H 静岡北―静清工 〈会場〉静岡北
(2)H 静岡工―静岡南 〈会場〉静岡工
(1)F 大井川―清水南 〈会場〉藤枝北
(2)C 静岡東―島田商 〈会場〉静岡東
(2)B 清水工―島田 〈会場〉清水南
(1)F 大井川―清水南 〈会場〉藤枝北
(2)C 静岡東―聖光学院 〈会場〉静岡東
(2)F 静岡市立―静岡市商 〈会場〉静岡市商
(1)C 東海大翔洋―聖光学院 〈会場〉清水南
(1)H 静岡北―静清工 〈会場〉静岡北
(2)H 静岡南―静清工 〈会場〉静岡南
(1)A 藤枝明誠―島田工 〈会場〉藤枝明誠
(2)A 金谷―焼津水産 〈会場〉金谷
(1)D 清水国際―清水商 〈会場〉清水国際
(2)D 焼津中央―庵原 〈会場〉焼津中央
(3)F 藤枝北―川根 〈会場〉藤枝北

◆4月18日(日)◆

(1)F 藤枝北―清水国際 〈会場〉藤枝北
(2)D 吉田―庵原 〈会場〉吉田
(3)F 清水商―川根 〈会場〉清水商
(2)F 静岡市立―清水南 〈会場〉静岡市立
(1)C 静岡東―聖光学院 〈会場〉静岡東
(2)F 大井川―静岡市商 〈会場〉藤枝北
(1)B 清水工―常葉橋 〈会場〉常葉橋
(2)A 金谷―焼津水産 〈会場〉金谷
(1)H 静岡北―静清工 〈会場〉静岡北
(2)H 静岡南―静清工 〈会場〉静岡南
(1)A 藤枝明誠―島田工 〈会場〉藤枝明誠
(2)H 静岡工―静岡商 〈会場〉静岡工
(1)G 藤枝西―榛原 〈会場〉藤枝西
(2)G 相良―静岡商 〈会場〉静岡商
(2)B 島田―島田学園 〈会場〉島田
(1)D 吉田―焼津中央 〈会場〉吉田
(2)C 島田商―聖光学院 〈会場〉吉田
(3)F 清水商―藤枝北 〈会場〉藤枝北
(1)F 静岡市立―大井川 〈会場〉静岡市立
(1)C 東海大翔洋―静岡東 〈会場〉静岡東
(2)F 清水南―静岡市商 〈会場〉静岡市商
(3)F 川根―清水国際 〈会場〉清水国際

鈴村路子の もっと知りたいサッカー No.79

私も以前行きました。

今年の県選抜のヨーロッパ遠征は、イタリアはローマを中心に、ASローマやラツィオのユースチームとの練習試合が行なわれたようだが、これらセリエAのクラブに加えて、ロディジャーニというチームとも対戦があったと聞いた。思い起こせば、私もこのロディジャーニというクラブチーム（ロディジャーニカルチョ）が持つ練習施設を訪れたことがあった。平成7年の12月のことで、あるツアーに便乗し、自由行動日に数人の同行者と訪問した。

約束の時間が午後であったため、午前中はラツィオの練習場を訪ねた。車でローマ郊外に出ると、野球場が見えた。カルチョの国にも野球はあるのである。迷いながらもラツィオの練習場に着くと、残念、選手は練習していないが、チップのおかげか、ガードマンは練習場内に入れてくれた。

帰路には、ラツィオとASローマのホーム、オリンピコスタジアムに立ち寄った。

さて後は、ローマ中心部から東へ車で1時間ほどのロディジャーニカルチョの練習施設に向かった。ここはサッカーの施設（上の写真：3面、芝生3面、グラウンド1面）だけでなく、ホテル、レストラン、ジム、プールなどを併せ持つ、文字通りの総合スポーツクラブである。イタリアではセリエAからCまでがプロチームで、ロディジャーニはCのカテゴリーに属し、ジュニアの年代から選手を育成し、プロとなってからは、高額で他チームに提供することもある、というような話も聞いた。ユース年代の選手が練習する傍ら、車で送迎する親たちがじっと待っている。どこの国でも親は大変である。

静岡県女子サッカーリーグ　入れ替え戦

藤枝姉妹ＦＣ　県リーグ昇格



静岡県女子リーグの入れ替え戦が、3月14日に藤枝総合運動公園陸上競技場で行われた。中部を除く4支部の優勝チームが争ったチャレンジ戦で2位となり、入れ替え戦に臨んだ藤枝姉妹FCは、県リーグ9位のジュビロ磐田レディースと対戦。共に無得点のまま引き分けに終わるかと思われた後半ロスタイムに、FKを福永が直接決めて1点をもぎ取り、劇的な勝利で県リーグ昇格を決めた。

試合結果
藤枝姉妹 1－0 ジュビロ磐田

静岡県社会人フットサルリーグ参入戦

順位	チーム名	FC SPORT	CF FUTT	DOPPO SFT	勝点	得点	失点	得失差
1	ＦＣ　ＳＰＯＲＴ（東　部）		○2－1	○1－0	6	3	1	2
2	ＣＦ　ＦＵＴＴ（中西部）	●1－2		△2－2	1	3	4	－1
3	ＤＯＰＰＯ　ＳＦＴ（西　部）	●0－1	△2－2		1	2	3	－1

CF FUTT 県リーグ昇格ならず

中部を除く4支部の各代表（東1・中東1・中西1・西2）に県リーグ最下位チームを加えた6チームで争われた、静岡県社会人フットサルリーグ参入戦が3月20日に浜松アリーナで行われた。2組に分かれてリーグ戦を行い、各組の1位が県リーグに昇格する。中西部リーグ優勝のCF・FUTTは、グループ2位となり、県リーグ昇格はならなかった。

第39回　東海社会人リーグ　開幕

1部（8チーム）
静　岡　Ｆ　Ｃ
藤枝市役所
中　央　防　犯
コニカミノルタＳＣ豊川
中京大学ＦＣ
矢崎バレンテＦＣ
芙蓉クラブ
ホンダ鈴鹿ＦＣ

東海社会人リーグは1部が5月9日に、2部が5月2日に開幕する。それぞれ8チームの2回戦総当たり戦で争われる。中西部勢では1部に藤枝市役所、中央防犯、矢崎バレンテFCの3チームが加盟している。また、中西部の学校で指導する先生等が所属する芙蓉クラブが、2部から昇格し今季は1部でプレーする。

第38回 静岡県社会人リーグ 開幕

静岡県社会人リーグは4月11日に開幕した。今季も12チームずつの3部制で行われ、中西部勢では1部に藤枝ネルソンCに焼津信用金庫とコスモスSC、そして3部に岡部FCと5支部リーグを勝ち抜いて県リーグに昇格した焼津豊田FCの6チームが所属する。

3部（12チーム）	2部（12チーム）	1部（12チーム）
大　里　Ｆ　Ｃ	富士通沼津	佐川急便中京ＦＣ
東　雲　Ｓ　Ｃ	沼津香陵クラブ	静　岡　ス　バ　ル
蒲　原　ク　ラ　ブ	トヨタＬ＆Ｆ静岡	藤枝ネルソンＣＦ
Ｊ　Ｆ　Ｃ	東芝機械	静岡市役所
清　水　Ｆ　Ｃ	バンヤンＳＣ	Ｆ　Ｃ　遠　州
ユナイテッドＦＣ	中部電力ＦＣ	大井川町役場
岡　部　Ｆ　Ｃ	大　谷　Ｆ　Ｃ	芳　川　Ｆ　Ｃ
ＳＪファナン	焼津信用金庫	静　岡　ガ　ス
富　塚　Ｆ　Ｃ	巴川製紙所	ホンダ浜松
清　工　ク　ラ　ブ	コスモスＳＣ	テ　ッ　ヘ　イ
焼津豊田ＦＣ	小　糸　Ｆ　Ｃ	静　大　ク　ラ　ブ
富士根クラブ	ジュビロSSOB	ELFSCHRITT1998

東海社会人リーグ１部　５月の日程（中西部勢の試合のみ）

5/9(日)	中　央　防　犯－矢崎バレンテＦＣ	藤枝市民グランド	12:00
	藤　枝　市　役　所－芙　蓉　ク　ラ　ブ	藤枝市民グランド	14:00
5/15(土)	中京大学ＦＣ－中　央　防　犯	中京大グランド	14:00
5/16(日)	矢崎バレンテＦＣ－藤　枝　市　役　所	藤枝市民グランド	14:00
5/22(土)	静　岡　Ｆ　Ｃ－矢崎バレンテＦＣ	草薙陸上競技場	14:00
5/23(日)	藤　枝　市　役　所－中京大学ＦＣ	藤枝市民グランド	12:00
	中　央　防　犯－ホンダ鈴鹿ＦＣ	藤枝市民グランド	14:00
5/30(日)	芙　蓉　ク　ラ　ブ－中　央　防　犯	藤枝総合サッカー場	12:00
	矢崎バレンテＦＣ－コニカミノルタSC豊川	藤枝総合サッカー場	14:00
	ホンダ鈴鹿ＦＣ－藤　枝　市　役　所	ホンダアクティブランド	13:00

JFAプリンスリーグU－18東海2004　4・5月の日程（中西部勢の試合のみ）

4/17(土)	藤　枝　東　高　校－岐　阜　工　業　高　校	草　薙　球　技　場	14:15
4/24(土)	藤　枝　東　高　校－浜　名　高　校	草　薙　球　技　場	14:15
4/29(祝)	藤　枝　東　高　校－清水エスパルスＹ	草　薙　球　技　場	14:15
5/8(土)	藤　枝　東　高　校－四日市中央工業高校	鈴鹿スポーツガーデン	14:15

4・5月　その他の予定

- 第9回スルガカップ争奪静岡県サッカー選手権大会(天皇杯静岡県予選)
  予選トーナメント　5月23日(日)～
- 第12回日本クラブユース選手権(U－15)静岡県大会
  1次リーグ　4月3日(土)～29日(祝)
  2次リーグ　5月1日(土)～16日(日)
- 平成16年度静岡県高校総合体育大会　女子サッカー競技
- 第15回カトレア杯女子サッカー大会
  5月1日(土)、2日(日)　＜清水総合運動場＞
- 静岡県女子リーグ

㈶静岡県サッカー協会中西部支部定期総会

5月15日(土)　18：00～　＜藤枝エミナース＞

- 中西部理事会　5月6日(木)
- 中西部審判委員会　5月9日(日)
- 中西部３級レフリースクール
  4月18日(日)　＜藤枝総合運動公園サッカー場＞

㈶静岡県サッカー協会中西部支部　事務局
〒421-0206　大井川町上新田292-1　大井川高校内・鎌田昌治理事長
TEL054-622-3411　FAX054-622-3472
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

平成16年度　中西部地区４級審判資格取得講習会　開催

地　区	開催日	会　場	開始時間（受付）	問い合わせ先 TEL
藤枝地区	5月16日(日)	藤の瀬会館	9:00 (8:30)	高松　孝司 054-643-2602
焼津・志太地区	4月25日(日)	大井川町商工業研修センター	9:00 (8:30)	見崎　裕司 054-628-5506
	5月22日(日)	未　定		
島田地区	5月16日(日)	プラザおおるり	9:00 (8:50)	松浦　欣也 0547-38-0548
榛原地区	5月30日(日)	榛原町文化センター	9:00 (8:30)	島野　吉和 0548-32-2540

※詳細は担当者に御確認下さい。

JR西焼津駅北口駐車場
（有）入山一
TEL & FAX 054-628-7383

レッカー作業24時間対応
M・K/Cars co. RS24
TEL 054-625-1722
焼津市三ヶ名新田379-1
㈲エム・ケイ自動車

ご婚礼の老舗　会席披露宴
小杉苑
藤枝市青木2丁目2-48
TEL 054-641-3321

警備保障 株式会社 中央防犯

拡げます。デジタルネットワーク
共立印刷株式会社

YAIZU FUTSAL倶楽部
ICHIMARU SPORTS VILLA
〒425-0052　焼津市田尻1122
お問い合せ　054（625）0011（代）
ご　予　約　0120－210812
ICHIMARU SPORTS VILLA

めざせ ワールドカップ
清水屋スポーツ
藤枝市本町3丁目6－8
☎(054)641－1358
フットボールギア
藤枝市前島1丁目6－3
☎(054)636－6108

ビジネスホテル シルビア
〒426-0022 静岡県藤枝市稲川1丁目11－48
TEL 054－643－0500(代)

中西部
ヤングサッカーニュース
2004 5
発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部理事長　鎌田昌治　企画構成編集責任者／滝本義三郎

第28回 全日本少年サッカー大会 静岡県大会

6月6日(日)、12日(土)、13日(日)〈西部地区〉

4チームが県大会出場　全国大会出場を目指す

全日本少年サッカー大会静岡県大会は、各地区予選を勝ち抜いた16チームが参加して6月6日に開幕する4ブロックに分かれて予選リーグを行い、各ブロックの上位2チーム計8チームが決勝トーナメントに進み、全国大会出場をかけて争う中西部からは4チームが出場し、1枚の全国切符獲得を目指す


藤枝F.C


焼津J.F.C

藤枝FC　遠藤　翼

僕達藤枝FCは、去年のフーマ杯でくやしい思いをしました。だから、この1年杯で優勝出来て本当にうれしかったです。決勝戦で焼津JFCに勝てたのは、みんなで協力し合ってみんなで声を出し合い、みんなで一つになったから勝てたと思います。この大会での気持ちを忘れずに、全日本少年サッカー大会静岡県大会でいい成績を残したいです。これからの練習で一日一日を無駄にしないように頑張りたいです。

焼津JFC　木村　伶哉

ぼくたち焼津JFCは、全日少にむけて週1回の少ない練習を一生懸命頑張っています。その中でも声を出してボールをもらう事です。ぼくたちは、ハスを出しても動かず止まってしまい、サポートがなく取られてしまいます。もっともっとサポートを速くして頑張ります。もう一つは、声を出してチームを盛りあげることです。特に苦しい時こそ声を出していきたいです。練習の時も声を出していき、試合の時もお互いのポジションの確認の声・サポートの声・みんなを集中させる声が必要です。全日少では、みんなで今までの練習のせいかを出し、お父さん、お母さん達に試合や遠征に連れて行ってもらいました。最後まで、生懸命頑張りますので応援よろしくお願いします。

榛原FC　松浦　拓馬

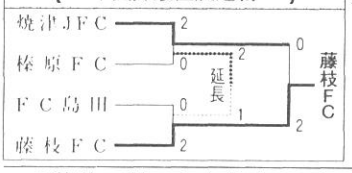
ぼく達榛原FCは、5年生からチームがスタートしました。でも、フーマ杯、つま恋大会と満足のいく試合結果を残せませんでした。原因は得点力不足と一人一人が自分の力を出し切れていないからだと思います。でも、遠征試合を通して、チームのふんい気もよくなってきているし、攻げきパターンも増えてきました。県大会では、決勝トーナメントに残る事を目標にして、見ていて楽しく、プレーしているぼく達も楽しんでサッカーをやりたいです。


榛原F.C


FC島田

第28回　山口杯争奪 中西部選抜少年サッカー大会

（全日本少年サッカー大会 中西部順位決定戦）



FC島田　園田　翔吾

ぼくたちFC島田は、市の予選を勝ち抜き、県大会に出場する事ができました。市の予選では、集中力がかけてトラップミスやハスミスが出てしまい、思うような試合ができませんでした。中西部決定戦でも、また同じようなミスが出て悔しい思いをしてしまいました。県大会では、支えてくれる監督、コーチ、両親への感謝の気持ちを忘れずに、一人一人の役割を果たし、全員の気持ちを一つにして試合終了のホイッスルが鳴るまで、集中して悔いのない試合をしていきたいと思います。

第1回 中西部ジュニアユースリーグ

（松永杯争奪中西部中学生サッカー大会）

兼・第25回ふれあいカップ

静岡県中学生サッカー選手権大会中西部地区予選

今回から中西部ジュニアユースリーグとして、1次、2次とリーグ戦を増やした大会に変更した本大会も終盤を迎え、2次上位リーグを勝ち上がった8チームによる決勝トーナメントが、4月29日、5月1日に大井川町陸上競技場で行われた。この大会はふれあいカップ県大会の予選を兼ねており、県大会に出場する3チームが決定した。

（結果は2面に掲載）

「中西部ジュニアユースリーグ」実施にあたって

中西部3種委員長　菊田　秀樹

1. 導入の理由

日本協会から出された「キャプテンズミッション」の「リーグ戦の導入」を踏まえて、中西部リーグ戦を導入し、長い期間でのリーグ戦を通して選手、チームのレベルアップを図る。

①1月～3月の期間、大会もなく中体連チームにおいては十分な練習ができない現状があり、選手の意欲も低下しがちであった。そこで、この期間にリーグの大会を行うことにより、選手の意欲を持続させ、技術の向上、チームの強化を図る時期としていきたい。

②現在、第3種の県大会において、中西部のチームが上位に残れないという現状がここ数年続いており、選手はもとより、チーム・指導者のレベルアップを早急に図る必要性を感じた。中西部3種役員会、中西部技術委員会等による検討を通して、次のような改革を行っていきたいと考えた。

③長い期間の大会を通して、チームの指導や審判など指導者が一人だけではかなり大変な面があり、この大会を機に地域の指導者や審判など積極的に協力体制を仰ぎ、外部コーチ導入をしていきたい。将来的には、地域クラブ化へと移行していきたい。

2. 目的

3. 成果と課題

成果

①この期間に大会を行うことにより、選手のサッカーに対する意欲が低下することなく、練習にも高い意識をもって取り組むことができた。

②指導者（特に中体連チーム）でも、この時期は忙しく練習にも十分につくことができないが、大会があることにより例年よりも練習へ出て指導することができた。

③試合を重ねることにより選手の意識も高まり、試合を通してレベルアップしていく姿が感じられた。

④中体連チームとクラブチームが対戦する機会ができるよい機会となった。

⑤審判を保護者や地域の方に依頼する機会が増え、協力してもらう体制が以前より良くなった。

課題

①クラブチームと中体連チームとの差が大きくあり、大差がつく試合がいくつかあった。

②県大会の予選という形ではなく、強化リーグとしてはどうか。来年度は、実力別の強化リーグとしてはどうか。

③2月の初めに風邪の選手が多く、学校によっては部活動停止もあり、時期をもう少し遅らせた方がよいのではないか。

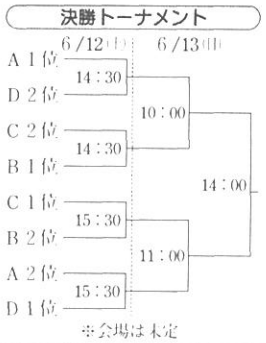
④来期も、改善すべき点は改善し、第2回リーグを実施していく予定である。

組み合わせ

Aリーグ	Bリーグ	Cリーグ	Dリーグ
① 静岡JFC	① 富士JFC	① 浜松JFC	① FC時之栖
② 富士宮FC	② 榛原FC	② 焼津JFC	② 芳川北SS
③ 藤枝FC	③ オール庵原	③ FC島田	③ FCアスルクラロ沼津
④ 磐田FC	④ FC浜名	④ 清水FC	④ FC島田

予選リーグ

決勝トーナメント



※会場は未定

	開始時間	会場未定	会場未定
6/6(日)	9:00	A①—②	C①—②
	9:55	B①—②	D①—②
	10:50	A③—④	C③—④
	11:45	B③—④	D③—④
	12:40	A①—③	C①—③
	13:35	B①—③	D①—③
	14:30	A②—④	C②—④
	15:25	B②—④	D②—④
6/12(土)	9:30	A①—④	C①—④
	10:25	B①—④	D①—④
	11:20	A②—③	C②—③
	12:15	B②—③	D②—③

ゴール裏から—

平成16年度に向けて

(財)静岡県サッカー協会
中西部支部会長
萩原　昌明

今年もサッカーの年になりそうです。すでにU－23日本代表はアジア最終予選を勝ち抜いて、3大会連続のオリンピック出場を成し遂げました。さらに、2006年のW杯アジア地区予選も始まり、日本代表は一次予選、最終予選と長く厳しい戦いに挑んでいます。日本のサッカーの最大のイベントは、今ではJリーグと、このような世界水準の大会になっています。サッカー少年たちもJリーガーになりたい、日本代表になりたいと大きな夢をもつようになっています。平山相太選手や森本貴幸選手など下の代の選手の活躍を見るとその思いも決して夢ではありません。

練習を問わず、試合を見ていると、指導者の意識にも世界基準のプレーがすり込まれてきているように感じます。ここしかないところにハーフタイムなスピードのパスを出すというようなイメージを選手のプレーに表現させたい、例えばそのような思いから発せられる声をしばしば耳にします。中西部支部の重点目標の一つである「普及・強化」に、トレセン活動をより充実させ、日本を代表する選手の育成とチームの強化とあります。表現は簡単ですが非常に難しい内容だと思います。世界基準のプレーを確かめながら練習したり、指導したりする、オリンピックやW杯予選によってサッカーがますます楽しくなる年になることを願っています。

第1回中西部ジュニアユースリーグ（松永杯争奪中西部中学生サッカー大会）

藤枝東FCが初代チャンピオンに
3チームが県大会出場

5月1日に行われた準決勝では、EWS・FCに大勝した藤枝東FCと、ACMブルックスFCに押されながらも後半に1点を奪い、勝利した藤枝明誠SCが、決勝進出と同時に県大会出場を決めた。

最後の1枠を目指して争われた3位決定戦、EWSとACMの対戦は、互いに詰めを欠いてシュートを打てずにいたが、前半の終盤にEWSが茂川と苗田のゴールで2点を奪えば、ACMもロスタイムに青野のミドルシュートで1点を返して前半を終える。後半に入るとEWSが好機を確実に決めて1点を追加1分に野村のセンタリングを飛野が押し込み、6分に苗田が決めて突き放すと、24分とロスタイムには八木のゴールで差を広げ、県切符を手にした。

藤枝東FCと藤枝明誠SCの対戦となった決勝は、藤枝東が前半1分に勝山のゴールで先制。明誠SCも19分に築品が決めて同点とした。さらに後半21分、明誠SCは松下のクロスを築品がヘッドで押し込み逆転、藤枝東FCも1分後に八木のシュートがゴール右隅に決まり同点とするなど、一進一退の攻防が続いたが、藤枝東が2-1で勝利した。

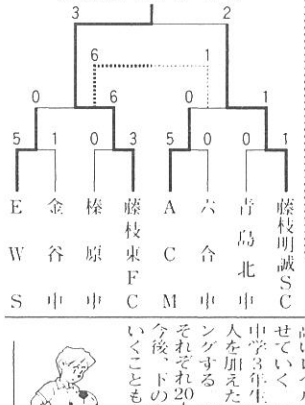

藤枝東FC


藤枝明誠SC


EWS・FC

決勝トーナメント

優勝：藤枝東FC
準優勝：藤枝明誠SC
第3位：EWS・FC



2次決勝リーグ

（Aリーグ）
EWS 1−0 豊田中
六合中 3−0 焼津中
EWS 4−0 焼津中
六合中 4−0 豊田中
EWS 1−1 六合中
（順位）①EWS ②六合中 ③焼津中 ④豊田中（1・2位、3・4位は得失点差による）

（Bリーグ）
明誠SC 1−0 港中
榛原中 1−0 藤枝中
明誠SC 1−0 藤枝中
榛原中 1−0 港中（PK1−3）
藤枝中 1−0 港中
明誠SC 1−1 榛原中
（順位）①藤枝明誠SC ②榛原中 ③藤枝中 ④港中（1・2位は得失点差などで同じためPK戦による）

（Cリーグ）
ACM 5−1 御前崎中
金谷中 8−0 エスパ藤枝
ACM 14−0 エスパ藤枝
御前崎中 1−0 金谷中
金谷中 10−0 エスパ藤枝
（順位）①ACM ②金谷中 ③御前崎中 ④エスパルス藤枝（1・2・3位は得失点差による）

（Dリーグ）
藤枝東FC 3−0 葉梨中
青島北中 2−0 ASAS
藤枝東FC 1−0 ASAS
青島北中 2−2 葉梨中
藤枝東FC 2−0 葉梨中
ASAS 1−0 葉梨中
（順位）①藤枝東FC ②青島北中 ③ASAS ④葉梨中

平成16年度 （財）静岡県サッカー協会 中西部支部 サッカートレーニングセンター（前期）開講

小学6年生から中学3年生までを対象とした中西部トレーニングセンターは、1月20日に開校式を行い前期の活動を開始した。9月21日までの毎週火曜日（夏休みを除く）に、藤枝東高校と藤枝明誠高校を会場に実施される。

U−12・15の1カテゴリーに分けて行われ、一つ下の学年から優秀な選手数名を上のカテゴリーに上げて、高いレベルの練習を経験させていく。U−15の部には中学3年生27人に2年生2人を加えた29人でトレーニングするU−12・14にはそれぞれ20人前後が参加し、今後、下の学年から上げていくことも考えている。

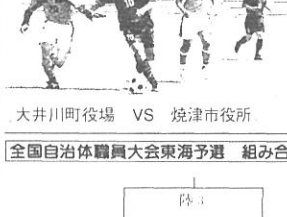


第34回 全国自治体職員サッカー選手権大会 静岡県予選

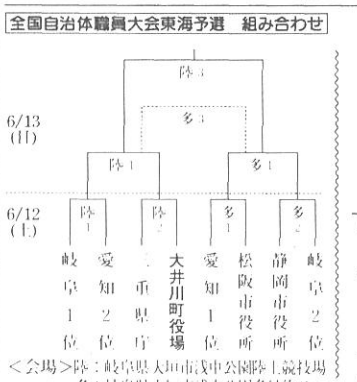
大井川町役場が東海予選出場

全国自治体職員サッカー選手権大会静岡県予選が11日、10日に大井川河川敷で行われた。東海予選に進めるのは2チーム。その切符を争われた準決勝で、中西部の大井川町役場と焼津市役所が対戦した。先制したのは焼津市役所。前半8分に中賀のFKをゴール前で渡辺がヘッドで競り、最後は鈴木啓が頭で押し込んだ。その後、大井川町役場が徐々にボールを支配し、10分にゴール前の混戦から藤野が出したボールを鈴木康が決めて同点とした。更に26分、八木のシュートがこぼれたところを大石が蹴り込み逆転。後半5分に川村のCKを大石が頭で合わせて突き放すと、23分には小泉が決めてダメを押した。焼津市役所もロングボールを使いゴールを狙うが得点には至らなかった。

決勝に進んだ大井川町役場の相手は、昨年と同じ静岡市役所。立ち上がりからペースを握られ、前半で3失点を喫した。それでも後半10分に日下部のハスを小泉が決めて2点差としたが、3分後に離され、17分には右サイドからのクロスを鈴木康がヘッドで押し込んだが、10分後にまたも失点。大井川町役場は静岡県2位での東海予選出場となった。


大井川町役場　VS　焼津市役所

全国自治体職員大会東海予選　組み合わせ



〔試合結果（中西部勢のみ）〕
〈1回戦〉
焼津市 4−1 磐田市
吉田町 1−0 富士宮市
〈2回戦〉
大井川町 6−0 沼津市
焼津市 9−0 岡部町
吉田町 4−0 静岡県庁
〈準決勝〉
大井川町 1−1 焼津市
〈決勝〉
静岡市 5−2 大井川町

東海から3チーム全国へ

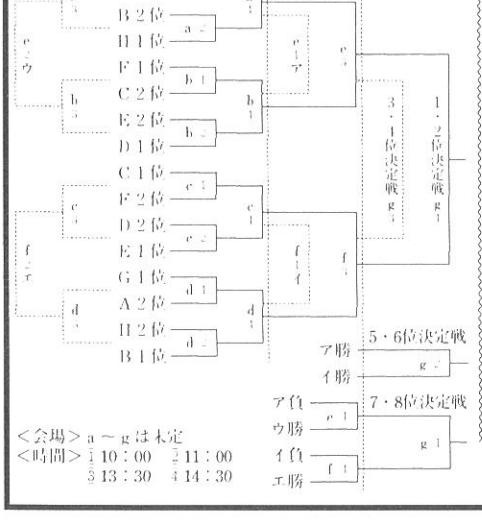
今年の全国大会（7月23日〜）は藤枝市を会場に開催される。地元の藤枝市役所が前回優勝で出場権を得ているため、開催地枠が東海地区にもうえられ、例年より1枠増えて3チームが出場する。大井川町役場は16回目の全国大会出場を目指す。

第12回 日本クラブユース選手権（U−15）静岡県大会

2次リーグ始まる

日本クラブユース選手権（U−15）静岡県大会は1次リーグが終了し、5月22日から2次リーグが始まった。40チームが6組に分かれて争われた1次リーグから、各組上位1チームが1位リーグに進み、5位以下は下位リーグを行う。上位リーグには、シードで1次リーグを免除された県クラブユースリーグ・新人戦の1部8チームが加わり、32チームで行われる。各組の上位2チーム計16チームが決勝トーナメントに進む。

中西部ではシードのACMブルックスFCと、1次リーグを勝ち上がったEWS・FC、エスパルス藤枝、藤枝明誠SCの5チームが上位リーグに臨んでいる。上位リーグは5月16日まで行われ、5月23日から決勝トーナメントが始まる。そして、6月6日に決勝などの順位決定戦が行われ、1位〜7位が東海大会の出場権を獲得する。



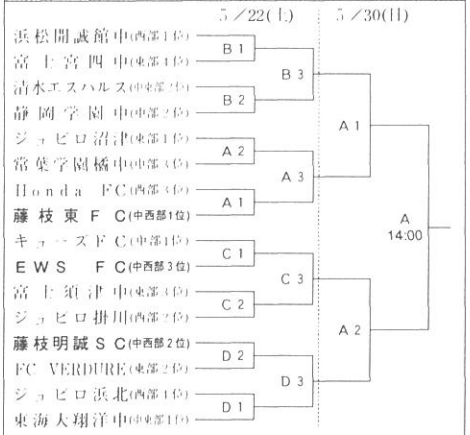
1次リーグ　中西部勢の最終結果

A	EWS・FC	4勝2敗		3位
B	エスパルス藤枝	4勝2敗		3位
C	焼津TMB・FC	2勝4敗		5位
D	藤枝東FC	5勝1分		1位
E	エスパルス榛原	2勝4敗		5位
	藤枝明誠SC	4勝1分		1位
	ASAS・FC	1勝2分2敗		5位

上位リーグ　ブロック分け

A	ジュビロ掛川	エスパルス静岡	聖隷JYSC	マツバラSC1994
B	清水エスパルス	FC.VERDURE	太陽FC	FC.LESTE
C	ジュビロ浜北	湖西FC	エスパルス藤枝	アスルクラロ沼津
D	Honda FC	藤枝明誠SC	EWS・FC	FC雄踏
E	ジュビロ沼津	カルトッーラ小笠	清水FC	長泉アミーゴスFC
F	キッズFC	藤枝東FC	VALOR FC	クラッキFC
G	ジュビロ磐田	リベルダージFC	T&TSC	静岡クラブ
H	ACMブルックス	城内FC	FUJIARDITO FC	掛川JFC

第25回 ふれあいカップ 静岡県中学生サッカー選手権大会 組み合わせ



＜会場＞A：藤枝総合運動公園サッカー場
B：藤枝市民グラウンド
C：大井川町陸上競技場　D：藤枝中学校
＜時間＞1 9：30　2 10：45　3 14：00

平成16年度 静岡県高校総合体育大会

男子

中部地区大会 3校が県大会へ

高校総体の男子サッカーは5月3日に中部地区大会が終了し、県大会出場の8校が決定した。

1次リーグを勝ち抜いた16校が進んだ2次トーナメント。県大会の出場権がかかった1回戦で、藤枝西と焼津中央、吉田と榛原の中西部勢同士が対戦した藤枝西と焼津中央は、前半30分に焼津中央が間接FKから大塚が競り込んで先制。後半は藤枝西の攻勢となり、終盤には怒涛の攻めを見せただが、集中力を切らさず守った焼津中央がロスタイムにカウンターから池田のシュートで2点目を奪い、勝利を決めた。吉田と榛原の一戦は、互いに決定的な場面を作り出せずに迎えた後半21分、吉田が奪った1点が決勝点となり、榛原が勝利した。

中西部勢では藤枝明誠が2位、榛原が3位、焼津中央が8位となり、県大会に出場する。

〈Aブロック〉
①藤枝明誠（勝点9）②焼津中央（勝点6）③榛原（同3）④吉田（同3）
〈Bブロック〉
①常葉橘（勝点9）②清水工（同6）③島田（同3）④島田学園（同0）
〈Cブロック〉
①東海大翔洋（勝点7）②静岡東（同4）③島田商（同3）④聖光学院（同2）
〈Dブロック〉
①吉田（勝点6）②焼津中央（同3）③榛原（同0）
〈Eブロック〉
①清水商（勝点7）②藤枝北（同6）③川根（同3）④清水国際（同1）
〈Fブロック〉
①静岡市立（勝点9）②清水南（同6）③大井川（同3）④静岡中央（同0）
〈Gブロック〉
①藤枝西（勝点9）②榛原（同6）③静岡商（同1）④相良（同1）
※3・4位は得失点差による
〈Hブロック〉
①静岡北（勝点7）②静岡工（同4）③静清工（同3）④静岡南（同3）
※3・4位は総得点による

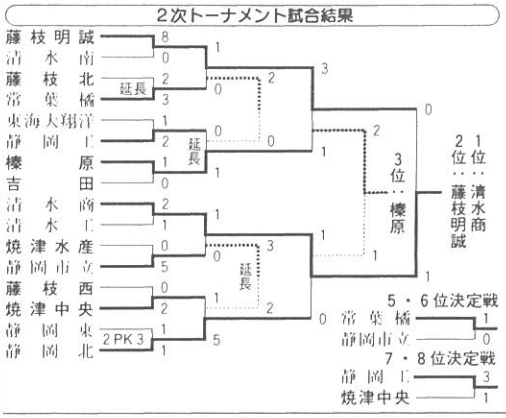
1次リーグ最終結果

〈Aブロック〉
①藤枝明誠（勝点9）②焼津中央（勝点6）③榛原（同3）④吉田（同0）
※2・3位は得失点差による


榛原 VS 吉田


焼津中央 VS 藤枝西

2次トーナメント試合結果



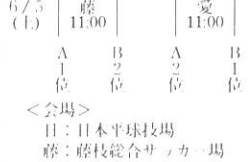
5・6位決定戦
常葉橘 1 — 0 静岡市立

7・8位決定戦
静岡工 3 — 1 焼津中央

2次リーグ

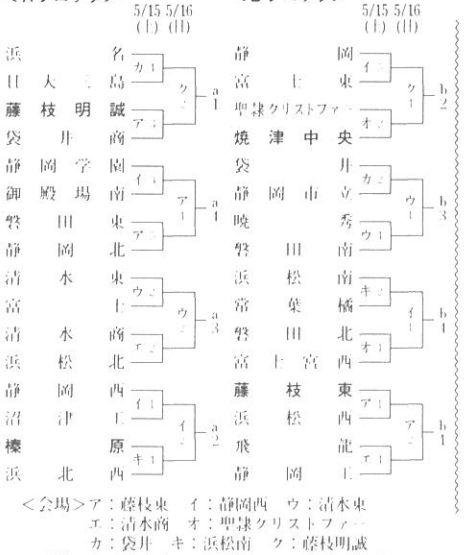
期日	時間	対戦	会場
5／22(土)	11:00	a1－a4	エコパ補
	13:00	b2－b3	助競技場
	11:00	a2－a3	藤枝陸上
	13:00	b1－b4	競技場
5／23(日)	11:00	a1－a3	藤枝陸上
	13:00	b1－b3	競技場
	12:00	a2－a4	Jステップ
	14:00	b2－b4	
5／29(土)	11:00	a1－a2	草薙
	13:00	b1－b2	球技場
	11:00	a3－a4	愛鷹スポーツ広場
	13:00	b3－b4	

決勝トーナメント



＜会場＞
日：日本平球技場
藤：藤枝総合サッカー場
愛：愛鷹多目的競技場

1次トーナメント



＜会場＞
ア：藤枝東　イ：静岡西　ウ：清水東
エ：清水商　オ：聖隷クリストファー
カ：袋井　キ：浜松南　ク：藤枝明誠
＜時間＞1 10:00　2 11:00　3 12:00　4 13:00　5 14:00

県大会始まる

中西部4校が出場

県大会は1次トーナメント、2次リーグ、決勝トーナメントの3段階に分けて行われる。各地区大会を勝ち抜いた24校に、新人戦上位とフリンスリーグ参加校のシード8校を含めた32校が参加して争われる。中部地区大会は2組に分かれて5月22日、23日、29日の3日間で予選リーグが始まった。準決勝に進む4校が決まる。準決勝は6月5日に、そして全国行きを決める決勝は、6月6日に日本平球技場で行われる。

中西部からは、中部地区大会を勝ち抜いた3校とシードの藤枝東の4校が出場する。

5月15日、16日に1次トーナメントが行われ、これを勝ち上がった8校が2次リーグへ進出。2次リーグは2組に分かれて5月22日、29日の3日間で争われ、各組の上位2校が準決勝に進む。準決勝は6月5日に、そして全国行きを決める決勝は、6月6日に日本平球技場で行われる。

平成16年度 少年団リーグ戦 各地区で開幕

平成16年度の少年団リーグ戦が各地区で開幕した。藤枝地区は4月29日に、志太地区は5月2日に開会式が行われ、熱戦の火ぶたが切られた。また、島田地区は5月23日にスタートする。

期間の長いリーグ戦では良いコンディションで試合ができるように自己管理に気をつけ、また、何か目標を見つけて、少しずつでもできることを増やしていこう


志太地区の開会式より

平成16年度 静岡県高校総合体育大会

女子 開幕

女子の静岡県高校総体は、全日本高校女子サッカー選手権大会東海地区予選の出場権を獲得する12校が参加して、1月29日に予選リーグが始まった新人戦のベスト4には決勝トーナメントの出場権がかかり、上位リーグとして総当たり戦を行い順位を決める。残る8校が下位リーグで、2組に分かれてリーグ戦を行い、各組の1位同士、2位同士が対戦し1位を決め、この4校が決勝トーナメントに進む。

中部では新人戦優勝の藤枝西、吉田、榛原の3校が上位リーグに入り、藤枝順心が下位リーグに入り、決勝トーナメントに進んだ。

決勝と3位決定戦が6月5日に愛鷹広域公園で行われ、ここに進んだ1校は、全日本高校女子サッカー選手権大会東海地区予選の出場権を獲得する。


吉田 VS 磐田北

予選リーグ 試合結果

上位リーグ

藤枝順心 2－0 清水国際
藤枝順心 2－0 吉原
桐陽 2－0 吉原
桐陽 1－1 清水国際

下位リーグ

〈Aブロック〉
①沼津西 1－0 ②藤枝西
①吉田 1－1 ②磐田北
②藤枝西 2－0 ②磐田北
①沼津西 2－0 ②吉田

〈Bブロック〉
①榛原 1－0 ②磐田東
①清水南 6－0 ②静岡大成
①榛原 2－0 ②清水南
②磐田東 1－0 ②清水南

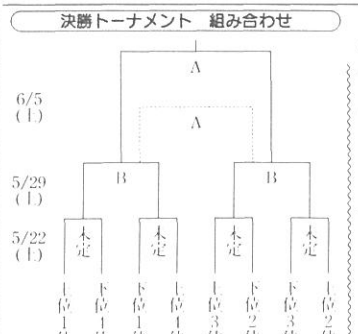
組み合わせ

◆5月15日（土）
〈会場〉安久路G
(時間)
①11時 ①上 A2位 対 B2位 静岡市立
②12時30分 ②上 A1位 藤枝順心 対 B1位 桐陽

◆5月16日（日）
〈会場〉藤枝順心高校
(時間)
①10時 ①B 磐田東 対 静岡大成
②11時30分 ②A 藤枝西 対 吉田

〈会場〉富士総合G
(時間)
①11時 ①B 磐田北 対 沼津西
②12時30分 ②A 榛原高校 対 清水南

決勝トーナメント 組み合わせ



〈会場〉A：愛鷹広域公園多目的競技場
B：安久路G
〈時間〉未定

第9回スルガカップ争奪 第84回天皇杯全日本サッカー選手権大会静岡県予選 静岡県サッカー選手権大会

天皇杯の予選を兼ねたスルガカップ争奪静岡県サッカー選手権大会が、5月23日から始まる。高校や大学、社会人の50チームが参加し、トーナメント戦を行い、これを勝ち上がった2チームが、東海リーグ勢などが出場する決勝トーナメント（8月11日～）に進む。



＜会場＞a：相良総合G　b：富士高校G　c：藤枝明誠高校G　d：吉田高校G
e：東海大翔洋高校G　f：田町あべ中G　g：静岡北高校G
h：遠州灘海浜公園G　i：静岡西高校G　j：富士常葉大学G
＜時間＞
1 10：00
2 11：40
3 13：20
4 15：00

第3回志太カップ争奪 第3ジュニアユースサッカー大会

金谷中が準優勝

県内外の招待チーム5に、中西部の7チームを合わせた12チームが参加した、志太カップ争奪ジュニアユースサッカー大会が、5月2日11～4日に開催された。2日は終日フレンドリーマッチに当てられ、3日にAグループに分かれての予選リーグ、4日に順位トーナメントが行われた。

1位トーナメントに進んだのは、招待チームの那珂湊中（茨城県）と観山中（静岡市）に、中西部の金谷中と藤枝中の4チーム。準決勝は2試合共に得点なしPK戦での決着となり、金谷中は那珂湊中を破り決勝に進んだが、藤枝中は観山中に惜敗した。

決勝は観山中がやや押し気味に進めるが、金谷中も踏ん張り、無得点のまま延長戦に入った。その前半3分、観山中がCKからの混戦で押し込みVゴール。金谷中は準優勝となった。


金谷中　VS　観山中

〈Aグループ〉
藤枝中 2―0 羽島中
初倉中 1―0 羽島中
藤枝中 0―0 初倉中
〈Cグループ〉
金谷中 2―0 富竹中
藤枝明誠SC 1―0 富竹中
〈Bブロック〉
金谷中 0―0 藤枝明誠SC
青島中 1―0 港中
那珂湊中 5―0 港中
那珂湊中 5―1 青島中

予選リーグ

〈Dグループ〉
観山中 2―0 葉梨中
観山中 7―0 藤枝北高TC
葉梨中 4―0 藤枝北高TC

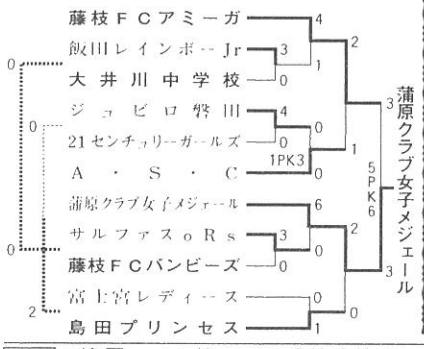
1位トーナメント

観山中
Vゴール
那珂湊中 0 / 0 3PK4
金谷中 0 / 1
藤枝中 0 / 0 4PK5
観山中 0 / 1

第15回カトレア杯 静岡県女子サッカー大会（U―15）

5月1日(土)2日(日)

藤枝FCアミーガ　準優勝
島田プリンセス　第3位



鈴村路子の もっと知りたいサッカー No.80

アテネは女子が楽しみだ

来年の攻撃で死者が増えたイラクのファルージャでは、サッカー場が怠捐えの墓地になったと言う。暗い気分にさせるニュースばかりが続く、そんな重苦しい社会情勢の中、アテネ行きをかけた女子日本代表の闘いぶりは、私達に清々しい感動を与えてくれた。それぞれの選手がきっちりと自分の役割を果たし、90分間、最後まで緊張を維持し攻め続けた。シドニーに出られなかった悔しさを、アテネで晴らしてくれるといい。

6年ほど前、このコラムで女子サッカーのことを書いた。女子の注目度が上がっているので、今回もう少し付け加えておきたい。女子サッカーが5種として正式に日本協会に登録されたのは昭和54年で、その翌年から女子選手権が8人制で行なわれるようになり、第3回大会から11人制となった。静岡県でも54年から選手登録が開始され、18チーム、305人で始まった。

世界的にはどうか、ということになると、以前イギリスの「Four Four Two」というサッカー雑誌で女子サッカーの記事を見かけたことがある。第1次世界大戦の戦中戦後、戦地に赴いた男性に代わり、女子チームが戦意高揚のためのチャリティの試合をイギリス国内で行ない、多くのお金を集め、フランスにも転戦したという。女子サッカーはボヒュラーなスポーツになりつつあったのに、とうとう高3になった。高校最後の試合を笑顔で終えてくれればと願っている。

中西部社会人リーグ 4月4日～25日

〈1部〉
静岡ガス 3―1 大井川町役場
藤枝ネルソンCF 10―2 ホンダ浜松
〈2部〉
焼津信用金庫 1―1 トヨタL&F静岡
コスモス SC 4―2 トヨタL&F静岡
焼津信用金庫 2―2 中部電力
コスモス SC 3―1 東芝機械
〈3部〉
焼津豊田 2―1 東雲SC
岡部FC 3―1 清水FC
焼津豊田 3―1 大里FC

静岡県社会人リーグ 4月18日・25日

〈1部〉
藤枝クラブ 5―1 FARR AGO
志太SC 7―1 YOSHIDA
JOVI NEZZA 5―2 ベアーズ
ダイレクトスターズ 3―1 焼津FC
K・F・LUZA 0―0 瀬戸谷SC
〈2部〉
藤枝クラブ 5―0 YOSHIDA
志太SC 4―0 焼津FC
FARR AGO 2―1 K・F・LUZA
JOVI NEZZA 2―1 ダイレクトスターズ
藤枝クラブ 7―1 瀬戸谷SC

社会人シニア女子ユース リーグ戦（中西部勢の試合結果）

〈1部〉
K・F・LUZA 0―0 瀬戸谷SC
藤枝クラブ 5―1 FARR AGO
JOVI NEZZA 5―2 ベアーズ
ダイレクトスターズ 3―1 焼津FC
志太SC 7―1 YOSHIDA
〈2部〉
JOVI NEZZA 4―1 インヘリアル
雑草クラブ 6―0 ヤザキ
金谷チャリーズ 9―2 1969
ブルーフラネット 1―1 サンロード
藤枝クラブ 3―1 JOVI NEZZA
〈3部A〉
ベアーズ 2―1 ダイレクトスターズ
YOSHIDA 1―1 FARR AGO
金谷チャリーズ 3―0 ブルーフラネット
インヘリアル 1―0 ヤザキ
雑草クラブ 3―2 サンロード
〈3部B〉
藤枝東 3―1 岳南FC
藤枝東 1―0 浜名
藤枝東 0―0 清水エスパルス
藤枝東 6―1 四日市中央工業
藤枝FC 1―1 清水クラブOB

静岡県シニアリーグ 3月14日～4月11日

〈シニア40〉
新星クラブ 1―0 榛原シニア
〈シニア60〉
中西部60 2―0 西部60
〈シニア50〉
焼津飛魚SC 2―0 ワンダーイレブン浜松
藤枝FC 1―1 清水クラブOB
ワンダーイレブン 1―0 榛原シニア
駿府FC 5―0 焼津飛魚SC

静岡県女子リーグ 4月25日

静岡産業大学 5―1 藤枝FCアミーガ
藤枝姉妹FC 5―0 Blond

静岡県ユースリーグ 4月2日

〈Bリーグ〉
藤枝西 1―1 袋井

プリンスリーグU―18東海 4月17日～5月8日

藤枝東 3―1 岐阜工業
藤枝東 1―0 浜名
藤枝東 0―0 清水エスパルス
藤枝東 6―1 四日市中央工業

JFAプリンスリーグU―18東海2004 6月の日程（中西部勢の試合のみ）

6/12(土)	藤枝東高校	ジュビロ磐田Y	藤枝総合運動公園 12:00
6/26(土)	藤枝東高校	静岡学園高校	藤枝総合運動公園 18:15

東海社会人リーグ1部 6月の日程（中西部勢の試合のみ）

6/6(日)	藤枝市役所	中央防犯	藤枝総合サッカー場 12:00
	矢崎バレンテFC	芙蓉クラブ	藤枝総合サッカー場 14:00
6/13(日)	中央防犯	静岡FC	藤枝市民グランド 12:00
	コニカミノルタSC豊川	藤枝市役所	シロキSEGグランド 14:00
	ホンダ鈴鹿FC	矢崎バレンテFC	ホンダアクティブランド 13:00
6/19(日)	静岡FC	藤枝市役所	藤枝市民グランド 14:00
6/20(日)	中央防犯	コニカミノルタSC豊川	藤枝総合陸上競技場 14:00
	中京大学FC	矢崎バレンテFC	豊田市中央公園芝生広場 13:00
6/27(日)	矢崎バレンテFC	中央防犯	藤枝総合陸上競技場 12:00
	芙蓉クラブ	藤枝市役所	藤枝総合陸上競技場 14:00

5・6月 その他の予定

- 静岡県社会人リーグ1・2・3部　・中西部社会人リーグ1・2・3部
- 静岡県女子リーグ　・中西部女子リーグ
- 焼津・大井川地区中学総体　6月5日(土)、6日(日)
- 藤岡地区中学総体　5月29日(土)、6月5日(日)
- フジパンCUPジュニアサッカー大会　各地区予選
  - 榛原地区　5月9日(日)、15日(土)　＜相良総合グランド＞
  - 藤枝地区　5月15日(土)～22日(土)　＜藤枝総合運動公園サッカー場他＞
  - 島田地区　5月22日(土)、23日(日)　＜島田市民グランド他＞
- 中西部理事会　6月4日(金)　・中西部審判委員会　6月13日(日)

(財)静岡県サッカー協会中西部支部　事務局
〒421-0206　大井川町上新田292-1　大井川高校内・鎌田昌治理事長
TEL054-622-3411　FAX054-622-3472
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

JR西焼津駅北口駐車場
（有）入山一
TEL & FAX 054-628-7383

レッカー作業24時間対応
M・K/Cars co. RS24
TEL 054-625-1722
焼津市三衛門新田379-1
㈲エム・ケイ自動車

パソコン資格の強い見方！
Microsoft Office Specialist
（教育訓練給付金指定講座あります）
パソコンのことならお任せください
TOKAIパソコン教室島田校
島田市御仮屋町7454-1 (0547)34-3529

警備保障 株式会社中央防犯

拡げます。デジタルネットワーク
共立印刷株式会社

YAIZU FUTSAL倶楽部
ICHIMARU SPORTS VILLA
〒425-0052　焼津市田尻1122
お問い合せ　054（625）0011(代)
ご予約　0120－210812
ICHIMARU SPORTS VILLA

めざせ ワールドカップ
清水屋スポーツ
藤枝市本町3丁目6－8
☎(054)641－1358
フットボールギア
藤枝市前島1丁目6－3
☎(054)636－6108

ビジネスホテル シルビア
〒426-0022 静岡県藤枝市稲川1丁目11－48
TEL 054－643－0500(代)

(1) 平成1年12月18日第三種郵便物認可　昭和63年4月20日創刊　　平成16年6月15日（火曜日）発行（毎月15日発行）

中西部 ヤングサッカーニュース 2004 6

発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部理事長　鎌田昌治　企画構成編集責任者／滝本義三郎

藤枝東 2連覇！ 全国大会出場

平成16年度 静岡県高校総合体育大会 男子



静岡県高校総体男子サッカーは、6月6日に日本平球技場で決勝戦が行われ、藤枝東が清水商との接戦を制して優勝を果たし、2年連続の全国行きを決めた藤枝東は相手長身FWの堅守を、ミドルシュートを交えて崩しにかかる。清水商はサイドへ大きく展開し、気に攻め上がるが、なかなか決定機に詰めを欠いて無得点で折り返す。試合が動いたのは後半14分。藤枝東は柴田がドリブルで切れ込み、角度のないところから低く速いボールを中へ入れると、相手FWの足に当たりオウンゴール。ついに均衡を破った。終盤は布陣を3−5−2から4−4−2に変えて、カウンターに備え、相手に反撃を許すことなく逃げ切った。

●増田洋平主将
みんながよく動いていた。全国では中でつなげないと厳しいと思うから、頑張りたい

藤枝明誠 第3位



4年ぶりにベスト4へ勝ち上がった藤枝明誠が、準決勝で藤枝東と対戦した。序盤はお互いにプレスを掛け合うが、ボールを奪い合う。だが、徐々に藤枝東がハスをつなぎ出すと、26分に左の大塚から関谷に渡り、最後は右から駆け上がった鈴木崇が決めて先制した。その2分後にも赤星のシュートで2点目を奪われた藤枝明誠は、後半、赤星に下Kを直接決められるなどで2失点し、突き放された。左サイドを起点に攻め上がる藤枝明誠だが、シュートまでは行かなかった。

●田村和彦監督
攻守での1対1の強さに差がある課題がはっきりしたので次につなげたい

試合結果

1次トーナメント（中西部勢の試合のみ）
（1回戦）
藤枝明誠 4−1 袋井商
浜北西 2−0 榛原
藤枝東 3−0 焼津中央
（2回戦）
藤枝明誠 3−1 浜松西
藤枝東 1−0 浜松北

2次リーグ
（Aブロック）
藤枝明誠 2−0 磐田東
清水商 2−1 静岡西
藤枝明誠 3−1 清水商
磐田東 2−1 静岡西
清水商 2−0 磐田東
【順位】①清水商 ②藤枝明誠 ③磐田東 ④静岡西
（Bブロック）
藤枝東 1−0 浜松南
聖隷 4−1 袋井
藤枝東 3−0 袋井
浜松南 3−1 聖隷
藤枝東 3−0 聖隷
浜松南 2−1 袋井
【順位】①藤枝東 ②浜松南 ③聖隷 ④袋井

決勝トーナメント

藤枝順心 初優勝

女子



県高校総体女子は6月5日に行われた決勝で、藤枝順心が桐陽を延長の末2対1で破り初優勝を果たした。ハスをつなぎ藤枝順心のヘースで進んだ前半8分、長谷川のハスを受けた杉本がGKをかわしてシュートし、先制点を決めた。だが、20分にDFがGKへバックハスしようとしたところを奪われ、同点とされる。これで「浮き足立った」（多々良監督）順心は、ルーズボールを拾えず押されるが前半をしのぐと、後半は一進一退で共に得点なく、延長戦にもつれ込んだ。

延長戦に入ると、新人戦で弱さが出たフィジカルを強化した効果が表れた。相手は足がつる選手も出て運動量が落ちる中、順心はヘースを前半から攻め込んだ。そして後半4分、杉本がDFと競りながら出したボールを北原が蹴り込んで、決勝点を奪った。

決勝トーナメント　試合結果



東海地区予選出場権獲得

藤枝順心は、この大会の上位4校にうえられる全日本高校女子サッカー選手権大会東海地区予選の出場権を獲得。全国大会も視野に入れ、本来FWの北原をDFW起用するなど、複数のポジションができるように、何人かがポジションを変えながら県大会に臨んできた。そして決勝で苦しい試合を経験できて、これを勝てたのは大きい」と多々良監督。この経験を生かしていって欲しい

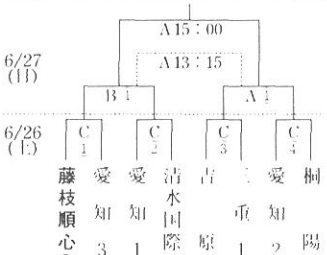
吉田・榛原 決勝T進出も初戦敗退

予選リーグを勝ち抜き決勝トーナメントに進んだ吉田と榛原が、東海予選出場の切符をかけた1回戦に臨んだ。藤枝順心と対戦した吉田は、前半3分にGKから失点するが、早い寄せでボールのミスを誘い、ボールを奪うとスペースを狙うが、前線が詰めきれず、得点には至らない。そして、後半15分に2点目を奪われると、徐々に運動量が落ち、24分とロスタイムにも加点を許した。優勝校を相手に善戦したが、力及ばなかった。榛原は吉原と対戦。ボールを支配されるが、堅い守りでしのぐ。だが、後半24分にCK、33分には下Kと共にセットプレーから押し込まれ、2点を失い惜敗した。前半10分の下Kは惜かにゴールの上。後半も有効にコールの上。後半も有効にコールの上。後半も有効にコ

第13回 全日本高校女子サッカー選手権大会 東海地区予選

藤枝順心が出場　全国を目指す

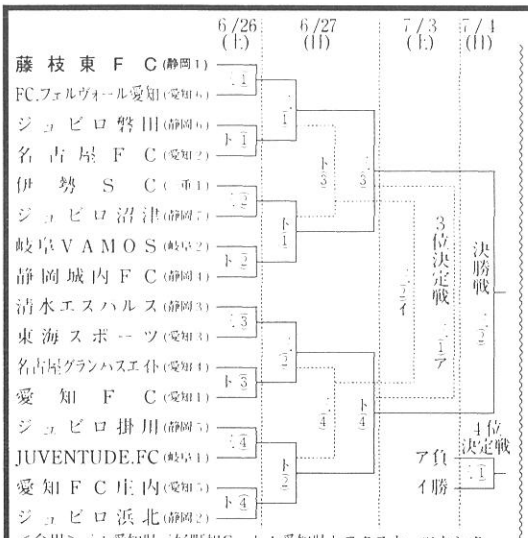
静岡県高校総体の上位1校が出場する全日本高校女子サッカー選手権大会東海地区予選は、6月26日、27日に三重県で行われる。参加校のない岐阜県を除く3県の代表8校（静岡1、愛知3、三重1）が出場しトーナメント戦で争う。そして、上位3校に全国大会（8月3日～）静岡市の出場権がえられる。中西部勢では県総体優勝の藤枝順心が昨年に続き東海大会に出場し、初の全国切符獲得を目指す



第19回 日本クラブユースサッカー選手権（U―15）大会 東海大会

藤枝東FC初出場 全国を目指す

静岡県大会で優勝した藤枝東FCが出場する、日本クラブユース選手権（U―15）東海大会が、6月26日から愛知県三好町で行われる。4県の代表16チームが参加してトーナメント戦で争われ、上位4チームにりえられる全国大会（8月13日～、福島県Jヴィレッジ）の出場権獲得を目指す



＜会場＞1：愛知県三好町旭G　ト：愛知県トヨタスポーツセンター
＜時間＞6/26・三好＝1 10：30　2 12：00　3 13：30　4 15：00
トヨタ＝1 10：50　2 12：20　3 13：50　4 15：20
6/27　＝1 10：00　2 11：30　3 13：45　4 15：15
7/3・4　＝1 10：30　2 12：00

2004 フジパンCUPユースU―12 サッカー大会 第18回 静岡県大会

少年の部　7月10日(土)・11日(日)〈中東部〉

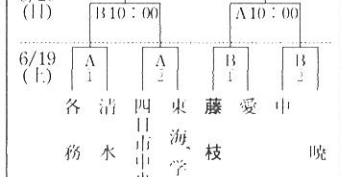
4チームが出場（ほか1チーム未定） 東海大会出場を目指す

島田第一SS　油井　啓介

ぼくたち島田第一サッカースポーツ少年団5年生チームは、フジパンカップ島田地区予選で、6年生主体のチームをやぶり優勝する事ができましたとてもうれしかったです。この優勝は、5年生18人全員の力だけでなく、コーチのアドバイスやお父さん、お母さんの応援のおかげだと思います。

県大会では練習の成果を充分に発揮して、チーム一丸となり声を出し合い、最後まであきらめず勝利をめざしてがんばります。応援よろしくお願いします

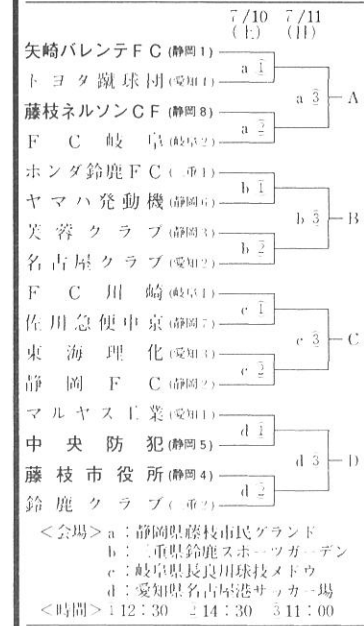
藤枝東　2年連続出場



第51回 東海地区高校総合体育大会

6月19日土 20日日〈岐阜県大垣市〉

第40回 全国社会人サッカー選手権大会 東海地域大会



＜会場＞a：静岡県藤枝市民グランド
b：三重県鈴鹿スポーツガーデン
c：岐阜県長良川球技メドウ
d：愛知県名古屋港サッカー場
＜時間＞1 12：30　2 14：30　3 11：00

中西部勢4チーム出場　全国大会を目指す

全国社会人サッカー選手権東海地域大会が7月10日、11日に藤枝市民グラウンドなどで行われる。1県の代表16チーム（静岡8、愛知4、岐阜2、三重2）が参加し、4組に分かれてトーナメント戦で争う。そして、各組の1位が10月15日から岡山県で開催される全国大会の出場権を獲得する。

中西部勢では、東海リーグの矢崎バレンテFC、藤枝市役所、中央防犯の3チームと、県リーグ1部の藤枝ネルソンCFが出場する。全国大会を目指して頑張ってほしい

榛原川崎SS　松浦　拓馬

しずぎんカップ県大会1回戦敗退のくやしさをバネに、フジパンカップ榛原地区予選を戦いました。その結果、2年連続県大会を決めることができました。ぼく達のチームは、足の速い選手や、背が高い選手はいないけど、技術と気持ちでは負けないようなサッカーをやりたいです。目標は、初戦突破。熱心に指導してくれる監督、コーチ、いつも応援してくれるお父さん、お母さん、スポ少の仲間達のためにも、最後まで全力で戦います


島田第一SS

青島北SS　長田　圭介

ぼくたち青島北サッカースポーツ少年団は、大変な試合を勝ちぬいて県大会出場を決めました。去年の県大会では、2回戦でリベロCFCにまけてしまい、くやしかったです。こんどこそフジパンカップで上位入賞めざして、チームいちがんとなってがんばります


榛原川崎SS


青島北SS

第19回 サークルKカップ 静岡県キッズU―10・8人制 サッカー大会

中西部勢　決勝トーナメント進出ならず

5月8日(土) 9日(日) 16日(日)

予選リーグ　試合結果（中西部勢のブロックのみ）

Aブロック	入江	下田	リベロ	初倉	勝点	得失差	順位
入江		△1―1	○2―0	○2―1	7	3	1
下田	△1―1		●0―5	○3―0	4	−2	3
リベロ	●0―2	○5―0		△1―1	4	3	2
初倉	●1―2	●0―3	△1―1		1	−4	4

Cブロック	三島北	竜洋	五和	城北	勝点	得失差	順位
三島北		○5―0	○3―2	●0―1	6	5	2
竜洋	●0―5		●1―2	●0―3	0	−9	4
五和	●2―3	○2―1		●2―5	3	−3	3
城北	○1―0	○3―0	○5―2		9	7	1

Dブロック	龍禅寺	六合	大富士	有度	勝点	得失差	順位
蒲原龍禅寺		○4―2	○3―1	○4―0	9	8	1
六合	●2―4		○2―1	●2―3	3	−2	3
大富士	●1―3	●1―2		●1―4	0	−6	4
有度	●0―4	○3―2	○4―1		6	0	2

Fブロック	富士第一	北浜	大富	テンマ	勝点	得失差	順位
富士第一		○2―0	●1―2	△2―2	4	1	1
北浜	●0―2		△3―3	○3―2	4	−1	1
大富	○2―1	△3―3		●1―2	4	0	3
テンマ	△2―2	●2―3	○2―1		4	0	2

※2・3位は、総得失点が同じため当該チームの対戦結果による

Hブロック	青島北	中田	王穂小	Honda	勝点	得失差	順位
青島北		●0―3	○2―1	●0―3	3	−5	3
静岡中田	○3―0		○4―1	△1―1	7	6	1
王穂小	●1―2	●1―4		●0―2	0	−6	4
Honda FC	○3―0	△1―1	○2―0		7	5	2

第2回 フットサル施設交流会

中西部内にあるフットサル施設（焼津フットサル倶楽部、ACE・ONE、Hero・sports、plaza、エスペランサ）のスクール生交流試合が、5月8日に小学1・2年生を対象に行われた

優勝 ACE ONE A
2位 ACE ONE B
3位 エスペランサ A

ACE ONE A 5―0 エスペランサA
ACE ONE B 8―2 Hero SP
ACE ONE B 3―1 エスペランサB
ACE ONE B 7―0 焼津フットサル
ACE ONE B 3―2 Hero SP
ACE ONE A 7―0 焼津フットサル
エスペランサA 1―0 焼津フットサル
エスペランサB 5―1 Hero SP
エスペランサA 5―1 エスペランサB
焼津フットサル 7―0 焼津フットサル
Hero SP 7―0 焼津フットサル
エスペランサA 0―0 ACE ONE B
エスペランサB 2―0 焼津フットサル
ACE ONE B 12―0 焼津フットサル
エスペランサA 3―1 Hero SP
ACE ONE A 7―0 エスペランサB
エスペランサA 5―1 エスペランサB
ACE ONE A 2―0 ACE ONE B

フジパンCUPユースU―12　組み合わせ



㈶静岡県サッカー協会中西部支部　平成16年度重点目標

1．指導者の育成と資質向上を目指す。

「サッカーは、子供を大人にし、大人を紳士・淑女にする」という言葉がある
正しいものを指導できる指導者であり、常に資質向上を目指す指導者であってほしい

2．普及・強化

地域住民にサッカーへの関心を高め、生涯スポーツとしてのサッカーの普及とサッカー文化の樹立
トレセン活動をより充実させ、日本を代表する選手の育成とチームの強化及び各種全国大会でのさらなる飛躍

3．国際・全国大会を成功させる。

◆U－17アジアサッカー選手権大会　　9／4・5・8・9・12・18（藤枝総合運動公園サッカー場）
◆全国自治体職員サッカー選手権大会　　7／23～28（藤枝総合運動公園サッカー場他）
◆高円宮杯全日本ユースサッカー選手権大会　9／25・26・10／2（藤枝総合運動公園サッカー場）

平成16年度 (財)静岡県サッカー協会中西部支部 定期総会



財静岡県サッカー協会中西部支部総会

平成16年度の㈶静岡県サッカー協会中西部支部定期総会が、5月15日に藤枝エミナースで開かれた。議事では、昨年度の事業報告と収支決算報告、また今年度の事業計画と収支予算などの説明が行われ承認された。

その後、昨年度に好成績をおさめたチームや選手などの表彰が行われ、賞状とメダルが贈られた。

平成15年度 ㈶静岡県サッカー協会中西部支部 功労表彰者（敬称略）

優秀団体

藤枝フットボールクラブ
藤枝市役所サッカー部
岡部町役場サッカー部
藤枝東高校サッカー部
藤枝順心高校サッカー部
静岡産業大学女子サッカー部
藤枝FCアミーガ
大井川町役場サッカー部
焼津クイーンズ

第9回シニア50リーグ　優勝
第33回全国自治体職員サッカー選手権大会　優勝
第57回県民スポーツ祭・自治体町村の部　優勝
第82回全国高校サッカー選手権大会静岡県大会　優勝
平成15年度静岡県高校女子サッカー新人戦　優勝
第10回静岡県大学女子サッカーリーグ　優勝
第14回カトレア杯静岡県女子サッカー大会　優勝
第33回全国自治体職員サッカー選手権大会静岡県大会　優勝
第57回県民スポーツ際・婦人の部　優勝

優秀指導者

戸塚　尚登（藤枝フットボールクラブ）
宇野　孝伸（藤枝市役所サッカー部）
河野　義行（大井川町役場サッカー部）
多々良和之（藤枝順心高校女子サッカー部）
後藤　元昭（静岡産業大学女子サッカー部）
杉本　直己（藤枝FCアミーガ）
原崎　稔（焼津クイーンズ）

特別表彰

◇FIFAワールドユース選手権大会
－UAE2003－　ベスト4
成岡　翔（ジュビロ磐田）
谷澤　達也（柏レイソル）

功労者

◇前中西部支部役員
増田　英夫　　鈴木　勝敏
長池　仁　　萩原喜久雄

優秀選手

◇第7回東海女子ユース(U－12)サッカー選手権大会　優勝
山田　愛理（六合東）　　岸端　彩佳（住吉）
◇第8回全日本女子ユース(U－15)サッカー選手権東海大会　優勝
柴田　彩佳（藤枝FCアミーガ）　北原　佳奈（藤枝FCアミーガ）
◇第7回全日本女子ユース(U－18)サッカー選手権大会　優勝
長谷川絵梨（藤枝順心高校）　青島　雅（藤枝順心高校）
澤木　芳美（藤枝順心高校）　杉山　紫乃（藤枝順心高校）
小林　美里（藤枝西高校）　山口小百合（藤枝西高校）
奥山このみ（藤枝FCアミーガ）　杉本　恵理（藤枝FCアミーガ）
◇静岡県社会人サッカーリーグ1部　得点王
門田　雄輔（藤枝ネルソンCF）



藤枝市・岡部町 中学校総合体育大会

5月29日(土)・6月5日(土)

藤枝中が優勝

〈1回戦〉
藤枝北 2－1 高洲
藤枝 1－0 青島北
青岡 0－1 西益津
大井川 0－1 広幡

〈2回戦〉
葉梨 2－0 西益津
藤枝 6－0 広幡

〈準決勝〉
葉梨 2－0 高洲
藤枝 1－1 青島北（PK5－3）

〈決勝〉
藤枝 1－0 葉梨

〈3位決定戦〉
高洲 2－1 青島北

焼津市・大井川町 中学校総合体育大会

6月5日(土)・6日(日)

焼津中豊田中両校優勝

〈1回戦〉
豊田中 7－1 小川
大井川 1－0 和田
焼津 0－0（PK1－2） 東益津
港 4－0 大井川

〈敗者戦〉
大井川 2－0 和田
港 1－0 東益津

〈準決勝〉
豊田中 2－1 小川
大井川 5－0 大富

〈決勝〉
豊田中 1－1（延長・再延長） 焼津

〈3位決定戦〉
大富 3－1 港

第3回 榛原中学生サッカー選手権大会

5月16日(日)・23日(日)・6月6日(日)

エスパルス榛原が優勝


エスパルス榛原

〈予選Aブロック順位〉
(1)金谷中 (2)御前崎中 (3)青島中 (4)川根中

〈予選Bブロック順位〉
(1)榛原中 (2)エスパルス榛原 (3)相良中 (4)中川根中

〈準決勝〉
エスパルス榛原 1－1（PK4－3） 金谷中
榛原中 1－0 御前崎中

〈決勝〉
エスパルス榛原 1－0 榛原中

〈5位決定戦〉
初倉 4－0 島田第一

【順位】
1 六合 (2)島田第一 (3)初倉 (4)島田第二 (5)附属島田

島田市 中学校総合体育大会

5月8日(土)・9日(日)

六合中が優勝

〈リーグ戦〉
六合 4－0 島田第一
六合 3－1 島田第二
六合 3－0 附属島田
六合 1－0 初倉
島田第一 3－0 島田第二
島田第一 3－1 附属島田
島田第一 1－0 初倉
島田第二 3－1 附属島田
島田第二 1－0 初倉
附属島田 1－0 初倉

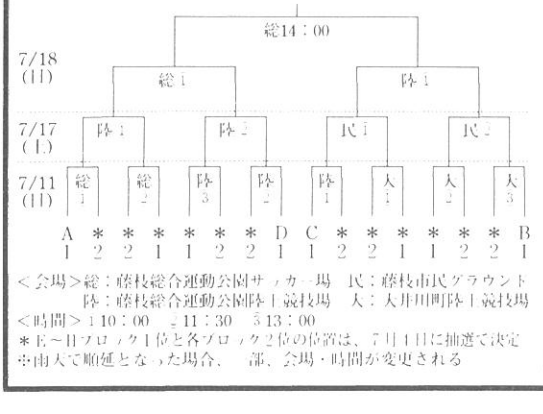
〈準決勝〉
豊田 2－1 小川
焼津 1－1（延長・再延長） 豊田

〈決勝〉
六合 1－0 焼津

第25回 ふれあいカップ 静岡県中学生サッカー選手権大会

5月22日(土)・30日(日)

試合結果



第16回 静岡県クラブユース(U－15)サッカー選手権大会

（第16回スルガカップ静岡県ユース(U-15)選手権大会・クラブ代表決定戦）

1次リーグ ブロック分け

Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック
リベルタージFC	EWS・FC	清水FC	ACMブルックスFC
VALOR FC	カルトゥーラ小笠FC	T&T SC	聖隷JY SC
静岡クラブ	FC雄踏	長泉アミーゴス	太陽FC
ASAS・FC	ASKA FC	レヴン袋井FC	N. F. C
OSADA・FC	田原FC	浅羽FC	LIBERO FC
Eブロック	**Fブロック**	**Gブロック**	**Hブロック**
FC. VERDURE	湖西FC	キッズFC	マツバラSC1994
エスパルスSS藤枝	藤枝明誠SC	FUJI ARDITO FC	FC. LESTE
掛川JFC	FCアスルクラロ沼津	クラッキFC	エスパルスSS静岡
大須賀FC	森FCアルゴス	エスパルスSS榛原	ヒュアSC FC
サルファスoRs	大竜FC	Fukuroi FC	焼津TMB FC
			吉田FC

1次リーグ始まる

スルガカップの予選となる静岡県クラブユース（U－15）選手権大会は、6月19日に1次リーグがスタートする。中西部勢7チームを含む41チームが参加し、8組に分かれて争われ、各組上位2チームの16チームが2次リーグ（7月3日・4日）に進出。ここで、さらに4組に分かれてリーグ戦を行い、各組上位2チームの8チームが決勝トーナメント（7月11日～）に進む。決勝トーナメントには1次リーグがスタートから免除され、日本クラブユース選手権大会ベスト8（中西部では藤枝東FC）が出場し、計16チームで争われる。そして、10チームになられるスルガカップ県大会の出場権獲得を目指す。

予選リーグ組み合わせ

	1	2	3	4
A	金谷	小川・大村	田根	
B	青島北	相良	東益津	
C	六合	中川根	初倉	
D	榛原	岡部	大井川	和田
E	焼津	島田第一	広幡	西益津
F	藤枝	吉島	大富	吉田
G	豊田	港	附属島田	大洲
H	御前崎	葉梨	高洲	島田第二

平成16年 中体連 中学校総合体育大会 サッカー競技

志太・榛原支部大会 始まる

中体連の志太・榛原支部中学校総合体育大会は29校が参加して、6月26日に始まる。8組に分かれて予選リーグを行い、各組上位2校の計16校が7月11日からの決勝トーナメントに進む。そして、勝ち上がった1位1校が県大会に出場する。

決勝トーナメント　組み合わせ

＜会場＞総：藤枝総合運動公園サッカー場　民：藤枝市民グラウンド
決：藤枝総合運動公園陸上競技場　大：大井川町陸上競技場
＜時間＞1：10：00　2：11：30　3：13：00
＊E～H ブロック1位と各ブロック2位の位置は、7月1日に抽選で決定
※雨天で順延となった場合、一部、会場・時間が変更される

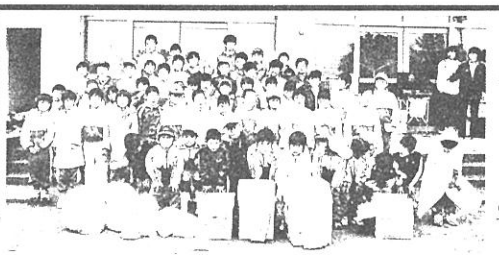
	ブロック	A・D	B・F	C・G	E・H
6/26(土)	会場	金谷中	藤枝中	豊田中	西益津中
	9：30	D2－3	F2－3	G2－3	E2－3
	10：45	A1－3	B1－3	C1－3	H2－3
	12：00	D1－4	F1－4	G1－4	E1－4
	13：25				H1－4
7/3(土)	会場	川根中	青島中	初倉中	高洲中
	9：30	D1－3	B1－2	C1－2	E2－4
	10：45	A1－2	F2－4	G2－4	H1－3
	12：00	D2－4	F1－3	G1－3	E1－3
	13：25				H2－4
7/4(日)	会場	川根中	青島中	初倉中	高洲中
	9：30	D3－4	B2－3	C2－3	E3－4
	10：45	A2－3	F3－4	G3－4	H3－4
	12：00	D1－2	F1－2	G1－2	E1－2
	13：25				H1－2

ゴミ0交通安全キャンペーン

広幡サッカースポーツ少年団が実施

広幡SS　代表　川本　剛久

5月31日、小雨の中、恒例の行事となっている「ゴミ0交通安全キャンペーン」を実施しました。各地区の登校集合場所より通学路を広幡小まで、6年から1年の高学年は一交通事故防止キャンペーン」のホスターを首や背に掛け、空き缶、空きビン等を拾い、ゴミを捨てない意識と環境を汚さない気持ちを育てるよう、清掃作業に取り組みました



平成16年度 中西部女子サッカーリーグ

8チームで開催

中西部女子リーグが6月27日に開幕する。今年度、新たに六合中学校と中学生主体の藤枝FCバンビーズの2チームが加入。昨年度優勝の藤枝姉妹FCが県リーグに昇格し、第一製薬ロージが不参加となり、昨年同様8チームで争われるリーグ戦は12月12日までの予定で行われ、優勝チームは、県リーグとの入れ替え戦出場をかけたチャレンジ戦の出場権を獲得する

参加チーム(8チーム)

榛南ドルフィン
島田フリンセス
焼津クイーンズ
大井川中学校
藤枝FCエスペレ
榛原中学校
六合中学校
藤枝FCバンビーズ

第12回全国PK選手権大会 in Fujieda　参加チーム募集

競技日程　平成16年8月21日(土)・22日(日)
会　場　藤枝総合運動公園サッカー場
部　門　キッズ(小学1～3年生)～シニア(40歳以上)、レディースなど5コースに分けて実施
定　員　1チーム5名
申込締切　平成16年7月5日(月)
申込方法　申込書により、藤枝市教育委員会スポーツ振興課まで郵送、参加料は郵便振替で振り込み下さい。
申込・問合せ先　〒426-0026　静岡県藤枝市岡出山2-2-25　藤枝市教育委員会スポーツ振興課　TEL 054-643-3111(内線713)

鈴村路子の もっと知りたいサッカー No.81

よかった・よくない

5月13日の新聞は、アジアとか、失業、治安の悪化など、さまざまな問題を抱えている国だが、近年はラグビーやクリケットのW杯も開催している。サッカーもW杯行きを決めたことを報じた。2000年のアジユース選手権で、日本を破って優勝したメンバーが今回の主力となっている。4大会ぶりとなる今回の出場は、イラクの人たちに大きな励ましになるに違いない。

さらに15日には、2010年のW杯は、南アフリカ共和国で開催されることが決まった。南アのサッカー協会の設立は、1892年と古いが、アパルトヘイト(人種隔離政策)のために15回には、2011年のアジア大会で、日本は対戦したハレスチナに希望の光が見えてくるのはいつのことだろうか。

今月号の訃報にもあるように、大坪康先生が亡くなられた。以前、先生から「人に長く国際舞台から締め出されたことがある」と聞かされていた。1991年に当時の大統領デ・クラークやその後大統領となるマンデラらの努力によりアパルトヘイトが全廃され、1992年にFIFAにも復帰した。エイズ人口20%であるとか、失業、治安の悪化など、さまざまな問題を抱えている国だが、近年はラグビーやクリケットのW杯も開催している。サッカーもW杯行きを決めたことを報じた。2000年のアジユース選手権で、日本を破って優勝したメンバーが今回の主力となっている。4大会ぶりとなる今回の出場は、イラクの人たちに大きな励ましになるに違いない。

さらに15日には、2011

中西部
ヤングサッカーニュース
2004 7
発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部理事長　鎌田昌治　企画構成編集責任者／滝本義三郎

全国高校総合体育大会

藤枝東高校 2年連続11度目の出場

静岡県高校総体で優勝を果たした藤枝東高校が2年連続11度目の全国大会に臨む 全国高校総体は島根県で開催され、サッカー競技は8月2日から始まり、8日に決勝戦が行われる 全国の頂点を目指して頑張ってほしい

なお、優勝チームには全日本ユース（U－18）サッカー選手権大会の出場権が与えられる（組み合わせは2面に掲載）

プロフィール 学年／出身校（登録チーム）


DF 小関 佑典 3年／六合東小→六合中(ジュビロ掛川)


DF 井上 翔太 3年／小田小→小田中(EWS－FC)


DF 佐久間真人 3年／川根小→川根中(ACMブルックスFC)


MF 赤星 貴文 3年／富士額小→吉原北中(清水エスパルスJY)


MF 闇谷 太希 3年／吉島北小→吉島北中(ジュビロ掛川)


MF 増田 洋平 3年／静岡横内小(城内FC)→静岡東中(城内FC)


MF 佐塚 季之 3年／全谷小→全谷中(EWS－FC)


MF 滝田 哲也 3年／志小→志中(清水エスパルスJY)


MF 柴田 公章 3年／浜松豊岡小(聖隷FC Jr)→二方原中(聖隷FC JY)


DF・FW 西形 勇人 2年／吉島小→東海大一中


DF 岸 佑亮 2年／藤岡小→西益津中


DF 知野 匡伸 2年／焼津南小→焼津中


GK 雒井 健平 2年／千葉県高柳小(柏レイソルJr)→東海大一中


FW 河津 恭平 3年／一重県桔梗が丘小(桔梗が丘JFC)→東海大一中


FW 三輪健太郎 2年／浜松都田南小(ホンダFC Jr)→都田中(ホンダFC JY)


FW 中村 祐輝 2年／静岡竜南小→安東中(清水エスパルスJY)


MF 植松 諒大 2年／静岡中田小→静岡大里中(キッズFC)


MF 大塚 秀 2年／藤枝小→藤枝中


MF 鈴木 崇記 2年／浜松芳川小→浜松東陽中


FW 井上 琢也 1年／広島県本郷小(ファニックス尾道)→広島県本郷中(サンフレッチェひろ)


MF 山田 大記 1年／浜松芳川北小(ジュビロ浜松)→浜松南陽中(ジュビロ浜北)


DF 原田 圭輔 1年／札幌吉田南小(札幌JFC)→札幌吉田中(札幌JY)


GK 村松 太介 1年／浜松白脇小→浜松南部中(ジュビロ浜北)

第51回 東海地区高校総合体育大会

藤枝東 2年連続優勝

東海高校総体は6月19日、20日に岐阜県大垣市浅中公園で行われ、藤枝東が2年連続の優勝を果たした

初戦で愛知（愛知2位）を破った藤枝東は、準決勝の暁（一重1位）戦も河津、滝田の得点で勝ち、決勝に進んだ 各務原（岐阜1位）との決勝では、前半に佐塚のFKを、一輪が頭で合わせて先制 後半に1点は追いつかれるが、終盤にコール前でボールを受けた滝田が躍り込み、決勝点を挙げた

試合結果

〈1回戦〉
藤枝東 3－1 愛知

〈準決勝〉
藤枝東 2－0 暁

〈決勝〉
藤枝東 2－1 各務原

第13回全日本高校女子サッカー選手権大会 東海地区予選

藤枝順心 初優勝 全国切符獲得

全日本高校女子サッカー選手権大会に藤枝順心高校が初出場する 今年は静岡市で開催され、8月3日に開会式が行われ、翌4日から競技に入る 各地域代表16校が4組に分かれてリーグ戦を争い、各組上位2校は準決勝トーナメントに進む

「まずは決勝トーナメント進出」が目標という藤枝順心 目標の先の優勝を目指して頑張ってほしい 決勝は10日にヤマハスタジアムで行われる（組み合わせは2面に掲載）

東海地区予選が6月26日、27日に一重県で行われ、藤枝順心が初優勝を果たし、初の全国行きを決めた

1回戦で愛知3位の旭丘に10対0と圧勝した藤枝順心は、準決勝で静岡1位の清水国際と対戦 ここでも7得点と力の差を見せつけて快勝し、1位3校にうえられる全国大会の出場権をあっさりと獲得した

決勝は県総体と同じ桐陽が相手 幾度か好機をつかむが、シュートは枠を捕えることができず、無得点のまま延長戦へ突入 延長でも相手の堅い守りを破れず、PK戦で競り勝った

試合結果

〈1回戦〉
藤枝順心 10－0 旭丘

〈準決勝〉
藤枝順心 7－0 清水国際

〈決勝〉
藤枝順心 0－0 桐陽
（PK5－4）

第34回 全国自治体職員サッカー選手権大会

藤枝市役所、大井川競技場が出場



今年度の中西部の重点行事（国際・全国大会を成功させる）の一つである、全国自治体職員サッカー選手権大会が7月23日から28日まで、藤枝市で開催される

23日には開会式が藤枝総合運動公園サッカー場で行われ（17時～）、試合は24日から始まり、決勝は28日に同会場で行われる

この大会に中西部勢では、前回優勝の藤枝市役所と、東海予選を勝ち抜いた大井川町役場が出場する 順当に勝ち上がれば、この両チームが準決勝で合まみえる 両チームの活躍と大会の成功を願いたい 一東海予選の結果と全国大会の組み合わせは2面に掲載

ゴール裏から―

中西部支部少年委員長になって

(財)静岡県サッカー協会
中西部支部４種委員長
池谷 多喜夫

私とサッカーのかかわりは昭和44年に大井川町役場に就職し、同時に課の上司が「君はサッカーが好きか」と聞かれ返事をしたのがきっかけで、今日までかかわってまいります その上司は藤枝東高校（当時志太中）卒業生で、指導のサークル部員とのことでした その時、大井川町にもサッカークラブを作らないかとの話があり、役所のサッカー好きな連中と私の周りの社会人の人たちを集め、中西部支部リーグに参加しました そうこうしているうちに大井川中学にナイター設備を社会教育課で2灯でしたが設置していただきました その時に、点灯式を兼ねて吉田町のサッカーチームと入れ替え戦をし、引き分けになりジャンケンで11人目まできて残留をしました 当時としては中学に夜間開放として、しかもサッカーのために（2）設置していただいたことは、我々にとって大変うれしく夜間練習に励みました さて、本題ですが委員長の立場になり私なりに、今後の中西部4種サッカーはどのようにしたらよいか考えてみました Jリーグもできて10年は経とうとしておりますが、Jリーグとサッカーとのかかわりが薄いことです 技術にしても番大切な基礎技術について現場とかけ離れた要求が多い、審判にしてもルール通りジャッジしてもJリーグではとらないのに一なぜとるのか一言われたことはあるかと思います また、1種では公式戦でコーチがガムを噛んでコーチングすることは許されません 理由は社会生活では通用しないためです コーチは日常でも子供の手本となるべき行動をしてほしいし、しなければならないと思います せひ、役員、指導者の方は、試合もすばらしいが日頃の行動もすばらしいと言ってもらえる選手を育てて欲しいと思います

なんたかんたいっても、委員長に推薦していただいたのは、周りの良い人のおかげになり、ご指導いただいたものと思います 恩返しの気持ちで人役ですが引き受けることに致しましたので、今後もご指導のほどよろしくお願いします

第34回 全国自治体職員サッカー選手権大会 東海予選

全国自治体職員サッカー選手権大会が6月12日、13日に岐阜県大垣市浅中公園で行われた静岡2位で出場した大井川町役場は、1回戦で三重県庁を破り、準決勝で豊田市役所と対戦し、1対1から延長戦に入りVゴールで勝利して決勝戦に進んだ。決勝では静岡市役所に敗れたが、2位となり、16年連続16回目の全国大会出場を決めた

大井川町役場
全国切符獲得

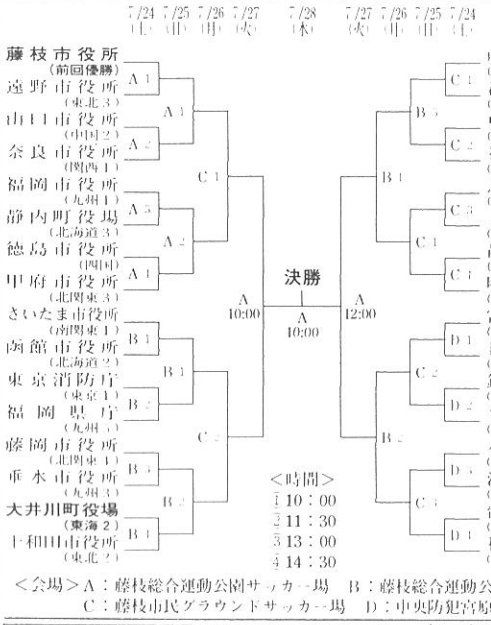
〈1回戦〉
大井川町 3―1 三重県庁
〈準決勝〉
大井川町 2―1 豊田市
延長Vゴール
〈決勝〉
静岡市 2―1 大井川町

試合結果

第34回全国自治体職員サッカー選手権大会

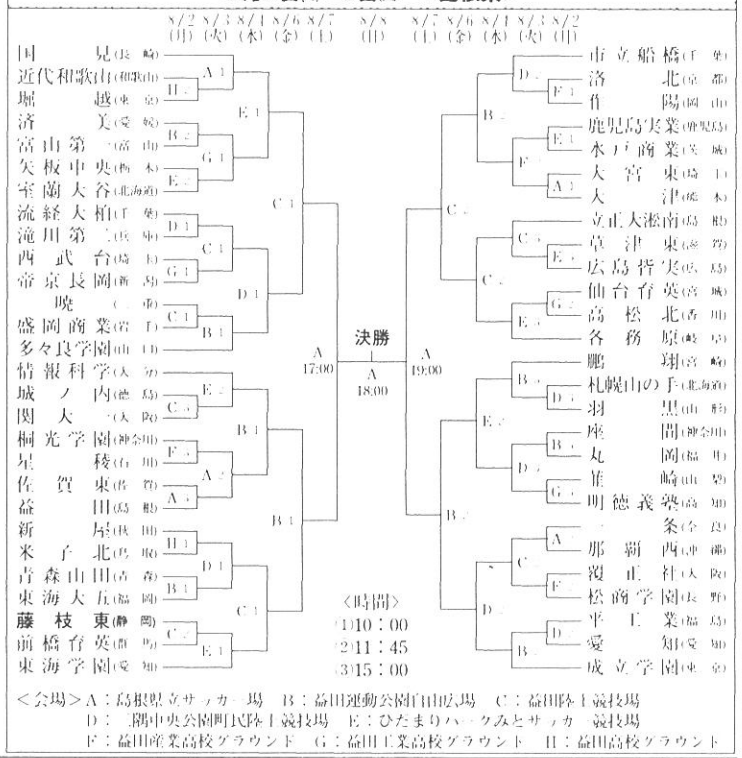
7月23日(金)～28日(水) 〈藤枝市〉

組み合わせ



平成16年度 全国高校総合体育大会 組み合わせ

8月2日(月)～8日(日) 〈島根県〉



〈会場〉A：島根県立サッカー場 B：益田運動公園江田広場 C：益田陸上競技場
D：三隅中央公園町民陸上競技場 E：ひだまりパークみとサッカー競技場
F：益田産業高校グラウンド G：益田工業高校グラウンド H：益田高校グラウンド

第4回深津杯 第9回中西部女子サッカー選手権大会 組み合わせ

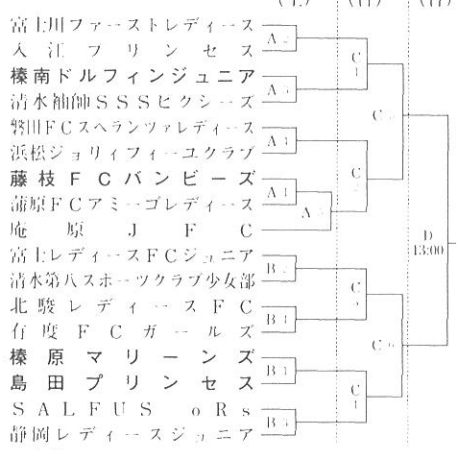
県大会出場を目指す



上位3チームが、全日本女子サッカー選手権静岡県大会（9月23日～）に出場

中西部4チームが出場 東海大会を目指す

2004フジパンCUP 女子ユースU―12サッカー大会 組み合わせ



優勝チームは東海大会（10月17日・三重県）に出場

第13回 全日本高校女子サッカー選手権大会

8月3日(火)～10日(火) 〈磐田市〉

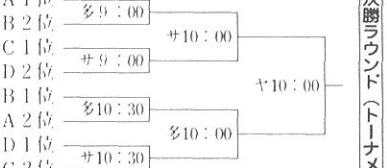
組み合わせ

Aグループ	福井工大附属福井（福井）	Cグループ	常盤木学園（宮城）
	吉原（静岡）		宇和島南（愛媛）
	聖和学園（宮城）		埼玉平成（埼玉）
Bグループ	日ノ本学園（兵庫）	Dグループ	藤枝順心（静岡）
	福岡雙葉女学院（神奈川）		桐陽（静岡）
	北海道文教大明清（北海道）		総社（岡山）
	豊田学園（福岡）		宮明女学院（兵庫）
			神村学園（鹿児島）

1次ラウンド（リーグ戦） 〈会場：ゆめりあサッカー場〉

試合日	時間	対戦
8/4(水)	17:00	藤枝順心―埼玉平成
8/5(木)	17:00	藤枝順心―宇和島南
8/6(金)	15:30	藤枝順心―常盤木学園

決勝ラウンド（トーナメント戦）



第9回 東海女子ユース（U―15）サッカー選手権大会

第9回全日本女子ユース(U―15)サッカー選手権大会 東海予選

静岡県選抜 優勝！ 全国大会へ

中西部勢2人参加

静岡県選抜の中西部メンバー

MF	長澤まとか	藤枝FCアミーガ（吉原北中）	3年
MF	木村 春奈	島田プリンセス（広合中）	3年

東海女子ユース（U―15）サッカー選手権大会が、7月11日に愛知県名古屋港サッカー場で行われ、静岡県選抜が優勝し全国大会出場を決めた。トーナメント戦で争われた1回戦で岐阜県と、決勝に進んだ静岡と三重の2チームが出場する

〈1回戦〉
静岡県 5―0 岐阜県
〈決勝〉
静岡県 3―2 三重県

試合結果

平成16年度 静岡県U―12トレーニングセンター開講

中西部勢3選手が参加

今年度の静岡県U―12トレーニングセンターが6月26日に開講した。2日のつま恋大会や6月に行われた全日本少年大会を参考にして選考された38名が参加し、中西部からは3名が選出された。県トレセンは来年2月まで6回開かれる



海野 智之（藤枝FC 藤枝）　斎藤 哲（藤枝FC 吉原）　長田 圭介（藤枝FC 吉原北）

第8回 日韓スポーツ交流事業・青少年スポーツ交流

静岡県選抜韓国派遣（小学生）

「2002年サッカーワールドカップ大会の日韓両国の共同開催決定を機に、幅広い年齢層を対象に各種のスポーツ交流を実施することによって、日韓両国の親善と友好をより一層深め、更には両国のスポーツの振興を図ること」を目的として、毎年、日韓で各種競技団体の交流が実施されている。8回目の今年は静岡県と熊本県の小・中学生を対象に、サッカーやバレーボールなどの競技で選手の派遣や受け入れが行われる。

サッカーは静岡県の小・中学生男子が対象となり、8月16日～22日の7日間で実施される。そして、韓国に派遣される小学生の静岡県選抜20名の中に、中西部から2名が選出された。韓国の小学生との合同練習や交流試合などが行われる予定

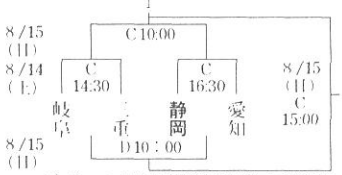
韓国派遣選手
長田 圭介（藤枝FC）
海野 智之（藤枝FC）

第19回 日本クラブユースサッカー選手権U―15大会 東海大会

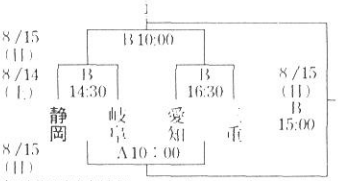
6月26日(土)

〈1回戦〉
FCフェルヴォーレ愛知 1―1 藤枝東FC
（PK4―3）

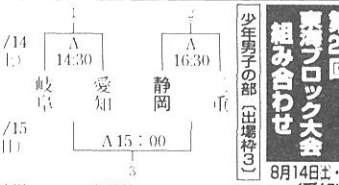
成年女子の部（出場枠2）



成年男子の部（出場枠2）



少年男子の部（出場枠3）



国民体育大会 第26回 東海ブロック大会 組み合わせ

8月14日(土)・15日(日) 〈愛知県〉

第9回 スルガカップ争奪 静岡県サッカー選手権大会

第84回天皇杯 全日本サッカー選手権大会静岡県予選

決勝大会 始まる

天皇杯予選を兼ねるスルガカップ争奪静岡県サッカー選手権大会は、予選トーナメントを勝ち抜いた2チームに、東海社会人リーグや大学、高校の代表チームが参加する決勝大会が、8月1日に始まる。中西部では藤枝市役所、中央防犯の東海リーグ勢2チームが出場し、天皇杯本大会出場を目指す。決勝は8月29日に草薙球技場で行われる。

予選トーナメント試合結果（中西部勢の結果のみ）

〈1回戦〉
- 藤枝明誠高校 1－0 FC浜松
- 吉田高校 6－0 静岡理工科大学
- FCペアーズ 3－0 御殿場FC
- 藤枝ネルソンCF 6－0 湖西FC
- 藤枝北高校 5－0 富士宮クラブ
- 静岡西高校 8－1 島田シニアSSC
- 藤枝明誠高校 0－0（PK4－3） 浜松医科大学
- FCペアーズ 3－1 清水FC

〈2回戦〉
- 藤枝ネルソンCF 2－1 ダイレクトスターズ
- 浜松大学FC 3－0 コスモスSSC
- 藤枝北高校 5－0 富士宮クラブ
- 藤枝明誠高校 0－0（PK4－3） 浜松医科大学
- FCペアーズ 3－1 清水FC
- 藤枝ネルソンCF 1－1（PK1－2） 吉田高校
- トヨタL&F静岡 1－1（PK5－4） 焼津豊田FC
- エルフシリーズ 2－2（PK5－4） 藤枝北高校

〈3回戦〉
- 焼津豊田FC 3－0 興誠クラブA
- 藤枝ネルソンCF 5－2 トヨタL&F静岡

〈4回戦〉
- 静岡ガイズ 4－0 FCペアーズ
- 静岡クラブ 4－0 藤枝明誠高校
- 佐川急便中京 3－2 焼津豊田FC
- 静岡ガス 1－0 藤枝ネルソンCF

スルガカップ 決勝大会 組み合わせ

8/1（日）　8/8（日）　8/15（日）　8/22（日）　8/29（日）

- 浜松大学（大学1）
- 藤枝市役所（東海L2）
- ヤマハ発動機（東海L1）
- 静岡大学（大学3）
- 静岡高校（高　校）
- 静岡スバル（県代表）
- 静岡産業大学（大学2）
- 浜松大学FC（県代表）
- 中央防犯（東海L3）
- 静岡FC（東海L1）

＜会場＞A：富士常葉大学G　B：藤枝市民G　C：エコハサブG　D：草薙球技場
＜時間＞①13：00　②15：15　※決勝14：04

決勝トーナメント 組み合わせ

7/18（日）　7/17（土）　7/11（日）　7/11（日）　7/17（土）　7/18（日）

- 藤枝東FC
- EWS・FC
- マツバラSC1994
- Honda FC
- ジュビロ掛川
- キューズFC
- FC. VERDURE
- 静岡城内FC
- 清水エスパルス
- エスパルスSS藤枝
- 藤枝明誠SC
- ジュビロ磐田
- ジュビロ沼津
- エスパルスSS静岡
- FCアスルクラロ沼津
- ジュビロ浜北

9・10位決定戦　C1　／　1・2位決定戦　C3　／　3・4位決定戦　C1　／　5・6位決定戦　C3　／　7・8位決定戦　C2

＜会場＞A：大井川町多目的G　B：大井川町河川敷G　A　C：鈴与保人工芝G　D：ヤマハ人工芝G
＜時間＞7/11～1 9：30　2 10：30　3 13：00　4 14：00
7/17・18～1 9：30　2 10：30　3 11：30　4 12：30　5 13：30　6 14：30

決勝トーナメント 試合結果

静岡JFC

静岡JFC	浜松FC	富士FC	清水FC	磐田FC	FCアスルクラロ沼津
3			1		
1	0		0	0	
7	0	0	2	4	1 0 2（3PK5）



FC島田 VS 静岡JFC

第27回 全日本少年サッカー大会 静岡県大会

6月6日(日)・12日(土)・13日(日)

FC島田 準々決勝で敗退

予選リーグ 最終順位

Aブロック

順位	チーム名	勝点	得失点差
1	静岡JFC	6	5
2	磐田FC	6	1
3	藤枝FC	3	－3
4	富士宮FC	3	－3

Bブロック

順位	チーム名	勝点	得失点差
1	富士JFC	9	8
2	FC浜名	4	2
3	榛原FC	4	1
4	オール庵原	0	－11

※3・4位は当該チームの対戦より

Cブロック

順位	チーム名	勝点	得失点差
1	清水FC	6	5
2	浜松JFC	6	4
3	焼津JFC	3	－2
4	三島FC	3	－7

Dブロック

順位	チーム名	勝点	得失点差
1	FCアスルクラロ沼津	9	18
2	FC島田	6	4
3	FC時之栖	3	－10
4	芳川北SSS	0	－12

第16回静岡県クラブユース（U－15）サッカー選手権大会

（第16回スルガカップ静岡県ユース（U－15）選手権大会クラブ代表決定戦）

中西部3チームが決勝トーナメントへ

静岡県クラブユース（U－15）選手権大会は、2次リーグまでが終了し、決勝トーナメントに進む8チームが決定した。これに、シードで1次・2次リーグを免除された日本クラブユース選手権県大会の上位8チームを加えた16チームで決勝トーナメントが争われる。

1次リーグから8組の上位2チーム計16チームが2次リーグに進み、4組に分かれて争われ、各組上位2チームが決勝トーナメントに進出。中西部ではエスパルスSS藤枝、藤枝明誠SC、FC. VERDURE、FCアスルクラロ沼津、ジュビロ磐田の5チームが勝ち上がり、シードの藤枝東FCが登場する決勝トーナメントは7月11日に始まり、18日に順位決定戦を行う。

1次リーグ 中西部勢の最終結果

A	ASAS・FC	2分2敗	4位
B	EWS・FC	4勝	1位
D	ACMブルックスFC	2勝2分	2位
E	エスパルスSS藤枝	4勝	1位
F	藤枝明誠SC	2勝2分(抽選)	1位
G	エスパルスSS榛原	1勝3敗	4位
H	焼津TMBFC	1勝1分3敗	5位

2次リーグ 中西部勢の最終結果

A	エスパルスSS藤枝	2勝1敗	2位
	ACMブルックスFC	1勝2敗	3位
B	藤枝明誠SC	2勝1分	1位
	EWS・FC	2勝1敗	2位

第11回 全国クラブチームサッカー選手権大会 静岡県大会 組み合わせ

中西部4チームが出場　東海大会を目指す

7/18（日）　7/25（日）　8/1（日）

- FC・FARRAGO
- はいからFC
- w2s wayfarers
- 横内FC
- ダイレクトスターズ
- FC. EASTERN 04
- 静岡クラブ
- 湖西FC
- FCベアーズ
- 裾野クラブ
- ヒアスポーツクラブFC
- 八取ユースサッカークラブ
- ALL OVER
- Wild HEARTS
- FC. BRITISH
- ヘイビーズ

＜会場＞A：静岡産業大学G（旧藤枝五十海G）　B：大井川町河川敷G・C：草薙球技場
＜時間＞1 10：00　2 11：30　3 13：00　4 14：30
優勝チームは東海大会（9月25日・26日、愛知県）へ出場

平成16年度 中体連 中学校総合体育大会 サッカー競技

志太・榛原支部大会

中体連の志太・榛原支部大会は6月26日～7月3日、11日に予選リーグが行われた29チームが8組に分かれて争われ、各組上位2チームの計16チームが決勝トーナメント進出を決めた。決勝トーナメントは7月11日に始まり、18日に準決勝と決勝が行われる。そして上位1チームが県大会の出場権を獲得する。

静岡県中学校総合体育大会 組み合わせ

7/27（火）　7/28（水）　7/30（金）　7/31（土）　8/1（日）　7/31（土）　7/30（金）　7/28（水）　7/27（火）

- 静岡1位
- 浜松1位
- 志太・榛原3位
- 田方・三島1位
- 磐周1位
- 沼津3位
- 静岡5位
- 浜名1位
- 沼津2位
- 志太・榛原2位
- 浜松5位
- 富士・富士宮1位
- 小笠1位
- 静岡4位
- 駿東2位
- 浜松1位
- 駿東1位
- 富士・富士宮2位
- 田方・三島2位
- 志太・榛原1位
- 静岡2位
- 磐周3位
- 清庵2位
- 浜松2位
- 浜松3位
- 静岡3位
- 富士・富士宮3位
- 清庵1位
- 加茂・東伊豆1位
- 志太・榛原4位
- 磐周2位
- 沼津1位

＜会場＞A：藤枝総合運動公園サッカー場　B：藤枝総合運動公園陸上競技場　C：藤枝市民グラウンド　D：富士陸上競技場　E：静岡市清水総合運動場　F：磐田安久路グラウンド
＜時間＞7/27～30＝1 9：30　2 11：00　3 12：30　4 14：00
7/31・8/1～1 10：00　2 11：30

決勝トーナメント 組み合わせ

7/11（日）　7/17（土）　7/18（日）

- 金谷
- 相良
- 豊田
- 御前崎
- 焼津
- 島洲
- 青島
- 高部
- 岡六合
- 西益津・瀬戸谷
- 榛原
- 大洲
- 大藤枝
- 初倉
- 小川・大井村
- 青島北

＜会場＞サ：藤枝総合運動公園サッカー場　陸：藤枝総合運動公園陸上競技場　民：藤枝市民グラウンド　大：大井川町陸上競技場
＜時間＞1 10：00　2 11：30　3 13：00
※天候により日時・会場が変更になる場合あり

予選リーグ最終順位

Aブロック

	勝点	得失点差	順位
金谷	6	8	1
小川・大村	3	0	2
川根	0	－8	3

Bブロック

	勝点	得失点差	順位
青島北	4	11	1
相良	4	3	2
東益津	0	－14	3

Cブロック

	勝点	得失点差	順位
六合	4	3	1
初倉	4	1	2
中川根	0	－4	3

Dブロック

	勝点	得失点差	順位
岡部	9	5	1
榛原	6	5	2
大井川	3	－3	3
和田	0	－7	4

Eブロック

	勝点	得失点差	順位
焼津	7	13	1
西益津瀬戸谷	7	13	2
島田第一	3	－4	3
広幡	0	－22	4

Fブロック

	勝点	得失点差	順位
藤枝	9	6	1
青島	4	4	2
吉田	4	－2	3
大富	0	－8	4

※1・2位はPK戦の結果による

Gブロック

	勝点	得失点差	順位
大洲	7	4	1
豊田	7	3	2
港	1	－2	3
附属島田	1	－5	4

Hブロック

	勝点	得失点差	順位
御前崎	5	4	1
高洲	5	3	2
菊川	4	－1	3
島田第一	1	－6	4

萩原昌明 会長 瑞宝小綬章 受章



今年の春の叙勲において、静岡県サッカー協会中西部支部会長の萩原昌明氏が、長年に渡る教育界での功績が認められ、瑞宝小綬章・教育功労を受章された。その受章を記念して、7月3日に藤枝エミオスで祝賀会が開かれ、石川嘉延県知事などにも来賓いただき、中西部のサッカー関係者100人ほどが集まり、受章を祝った。

萩原会長は藤枝東高校、藤枝明誠高校の校長を歴任されるなど、平成12年3月までの16年間、教育の現場に携わってこられた。そして、同年4月に県サッカー協会中西部支部会長に就任

第24回 静岡県中西部支部選抜少年サッカー大会

ミカサ杯争奪（4年生）組み合わせ

予選リーグ

7月17日(土)
金谷河川敷多目的広場

時間	対戦	Aブロック	Bブロック
9:00	(1)—(2)	①志太A	①志太B
9:40	(3)—(4)	②藤枝A	②島田B
10:20	(1)—(3)	③榛原A	③藤枝B
11:00	(2)—(4)	④島田A	④榛原B
11:40	(1)—(4)		
12:20	(2)—(3)		

※A・B共通

順位決定戦

時間	対戦	対戦
13:30	A2位—B2位	A4位—B4位
14:10	A1位—B1位	A3位—B3位

2004 SBSカップ国際ユースサッカー

開幕戦は藤枝総合運動公園

SBSカップ国際ユースサッカーが8月19日、20日、22日の3日間で開催され、海外からは、ブラジルとトルコのU－19代表チームを招き、さらにワールドユースのアジア予選を9月に控えるU－19日本代表を加えた4チームの総当たりで争われ、19日の初戦2試合が藤枝総合運動公園サッカー場で行われるU－19年代のハイレベルな試合が期待される。

●8月19日(木)　＜藤枝総合運動公園サッカー場＞

14:55	U－19日本代表 — U－19トルコ代表
17:15	静岡ユース — U－19ブラジル代表

●8月20日(金)　＜愛鷹広域公園多目的競技場＞

12:30	U－19ブラジル代表 — U－19トルコ代表
14:55	U－19日本代表 — 静岡ユース

●8月22日(日)　＜日本平スタジアム＞

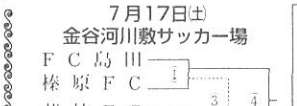
11:00	静岡ユース — U－19トルコ代表
13:30	U－19日本代表 — U－19ブラジル代表

	前売券	当日券
一般	1,300円	1,500円
高校生	600円	800円
中学生	300円	500円
小学生	200円	300円

※前売券は1枚で3日間有効(料金は税込)
一般券は1枚につき小学生以下1名無料

プーマ杯争奪（5年生）組み合わせ

7月17日(土)
金谷河川敷サッカー場



＜時間＞
1 10:00　2 11:00
3 13:00　4 14:00

第3回 フットサル施設交流会（小学3・4年生）

6月12日(土)

順位決定戦

（7・8位決定戦）エスペランサA 3—3 エスペランサB
（5・6位決定戦）YFC・A 2—0 YFC・B
（3・4位決定戦）HeroA 6—2 HeroB
（1・2位決定戦）ACEO 1—0 ACEO NEW

鈴村路子の もっと知りたいサッカー No.82

オリンピックの年　再び

ギリシアはアツいだろう

夏にエーゲ海と呼ばれる風が吹く高温乾燥の地中海性気候だからではない。Euro2004では予選から粘り強く戦い、決勝ではホルトガルに勝ってしまったし、8月にはいよいよオリンピックがある。私もアツくなって授業ではいつになく古代ギリシアを手帳に教え、ギリシア神話のトロイア戦争を描いた映画「トロイ」まで見に行ってしまった。ブラッド・ピットを見たかっただけ、と言えばそれまでだが、ブラピが演じたのはギリシア軍の英雄アキレス。かかとのすぐ上にあって足の運動に非常に重要なアキレス腱は、不死身の勇者アキレスの唯一の弱点だったことに由来する。

さて、古代オリンピックから約1500年の時を経て、1896年に近代オリンピックがアテネの地で復活し、それからさらに108年後の2004年、再びアテネの地でオリンピックが開催される。古代オリンピックは、記録上では紀元前776年が最初であるとされているが、その起源はさらに何百年も前に遡る神々を称える祝典として、ブラッドオリゴ1—0FC隼人
リアルジャパン 5—3 矢崎榛原

戦士たちの競技会が発展していった紀元前776年以来、4年ごとに開催されるようになり、この4年間を1周期（オリンピアード）とし、これを基準に年代も数えられるようになった。

ごめんなさい、今回はサッカーのサの字も出てきませんでした。オリンピックのことは、次回で詳しく！　この回続く

社会人シニア女子ユース リーグ戦（中西部勢の試合結果）

東海社会人リーグ1部　6月6日～27日

藤枝市役所 4—2 中央防犯
矢崎バレンテFC 4—3 美容クラブ
藤枝市役所 1—0 美容クラブ
静岡FC 4—1 中央防犯
藤枝市役所 1—0 コニカミノルタ
矢崎バレンテFC 2—0 ホンダ鈴鹿FC
藤枝市役所 6—3 静岡FC
中央防犯 2—1 コニカミノルタ
中京大学 3—0 矢崎バレンテFC

中西部社会人リーグ　6月13日・27日

藤枝市役所 1—0 美容クラブ
矢崎バレンテFC 1—1 中央防犯
〈1部〉
JOVI 3—1 K・F・A
NEZZA 3—1 LUZA
FAIR 3—2 瀬戸谷SC
AGO

〈2部〉
ダイレクトスターズ 2—1 S・K・YOSHIDA
志太SC 2—1 藤北クラブ
焼津FC 3—3 ベアーズ
瀬戸谷SC 2—2 ベアーズ
スクラッチ 6—3 サンワード
金谷チャレンジ 6—2 インヘリアル
1969 3—3 雑草クラブ
Zion 5—0 ブルーフラネット
ixs 4—2 1969
Zion 4—2 ブルーフラネット
雑草クラブ 4—0 ブルーフラネット
ヤザキ 5—1 サンロード
金谷チャレンジ 3—1 スクラッチ

〈3部B〉
藤枝築SC 4—0 シエスタ
白井産業 8—0 白虎隊
ツムラ 3—0 ブラッツ
オリゴ 4—0 FC隼人
リアルジャパン 5—3 矢崎榛原
ブラッツ 3—3 オリゴ
白井産業 11—1 FC隼人
ツムラ 3—2 藤枝築SC
アルディシエスタ 1—1 藤島田

東海社会人リーグ1部　8月の日程（中西部勢と中西部内会場の試合のみ）

8/1(日)	コニカミノルタSC豊田 — 矢崎バレンテFC	シロキSEGグラウンド	14:00

7・8月のその他の予定

- 静岡県社会人リーグ1・2・3部
- 中西部社会人リーグ1・2・3部
- 静岡県女子リーグ
- 中西部女子リーグ
- 静岡県ユースリーグA・B・Cリーグ
- 中部ユースリーグ
- 第21回長池杯高校サッカー大会　8月6日(金)、7日(土)
- 第9回静岡県ジュニアユースフットサル大会　中西部予選
  8月7日(日)　＜焼津フットサル場＞
- 第25回さなるカップ静岡県中学1年生サッカー大会
  中体連・中西部予選　8月14日(土)、15日(日)、21日(土)、28日(土)　＜焼津地区＞
  クラブ・中西部予選　7月28日(水)～8月15日(日)
- 第25回島田招待少年サッカー大会
  7月24日(土)・25日(日)　＜島田市民サッカー場他＞
- 藤枝市制50周年事業・藤枝市体育協会創立50周年記念
  第31回藤枝市ＪＣ杯争奪全国少年サッカー大会
  8月14日(土)～16日(日)　＜藤枝総合運動公園他＞
- 第24回焼津招待少年サッカー大会　8月14日(土)、15日(日)
- 中西部理事会　8月6日(金)　・中西部審判委員会　7月18日(日)
- 平成16年度日本サッカー協会公認C級コーチ養成講習会

(財)静岡県サッカー協会中西部支部　事務局
〒421-0206　大井川町上新田292-1　大井川高校内・鎌田晴治理事長
TEL054-622-3411　FAX054-622-3472
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

静岡県ユースリーグ

6月19日・20日・26日

〈Bリーグ〉
藤枝西 0—0 富士東
藤枝北 1—1 静岡西
藤枝西 2—2 静岡西
藤枝南 3—1 藤枝北

静岡県女子リーグ

6月13日・20日

桐陽高校 1—0 藤枝姉妹FC
静岡産業大学 2—0 清水FC
静岡産業大学 5—0 桐陽高校
藤枝姉妹FC 3—1 吉原高校

プリンスリーグ東海U－18

6月12日・26日

ジュビロ 3—2 藤枝東
静岡学園 1—0 藤枝東

静岡県シニアリーグ

6月20日・27日

〈シニア40〉
藤枝FC 2—1 すそのシニアFC
清水クラブOB 3—1 焼津飛魚SC

〈シニア50〉
焼津飛魚 1—1 藤枝FC

〈シニア60〉
中西部60 6—0 東部60

コンディショニングアドバイス

〈熱中症〉

暑い環境で生じる障害の総称

熱中症とは

熱失神
皮膚血管の拡張によって血圧が低下し、脳血流が減少しおこるもので、めまい、失神がみられ顔面蒼白となり、脈が速くなる

熱疲労
脱水による症状で、脱力感、倦怠感、めまい、頭痛、吐き気がみられる

熱痙攣（ねつけいれん）
大量に汗をかき水だけを補給し血液の塩分濃度が低下した時に足、腕、腹部の筋肉が痛くなるような痙攣がおこる

熱射病
体温の上昇のため中枢機能に異常をきたし、意識障害（応答が鈍い、行動がおかしい、意識がない）がおこり死に至るが最も高い

【熱中症の予防】
○環境条件を把握し、それにあった運動をする
○疲労の回復状態や体調の管理をするために、運動前後に体重を量る
○睡眠を十分にとる
○汗からは水以外に塩分も失われるので、水分の補給には水と塩分をとる
○疲労、発熱、風邪、下痢など体調の悪い時には無理をしない

【万一のための救急処置】

熱失神・熱疲労
涼しい場所（日陰など）に運び、衣服をゆるめて寝かせ、水分補給すれば通常は回復する。足を高くし、手足を末梢から中心部に向けてマッサージをするのも効果的。嘔吐や吐き気を伴った場合は病院に運ぼう

熱痙攣
生理食塩水（0.9%）を補給する。なければスポーツドリンクを飲ませよう

熱射病
死の危険のある状態。体温をすばやく下げるには身体に水をかけたり濡れタオルを当てて扇いだり、首、脇の下、股間の太い血管のある部分にアイスパックや氷を当てる方法もある。
『身体を冷やし一刻も早く病院に運ぶ必要がある』

参考文献
日本体育協会 アスレティックトレーナーテキストⅡ・熱中症予防ガイドブック

JR西焼津駅北口駐車場
（有）入山一
TEL & FAX 054-628-7383

レッカー作業24時間対応
M・K/Cars co. RS24
TEL 054-625-1722
焼津市三衛門新田379-1
㈲エム・ケイ自動車

パソコン資格の強い見方！
Microsoft Office Specialist
（教育訓練給付金指定講座あります）
パソコンのことならお任せください
TOKAIパソコン教室島田校
島田市御仮屋町7454-1 (0547)34-3529

警備保障 株式会社 中央防犯

拡げます デジタルネットワーク
共立印刷株式会社

YAIZU FUTSAL倶楽部
ICHIMARU SPORTS VILLA
〒425-0052　焼津市田尻1122
お問い合せ　054（625）0011(代)
ご 予 約　0120－210812
ICHIMARU SPORTS VILLA

めざせ ワールドカップ
清水屋スポーツ
藤枝市本町3丁目6－8
☎(054)641－1358
フットボールギア
藤枝市前島1丁目6－3
☎(054)636－6108

ビジネスホテル シルビア
〒426-0022 静岡県藤枝市稲川1丁目11－48
TEL 054－643－0500(代)

中西部
ヤングサッカーニュース
2004 8
発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部理事長　鎌田昌治　企画構成編集責任者／滝本義三郎

国際大会を成功させよう！

AFCU－17選手権大会2004 藤枝で開催　9月4日(土)～18日(土)

静岡県サッカー協会中西部支部の今年度の重点目標の一つである「国際・全国大会を成功させる」の対象となる国際大会、AFC・U－17選手権大会が、9月4日から18日まで、藤枝総合運動公園サッカー場を主会場に開催される。来年ヘルシンキで開催予定のU－17世界選手権の予選となるこの大会は、1次予選を勝ち抜いた15か国に開催国の日本を加えた16か国で争われる。4組に分かれてリーグ戦を行い、各組2位までが決勝トーナメントに進み、上位3か国が世界大会の出場権を得る。藤枝では日本の入ったグループAとグループCのリーグ戦に、準々決勝2試合と決勝、3位決定戦が行われる。

U－16日本代表が世界を目指す

来年開催されるU－17世界選手権は17歳以下の選手が対象となるため、その予選となるこのアジア大会は今年の16歳以下の選手で行われ、U－16日本代表が出場する。今後の日本を支える若い選手たちが世界を目指すこの大会を、応援し成功させよう

A	中国	日本	朝鮮民主主義人民共和国	タイ
B	韓国	ベトナム	ラオス	オマーン
C	インド	マレーシア	クウェート	イラン
D	ウズベキスタン	カタール	イラク	バングラデシュ

第34回全国自治体職員サッカー選手権大会

藤枝市役所　地元開催で　3年連続22度目の優勝！



藤枝市で開催された全国自治体職員サッカー選手権大会は、7月23日に藤枝総合運動公園サッカー場で行われた開会式で、藤枝市役所の相馬茅重主将が選手宣誓を行い開幕。そして、28日の決勝戦で藤枝市役所が秋田市役所を破り、3年連続22度目の優勝を飾って幕を閉じた。

1回戦から危なげない試合で勝ち上がった藤枝市役所は、決勝戦でも秋田市役所を相手に前半から優位に進めた。2分に松浦の得たPKを河村が決めると、11分、25分と続けて平がゲット。後半早々にも宮崎のヘディングシュートが決まり突き放すと、25分には水井のセンタリングを受けた杉山が右Kをかわしてダメ押しの5点目を奪い快勝した。



試合結果

大井川町役場　VS　千和田市役所

大井川町役場はベスト8

初戦で千和田市役所と対戦した大井川町役場は、押し気味に進めるも詰めを欠き、後半19分に奪った大石の1点で辛勝。2回戦は快勝したが、さいたま市役所との準々決勝では、前半に2点を失うと、後半に大石の得点で1点を返すにとどまり惜敗した。

〈1回戦〉
藤枝市役所　1－1　(PK4－3)　磐野市役所
大井川町　1－0　千和田市役場

〈2回戦〉
藤枝市役所　7－1　奈良市役所
大井川町　6－0　磐田市役場

〈準々決勝〉
藤枝市役所　7－1　鶴島市役所
大井川町　2－1　さいたま市役所

〈準決勝〉
藤枝市役所　1－0　大井川町役場

〈決勝〉
藤枝市役所　5－0　秋田市役所

第13回 全日本高校女子サッカー選手権大会

藤枝順心高校　ベスト8



藤枝順心　VS　常盤木学園

校女子サッカー選手権大会に初出場した藤枝順心が、予選リーグを突破し、ベスト8入りした。

明年からリーグ戦が導入され、参加16チームが4組に分かれて予選リーグを行い、各組上位2の8校が決勝トーナメントに進み日本一を目指した全日本高校女子サッカー選手権大会が、8月3日から10日まで磐田市で開催された。

藤枝順心は初戦で埼玉平成に前半1分、青島の右CKを北原が頭で合わせて先制したが4分後に同点とされ、そのまま引き分けた第2戦の宇和島南（愛媛県）には、開始早々に長谷川と福岡が続けて決めて主導権を握った。30分には鈴木のコールでリードを広げると、後半に1点を返されるが、終盤に杉本、北原が加点し5点を奪い、全日勝利を挙げた。3戦目の相手は準優勝した常盤木学園（宮城県）。前半に3点を奪われ敗れるも、後半は堅守で失点を防ぎ、勝点で埼玉平成と並んだが、得失点差で1日休み、ブロック2位で決勝トーナメント進出を決めた。

決勝トーナメント1回戦は優勝した神村学園（鹿児島県）と対戦し、前半14分に失点したが、2分後に鈴木が蹴り込み同点としたが、21分に勝ち越されると、後半は5点を奪われ完敗。準決勝進出はならなかった。

厳しい試合を経験した全国大会この経験を次に生かしたい

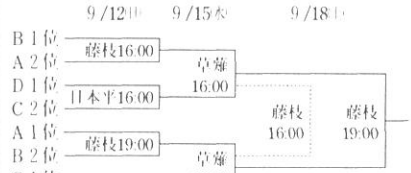
予選リーグ（Cグループ）
常盤木学園　8－1　宇和島南
藤枝順心　1－1　埼玉平成
常盤木学園　3－0　埼玉平成
藤枝順心　5－1　宇和島南
常盤木学園　3－0　藤枝順心
埼玉平成　5－2　宇和島南
【順位】1常盤木学園（勝点9－(2藤枝順心(同4)
埼玉平成(同1)－宇和島南(同0)　※2・3位は得失点による

決勝トーナメント
〈準々決勝〉
神村学園　7－1　藤枝順心

グループリーグ組み合わせ（県内の会場の試合のみ）

日付	時間		対戦		会場
9/4(土)	16:30	A	中国－タイ		藤枝
	19:00	A	日本－朝鮮民主主義人民共和国		藤枝
9/5(日)	16:30	C	インド－イラン		藤枝
	19:00	C	マレーシア－クウェート		藤枝
9/6(月)	16:30	A	タイ－日本		草薙
	19:00	A	朝鮮民主主義人民共和国－中国		草薙
9/7(火)	16:30	C	イラン－マレーシア		日本平
	19:00	C	クウェート－インド		日本平
9/8(水)	19:00	A	中国－日本		藤枝
	19:00	A	タイ－朝鮮民主主義人民共和国		日本平
9/9(木)	19:00	C	インド－マレーシア		藤枝
	19:00	C	イラン－クウェート		日本平

決勝ラウンド組み合わせ



＜会場＞藤枝：藤枝総合運動公園サッカー場
草薙：草薙陸上競技場　日本平：日本平球技場

JFAプリンスリーグU－18東海2004

藤枝東高校　3位で全日本ユース出場権獲得

プリンスリーグU－18東海は7月17日に全日程を終了し、藤枝東が3位となり、全日本ユース（U－18）サッカー選手権大会の出場権を獲得した。

開幕から2連勝で好発進した藤枝東は、3節で清水エスパルスと引き分けたが、直接コールに吸い込まれ、ついに同点に追いつかれ、試合はこのまま終了し、全国への最低条件の引き分けに勝点1を奪い取った。

なお、全日本ユース（U－18）サッカー選手権大会は、9月25日から藤枝総合運動公園などで開催される。

プリンスリーグU－18東海　最終成績

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得点	失点	得失点
1	ジュビロ磐田	9	0	0	27	37	7	30
2	清水エスパルス	5	3	1	18	21	9	12
3	藤枝東高校	5	2	2	17	19	8	11
4	名古屋グランパスエイト	5	1	3	16	25	13	12
5	静岡学園高校	5	1	3	16	16	10	6
6	浜名高校	3	3	3	12	7	9	−2
7	四日市中央工業高校	3	1	5	10	16	23	−7
8	東邦高校	3	1	5	10	14	21	−7
9	暁高校	0	1	8	1	1	27	−26
10	岐阜工業高校	1	1	8	1	5	34	−29

第59回 国民体育大会　サッカー競技

成年男女・少年男子の全種別本大会出場　中西部関連選手の活躍に期待

埼玉県で開催される第59回国民体育大会サッカー競技が9月10日から14日までの5日間で行われる。静岡県は成年男子・成年女子・少年男子の3種別ともに出場する。成年男子は川越市とさいたま市、成年女子は越谷市、少年男子はさいたま市が会場となる。

成年女子（出場枠2）
〈1回戦〉
静岡県　1－0　愛知県
〈第1代表決定戦〉
静岡県　1－0　静岡県
〈第2代表決定戦〉
静岡県　1－0　愛知県

少年男子（出場枠3）
〈第2代表決定戦〉
静岡県　3－0　静岡県
〈第3代表決定戦〉
静岡県　3－0　岐阜県

東海ブロック大会

8月14日・15日の両日に行われた東海ブロック大会で、静岡県は成年男女、少年男子の全種別で本大会の出場権を獲得し、中西部関連の選手もそれぞれに貢献した。

成年男子（出場枠2）
〈1回戦〉
静岡県　3－0　岐阜県
〈第1代表決定戦〉
静岡県　3－0　静岡県
〈第2代表決定戦〉
静岡県　1－0　静岡県
〈第2代表決定戦〉
静岡県　1－0　岐阜県延長Vゴール

成年男子　静岡県選抜

GK	大塚	智紀	芙蓉クラブ（藤枝東高出身）
DF	鈴東	延一	芙蓉クラブ（藤枝東高出身）
DF	山田	憲司	焼津クラブ
DF	松浦	寿幸	藤枝市役所
MF	河村	憲生	藤枝市役所
MF	牧野	直樹	藤枝ネルソンCF
FW	平	憲人	藤枝市役所
FW	小長谷	大介	芙蓉クラブ（藤枝東高出身）
FW	武本	将史	芙蓉クラブ（藤枝東高出身）

成年女子　静岡県選抜

DF	杉山	紫乃	藤枝順心高校
MF	遠山	さゆり	清水第八SC（藤枝西高出身）
MF	長谷川	絵梨	藤枝順心高校
MF	杉山	祐香	藤枝順心高校
補欠選手	寺田	美香	富士見FC（藤枝西高出身）

少年男子　静岡県選抜候補

GK	神月	健平	藤枝東	2年
DF	小関	佑典	藤枝東	3年
MF	赤星	貴文	藤枝東	3年
MF	柴田	公章	藤枝東	3年
FW	松島	寛希	清水商業（藤枝中出身）	3年

平成16年度 全国高校総合体育大会　サッカー競技

藤枝東　初戦敗退

藤枝東は、8月1日に藤枝総合サッカー競技場で行われた全国高校総体サッカー競技に出場した。藤枝東は、8月1日1回戦で前橋育英と対戦し、1対1の同点でPK戦になり惜敗した。前半32分に先制を許したが、その2分後に鈴木のミドルシュートで追いついた。後半は幾度も決定機をつくるがシュートは枠をとらえきれず、PK戦へともつれ込み、相手が1人目まで決めたのに対し、藤枝東は2人が止められ力尽きた。初戦で涙をのんだ。

試合結果
前橋育英　1－1　藤枝東
（PK4－3）

スルガカップ2004
静岡県ユース(U―15)サッカー選手権大会 静岡県予選
兼・第16回高円宮杯全日本ユース(U―15)サッカー選手権大会静岡県予選

中西部勢4チームが出場

高円宮杯県予選を兼ねるスルガカップ静岡県ユースU―15サッカー選手権大会が、9月11日に開幕する。中西部からは、クラブ代表決定戦を勝ち上がった藤枝明誠SC、FC、EWS・FC、エスパルスSS藤枝、県中学総体でベスト6に入り出場権を得た六合中の4チームが出場する。

この大会はこれまで参加16チームによるトーナメント方式で争われていたが、日本協会キャプテンズ・ミッションの、リーグ戦の導入により、今回から1次ラウンドと2次ラウンドに分けて行われ、1次でリーグ戦が実施されることになった。1次ラウンドは1組に分かれて争われ、各組上位2の8チームが2次ラウンドのトーナメント戦に進む。そして、上位2チームが東海大会の出場権を獲得する。

ブロック分け

Aブロック		Bブロック	
1	Honda FC	F.C.VERDURE	
2	EWS・FC	キョーズFC	
3	ジュビロ掛川	浜松開誠館中	
4	六合中	天竜中	
Cブロック		**Dブロック**	
1	ジュビロ沼津	清水エスパルス	
2	藤枝明誠SC	FCアスルクラロ沼津	
3	エスパルスSS藤枝	吉原第一中	
4	東海大翔洋中	常葉学園橋中	

※ジュビロ掛川・ジュビロ沼津・浜松開誠館中、吉原第一中が全国大会でそれぞれ決勝に進出した場合、1次ラウンドには出場せず、そのブロックは3チームでリーグ戦を行う。

1次ラウンド組み合わせ

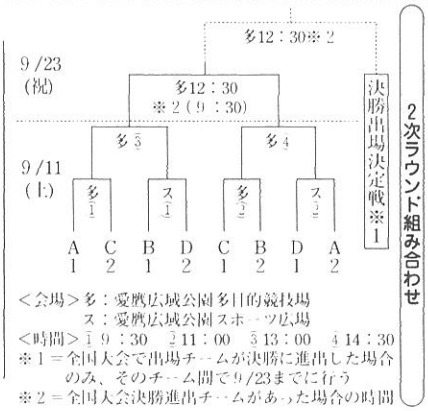
9/4(土)	A・B・D		C		
	9:00	1―2	会場	陸上	宮原
	10:30	3―4	9:30	1―2	3―4
	13:30	2―3	12:30	1―4	2―3
	15:00	1―4			

9/5(日)	A・B・C・D		
会場	富士	裾野	
9:30	A1―3	A2―4	
11:00	B1―3	B2―4	
12:30	C1―3	C2―4	
14:00	D1―3	D2―4	

＜会場＞
9/4＝A：安久路公園G
B：草薙球技場
C陸上：藤枝総合陸上競技場
C宮原：ACM宮原G
D：清水総合運動場
9/5＝富士：富士総合陸上競技場
裾野：裾野市陸上競技場

ラウンドには出場せず、そのチーム間で決勝出場決定戦を行い、その代表と2次ラウンドでトーナメント戦を勝ち上がったチームとで対戦し県ナンバー1を決める。この場合の東海大会出場は、1次ラウンドから勝ち上がった2チームとなる。

2次ラウンド組み合わせ



＜会場＞多：愛鷹広域公園多目的競技場
ス：愛鷹広域公園スポーツ広場
＜時間＞1 9：30　2 11：00　3 13：00　4 14：30
※1＝全国大会で出場チームが決勝に進出した場合のみ、そのチーム間で9/23までに行う
※2＝全国大会決勝進出チームがあった場合の時間

決勝トーナメント（中西部勢と上位の試合結果）

〈1回戦〉
藤枝東FC 1―1 FC（PK5―4）
EWS・FC 1―0 エスパルスSS藤枝

〈2回戦〉
藤枝明誠SC 0―0 ジュビロ磐田（PK6―5）
Honda FC 2―1 EWS・FC
清水エスパルス 4―1 藤枝明誠SC
ジュビロ磐田 2―1 エスパルスSS藤枝
ジュビロ掛川 3―0 藤枝東FC
エスパルス藤枝 2―1 ジュビロ掛川（PK5―4）

〈5～8位決定戦〉
キョーズFC 2―1 FC
藤枝明誠SC 8―3 FCアスルクラロ沼津

〈7・8位決定戦〉
FCアスルクラロ沼津 0―0 EWS・FC（PK3―2）

〈5・6位決定戦〉
キョーズFC 3―1 藤枝明誠SC

〈3・4位決定戦〉
ジュビロ沼津 1―0 F.C.VERDURE

〈決勝〉
Honda FC 1―0 清水エスパルス

第16回 静岡県クラブユース(U―15) サッカー選手権大会

第16回スルガカップ静岡県ユース(U―15)サッカー選手権大会・クラブ代表決定戦

3チームがスルガカップ出場権獲得

スルガカップ県大会の予選を兼ねる、静岡県クラブユース(U―15)サッカー選手権大会の決勝トーナメントが、7月11、17、18日の3日間で行われ、10代表が決定した。中西部勢では、日本クラブユース県大会1位で第1シードの藤枝東FCとの中西部対決を制したEWS・FC、第6シードのジュビロ磐田を破ったエスパルスSS藤枝、県中学総体ベスト6の六合中の3チームが出場権を獲得した。

決勝トーナメント（中西部勢と上位の試合結果）

〈1回戦〉
EWS・FC 1―1 藤枝東FC（PK5―4）
清水エスパルス 5―0 エスパルスSS藤枝

初戦は破れたが、その後のシード勢との対戦を勝ち上がったエスパルスSS藤枝の3チームが出場権を獲得した藤枝明誠SC、そして、

第52回 静岡県中学校総合体育大会 サッカー競技

六合中学校 スルガカップ出場権獲得

7月27日～8月1日に中西部内で行われた静岡県中学総体で、中西部1位の六合がベスト6に入り、6チームに与えられるスルガカップ静岡県ユース(U―15)選手権大会の出場権を獲得した。準々決勝に進んだ六合は浜松開誠館に敗れ、スルガカップ最後の代表を決める、戦に臨んだ相手は暁秀。前半は押されながらも、相手シュートミスにも助けられ無得点で折り返す。後半1分に左サイドを突破されて先制を許したが、徐々にサイド攻撃が機能しだし、16分に外村のシュートで同点とした。さらに20分、青島竜の右CKからDFのクリアボールを右足で拾い、そのまま逃げ切って勝利をつかんだ。

〈1回戦〉
青島北 2―1 沼津愛鷹
六合 4―0 三島中郷
御前崎 2―0 伊東南
浜松東部 4―1 青島北
吉原第一 4―0 岡部
暁秀 2―0 御前崎
天竜 3―2 浜松東部
六合 2―1 暁秀

〈準々決勝〉
浜松開誠館 6―0 六合
吉原第一 0―0（PK5―4）常葉橋
浜松開誠館 3―3（PK5―4）東海大翔洋

〈準決勝〉
吉原第一 0―0（PK5―4）浜松開誠館

〈決勝〉
浜松開誠館 1―1 吉原第一

〈スルガカップ代表決定戦〉
六合 1―0 浜松開誠館

平成16年度 中体連志太・榛原支部大会 女子サッカー競技

7月27日㈫・28日㈬

優勝 榛原中学校

リーグ戦試合結果

榛原中 2―1 高洲中
榛原中 1―0 六合中
六合中 5―0 大井川中
榛原中 0―0 高洲中
榛原中 1―0 大井川中
六合中 0―0 高洲中
（PK4―3）
【順位】①榛原中②六合中③高洲中④大井川中

平成16年度 中体連 中学校総合体育大会 サッカー競技

六合中学校 優勝 4校が県大会へ出場

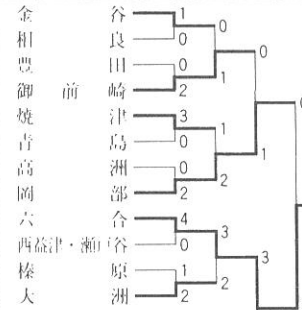
中学総体、志太・榛原支部大会は、予選リーグを勝ち上がった16チームで決勝トーナメントが行われ、最終日の7月18日にはベスト4が激突した。準決勝、御前崎と岡部の一戦は、終盤に挙げた杉山のゴールが決勝点となり、岡部が接戦を制した。六合と青島北の対戦は、前半に青島北が先制したが、六合が後半に3点を奪い逆転勝利した。

岡部と六合の対戦となった決勝は、序盤に岡部が中盤を支配し優位に進めたが、20分過ぎからは六合がサイドを使えるようになり押し気味に進めるが、ともに得点なく迎えた後半に試合は動いた。六合が7分に松浦晃のクロスを青島健が決めて先制。28分にも園田からボールを受けた松浦晃が折り返すと、逆サイドにいた有馬がボレーで合わせて豪快にネットを揺らした。岡部は疲れが見え、選手を入れ替えて臨んだが反撃ならず、六合が優勝を飾った。

なお、六合、岡部、青島北、御前崎の4校が県大会出場を決めた。

決勝トーナメント 試合結果

優勝：六合　準優勝：岡部
3位：青島北・御前崎



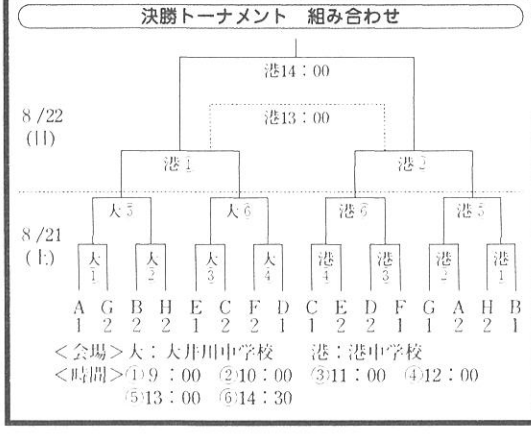

藤枝明誠ＳＣ


六合中学校


エスパルスＳＳ藤枝


ＥＷＳ・ＦＣ

決勝トーナメント 組み合わせ



＜会場＞大：大井川中学校　港：港中学校
＜時間＞①9：00　②10：00　③11：00　④12：00
⑤13：00　⑥14：30

予選リーグ組み合わせ

	ブロック	A・E	B・F	C・G	D・H
	会場	豊田中	小川中	大井川中	大富中
8/14(土)	9:00	A1―3	F1―4	G1―4	H1―4
	10:00	E1―3	F2―3	G2―3	H2―3
	11:00		B1―3	C1―3	D1―3
	12:00	A2―3			
	13:00	E2―3	F1―3	G1―3	H1―3
	14:00		F2―4	G2―4	H2―4
8/15(日)	9:00	A1―2	B2―3	C2―3	D2―3
	10:00	E1―2	F1―2	G1―2	H1―2
	11:00		F3―4	G3―4	H3―4
	12:00		B1―2	C1―2	D1―2

2004さなるカップ争奪 第25回 静岡県中学一年生サッカー大会

中体連チーム 中西部地区予選

昨年から中体連チームとクラブチームが分かれて大会を行うことになった、静岡県中学一年生大会。中体連の中西部地区予選が8月14日に始まった。27チームが参加して、8組に分かれて予選リーグを行い、各組上位2の16チームが8月21日、22日の決勝トーナメントに進む。そして、上位3チームが10月に行われる県大会に出場する。

ブロック分け

	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック
1	六合	榛原	附属島田	大富
2	御前崎・初倉	川根	広幡	島田第一
3	豊田・大村	小川	相良	吉田
	Eブロック	**Fブロック**	**Gブロック**	**Hブロック**
1	和田	青島北	西益津・瀬谷	港
2	東益津	青島	高洲	焼津
3	岡部	金谷	島田第一	大洲
4		藤枝	大井川	葉梨

第9回 全日本女子ユース(U－15)サッカー選手権大会

8月20日(金)～25日(水)（Jヴィレッジ）

静岡県選抜が出場　中西部勢2人参加

全日本女子ユース（U－15）選手権大会が8月20日から25日まで、福島県Jヴィレッジで開催され、東海大会で優勝した静岡県選抜が出場する。県選抜メンバーには中西部から2人が選出された。

全国9地域の代表16チームが参加し4組に分かれて争うグループリーグで敗退した静岡県選抜は今年こそ初優勝を目指す。

静岡県選抜の中西部メンバー

MF	長澤まどか	藤枝FCアミーガ（吉永中）	3年
MF	本村　春奈	島田フリンセス（六合中）	3年

グループ分け

Aグループ	鹿児島県選抜	Bグループ	神奈川県選抜
	福島県選抜		大阪府選抜
	東京都選抜		三重県選抜
	石川県選抜		広島県選抜
Cグループ	北海道選抜	Dグループ	兵庫県選抜
	福岡県選抜		栃木県選抜
	静岡県選抜		宮城県選抜
	埼玉県選抜		徳島県選抜

組み合わせ

期日	時間	対戦			会場
8/21（土）	9：30	北海道	－	福岡県	c
	11：00	**静岡県**	－	埼玉県	c
8/22（日）	9：30	北海道	－	**静岡県**	c
	11：00	福岡県	－	埼玉県	c
8/23（月）	9：30	北海道	－	埼玉県	c
	9：30	福岡県	－	**静岡県**	d

<会場>c：ヒッチc　d：ヒッチd

グループリーグ

むえん決勝トーナメントが行われる。昨年はグループリーグで敗退した静岡県選抜

決勝トーナメント

8/24（火）　8/25（水）

A1位
9:30
B1位
C1位
10:00
11:00
D1位

第6回 静岡世界少年サッカー大会

8月28日は藤枝総合運動公園で開催

静岡世界少年サッカー大会が、8月27日から29日までの3日間で開催され、2日目の28日には藤枝総合運動公園を会場に試合が行われる。今回は2002年のW杯の際、藤枝でキャンプを行ったセネガルから選抜チームが参加するなど、海外から7チームを招き、県内5支部の各県選抜チーム1チームが参加して、試合などを通して交流を深める。

参加チーム　ブロック分け

Aブロック	コンコルディア・ハンブルク（ドイツ）	
	セネガル選抜（セネガル）	
	ハバロフスク選抜（ロシア）	
	済州道選抜（韓国）	
	中西部選抜	
	中東部選抜	
Bブロック	サンハウロFC（ブラジル）	
	フィエノールト（オランダ）	
	浙江省選抜（中国）	
	西部選抜	
	東部選抜	
	中部選抜	

予選リーグ　順位決定戦

	愛鷹スポーツ広場		愛鷹多目的競技場	
8月27日(金)	9:30	中東部－**中西部**	9:30	東部－中部
	10:30	韓国－ロシア	10:30	西部－中国
	11:30	ドイツ－セネガル	11:30	ブラジル－オランダ
	14:30	中東部－ロシア	14:30	中部－中国
	15:30	韓国－セネガル	15:30	東部－ブラジル
	16:30	**中西部**－ドイツ	16:30	西部－オランダ
	藤枝総合サッカー場		藤枝総合陸上競技場	
8月28日(土)	9:30	中東部－セネガル	9:30	東部－中国
	10:30	**中西部**－ロシア	10:30	中部－オランダ
	11:30	韓国－ドイツ	11:30	西部－ブラジル
	14:30	**中西部**－セネガル	14:30	東部－オランダ
	15:30	ロシア－ドイツ	15:30	中国－ブラジル
	16:30	中東部－韓国	16:30	中部－西部
	エコパ補助競技場		エコパ多目的広場	
8月29日(日)	9:30	ロシア－セネガル	9:30	中国－オランダ
	10:30	中東部－ドイツ	10:30	中部－ブラジル
	11:30	韓国－**中西部**	11:30	東部－西部
	静岡スタジアム・エコパ		エコパ補助競技場	
	14:00	5・6位決定戦	14:00	11・12位決定戦
	15:00	3・4位決定戦	15:00	9・10位決定戦
	16:30	決勝戦	16:00	7・8位決定戦

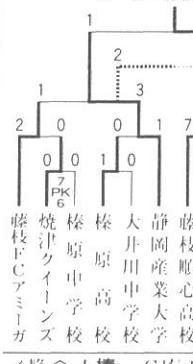
予選リーグ　順位決定戦

第4回 深津杯　第9回 中西部女子サッカー選手権大会

藤枝順心高校　初優勝

3チームが県大会出場権獲得

優勝：藤枝順心高校
準優勝：静岡産業大学
3位：藤枝FCアミーガ



第4回深津杯・第9回中西部女子サッカー選手権大会が7月11日、18日の両日に行われ、全日本女子サッカー選手権県予選への出場3チームが決まった。

決勝に先駆けて行われた3位決定戦、吉田高校に1点をリードされた藤枝FCアミーガは、後半澤谷のゴール前へのFKで長澤が最初のチャンスをつくり、9分に石川が決め、11分にも澤谷のミドルシュートが決まり、逆転に成功した。吉田高も川村から松浦の足を活かした攻撃で追いすがるが得点はかなわず、2対1でアミーガが3位を確保、県予選大会への出場を決めた。

順当に勝ち上がり、県予選への切符を手にした藤枝順心高校と静岡産業大の組合せとなった決勝は、GKに試合を含め9人の産大に優位に試合を進めた順心が、北原、谷のハットトリックなど9点の大量得点で試合を決めた。産大も堀江のCKが直接決まり一矢を報いた。

中西部勢の試合結果

〈1回戦〉
藤枝FCバンビーズ　2－1　静岡アミーゴレディース
静岡産業大　11－0　常葉大
静岡産業大　13－0　県立大・日大国際関係

〈2回戦〉
藤枝FCバンビーズ　2－0　榛南トルフィンJrクジーズ
清水相生ヒクシーズ　2－0　庵原JFC
榛原マリーンズ　2－1（PK2－1）　藤枝FCバンビーズ

〈準々決勝〉
静岡レディースJr　6－0　榛原マリーンズ

第10回 静岡県大学女子サッカー選手権大会

7月24日(土)

静岡産業大学 5連覇！

常葉大　1－0　県立大・日大国際関係
静岡産業大　11－0　常葉大
静岡産業大　13－0　県立大・日大国際関係

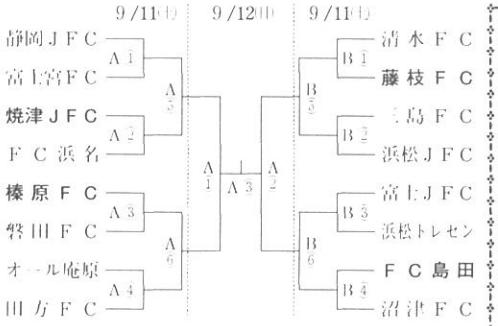
2004フジパンCUP女子ユースU－12サッカー大会 静岡県大会

7月17日(土)・18日(日)

第29回 富士コカ・コーラカップ 静岡県ユースU－12サッカー大会

9月11日(土)・12日(日)　藤枝市で開催

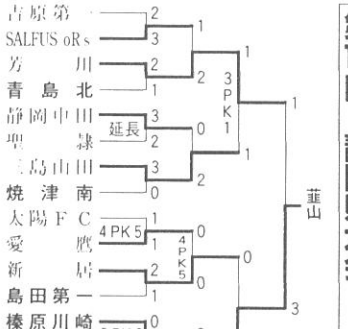
組み合わせ



<会場>A：藤枝市民グラウンド　B：藤枝総合運動公園陸上競技場
<時間>9/11－1 10：45　2 11：45　3 12：45　4 13：45
3 14：45　5 15：45
9/12－1 10：00　2 11：00　3 14：00

2004フジパンCUP ユースU－12サッカー大会 第18回 静岡県大会

試合結果



第40回 全国社会人サッカー選手権大会 東海地域大会

矢崎バレンテFC・中央防犯 全国大会出場

全国社会人サッカー選手権大会東海地域大会が7月10日、11日に行われ、矢崎バレンテFCと中央防犯が全国大会出場を決めた。

16チームが4組に分かれてトーナメント戦で争われ、各組1位が全国大会の出場権を獲得。Aブロックでは代表決定戦で矢崎バレンテFCと藤枝ネルソンCFが対戦し、前後半に1点ずつを奪った矢崎バレンテが勝利。Dブロックでは中央防犯と藤枝市役所が代表決定戦を行い、ともに無得点で迎えた延長後半に中央防犯がVゴール勝ちした。

試合結果

Aブロック
〈1回戦〉
矢崎バレンテFC　1－0　トヨタ蹴球団
藤枝ネルソンCF　2－1　FC岐阜
〈代表決定戦〉
矢崎バレンテFC　2－0　藤枝ネルソンCF

Dブロック
〈1回戦〉
中央防犯　2－0　マルヤス工業
藤枝市役所　1－0　鈴鹿クラブ
〈代表決定戦〉
中央防犯　1－0（延長Vゴール）　藤枝市役所

ミカサ杯争奪（4年生）第24回 静岡県中西部支部選抜少年サッカー大会

優勝　志太A

予選リーグ

〈Aブロック〉

榛原A	3－0	藤枝A	志太A	1－0	島田A	榛原A	1－0	藤枝A	志太A	3－0	島田A
藤枝A	3－0	島田A	志太A	3－0	榛原A	藤枝A	2－0	島田A	志太A	1－0	榛原A
島田A	1－0	榛原A	藤枝A	3－0	志太A	島田A	3－0	榛原A	藤枝A	0－0	志太A

〈Bブロック〉

志太B	1－0	島田B	藤枝B	2－0	榛原B	志太B	1－0	島田B	榛原B	3－0	藤枝B
島田B	3－0	榛原B	志太B	1－0	藤枝B	島田B	3－0	榛原B	志太B	1－0	藤枝B
榛原B	3－0	藤枝B	島田B	3－0	志太B	榛原B	0－0	藤枝B	島田B	1－0	志太B

順位決定戦

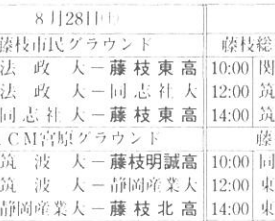
〈1・2位決定戦〉
藤枝A　3－2（延長）　志太B

〈3・4位決定戦〉
志太A　1－0　島田B

〈5・6位決定戦〉
榛原A　3－0　藤枝B

〔順位〕
(1)志太A (2)藤枝A (3)榛原A (4)島田A

〔順位〕
(1)島田B (2)志太B (3)藤枝B (4)榛原B


矢崎バレンテFC　VS　藤枝ネルソンCF

第9回 東西大学交流サッカー大会 開催

東西大学交流サッカー大会が8月27日から29日までの3日間、中西部内7会場を使用して行われる。関東・関西の強豪大学に静岡産業大学の8大学を招き、中西部の高校が胸を借りる。

8月27日(金)			8月28日(土)			8月29日(日)		
藤枝総合運動公園陸上競技場			藤枝市民グラウンド			藤枝総合運動公園陸上競技場		
11:00	静岡産業大	藤枝西高	10:00	法政大	藤枝東高	10:00	関西学院大	藤枝東高
12:45	法政大	静岡産業大	12:00	法政大	同志社大	12:00	筑波大	関西学院大
14:45	法政大	藤枝明誠高	14:00	同志社大	藤枝東高	14:00	筑波大	藤枝東高
藤枝市民グラウンド			ACM宮原グラウンド			藤枝市民グラウンド		
11:00	東京学芸大	藤枝東高	10:00	筑波大	藤枝明誠高	10:00	同志社大	藤枝明誠高
12:45	東京学芸大	立命館大	12:00	筑波大	静岡産業大	12:00	東京学芸大	同志社大
14:45	立命館大	静清工業高	14:00	静岡産業大	藤枝北高	14:00	東京学芸大	榛原高
焼津石津浜グラウンド			焼津石津浜グラウンド			ACM宮原グラウンド		
11:00	筑波大	焼津中央高	10:00	東京学芸大	焼津中央高	10:00	東京農業大	藤枝北高
12:45	筑波大	同志社大	12:00	東京学芸大	関西学院大	12:00	東京農業大	静岡産業大
14:45	同志社大	焼津水産高	14:00	関西学院大	大井川高	14:00	静岡産業大	吉田高
大井川町多目的グラウンド			島田市横井グラウンド			大井川町陸上競技場		
11:00	東京農業大	島田高	10:00	立命館大	島田高	10:00	立命館大	焼津中央高
12:45	東京農業大	関西学院大	12:00	立命館大	東京農業大	12:00	法政大	立命館大
14:45	関西学院大	吉田高	14:00	東京農業大	榛原高	14:00	法政大	大井川高

プーマ杯争奪（5年生）第24回 静岡県中西部支部選抜少年サッカー大会



優勝　FC島田

〈7・8位決定戦〉
島田A　2－2（PK3－2）　榛原B



第11回 全国クラブチームサッカー選手権大会 静岡県大会

7月18日(日)・25日(日)・8月1日(日)

FCベアーズ 準優勝

●中西部勢の試合結果●

〈1回戦〉
はいから FC 1－1 FC・FARAGO（PK5－3）
FC・EASTER RN04 4－0 ダイレクトスターズ

〈2回戦〉
Wild HEARTS 2－0 OVER ALL
FCベアーズ 3－0 ピュアSC
FCエスペレ 1－0 裾野クラブ

〈準決勝〉
FCベアーズ 2－1 ベイビーズ

〈決勝〉
FC・EASTER RN04 6－0 FCベアーズ

〈1部〉
藤枝ネルソンCF 5－2 静大クラブ
ティヘイ 3－2 大井川町役場

〈2部〉
焼津信用金庫 6－0 コスモスSC

〈3部〉
富士根クラブ 2－0 岡部FC
焼津豊田 11－1 富塚FC

〈シニア40〉
焼津飛魚 3－0 榛原シニア

静岡県シニアリーグ

7月4日・11日・25日

中西部社会人リーグ

7月11日・25日

静岡県ユースリーグ

7月3日～31日

〈Aリーグ〉
清水東 4－0 吉田
藤枝明誠 1－1 清水商業
日大三島 2－1 吉田
清水東 3－1 藤枝明誠
浜松湖東 3－2 吉田
藤枝明誠 1－1 浜松湖東
清水商業 4－1 吉田
藤枝明誠 0－0 磐田東

〈Bリーグ〉
東海大翔洋 3－0 藤枝北
藤枝北 1－1 聖隷

プリンスリーグU－18東海

7月3日～17日

藤枝東 2－0 暁
藤枝東 4－1 東邦
藤枝東 1－1 名古屋Y

静岡県社会人リーグ

7月4日・11日・18日

藤枝市役所 1－1 矢崎バレンテFC
藤枝市役所 0－0 中京大学FC
中央防犯 1－1 ホンダ鈴鹿FC
中央防犯 4－2 芙蓉クラブ
矢崎バレンテFC 3－1 コニカミノルタ

東海社会人リーグ1部

7月4日～8月1日

中京大学FC 3－0 中央防犯

社会人シニア ユース女子 リーグ戦

（中西部勢の試合結果）

ワンダーイレブン 3－1 藤枝FC
焼津飛魚 0－0 セレソンFC
藤枝FC 4－1 榛原シニア
焼津飛魚 8－1 FC沼津シニア

藤枝西 2－0 浜松西
焼津中央 2－0 常葉菊川
藤枝北 2－2 浜松西
焼津中央 2－0 焼津中央
藤枝西 4－0 聖隷
焼津中央 0－0 富士東
藤枝北 3－0 袋井
焼津中央 2－1 浜松西
焼津中央 0－0 加藤暁秀
加藤暁秀 3－0 焼津中央
焼津中央 2－1 藤枝北
静岡西 1－0 焼津中央
浜松南 2－0 藤枝西

中西部女子リーグ

6月27日・7月4日

焼津クイーンズ 6－0 大井川中学校
榛原中学校 2－1 島田フリーセス
藤枝FCエスペレ 5－1 六合中学校
榛南ドルフィン 2－1 島田フリーセス
大井川中学校 3－0 六合中学校
榛原中学校 1－0 藤枝FCバンビース

静波 ビーチサッカー開催!!

第3回静波ビーチサッカートーナメント方式で優勝を競ったふだん慣れない砂浜での試合とあって随所に珍プレーが続出し、観衆から笑いがこぼれた試合の結果は、一般Aは OVER ALL（榛原町）、同じくBは「木」のドクター（藤枝市）、小学生男子は榛原SSS（榛原町）、小学生女子は磐田FCスペランツィーレ（豊田町）が優勝した



東海社会人リーグ1部 9月の日程（中西部勢と中西部内会場の試合のみ）

9/4(日)	中央防犯－藤枝市役所	藤枝市民グラウンド	12:00
	芙蓉クラブ－矢崎バレンテFC	藤枝市民グラウンド	14:00
9/19(日)	静岡FC－中央防犯	清水蛇塚グラウンド	12:30
	藤枝市役所－コニカミノルタSC豊川	藤枝総合陸上競技場	12:00
	矢崎バレンテFC－ホンダ鈴鹿FC	藤枝総合陸上競技場	14:00
9/26(日)	矢崎バレンテFC－静岡FC	藤枝市民グラウンド	12:00
	藤枝市役所－ホンダ鈴鹿FC	藤枝市民グラウンド	14:00

8・9月のその他の予定

- 静岡県社会人リーグ1・2・3部　・中西部社会人リーグ1・2・3部
- 静岡県女子リーグ　・中西部女子リーグ
- 静岡県ユースリーグA・B・Cリーグ　・中部ユースリーグ
- 2004ＳＢＳカップ国際ユースサッカー
  8月19日(木)、20日(金)、22日(日)　＜藤枝総合運動公園サッカー場他＞
- 第83回全国高校サッカー選手権大会静岡県大会　9月23日(祝)～
- 第２回静岡県クラブユースリーグ(Ｕ－15)新人戦２００４
  9月18日(土)～
- Ｕ－13・Ｕ－14静岡県トレーニングセンター
  9月25日(土)　＜大井川町陸上競技場＞
- 第14回全日本少年フットサル大会静岡県大会
  9月23日(祝)　＜中部＞
- 第18回静岡県レディースサッカー選手権大会　9月5日(日)
- 第26回全日本女子サッカー選手権大会静岡県予選　9月23日(祝)～
- 中西部理事会　9月3日(金)
- 平成16年度日本サッカー協会公認Ｃ級コーチ養成講習会

(財)静岡県サッカー協会中西部支部　事務局
〒421-0206　大井川町上新田292-1　大井川高校内・鎌田昌治理事長
TEL054-622-3411　FAX054-622-3472
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

鈴村路子の もっと知りたいサッカー No.53

オリンピックの年 再び その2

2004年アテネオリンピックは8月中旬から下旬にかけて、真夏の一番暑い時期に開催されるが、古代オリンピックが行なわれたのも真夏で、夏至のあとの二度目かの満月の時期と決められていた。これは現在の暦では8月下旬にあたる。各ポリス（都市国家）ではそれぞれ異なった暦が使われていたので、満月の時期で共通の時間認識がなされたわけである。猛暑の時期とは言え、この時期は、麦の刈り入れが終わり農閑期に入る時で、選手や観客にとって、最も参加しやすい時期でもあった。農閑期はまた戦争の季節でもあり、選手らが無事に4年に一度の祭典に参加できるよう、休戦協定は不可欠であった。古代オリンピックの間は戦争さえ中断されたと言われる所以である。

さて、オリンピックはおよそ1500年の空白のち、1896年にアテネで復活した。サッカーはこの大会では種目に無く、続く大会も非公式なもので、正式競技となったのは1908年のロンドン大会からだった。当初はイギリスやベルギーといったヨーロッパのチームの優勝が続いたが、1924年パリ、28年アムステルダム大会で南米のウルグアイが優勝を飾った。第一次世界大戦後は、ステート・アマ中心のハンガリー、旧ソ連、ユーゴスラビア、旧東ドイツなど、東欧諸国が金メダルを獲得している。80年モスクワ大会（旧ソ連のアフガニスタン侵攻に抗議した西側諸国の多くは不参加）から、W杯出場経験のあるヨーロッパと南米選手はオリンピックに出場できないとされ、92年のバルセロナ大会から23歳以下の大会になった。

コンディショニングアドバイスⅡ

〈ケガの応急処置について（RICE処置）〉

今回はスポーツ活動中にケガがおきたときの応急処置のお話。スポーツの現場でケガがおきたとき、人体の細胞や、毛細血管などの正常な組織は損傷され、炎症がおきる（炎症が起きると疼痛、腫れ、熱がある、皮膚が赤くなる、機能障害の5徴候がみられる）。応急処置を行うことは、損傷を最小限に抑えることや、競技復帰を早めるために重要。ケガの応急処置の基本は「RICE処置」である。

RICE処置とは？

R＝Rest……安静　ケガをした部位に負担をかけないように楽な肢位をとる。
I＝Ice……冷却　細胞の壊死と腫れをおさえるために氷などで冷やす。
C＝Compression……圧迫　内出血や腫れをおさえるためにテーピングやバンドや弾性包帯などで圧迫する。
E＝Elevation……挙上　腫れを防ぐために患部を心臓より高く挙げる。

RICE処置の時間はどのくらい？

炎症は24～72時間おこるといわれている。この間RICE処置を行う必要がある。寝ているときも継続しよう。一氷が溶けてしまい冷却が困難な場合は、湿布を貼り、圧迫、挙上しよう。

冷やす時間はどのくらい？

冷やす（Ice）時間は20分間として、その後、感覚が戻ったらまた冷やす（1～2時間に1回冷やすのを目安とするとよいだろう）。

注意点は？

凍傷に注意しよう。保冷剤や表面が白く霜のついている氷は湿度が低いので凍傷になりやすいといわれている。少し溶けかかった氷を使うのが安全。

肘（ひじ）の内側や膝（ひざ）の外側を冷やしすぎたり、圧迫が強いと神経麻痺をおこす可能性がある。指先の色や感覚を確かめながら行おう。

ケガをしてRICE処置を行ったら、速やかに医師の診察を受けよう。

参考文献
日本整形外科スポーツ医学会報告会・スポーツ損傷シリーズ／スポーツアイシング（大修館書店）

JR西焼津駅北口駐車場
（有）入山一
TEL & FAX 054-628-7383

レッカー作業24時間対応
M・K Cars co. RS24
TEL 054-625-1722
焼津市三衛門新田379-1
㈲エム・ケイ自動車

パソコン資格の強い見方！
Microsoft Office Specialist
（教育訓練給付金指定講座あります）
パソコンのことならお任せください
TOKAIパソコン教室島田校
島田市御仮屋町7454-1 (0547)34-3529

警備保障 株式会社 中央防犯

拡げます デジタルネットワーク
共立印刷株式会社

YAIZU FUTSAL倶楽部
ICHIMARU SPORTS VILLA
〒425-0052　焼津市田尻1122
お問い合せ　054（625）0011（代）
ご予約　0120－210812
ICHIMARU SPORTS VILLA

めざせ ワールドカップ
清水屋スポーツ
藤枝市本町3丁目6－8
☎(054)641－1358
フットボールギア
藤枝市前島1丁目6－3
☎(054)636－6108

ビジネスホテル シルビア
〒426-0022 静岡県藤枝市稲川1丁目11－48
TEL 054－643－0500(代)

(1) 平成1年12月18日第三種郵便物認可　昭和63年4月20日創刊　　平成16年9月15日（水曜日）発行（毎月15日発行）

中西部 ヤングサッカーニュース 2004 9

発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部理事長　鎌田昌治　企画構成編集責任者／滝本義三郎

高円宮杯 第15回 全日本ユース(U−18)サッカー選手権大会

藤枝東高校 6年ぶりの出場



9月25日から始まる全日本ユース(U−18)サッカー選手権大会に、藤枝東高校が出場する。プリンスリーグU−18東海で3位となり、優勝した第9回大会以来、6年ぶり4度目の出場権を手にした。

この大会は、今回から出場チームがこれまでより多い24チームとなった。6組に分かれてリーグ戦を行い、各組の1位6チームに、2位の中で成績の良い2チームを合わせた8チームが決勝ラウンドのトーナメント戦に進む。過去に2度の優勝経験がある藤枝東が3度目の優勝を目指す。活躍を期待したい。

全国大会を成功させよう！

藤枝総合運動公園でグループリーグ開催

今年度の中西部の重点目標「国際・全国大会を成功させる」の一つである、この全日本ユース(U−18)サッカー選手権大会が藤枝総合運動公園サッカー場で開催される。9月25日、26日、10月2日に実施されるグループリーグで、藤枝東の入るグループCの5試合と、グループFの1試合が行われる。地元、藤枝東と全国高校総体優勝の国見の対戦や、プリンスリーグ東海1位で日本クラブユース選手権準優勝のジュビロ磐田の試合など、見逃せない試合が多い。

また、運営でも多くの中西部協会関係者が携わる大会の成功を目指して、頑張っていこう。

グループリーグ組み合わせ

（グループCと藤枝会場の試合）

期日	時間	対戦	会場
9/25(中)	11:00	C ヴァルディY−星稜高校	藤枝
	13:15	C 藤枝東高校−国見高校	藤枝
9/26(中)	11:00	C 星稜高校−国見高校	藤枝
	13:15	C 藤枝東高校−ヴェルディY	藤枝
10/2(中)	11:00	F ジュビロ磐田Y−鵬翔高校	藤枝
	13:15	C 藤枝東高校−星稜高校	藤枝
	13:15	C ヴァルディY−国見高校	鳥取

＜会場＞藤枝：藤枝総合運動公園サッカー場
鳥取：鳥取バードスタジアム

決勝ラウンド組み合わせ

10/4(中)　10/9(日)　10/11(祝)

A1位
2位−2　埼2 16：30 ┐
B1位　　国立 12：00 ┐
C1位　埼2 19：00 ┘　埼玉 13：00 ┐
D1位　　　　　　　　　　　　　　　┐
E1位　鳥取 16：30 ┐　　　　　　　　　┘
2位−1　　国立 14：30 ┘
F1位　鳥取 19：00

＜会場＞埼2：埼玉スタジアム第2グラウンド
鳥取：鳥取バードスタジアム
国立：国立競技場
埼玉：埼玉スタジアム2002

グループ分け

A	桐蔭学園高校	(関東1)
	清水エスパルスY	(東海2)
	青森山田高校	(東北1)
	東福岡高校	(九州6)
B	愛媛FCY	(四国)
	東海大五高校	(九州1)
	サンフレッチェ広島Y	(中国1)
	ガンバ大阪Y	(関西)
C	ヴェルディY	(関東1)
	星稜高校	(北信越)
	藤枝東高校	(東海3)
	国見高校	(九州2)
D	広島皆実高校	(中国3)
	大津高校	(九州5)
	FCみやざきバルセロナY	(東北2)
	流通経済大柏高校	(関東3)
E	広島観音高校	(中国2)
	鹿児島実業高校	(九州1)
	名古屋グランパスエイトY	(東海1)
	市立船橋高校	(関東2)
F	多々良学園高校	(中国4)
	ジュビロ磐田Y	(東海1)
	鵬翔高校	(九州3)
	コンサドーレ札幌Y	(北海道)

第31回 藤枝ＪＣ杯争奪全国少年サッカー大会

藤枝ＦＣ6年　準優勝



藤枝ＪＣ杯争奪全国少年サッカー大会が、今年も北海道から九州までの各地からチームを招き、藤枝市内の少年団などを合わせた48チームが参加して、8月14日〜16日の3日間で行われた。

予選リーグに2次トーナメント、そして最終日の順位決定トーナメントで争われ、藤枝ＦＣ6年が決勝に進み、愛知ＦＣに敗れはしたが、準優勝となった。

ＪＣ杯を終えて

藤枝ＦＣ監督　落合　一昭

予選リーグこそ無失点で勝ち上がり、1位トーナメントに駒を進めることができたが、ここからが正念場であった。第2日目の対岡山市U12との試合がホントであった。結果としては6対3と点差はあったが、得点過からするとやっとの思いであった。

そして、準決勝対マリノス戦でのＰＫ勝利は選手の勝ちへの執念を感じたよい決勝戦対愛知ＦＣ戦開始早々の3失点を返すことができず準優勝。特に中盤の構成力の違いを感じさせられた。

しかし、この6試合を通して個々の能力とチーム戦術がついてきたことはうれしいことである。まだまだ未熟ではあるが、将来活躍する選手がでてくれることを期待したい。

順位決定トーナメント試合結果

1位〜4位トーナメント

愛知ＦＣ　5
3　　　　　3　優勝：愛知ＦＣ
札幌ＦＣ　0　準優勝：藤枝ＦＣ6年
　　　　　1
マリノス追浜　0
2　　5PK6
藤枝ＦＣ6年　1

第5回 静岡世界少年サッカー大会

中西部選抜 第5位

中西部4種委員長　池谷　多喜夫

8月27日から29日にかけて第5回静岡世界少年サッカー大会が開催された。海外は7カ国より招待し、県内5支部の各選抜チームが参加して、2ブロックに分かれ試合が行われた。

ここ中西部地区においては、先のW杯で藤枝にキャンプを張ったセネガルのチームを受け入れ担当した彼らは長旅の疲れも見せず、藤枝市内の子供たちとすぐに練習試合を行った。そして、大会では決勝に進み準優勝した。

最後に、セネガルの受け入れを無事終了できました事、ご支援頂いた関係者の皆様に感謝申し上げます。

中西部選抜 監督

松本　一之

中西部支部選抜は、予選1日目の中東部支部、ドイツ戦に2勝、2日目、ロシア戦に2勝、3日目のセネガル戦に引き分けの3試合を戦い、予選リーグを1位で通過した。

セネガル選手達のフレーエリアの広さ、足の長さ、今まで経験したことのない身体能力の高さにてこずりながら、相手セネガルの中盤の上手なパス回しと、我々のホームゲームであるはずの藤枝総合サッカー場のスタンドには、多数のセネガル応援団と微妙な太鼓のリズムで相手優位に進められ、ヘースをつかめないまま対3で敗れた。

予選の最終韓国戦では、前半2失点、前半1点を返し、後半怒涛の攻撃で相手ゴールを襲うが、相手DFの厚い壁に得点できず対2Aブロック3位となったが、念願のベスト8入りを果たすことが出来た。

5位決定戦では、東部支部と対戦し3対1と快勝し、選手個々のアイデアとハフォーマンスを遺憾なく発揮し、県内参加チーム最高の5位で終了した。

（試合結果は2面に掲載）



中西部選抜とセネガル・ジャンバールサッカースクール選抜

参加チーム

Aブロック
- コンコルディア・ハンブルク（ドイツ）
- セネガル選抜（セネガル）
- ハバロフスク選抜（ロシア）
- 済州選抜（韓国）
- 中西部選抜
- 中東部選抜
- サンハウロFC（ブラジル）

Bブロック
- フィテッセ・アルト（オランダ）
- 浙江省選抜（中国）
- 静岡県選抜
- 西部選抜
- 東部選抜
- 中部選抜

敢闘賞

斉藤　哲（藤枝ＦＣ6年）

ベストイレブン

（中西部勢のみ）

高井　凌介（藤枝ＦＣ6年）
師川　将也（藤枝ＦＣ6年）
杉村峻大郎（藤枝ＦＣ6年）

チームMVP

（中西部のチームのみ）

藤枝ＦＣ6年川前　修
藤枝ＦＣ5年向島　渥貴
藤枝ＳＳ清水　駿
藤枝中央ＳＳ服部　好伸
西益津ＳＳ山崎　啓太
青島ＳＳ油井　桂高
青島東ＳＳ富永　桂太
葉梨ＳＳ坂原　大輔
高洲ＳＳ杉山　泰規
大洲ＳＳ小幡　雄生
稲葉ＳＳ中山　博貴
瀬戸谷ＳＳ宮本小太郎
広幡ＳＳ松代　悠
藤岡ＳＳ大浦地入甲
高洲南ＳＳ金剛　駿
青島北ＳＳ森下　直樹

ゴール裏から―

黒子の生徒も一役を担っている

(財)静岡県サッカー協会
中西部支部2種委員長
瀧　好伸

中西部2種の委員長を受けてから早いもので半年が過ぎようとしています。この半年の活動の中から雑感として印象に残っている点は、大会運営についてです。

大会のレベルはアジア、全国、県大会と様々ですが、大会運営する上で絶対に欠かすことのできない部署が補助役員（生徒）たちということです。彼らの主な業務はボールボーイ、担架要員等です。

大会運営方針が決まり、それに基づき顧問を通じ補助役員を依頼するわけですが顧問の先生方も皆非常に協力的で、どこの高校に依頼したらいいのか迷うくらいです。当日の運営の指導は当事校の顧問の先生方を中心に行ってもらうわけですが、実に生徒たちが献身的に一生懸命取り組んでくれますので、運営サイドとすれば本当に助かります。

とはいえ、彼らは大会において駒役の黒子であり決して主役にはなれません。しかし、大会を運営するにあたってはならないポジションです。ピッチでプレーする選手たちの影で、大会を支える存在があることも忘れないで欲しいものです。

この生徒たちがピッチ上のプレーを間近に捉え、観たトップレベルの技術を自分のものとして吸収し、個々のレベルアップに役立ててくれれば幸いと感じています。

また、これからも大きな大会が目白押しですが、前向きにホスピタリティに捉え、この業務に携わってもらいたいものです。

今回、このような貴重な紙面をいただき誠にありがとうございました。今後もよろしくお願いします。

第5回　静岡世界少年サッカー大会　試合結果

予選リーグ

Aブロック	ドイツ	セネガル	ロシア	韓国	中西部	中東部	順位
ドイツ		●0−1	●0−6	●2−5	●1−6	●2−3	6
セネガル	○1−0		○4−0	△0−0	○3−0	○1−0	1
ロシア	○6−0	●0−4		●0−6	●0−5	●0−5	5
韓国	○5−2	△0−0	○6−0		○2−1	●1−2	2
中西部	○6−1	●0−3	○5−0	●1−2		○2−1	3
中東部	○3−2	●0−1	○5−0	○2−1	●1−2		4

Bブロック	ブラジル	オランダ	中国	西部	東部	中部	順位
ブラジル		○1−0	○6−0	○5−1	△1−1	○5−1	1
オランダ	●0−1		○12−0	○3−1	△0−0	○2−1	2
中国	●0−6	●0−12		○2−1	●0−4	●1−3	6
西部	●1−5	●1−3	●1−2		○2−0	○3−2	4
東部	△1−1	△0−0	○4−0	●0−2		○1−0	3
中部	●1−5	●1−2	○3−1	●2−3	●0−1		5

順位決定戦

〈決勝戦〉ブラジル　2−0　セネガル
〈3・4位決定戦〉オランダ　7−0　韓国
〈5・6位決定戦〉中西部　3−1　東部
〈7・8位決定戦〉西部　1−0　中東部
〈9・10位決定戦〉中国　3−0　ロシア
〈11・12位決定戦〉中部　1−3　ドイツ

第14回バーモントカップ　全日本少年フットサル大会　静岡県大会

9月23日(祝)〈静岡市〉

A	①トライアングル	②入江A	③リベロA
B	①焼津東	②安倍口	③三島西
C	①有玉	②FCアスレチック静岡	③高部東A
D	①細江	②城内	③佐鳴台
E	①高天	②有度二A	③初倉
F	①長田西I	②ホンダ	③富士宮A
G	①清水第八A	②大里東I	③中ノ町
H	①聖隷A	②高洲南	③笛山A

中西部勢4チームが出場

全日本少年フットサル大会（静岡県大会が9月23日に中島人工芝多目的スポーツランドで開催される）参加

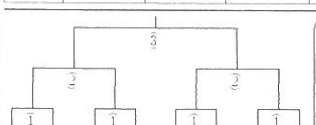
24チームが8組に分かれて1次リーグを行い、各組の1位8チームが決勝トーナメントに進み、全国大会出場（1チーム）を目指す

中西部からは各地区予選1位8チームが決勝トーナメントに進出

1次リーグ

時間	Aコート	Bコート	Cコート	Dコート
10:20	A①−②	B①−②	C①−②	D①−②
10:40	E①−②	F①−②	G①−②	H①−②
11:00	A①−③	B①−③	C①−③	D①−③
11:20	E①−③	F①−③	G①−③	H①−③
11:40	A②−③	B②−③	C②−③	D②−③
12:00	E②−③	F②−③	G②−③	H②−③

決勝トーナメント



2004さなるカップ争奪　静岡県中学一年生サッカー大会

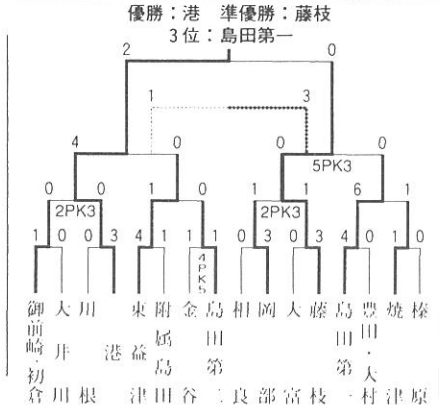
中体連チーム　中西部地区予選　優勝　港中学校　3校が県大会へ

昨年から中体連チームとクラブユースが分かれて大会を行うことになった中学一年生大会。中体連チームの中西部地区予選は、3つの合同チームを含む27チームが参加して、予選リーグと決勝トーナメントで争われた。

県大会に出場できるのは3校、最終日、8月22日の準決勝、港と東益津の一戦が勝ち点を挙げた港と島田第一の対戦は、共に得点なくPK戦で藤枝が勝利をつかんだ。これにより、港と藤枝が決勝戦進出と同時に県大会出場を決めた。3位決定戦では東益津と島田第一が最後の県切符をかけて争った。東益津が開始早々に増井のゴールで先制するも、島田第一は7分、14分に浅原、村越が決めて逆転。後半にも浅原が押し込み、島田第一が東益津を突き放し、県大会の出場権を手にした。

決勝戦は、港が前後半にホ谷、早川のゴールで1点ずつを奪い、2対0で藤枝を下し、優勝した。

決勝トーナメント



予選リーグ順位

〈Aブロック〉
(1)御前崎・初倉　(2)島田・大井川　(3)六合
〈Bブロック〉
(1)榛原　(2)川根　(3)小川
〈Cブロック〉
(1)相良　(2)附属島田　(3)広幡
〈Dブロック〉
(1)島田第一　(2)大富　(3)吉田
〈Eブロック〉
(1)東益津　(2)岡部　(3)和田
〈Fブロック〉
(1)藤枝　(2)金谷　(3)青島　(4)青島北
〈Gブロック〉
(1)島田第一　(2)大井川　(3)西益津・瀬戸谷　(4)高洲
〈Hブロック〉
(1)港　(2)焼津　(3)大洲　(4)菊梨

決勝トーナメント試合結果

クラブユース　中西部地区予選

藤枝東FC　県大会へ　藤枝明誠SC

クラブユースの中学一年生大会中西部地区予選は、6チームが参加して、1回戦総当りのリーグ戦で争われた。県大会出場は2チーム。1試合を残して、藤枝東FC（勝点10）、藤枝明誠SC（同8）、エスパルスSS藤枝（同7）、エスパルスSS榛原（同6）の4チームが勝点4差のなかに入る混戦となり、8月14日の最終日を迎えた。ここで、藤枝明誠SCがエスパルス榛原と引き分け、エスパルス藤枝もACMと引き分け、勝点1ずつの積み上げにとどまった。そして、藤枝東FCがEWSに勝利して、藤枝東FCの1位、藤枝明誠SCの2位が確定した。

順位		藤枝東FC	藤枝明誠SC	エスパルス藤枝	エスパルス榛原	ACMブルックス	EWS FC	勝点	得点	失差
1	藤枝東FC		△1−1	○1−0	○6−0	○6−0	○4−1	13	16	
2	藤枝明誠SC	△1−1		△1−1	△0−0	○3−0	○3−0	9	6	
3	エスパルスSS藤枝	●0−1	△1−1		○1−0	△2−2	○2−0	8	2	
4	エスパルスSS榛原	●0−6	△0−0	●0−1		○1−0	○3−0	7	−3	
5	ACMブルックスFC	●0−6	●0−3	△2−2	●0−1		○2−0	4	−8	
6	EWS・FC	●1−4	●0−3	●0−2	●0−3	●0−2		0	−13	

第10回　静岡県ユース（U−15）フットサル大会　中西部予選

優勝　六合中学校A　2位　榛原中学校　2チームが県大会出場

静岡県ユース（U−15）フットサル大会中西部予選が、8月7日に焼津フットサル場で行われた21チームが参加して、6組に分かれて予選リーグを行い、各組上位2チームが決勝トーナメントに進んだ。

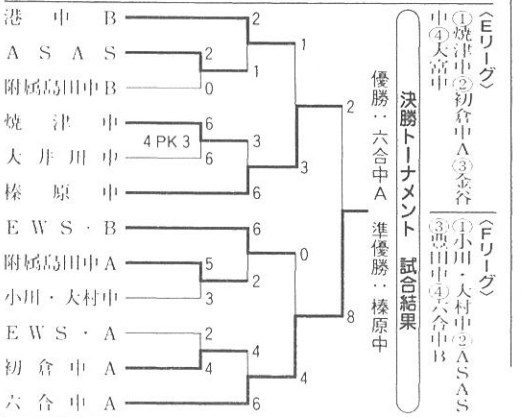
12チームで争われた決勝トーナメントでは準決勝で榛原中と六合中Aが、それぞれ港中Bと EWS・Bを破り決勝に進出。それと同時に2チームにうえられる県大会の出場権を獲得した。決勝は、六合中Aが8対2で勝利し優勝を飾った。

予選リーグ試合結果

〈Aリーグ〉
①港中B　②EWS・A　③吉田中
〈Bリーグ〉
①六合中　②附属島田中B　③港中A
〈Cリーグ〉
①EWS・B　②大井川中　③金谷中A
〈Dリーグ〉
①榛原中　②附属島田中A　③初倉中　④TMB
〈Eリーグ〉
①焼津中　②初倉中A　③金谷中　④大富中
〈Fリーグ〉
①小川・大村中　②ASAS　③島田中　④六合中B

決勝トーナメント　試合結果

優勝：六合中A　準優勝：榛原中











第10回　静岡県ユース（U−15）フットサル大会

中西部2チームが出場

各支部予選を勝ち抜いた12チームが参加して争われる、静岡県ユース（U−15）フットサル大会。10月9日に小笠山総合運動公園エコパ・アリーナで行われる。中西部からは予選を勝ち上がった六合中学校と榛原中学校が出場する。

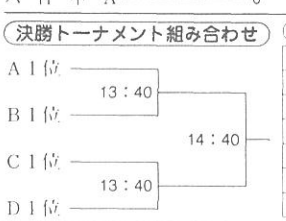
大会は、1組に分かれての予選リーグと各組1位が進む決勝トーナメントで行われ、上位2チームにうえられる東海大会への出場権獲得を目指す。



ブロック分け

A	1	西部	1位
	2	榛原中（中西部2）	
	3	中東部	3位
B	1	東部	1位
	2	中東部	2位
	3	中部	2位
C	1	中東部	1位
	2	東部	2位
	3	西部	3位
D	1	六合中（中西部1）	
	2	中部	1位
	3	西部	2位

決勝トーナメント組み合わせ



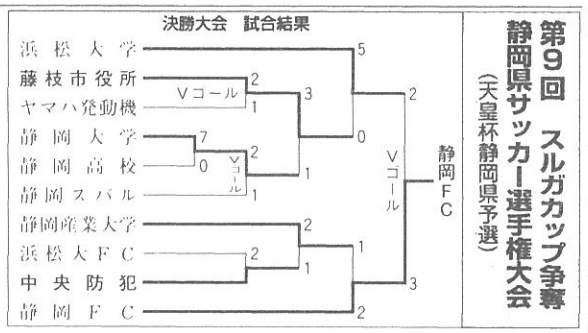
予選リーグ組み合わせ

時間	Aコート	Bコート
9:30	A1−3	C1−3
10:00	B1−2	D1−3
10:30	A2−3	C2−3
11:00	B2−3	D2−3
11:30	A1−2	C1−2
12:00	B1−3	D1−2

第9回　スルガカップ争奪　静岡県サッカー選手権大会

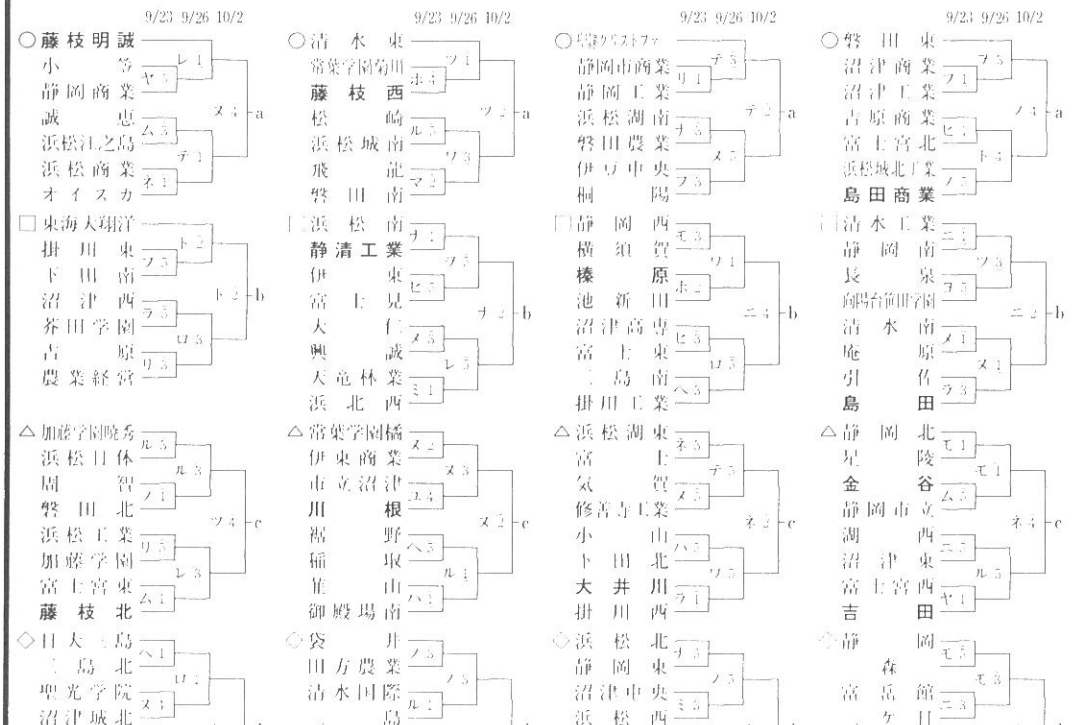
（天皇杯静岡県予選）

決勝大会　試合結果



第1次トーナメント　組み合わせ　9月23日㈭・26日㈰・10月2日㈯

◎特別シート校：藤枝東・静岡学園・浜名・清水商業



＜シート＞
○第1シート　□第2シート　△第3シート　◇第4シート

＜会場＞
ア：清水東　イ：聖隷クリストファー　ウ：日東海大　エ：浜松南　オ：清水工業　カ：常葉学園橘　キ：浜松湖東
ク：袋井　ケ：山　コ：吉原商業　サ：沼津工業　シ：庵原　ス：静岡北　セ：藤枝明誠　ソ：磐田東
タ：浜松西　チ：浜松北　ツ：藤枝北　テ：静岡商業　ト：日大三島　ナ：静岡西　ニ：島　ヌ：吉田
ネ：浜松湖東　ノ：磐田南　ハ：静岡東　ヒ：静岡工業　フ：磐田農業　ヘ：沼津中央　ホ：富士宮東
マ：伊豆中央　ミ：浜松城北　ム：桐陽　メ：磐田西　モ：聖光学院　ヤ：島田工業　ユ：焼津水産
ヨ：袋井商業　ラ：相良　リ：藤枝順心　ル：藤枝西　レ：藤枝東　ロ：御殿場南　ワ：焼津中央
ヲ：磐田北

＜時間＞1 10：00　2 11：00　3 12：00　4 13：00　5 14：00

第83回 全国高校サッカー選手権大会 静岡県大会

第1次トーナメント戦開幕

127校が参加する第83回全国高校サッカー選手権大会静岡県大会が、9月23日から今回も特別シートが設けられ、フリーリーグ出場の藤枝東、静岡学園、浜名と、県高校総体決勝進出の清水商業の4校が選出された特別シート校は第1次トーナメントに進み、第2次トーナメント、第3次トーナメントに免除され、第3次トーナメントから登場する準々決勝からの出場となる。また、第1～第4シードとして21日に静岡スタジアムで決勝戦が行われる。

第1次トーナメントは9月23日、26日、10月2日に行われ、勝ち上がった16校が、10月9日、10日、11日、17日、23日で第2次リーグ戦を1回戦で争われる。特別シード校の8校が第3次トーナメントに進み、10月31日に11校が出場する準々決勝は11月7日、準決勝は14日、そして21日に静岡スタジアムで決勝戦が行われ、県代表が決定する。

第9回東西大学交流サッカー大会　試合結果

8月27日㈮
藤枝西高 4-1 静岡産業大
法政大 6-1 藤枝明誠高
静岡産業大 2-1 法政大
藤枝東高 3-1 立命館大
静清工業高 9-0 焼津中央高
筑波大 3-2 焼津水産高
藤枝明誠高 6-1 同志社大
関西学院大 3-0 吉田高
東京農業大 2-2 関西学院大
島田高 12-0 同志社大

8月28日㈯
藤枝東高 3-1 静岡産業大
静岡産業大 2-1 同志社大
法政大 2-1 立命館大
藤枝東高 2-2 藤枝明誠高
筑波大 2-2 藤枝東高
同志社大 6-2 榛原高
関西学院大 3-0 大井川高
東京学芸大 2-0 焼津中央高
藤枝北高 1-0 焼津中央高
静岡産業大 1-3 筑波大
立命館大 7-1 島田高
東京農業大 6-2 榛原高

8月29日㈰
藤枝東高 1-0 関西学院大
筑波大 2-0 藤枝東高
藤枝明誠高 5-0 筑波大
藤枝東高 1-2 藤枝北高
同志社大 1-2 藤枝明誠高
榛原高 3-1 同志社大
吉田高 1-3 静岡産業大
藤枝北高 2-2 東京学芸大
静岡産業大 1-3 藤枝北高
東京学芸大 3-0 榛原高
関西学院大 1-0 藤枝東高
筑波大 2-0 関西学院大
藤枝東高 1-0 筑波大
立命館大 2-0 法政大
法政大 9-0 大井川高


藤枝順心高校

中西部3チームが出場
第26回全日本女子サッカー選手権大会静岡県決勝大会

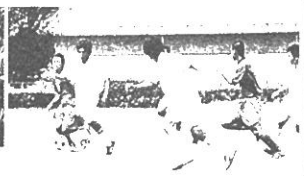
全日本女子サッカー選手権大会静岡県決勝大会が9月23日、26日、10月3日の3日間で行われる。各支部予選を勝ち上がった16チームが参加してトーナメント戦で争われ、上位2チームが東海大会の出場権を獲得する。


藤枝順心高校


静岡産業大学


焼津水産高校　VS　同志社大学


榛原高校　VS　東京学芸大学


島田高校　VS　東京農業大学

全日本女子サッカー選手権大会静岡県決勝大会　組み合わせ

9/23(日)　9/26(日)　10/3(日)

Honda FC（前年度優勝）
静岡レディース（中部1位）
沼津西高校（東部3位）
A・S・C（中東部2位）
ジュビロ磐田レディース（西部1位）
藤枝FCアミーガ（中西部3位）
静岡大成高校（中部2位）
藤原クラブ女子メジャール（中東部1位）
富士見FCエンジェルス（中部3位）
浜松シュライヴァークラブ（西部2位）
静岡産業大学国際情報学部（中西部2位）
吉原高校（東部2位）
藤枝順心高校（中西部1位）
聖隷ウィングス（西部2位）
VALOR FC DIANA（中東部3位）
桐陽高校（東部1位）

A 3 / A 2 / A 5 / A 1 / A 4 / A 6 → C 11:00
B 5 / B 7 / B 2 / B 6 / B 1 / B 4 → C 13:00
C 15:00
D 13:00

＜会場＞A：清水蛇塚G南　B：J STEP東　C：エコパ補助競技場　D：静岡市中島人工芝G
＜時間＞1 9：00　2 10：20　3 11：40　4 13：00　5 14：20　6 15：40

3部（21チーム）
レゾン袋井FC U-15
ヒュアスポーツクラブFC
田原FC
調西FC JrY
森FCアルコスJrY
太陽FC
サルファスoRs
エスパルスSS榛原
ASKAFCユースU-15
大須賀FC JrY
焼津TMB FC
長泉アミーゴス
Fukuroi FC
OSADA・FC
NFC・JrY
ケ日FC JrY
天竜FC JrY
御殿場・小山SC
マーレスポーツクラブ
FC雄踏B
ACMブルックスFC・B

2部（15チーム）
エスパルスSS静岡
清水FC JrY
FC雄踏A
VALOR FC
静岡・城内FC
掛川JFC JrY
静岡サッカークラブJrY
T&Tサッカークラブ
クラッキFC
リベルタージFC
F.C.VERDURE
CULTURA小笠FC
LIBERO FC JrY
Fuji Ardito FC
FC.LESTE

1部（15チーム）
ヤマハジュビロ掛川
清水エスパルスJrY
ヤマハジュビロ浜北
Honda FC U-15
ACNジュビロ沼津
キックスFC
ヤマハジュビロ磐田
ACMブルックスFC・A
藤枝明誠スポーツクラブ
聖隷JrYサッカークラブ
エスパルスSS藤枝
藤枝東FC JrY
EWS・FC JrY
マツバラSC1994
FCアスルクラロ沼津

中西部勢8チームが参加
第2回静岡県クラブユースリーグ（U-15）新人戦2004

静岡県クラブユースリーグ（U-15）新人戦が9月19日に開幕する。1部15チーム、2部15チーム、3部21チームに分かれて、各クラスリーグ1回戦総当たり戦で12月まで行われる予定。中西部勢では、1部にACMブルックスFC、藤枝明誠SC、エスパルスSS藤枝、そして2部からEWS・FCの5チームが入り、3部にエスパルスSS榛原、焼津TMB・FC、ACMブルックスFCのBチームの3チームが所属する。

なお、この結果により、1部の上位8チームは来年度の日本クラブユース選手権静岡県大会の第1シード権を獲得する。また、1部と2部、2部と3部のチーム入れ替えは、1チームずつの自動入替となる。

第4回フットサル施設交流会
（小学5・6年生の部）
7月17日㈯

優勝
ACEONEイエロー

ACEONEイエロー 2-0 ACEONEホワイト
ACEONEイエロー 3-0 ACEONEブルー
ACEONEホワイト 5-1 ACEONEブルー
Hero SP 1-0 ACEONEブルー
ACEONEイエロー 1-0 Hero SP
ACEONEブルー 1-0 Hero SP
ACEONEイエロー 1-0 ACEONEホワイト

社会人・ユース・女子 リーグ戦（中西部勢の試合結果）

静岡県社会人リーグ 8月1日・22日・29日

〈1部〉
藤枝ネルソンCF 6—3 FC遠州
佐川急便中京 5—3 藤枝ネルソンCF
大井川町役場 8—2 大井川町役場
〈2部〉
富士通沼津 2—1 焼津信用金庫
大谷FC 5—2 コスモスSC
焼津信用金庫 1—0 小糸FC
〈3部〉
岡部FC 4—2 清水クラブ
焼津豊田FC 3—1 SJファン
オリゴ 5—0 門虎隊

中西部社会人リーグ 7月25日

〈3部B〉
藤枝明誠 2—1 静岡北
吉田 2—1 常葉橘

静岡県ユースリーグ 8月1日～26日

〈Aリーグ〉
藤枝明誠 7—0 吉田
清水工業 3—1 藤枝明誠
静岡北 4—2 吉田
吉田 2—1 藤枝明誠
〈Bリーグ〉
焼津中央 0—0 東海大翔洋
藤枝西 1—0 藤枝北
袋井 1—0 焼津中央
藤枝西 1—1 常葉菊川

静岡県シニアリーグ 8月1日・29日

〈シニア40〉
清水クラブ 4—1 榛原シニア
藤枝FC 8—0 FC沼津
焼津飛魚 1—1 イレブンワンダー
〈シニア50〉
榛原シニア 2—2 セレソン
藤枝FC 2—0 浜松怪童クラブ
〈シニア60〉
中西部 6—0 東部

中西部女子リーグ 8月1日・29日

大井川中学校 2—2 藤枝FCエスペレ
（PK3—2）
島田プリンセス 2—0 藤枝FCバンビーズ
藤枝FCバンビーズ 5—0 六合中学校
榛南ドルフィン 5—0 大井川中学校

第20回長池杯（高校サッカー）試合結果 8月6日(金)・7日(土)

予選トーナメント

（Aブロック）
藤枝北 2—1 吉田
聖隷 4—1 青島
（Bブロック）
藤枝西 2—1 掛川西
焼津水産 2—0 沼津工業
焼津西 0—0 藤枝西（PK4—3）
（Cブロック）
静清工業 3—0 掛川工業
静岡市立 8—0 島田学園
静岡市立 1—1 静清工業（PK10—9）
（Dブロック）
藤枝明誠 3—1 小笠
島田工業 2—2 聖隷（PK5—3）
（Eブロック）
静岡 2—0 川根
下田北 0—0 大井川（PK5—3）
藤枝明誠 5—0 相良
（Fブロック）
焼津中央 7—1 磐田西
島田 2—0 榛原
焼津中央 5—1 島田

1位トーナメント

（1回戦）
静岡市立 2—1 焼津水産
静岡 0—0 藤枝明誠（PK5—4）
（準決勝）
静岡市立 2—2 聖隷（PK5—4）
静岡 1—0 焼津中央
（決勝）
静岡市立 1—1 静岡（PK4—2）



第1回 藤枝レディースサッカーフェスティバル

8月18日、19日、20日の3日間にわたって、藤枝レディースフェスティバルが開催された。この催しは、日本女子サッカー全体の活性化を願い、中西部を中心とした静岡県内の女子サッカーの発展と、他県チームとの交流を図る事を目的として、県外3、中西部5の8チームが参加して行われた。試合以外にも、SBSカップ国際ユースサッカーを観戦するなど、交流を深め、楽しい時間を過ごす事ができた。

参加チーム（8チーム）
鹿児島女子高校（鹿児島）
山形U—18選抜（山形）
湘南学院高校（神奈川）
榛原高校
吉田高校
藤枝西高校
藤枝FCアミーガ
藤枝順心高校

第9回 全日本女子ユース（U—15）サッカー選手権大会 静岡県選抜 決勝トーナメント進出ならず

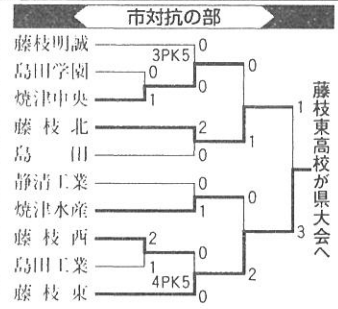
8月21日(土)～25日(水)（Jヴィレッジ）

グループリーグ（Cグループ）
福岡県 3—0 北海道
静岡県 1—1 埼玉県
埼玉県 3—0 福岡県
埼玉県 1—1 北海道
福岡県 1—0 静岡県

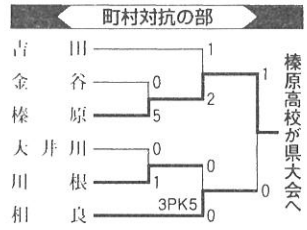
【順位】①福岡県（勝点6）②埼玉県（同5）③静岡県（同2）④北海道（同2）※3・4位は得失点差による

県民スポーツ祭 高校の部（1年生）中西部予選

市対抗の部



町村対抗の部



東海社会人リーグ1部 10月の日程（中西部勢と中西部内会場の試合のみ）

10/3(日)	藤枝市役所—静岡FC	藤枝総合陸上競技場	12:00
	矢崎バレンテFC—中京大学FC	藤枝総合陸上競技場	14:00
	コニカミノルタSC豊川—中央防犯	シロキSEGグラウンド	14:00
10/9(土)	静岡FC—芙蓉クラブ	藤枝市民グラウンド	13:00

9・10月のその他の予定

- 静岡県社会人リーグ1・2・3部
- 静岡県女子リーグ
- 静岡県ユースリーグA・B・Cリーグ
- 藤岡地区中学新人戦
  予選リーグ　10月10日(日)、11日(祝)　＜青島中学校G他＞
  順位決定トーナメント　10月24日(日)　＜藤枝中学校・西益津中学校＞
- 第37回NTT西日本静岡グループカップ静岡県サッカースポーツ少年団大会
  榛原地区予選　9月19日(日)～11月14日(日)
  島田地区予選　10月2日(土)～24日(日)
  藤枝地区予選　10月16日(土)～11月7日(日)
  志太地区予選　10月17日(日)～11月3日(祝)
- 中西部社会人リーグ1・3部
- 中西部女子リーグ
- 中部ユースリーグ
- 中西部理事会　10月8日(金)
- 中西部審判委員会　10月10日(日)
- 平成16年度日本サッカー協会公認C級コーチ養成講習会
- 3級レフリースクール講義
  9月19日(日)、10月3日(日)、10日(日)、24日(日)、31日(日)

(財)静岡県サッカー協会中西部支部　事務局
〒421-0206　大井川町上新田292-1　大井川高校内・鎌田昌治理事長
TEL054-622-3411　FAX054-622-3472
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

鈴村路子の もっと知りたいサッカー No.84

アジアを近くに

♪～だからもう一、で始まる、ゆずの「栄光の架橋」の曲がまだ耳元でぐるぐる繰り返されているような気がする。私もアテネオリンピック中継を見るために毎晩夜更かしした一人である。加えて今年の夏は、オリンピック以上に全国PK選手権で興奮した。以前教えた子たちのチームがまさかの優勝を果たし、ヨーロッパサッカー観戦ツアーを獲得してしまったのである。

さてオリンピックでは、日本選手の活躍が連日の話題となったが、北京オリンピックを4年後に控えた中国の活躍も目を見張るものがあった。スポーツに限らず、人種とか民族で、人間の能力に差があるなんていうことはないと思う。まして、どこの国が優れている、などということは無意味だからこそ、複雑な背景があるとは言えアジア杯でのブーイングは寂しい。国という単位は、最後に作られた区分にすぎないのだから。

オリンピックが終盤を迎える頃、ベトナムに行ってきた。ベトナムではオリンピックはほとんど関心なく過ぎていく感じがしたが、ベトナム人もサッカーは好きなんだなと感じることがいくつかあった。訪ねた留学生の家では、大学生の弟がヨーロッパのサッカーの試合をテレビで見ていたし、本屋で、サッカーの雑誌を探したら、なぜか1990年のイタリアW杯の本を出してくれた。ベトナムニュース（英字版）には、ベトナムのナショナルチームが、韓国とのIグループの決勝に進出したことを伝える記事が大きく載っていた。AFC U—17選手権大会でも大勢のアジアの選手を迎える、アジアをすぐ近くに感じた夏が過ぎて行く。

コンディショニングアドバイスIII

水分補給について

1 発汗と水分補給

体内の水分は消化された栄養分を体中に運んだり、体温調節などの働きをしている。気温が高くなると汗を出して体温調節をしようとする。汗の中には水分と一緒にナトリウムやカリウムなどの栄養素が含まれている。これらの栄養素は微量だが体液を正常に保つために働いている。体液のバランスを保つためには、運動量やまわりの環境にあわせて水分をこまめに補給していかなければならない。汗の量が多すぎて、水分補給が間にあわないと脱水症状をおこしてしまう。そのような状態にならないように、失われた水分をこまめに補給できるように常に準備をしておく必要がある。

2 水分のとり方

①練習中の水分補給は体温上昇を防ぐ。練習中は1時間に200ml程度を15分～20分置きにとり、練習後もこまめにとろう。

②常に水が飲めるような環境に（ペットボトルを持ち運ぶなど）。

③食事前、食事中の水分のとり過ぎは食欲減退、消化不良につながる。

④ジュースなど甘いもののとり過ぎは疲れが増す原因になる。

3 ミネラルウォーターと水道水の違い

ミネラルは筋肉が正常に働くために必要な栄養素であり、不足すると筋肉が痙攣（けいれん）したり運動能力が低下する。ミネラルウォーターは、スポーツ選手に必要なミネラルが多く含まれており、水道水とは違い、水分とミネラルを同時に摂取できるという利点がある。

4 水分補給量の目安

体重を計測する方法がある。練習前に体重を量り、練習後にも体重を量る。その差が汗で損失した体分量であるので、減った体重分だけ水分補給すればいいというのが目安となる。簡単でわかりやすい方法で、飲み過ぎや脱水症状を防ぐ最適な手段だと思われる。

参考文献
日本文芸社・スポーツ栄養学／岡田トレーニング・ジャーナル2004・9月号

JR西焼津駅北口駐車場
（有）入山一
TEL & FAX 054-628-7383

レッカー作業24時間対応
M・K/Cars co. RS24
TEL 054-625-1722
焼津市三衛門新田379-1
有エム・ケイ自動車

パソコン資格の強い見方！
Microsoft Office Specialist
（教育訓練給付金指定講座あります）
パソコンのことならお任せください
TOKAIパソコン教室島田校
島田市御仮屋町7454-1 (0547)34-3529

警備保障 ACM 株式会社 中央防犯

拡げます デジタルネットワーク
共立印刷株式会社

YAIZU FUTSAL倶楽部
ICHIMARU SPORTS VILLA
〒425-0052　焼津市田尻1122
お問い合せ　054（625）0011(代)
ご予約　0120—210812
ICHIMARU SPORTS VILLA

めざせ ワールドカップ
清水屋スポーツ
藤枝本町3丁目6—8
☎(054)641—1358
フットボールギア
藤枝市前島1丁目6—3
☎(054)636—6108

ビジネスホテル シルビア
〒426-0022 静岡県藤枝市稲川1丁目11—48
TEL 054—643—0500(代)

中西部
ヤングサッカーニュース
2004 10
発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部理事長　鎌田昌治　企画構成編集責任者／滝本義三郎

AFCU—17 サッカー選手権大会2004
9月4日(土)〜18日(土)

藤枝で熱戦　世界大会出場国が決定

日本開催となった今回のAFC U—17サッカー選手権大会。静岡県と福島県で開催された中で、藤枝総合運動公園サッカー場では日本が入ったグループAとグループC（インド、マレーシア、クウェート、イラン）のリーグ戦6試合、さらに準々決勝2試合に、世界選手権の最後の切符がかかった3位決定戦、そして決勝戦と、ハイレベルな熱い戦いが繰り広げられた。

決勝は中国と朝鮮民主主義人民共和国の対戦となり、後半40分に奪った主将能の得点が決勝点となり、中国が優勝を飾った。決勝に先立ち行われた3位決定戦では、カタールがイランを破り、決勝に進んだ2チームと共に世界選手権（2005年、ペルー）の出場権を獲得した。


優勝した中国


U—16日本代表

U—16日本代表はグループリーグで敗退

4か国で争い2か国が進む決勝トーナメントを目指したグループリーグ日本は初戦で朝鮮民主主義人民共和国と引き分け、続くタイ戦では黒星を喫した。2試合を終えて中国が2勝で決勝トーナメント進出を決め、残る1枠を日本を含む3か国で争うことになった。

中国と対戦した最終戦、日本は中国に先制を許したものの、その後3点を奪って突き放し、勝点3を積上げたが、勝点も得失点差も同じで日本と並んでいた朝鮮民主主義人民共和国が、タイに4対1で勝利し日本は得失点差で1点及ばず、決勝トーナメント進出を逃した。



藤枝で行われた日本対朝鮮民主主義人民共和国戦

国際大会であるこの大会では、タイなど海外の報道関係者も来場し、藤枝から情報発信された。また各国の応援の中でも、東京や大阪などの朝鮮高級学校の生徒等が大勢訪れ、朝鮮民主主義人民共和国の代表チームに熱い声援を送っていた。

藤枝開催に当たり、多くのサッカー協会関係者や高校生サッカー部員が補助役員として、また一般ボランティアの方々も参加して大会運営を支え、無事終了することができた。

高円宮杯第15回 全日本ユース(U—18)サッカー選手権大会


藤枝東高校 VS. 星陵高校

藤枝東高校 決勝トーナメント進出ならず 地元藤枝会場で激戦

全日本ユース（U—18）サッカー選手権大会は9月25日、26日、10月2日の3日間で1次ラウンドのリーグ戦が行われ、藤枝総合運動公園サッカー場を会場に藤枝東高校の入るグループCの試合が行われた。

4チームで争われたリーグ戦、藤枝東高校の初戦は国見高校相手の縦への速さに押され守勢となり、6分に失点するが、徐々に対応に慣れ互角の展開になる。後半は終始相手陣内での攻防となり、ゴール前に詰め寄る。そして、22分に柴田の絶妙なパスを受けた赤星が決めて同点とした。その後も攻め続けたが、シュートが枠を外れ決定機を逃すと、41分にカウンターから失点し、惜しい試合を落とした。

2戦目のヴェルディユースとの一戦は、前半26分に赤星の右CKがゴールとなり先手を取ったが後半に1PKを決められ、引き分けに終わった。

4チームが勝点3の中でひしめく混戦となったこのグループで、藤枝東が決勝トーナメントに進むには、早稲高校に2点差以上で勝ち、且つヴェルディと国見が引き分けることが条件となる。その最終戦、押し気味に進めるもなかなかゴールが奪えなかった藤枝東だが、後半も終盤に差し掛かった33分、関谷が中央でドリブルからシュートを決めて均衡を破った。さらに1分後には、DF原田がオーバーラップしてボールを中央に持ち込み、関谷へパス。関谷のシュートをGKが弾いたところを原田が押し込み、待望の2点目をゲット。

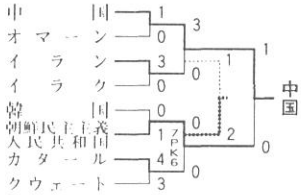
この3試合は、決定力不足などの課題も出たが、最後に取らなければならないゴールを奪うなど、収穫もあった。

1次ラウンド試合結果

グループC	ヴェルディ	早稲	藤枝東	国見	勝点	失差得点	順位
ヴェルディY		△1−1	△1−1	○2−1	5	1	1
早稲高校	△1−1		●0−2	○3−0	4	1	3
藤枝東高校	△1−1	○2−0		●1−2	4	1	2
国見高校	●1−2	●0−3	○2−1		3	−3	4

※2・3位は当該チームの対戦による

決勝トーナメント試合結果



グループリーグ試合結果

グループA	中国	日本	朝鮮民主主義人民共和国	タイ	勝点	失差得点	順位
中国		●1−3	○2−1	○2−1	6	0	1
日本	○3−1		△0−0	●1−2	4	1	3
朝鮮民主主義人民共和国	●1−2	△0−0		○4−1	4	2	2
タイ	●1−2	○2−1	●1−4		3	−3	4

第59回 国民体育大会 サッカー競技
9月10日(金)〜14日(火)　〈埼玉県〉

静岡県総合2位 中西部勢も活躍

埼玉県で行われた国民体育大会で、静岡県は少年男子が決勝で千葉県を1対0の延長Vゴールで破り、優勝を果たした。また、成年男女・少年男子の成績を合わせた男女総合（天皇杯）で2位となった。

少年男子の部

静岡県は1・2回戦で好機を生かせず苦しみながらも勝ち上がると、準々決勝の山口県戦では、気に6点を奪い快勝。個々の技術がチームとしても噛み合いたし、得点に結びついていた。

県勢の試合結果

〈グループA〉
桐陵学園 2−1 ハルスY
東福岡高 2−0 清水エスパルスY
青森山田 1−3 清水エスパルスY
※清水エスパルスはグループ1位で終了

〈グループF〉
ジュビロ磐田Y 3−1 静岡学園高
ジュビロ磐田Y 5−0 レ札幌Y
ジュビロ磐田Y 3−2 鵬翔高校
※ジュビロ磐田はグループ1位で決勝トーナメントへ

多々良学園高 1−3 清水エスパルスY


少年男子 3年ぶりの優勝！

2点を奪い、また、タイブの違う3チームと互角に渡り合い、自信にもなったこの経験を次に活かしてほしい。

成年男子の部

初戦でヴェルカ鹿児島の単独チーム、鹿児島県と対戦した静岡県は、決定機を決めきれずにいたが、後半16分に大内（静岡FC）が下Kから相手クリアボールを蹴り込み待望の先制点を奪った。その後、鹿児島の反撃にあうが、これをしのいで逃げ切った。

準々決勝は優勝した宮城県と対戦。相手ペースで進んだ後半8分に、宮城の小林慶之（焼津市出身）にヘディングシュートを決められ、惜敗した。

中西部勢9選手も全員が試合に出場した。

〈1回戦〉
静岡県 2−0 高知県
〈2回戦〉
静岡県 2−1 熊本県
〈準々決勝〉
静岡県 6−0 山口県
〈準決勝〉
静岡県 5−0 千葉県
〈決勝〉
静岡県 1−0 千葉県（延長Vゴール）

成年男子の部

成年女子は、初戦で福島県と対戦し、遠山さゆり（清水第八SC・藤枝市出身）のサイド突破などで攻めたがる。前半27分に先制すると、後半33分に追加点を奪い、終了間際には、途中出場の長谷川絵梨（藤枝順心高校）がヘッドで押し込み、駄目押しの3点目を奪った。守っては下杉山紫乃（藤枝順心高校）らが堅守を見せて完封した。

準々決勝は、Lリーグの丁ASAKI単独チームでU日本代表数名を要し準優勝した兵庫県。昨年の静岡国体でも対戦で対戦し敗れた相手。兵庫の佐野弘子（島田市出身）の2得点などで5点を奪われ、完敗した。

〈1回戦〉
静岡県 3−0 福岡県
〈準々決勝〉
静岡県 5−0 静岡県


静岡県 VS. 福岡県

〈1回戦〉
静岡県 1−0 鹿児島県
〈準々決勝〉
宮城県 1−0 静岡県


静岡県 VS. 鹿児島県

成年女子の部

成年女子は、初戦で福島県と対戦し、遠山さゆり（清水第八SC・藤枝市出身）のサイド突破などで攻めたがる。前半27分に先制すると、後半33分に追加点を奪い、終了間際には、途中出場の長谷川絵梨（藤枝順心高校）がヘッドで押し込み、駄目押しの3点目を奪った。守っては下杉山紫乃（藤枝順心高校）らが堅守を見せて完封した。

準々決勝は、Lリーグの丁ASAKI単独チームでU日本代表数名を要し準優勝した兵庫県。昨年の静岡国体でも対戦で対戦し敗れた相手。兵庫の佐野弘子（島田市出身）の2得点などで5点を奪われ、完敗した。

ゴール裏から—

キッズ委員会の活動について

(財)静岡県サッカー協会
中西部支部キッズ委員長
難波邦雄

JFAでは平成15年度からCHQ（キャプテン・ヘッドクォーターズ）に基づき「キャプテンズ・ミッション」を遂行しています。そのミッション3では、幼児年代からの普及・育成体制の整備（JFAキッズプログラム）があり、静岡県サッカー協会はそれを推進するフロモートFAに選ばれました。

県協会では5支部に下部組織を設置し、県内くまなく幼児年代からの普及・育成体制をとることになり活動が始まりました。もちろん以前から県内各地でそのような活動がある程度行われていたのですが、組織的に行おうとするものです。

静岡県では組織整備のほかに以下の3つの柱を立て活動しています。

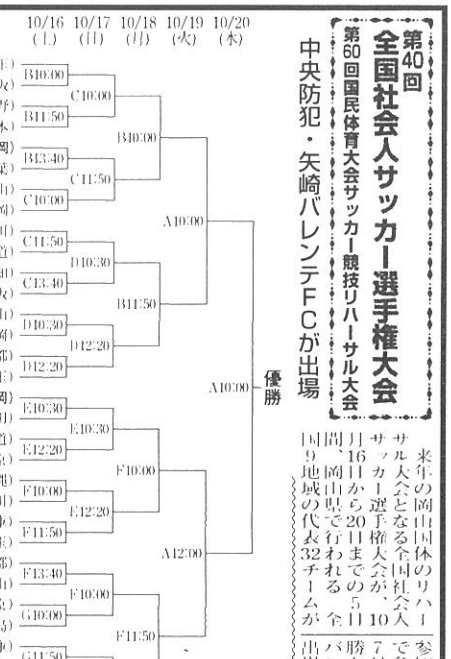
1）キッズ指導者養成スクール（中西部：12月18日（日）、17時30分〜、シーガルドーム（焼津市））
2）キッズサッカーフェスティバル（中西部：平成17年1月23日（日）、焼津市営グラウンド）
3）キッズ巡回指導・キッズクリニック（幼稚園・保育園単位で堀池巧氏らが出向いて園児に指導します）

参加申込みについては幼稚園・保育園・クラブチームに案内を郵送します。次代を担う子ども達に運動の楽しさを正しく味わってもらうため、ご理解と御協力をお願いします。



第40回 全国社会人サッカー選手権大会
第60回国民体育大会サッカー競技リハーサル大会
中央防犯・矢崎バレンテFCが出場

来年の岡山国体のリハーサル大会となる全国社会人サッカー選手権大会が、10月16日から20日までの5日間、岡山県で行われる全国9地域の代表32チームが参加してトーナメント方式で争われる。中西部勢では、7月に行われた東海予選を勝ち抜いた中央防犯と矢崎バレンテFCの2チームが出場する



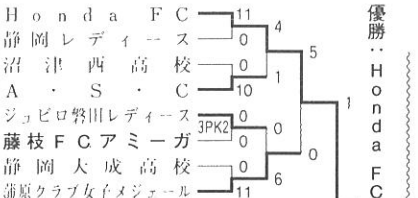
＜会場＞
A：岡山県陸上競技場（桃太郎スタジアム）　B：岡山県補助陸上競技場
C：神崎山公園競技場　D：邑久町スポーツ公園多目的広場
E：瀬崎町総合公園多目的広場　F：水島緑地福田公園陸上競技場
G：水島緑地福田公園サッカー場

第26回 全日本女子サッカー選手権大会 静岡県決勝大会
藤枝順心高校　準優勝
東海大会出場ならず


Honda FC　VS　藤枝順心高校

全日本女子サッカー選手権大会静岡県決勝大会が9月23日、26日、10月10日に行われ、藤枝順心高校が決勝でHondaFCに敗れ準優勝となり、東海大会の出場権を逃した

藤枝順心は、高校の大会で常に接戦を演じている桐陽高校との2回戦をPK戦で辛勝すると、準決勝で富士見FCエンジェルスに勝って初の決勝に進んだ。相手は昨年の覇者、HondaFC。徐々にペースをつかみ中盤を支配した藤枝順心は、相手陣内に攻め込むもシュートまで行かず「サイドを使うなど最後の工夫がなかった」と多々良監督が言う前半を無得点で終えた。すると、後半立ち上がり3分に失点し、その後は簡単にハスを奪われるなど守備が後手に回り「攻めきれないままタイムアップ0対1で惜敗した後半は「慌てていた」と多々良監督



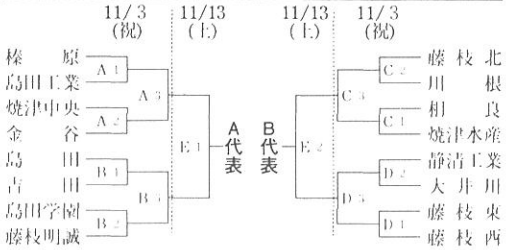
第35回 松永杯争奪中西部サッカー選手権大会
社会人の部・高校の部 予選トーナメント始まる

松永杯争奪中西部サッカー選手権大会は、社会人の部と高校の部でそれぞれ予選トーナメントが行われる両方の部ともに2組に分かれて争われ、勝ち上がった2チームずつの計4チームが、決勝大会の出場権を獲得する。社会人の部は10月24日に始まり、11月14日に代表が決定。高校の部は11月13日、14日に実施され2代表が決まる。なお、決勝大会は12月12日に藤枝総合運動公園陸上競技場で行われる

周りを見て、狙いを持った「プレーをする」ことが課題と話す

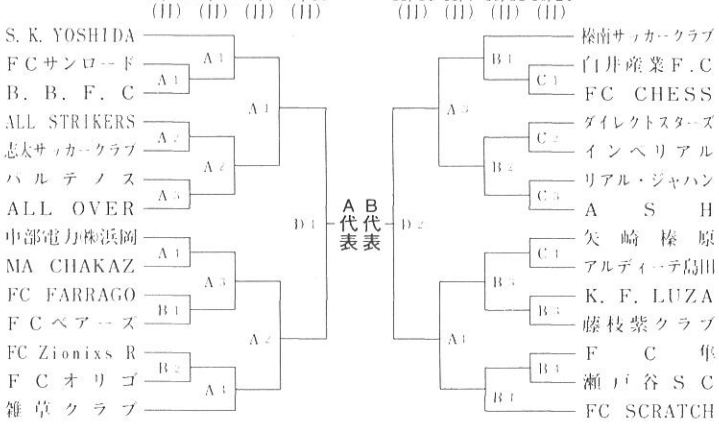


高校の部　組み合わせ



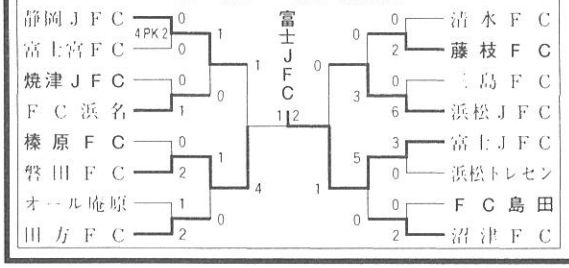
＜会場＞A：榛原高　B：島田高　C：相良高
D：藤枝西高　E：藤枝市民グラウンド
＜時間＞①10：00　②11：30　③14：30

社会人の部　組み合わせ



＜会場＞A：藤枝河川敷A　B：藤枝河川敷B　C：静清工業高校　D：大井川町河川敷B
＜時間＞①10：00　②11：30　③13：00　④14：30

第29回　富士コカ・コーラカップ 静岡県ユースU—12サッカー大会
試合結果
9月11日(土)・12日(日)〈藤枝市〉



決勝大会 組み合わせ
12/12(日)
藤枝総合運動公園陸上競技場



＜時間＞10：00　11：30　14：30

第83回 全国高校サッカー選手権大会 静岡県大会
藤枝明誠・藤枝北・榛原・焼津中央 4チームが第2次リーグ進出

全国高校サッカー選手権静岡県大会は9月23日、10月2日に第1次1回戦リーグが行われ、第2次リーグに進む16校が決まった。中西部勢では、第1シードの藤枝明誠が順当に勝ち上がり、第2シードの静岡西を、榛原は第3シードの静岡を、焼津中央が第1シードの静岡学芸を破って、リーグ戦進出をそれぞれ決めた。第2次リーグは10月10日から17日、24日に分かれて3日間で争われ、各組上位2校の8校が第3次トーナメントに進む。トーナメントは10月31日に始まり、藤枝東など特別シード4校が登場する準々決勝は11月7日、準決勝は14日、そして決勝が21日に静岡スタジアム・エコパで行われ、県代表が決定する

第1次トーナメント試合結果
（中西部勢の試合のみ）

〈1回戦〉
藤枝北 7—3 富士宮東
袋井商業 1—1（PK5—4） 島田工業

〈2回戦〉
藤枝明誠 2—0 小笠
浜松工業
藤枝北 4—1 島田商業
浜松学芸 2—0 島田学園
焼津中央 4—1 引佐
静岡市立 1—0 金谷
島田 3—1 佐久間
浜松城北工業 4—2 浜松南
榛原 3—0 池新田
大井川 1—1（PK3—1） 掛川西
川根 4—0 市立沼津
浜松西 8—0 静清工業
藤枝東 3—1 相良
焼津水産 3—1 常葉菊川
袋井商業 1—1（PK5—4） 島田工業

〈3回戦〉
藤枝明誠 5—1 浜松商業
藤枝北 1—1（PK3—2） 榛原
焼津中央 2—1 静岡北
静岡学芸 1—0 掛川工業
大井川 1—0 島田
浜松城北工業 1—0 川根
藤枝西 2—1 焼津水産
袋井商業 2—1 清水東
常葉橋 3—0 静岡西


大井川　VS　掛川西


川根　VS　市立沼津


金谷　VS　静岡市立


島田工業　VS　袋井商業

第2次リーグ組み合わせ

A	清水東	浜松南	富士	静岡東	
B	聖隷クリストファー	東海大翔洋	日大二島	藤枝北	
C	磐田東	静岡北	焼津中央	榛原	
D	藤枝明誠	清水工業	常葉橋	袋井	

10月10日(日)	10月17日(日)	10月24日(日)
会場：藤枝総合サッカー場	会場：藤枝総合サッカー場	会場：藤枝総合サッカー場
1 榛原—静岡北	1 榛原—焼津中央	2 清水東—浜松南
3 東海大翔洋—藤枝北	5 藤枝明誠—常葉橋	4 藤枝明誠—清水工業
会場：掛川下垂木G	会場：富士総合運動公園	会場：藤枝市民G
1 藤枝明誠—袋井	1 清水東—富士	2 富士—静岡東
5 聖隷—日大二島	5 磐田東—静岡北	4 聖隷—東海大翔洋
会場：蛭塚南G	会場：裾野市陸上競技場	会場：大井川町陸上競技場
1 清水東—静岡東	1 東海大翔洋—日大二島	2 藤枝北—日大二島
5 清水工業—常葉橋	5 清水工業—袋井	4 静岡北—焼津中央
会場：湖西浜名湖電鉄吉美G	会場：湖西浜名湖電鉄吉美G	会場：湖西浜名湖電鉄吉美G
1 磐田東—焼津中央	1 聖隷—藤枝北	1 磐田東—榛原
3 浜松南—富士	3 浜松南—静岡東	5 常葉橋—袋井

＜時間＞①11：00　②12：00　③13：00　④14：00

スルガカップ2004
静岡県ユース(U―15)サッカー選手権大会
兼・第16回高円宮杯全日本ユース(U―15)サッカー選手権大会静岡県予選

中西部勢決勝トーナメント進出ならず

全日本ユース選手権（U―15）サッカー選手権大会が、9月4日、5日、11日、23日の4日間で行われたスルガカップ静岡県ユース（U―15）サッカー選手権の予選を兼ねるスルガカップ静岡県ユース（U―15）サッカー選手権大会が、9月4日、5日、11日、23日の4日間で行われた。プレ10チーム、中体連6チームの計16チームが出場して、4ブロックに分かれて1次ラウンドのリーグ戦を争い、各ブロック上位2の8チームが決勝トーナメントに進んだ。中西部勢は藤枝明誠SC、エスパルスS藤枝、六合中の4チームが出場したが、いずれも決勝トーナメント進出はならなかった。

1次ラウンド試合結果（中西部勢のブロックのみ）

Aブロック	Honda	EWS	ジュビロ掛川	六合	勝点	得点	順位
HondaFC		○2－0	●0－3	○4－0	6	3	2
EWS・FC	●0－2		●0－5	○3－0	3	－4	3
ジュビロ掛川	○3－0	○5－0		○9－0	9	17	1
六合中	●0－4	●0－3	●0－9		0	－16	4

Cブロック	ジュビロ沼津	藤枝明誠SC	エスパルス藤枝	東海大翔洋	勝点	得点差	順位
ジュビロ沼津		○2－1	●0－1	△1－1	4	0	2
藤枝明誠SC	●1－2		○3－0	●0－2	3	0	3
エスパルス藤枝	○1－0	●0－3		●0－3	3	－5	4
東海大翔洋中	△1－1	○2－0	○3－0		7	5	1

第2回静岡県クラブユースリーグ（U―15）新人戦2004
試合結果（中西部勢の試合のみ）9月19日(日)～10月3日(日)

〈1部〉

藤枝明誠SC	3－0	清水エスパルス	10－0	藤枝東FC	3－0	ジュビロ磐田	2－1	ジュビロ沼津アカデミー	7－1	
キューズFC	1－0	藤枝東FC	2－1	Honda FC	2－1	清水エスパルス	5－0			

〈2部〉

Honda FC	3－0	エスパルス藤枝	掛川	FEW・FC	2－1	ACMブルックスA	藤枝明誠SC	2－1	エスパルス藤枝	浜北
ジュビロ磐田	2－1	FEW・FC	藤枝明誠SC	3－0	ACMブルックスA	2－1	ジュビロ沼津アカデミー	3－0	ジュビロ磐田	1－0
ACMブルックスA	5－0	FEW・FC								

〈3部〉

焼津FCTM	1－3	エスパルス藤枝原	3－2	ジュビロ掛川	1－0	藤枝明誠SC	2－1	エスパルス藤枝	1－0	浜北
藤枝東FC	4－0	清水エスパルス	3－0	ジュビロ磐田	3－0	エスパルス藤枝	3－0	ジュビロ沼津	5－0	
ACMブルックスA	3－0	藤枝明誠SC								

〈4部〉

太陽FC	2－0	天竜FC	3－1	エスパルス藤枝原	9－1	焼津TMブルックスB	2－1	マーレSC	2－1	
焼津FCTM	1－0	エスパルス藤枝原	3－0	ヒアーズFC	4－1	焼津TMブルックスB	3－1	ACMブルックスB	2－0	
湖西FC	2－1	NFC	3－2	エスパルス藤枝原	3－3	ASKA FC	2－0	焼津TMブルックスB	3－1	ACMブルックスB
焼津TMブルックスB	2－1	サルファ	2－0	エスパルス藤枝原	2－0	森FCアルゴス	3－0	ACMブルックスB	1－0	焼津FCTM


A優勝　焼津南SS


B優勝　焼津南SS


6年の部　優勝　青島SS


5年の部　優勝　葉梨SS


4年の部　優勝　青島北SS


3年の部　優勝　青島北SSA

第14回バーモントカップ全日本少年フットサル大会・静岡県大会
初倉　ベスト8

全日本少年フットサル静岡県大会が9月23日に静岡市の中島人工芝多目的スポーツランドで行われた。24チームが参加して、8組に分かれてのリーグ戦と、各組1位による決勝トーナメントで争われた。中西部勢では初倉が決勝トーナメントに進んだが、1回戦で長田西に惜敗した。

1次リーグ試合結果（中西部勢のブロックのみ）

Bブロック	焼津東	安倍川	三島西	順位
焼津東		●0－3	●1－4	3
安倍川	○3－0		●2－5	2
三島西	○4－1	○5－2		1

Dブロック	細江	城内	佐鳴台	順位
細江		●1－3	●1－5	3
城内	○3－1		○4－1	1
佐鳴台	○5－1	●1－4		2

Eブロック	高根	有度A	初倉	順位
高根		○4－1	●2－4	2
有度A	●1－4		●0－3	3
初倉	○4－2	○3－0		1

Hブロック	聖隷A	高洲南	笛山A	順位
聖隷A		○7－0	△1－1	1
高洲南	●0－7		●0－3	3
笛山A	△1－1	○3－0		2

決勝トーナメント試合結果

FCアスルクラロ沼津

第5回 フットサル施設交流会
（小学1年生の部）　9月18日(土)　優勝ACE ONEイエロー

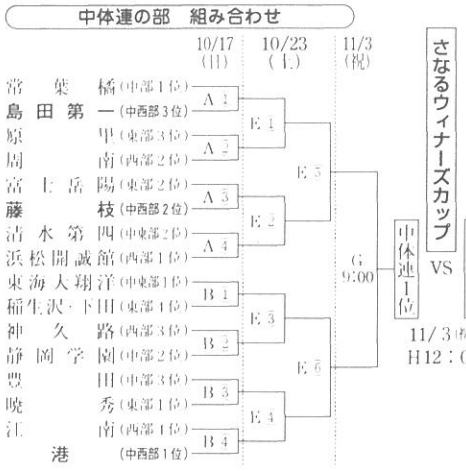
SP Hero	5－1	エスペランサB	8－0	ACE ONEホワイト	1－0	SP Hero	10－0	エスペランサB	3－0	ACE ONEホワイト	2－0	SP Hero	6－0	エスペランサB	5－2	ACE ONEホワイト	2－1	SP Hero	ACE ONEイエロー
ACE ONEイエロー	2－1	エスペランサA	SP Hero	2－1	ACE ONEホワイト	エスペランサA	3－0	エスペランサB	ACE ONEイエロー	6－0	エスペランサA	ACE ONEホワイト	5－2	エスペランサB	ACE ONEイエロー	2－1	SP Hero	エスペランサA	

2004さなるカップ争奪 第25回 静岡県中学一年生サッカー大会

中西部勢　中体連の部に3チーム　クラブの部に2チーム　出場

中体連の部とクラブの部に分かれて行われる、さなるカップ争奪静岡県中学一年生サッカー大会が、10月17日に開幕する。それぞれ各地区予選を勝ち抜いた16チームが参加し、トーナメント戦で争われ、最終日の11月3日に決勝戦が行われる。さらに同日、草薙球技場でそれぞれの優勝チームが対戦し県サンバーソンを決める。ウィナーズカップが実施される。中西部からは、中体連の部に港中、藤枝中、島田第一中の3チーム、クラブの部に藤枝東FC、藤枝明誠SCの2チームが出場する。

中体連の部　組み合わせ



クラブの部　組み合わせ



〈会場〉A：とこはグリーンフィールド　B：つま恋グリーン広場　C：つま恋多目的山側G
D：つま恋多目的入口側G　E：富士川河川敷Aグラウンド　F：鈴与三保G
G：J・STEP　H：草薙球技場

〈時間〉10/17　A会場＝①9：30　②11：00　③12：30　④14：00
B～D会場＝①10：00　②11：00　③12：00　④13：00
10/23＝①9：30　②10：30　③11：30　④12：30　⑤13：30　⑥15：30

第27回志太サッカー少年団リーグ戦 最終成績

得点ランキング


海野1位（焼津豊田SS）　通22点


平野2位（岡部SS）　雄17太


大野3位（焼津豊田SS）　綾16己

	Aリーグ	Bリーグ
1位	焼津南	焼津南
2位	豊田	焼津東
3位	焼津東	豊田
4位	大富	黒石
5位	小川	大富
6位	岡部	港
7位	大井川東	岡部
8位	大井川南	焼津西
9位	黒石	小川
10位	和田	東益津
11位	大井川西	大井川東
12位	東益津	大井川南
13位	港	朝比奈
14位	焼津西	和田
15位	朝比奈	大井川西

第39回藤枝市少年サッカーリーグ戦 最終成績

	6年の部	5年の部	4年の部	3年の部
優勝	青島	葉梨	青島北	青島北A
2位	葉梨	青島北	広幡	高洲南A
3位	青島北	藤枝	藤枝	高洲
4位	高洲南	高洲	青島	広幡
5位	青島東	青島	藤枝中央	大洲
6位	藤枝	広幡	瀬戸谷	青島
7位	西益津	青島東	葉梨	藤枝A
8位	広幡	西益津	高洲南	葉梨
9位	藤枝中央	高洲南	稲葉	青島東
10位	大洲	藤岡	西益津	青島北B
11位	高洲	大洲		藤枝中央
12位	稲葉			高洲南B
13位	瀬戸谷			藤枝B
14位				西益津

鈴村路子の もっと知りたいサッカー No.85

ダービー

9月は、AFC U－17選手権大会や、高円宮杯全日本ユース（U－18）選手権といった、若い年代の大会が藤枝で続いた。AFCの大会は、この地域ではめったにない国際大会なのに、観客が少ないのが残念だった。とは言え、準々決勝のあった韓国対朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）戦は、終わったあとは統一旗が振られるなど感動的なものだったし、3位決定戦も、数は少なかったが、イランの人たちの応援が印象に残っている。

さて、全日本ユースでは3日間、運営のお手伝いをした。期間中補助員をしてくれた市内の高校サッカー部の生徒たちが、静岡ダービーの話をしていた。ダービー（Derby）とは、同じ地方や都市などをホームタウンとするチーム同士の試合である、ということくらいは知っているようだったが、詳しい謂われはよく分からない、様子だった。そこで私は、ヤングサッカーニュースの紙面で教えてあげることを約束したので、約束を果たしたいと思う。

ダービーというと、競馬を連想するかもしれないが、競馬には直接関係が無い。また、イギリスの政治家や製鉄業者にその名の人たちがいたが、それとも違うイギリスはイングランド中部にダービーという工業都市がある。そこで18～19世紀、2つの教会区に分かれてフットボールの試合が行なわれ、文字通り地域を二分するほど熾烈なものであったため、激しい戦いの比喩として、この地名をとって拠点を同じくするチームの試合をダービーと呼ぶようになったそうである。日本では、ダービーマッチと言うが、英語ではローカルダービーと言うようである。

平成16年度 中西部社会人サッカーリーグ 2部・3部B 最終成績

順位	3部Bリーグ	勝	分	負	勝点	得失差
1	矢崎榛原	7	1	2	22	23
2	アルディテ島田	6	3	1	21	19
3	リアル・ジャハン	6	0	4	18	18
4	ツムラ	6	0	4	18	−1
5	白井産業FC	5	1	4	16	18
6	FC隼	5	1	4	16	5
7	藤枝紫クラブ	5	0	5	15	3
8	FCオリゴ	3	3	4	12	2
9	FCブラッツ	3	2	5	11	−9
10	白虎隊FC	2	0	8	6	−40
11	FCシエスタ	1	1	8	4	−38

（得点ランキング）
1位：青島　良介（リアル・ジャハン）10点
2位：長谷部裕一（リアル・ジャハン）9点
3位：浜田　雄弘（アルディテ島田）7点
　　藤田　健仁（FCオリゴ）7点

順位	2部リーグ	勝	分	負	勝点	得失差
1	金谷チャッキリーズ	7	1	0	22	19
2	FC Zionixs	7	0	1	21	35
3	インヘリアル	5	0	3	15	12
4	FC SCRATCH	4	1	3	13	−1
5	FCヤザキ	3	3	2	12	−9
6	雑草クラブ	3	1	4	10	−3
7	1969	1	3	4	6	−14
8	F.Cサンロード	0	2	6	2	−18
9	ブループラネット	0	1	7	1	−21

◎得点王：永田陽介（FC Zionixs）　18点

社会人シニア ユース 女子 リーグ戦
（中西部勢の試合結果）

東海社会人リーグ1部
9月4日～10月3日

中央防犯 4－1 藤枝市役所
矢崎バレンテFC 5－1 岩窪クラブ
中央防犯 3－2 静岡FC
矢崎バレンテFC 3－3 静岡FC
藤枝市役所 1－1 コニカミノルタ
矢崎バレンテFC 2－2 鹿FC
ホンダ鈴鹿FC 1－0 藤枝市役所
藤枝市役所 3－1 静岡FC
中央防犯 1－1 コニカミノルタ
矢崎バレンテFC 2－1 中京大学FC

静岡県社会人リーグ
9月5日～26日

〈1部〉
静岡市役所 3－1 大井川町役場
静岡スバル 3－2 藤枝ネルソンCF

静岡県シニアリーグ
9月12日

〈1部〉
藤北クラブ 2－0 ペアーズ

中西部社会人リーグ
9月19日

〈3部〉
焼津豊田 3－2 浦原クラブ
大里FC 3－2 岡部FC
岡部FC 2－1 焼津豊田FC

〈2部〉
静岡スバル 8－1 大井川町役場
佐川急便中京 3－2 藤枝ネルソンCF
大谷FC 2－0 焼津信用金庫
コスモスSC 3－2 巴川製紙所
焼津信用金庫 5－4 巴川製紙所
矢崎バレンテFC 5－1 岩窪クラブ
コスモスSC 3－2 SS・OBパンヤン
コスモスSC 1－1 SC小糸FC
ジュビロSS・OB 6－3 焼津信用金庫

〈シニア40〉
すそのシニア 2－0 榛原シニア

〈シニア50〉
藤枝FC 7－0 新星クラブ

〈シニア60〉
中西部 3－0 中東部

静岡県ユースリーグ
9月4日～18日

〈Aリーグ〉
吉田 3－2 清水工業

〈Bリーグ〉
東海大翔洋 3－0 藤枝西
焼津中央 2－0 藤枝西
藤枝北 2－0 常葉菊川
焼津中央 3－0 藤枝北

静岡県女子リーグ
9月19日

藤枝FCアミーガ 1－1 藤枝姉妹FC
静岡産業大学 3－2 吉原高校

中西部女子リーグ
9月26日

藤枝FCエスペレ 1－1 島田フリンセス
榛南ドルフィン 5－0 焼津クイーンズ
榛原中学 2－1 六合中学

平成16年度 第2回財日本サッカー協会公認D級コーチ養成講習会 受講者募集

サッカー競技の普及・発展を図るため、特に少年少女を対象にしたサッカーの基本的指導にあたる指導者の養成を目的として実施する。

＜実施日時＞　平成16年12月17日㈮　18：45～20：45〈講義〉
　　12月18日㈯　13：00～17：00〈講義〉
　　12月19日㈰　8：45～12：00〈実技〉
＜会　場＞　藤枝明誠高校（講義は他会場に変更する場合あり）
＜受講資格＞　①平成16年3月31日現在、満18歳以上の者
　②地域におけるサッカースクールやスポーツ少年団等で実際に指導に携わっている指導者、及び今後指導者を目指す者
＜募集人員＞　最大35名
＜講習内容＞　①基礎理論　②実技　③筆記試験
＜講　師＞　㈶日本サッカー協会公認インストラクター（A級及びB級コーチ）
＜受講料＞　13,600円（日本協会納付金、教材費、開催運営費）
＜申込方法＞　申込用紙に必要事項を記入の上、下記まで郵送かFAXで送付
＜申込締切＞　平成16年11月30日㈫
＜申込・問合せ先＞　〒426-0051　藤枝市大洲2－2－1
　藤枝明誠高校　田村和彦
　TEL054－635－8155　FAX054－635－8494

10・11月のその他の予定

・静岡県社会人リーグ1・2・3部　・中西部社会人リーグ3部
・静岡県女子リーグ　・中西部女子リーグ
・キンパラカップ争奪静岡県中学ジュニアユース新人サッカー大会
　中西部支部予選　11月13日㈯～27日㈯　＜六合中学校G他＞
・第2回静岡県クラブユースリーグ(U－15)新人戦2004
・第37回NTT西日本静岡グループカップ静岡県サッカースポーツ少年団大会
　榛原地区予選　9月19日㈰～11月14日㈰
　島田地区予選　10月2日㈯～11月3日㈷
　藤枝地区予選　10月16日㈯～11月7日㈰
　志太地区予選　10月17日㈰～11月3日㈷

・中西部理事会　11月12日㈮　・中西部審判委員会　11月14日㈰
・平成16年度日本サッカー協会公認C級コーチ養成講習会
・3級レフリースクール講義(新規)　10月24日㈰、31日㈰
・3級レフリーリフレッシュ講習会
　11月14日㈰、28日㈰　＜大井川町多目的ホール＞

㈶静岡県サッカー協会中西部支部　事務局
〒421-0206　大井川町上新田292-1　大井川高校内・鎌田昌治理事長
TEL054-622-3411　FAX054-622-3472
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

コンディショニングアドバイスIV
疲労と疲労回復について

ももたらされるので鑑別する必要があります。生理的な疲労は休息によって回復しますが、生理的な疲労であってもそれがひどくなってくると病的と言える慢性疲労に陥ることもあります。心筋梗塞や過労による心血管系の疾患、あるいは突然死を起こすということもあります。

1　疲労の三徴

疲労の三徴として①作業能率が低下する（活動レベルが下がる、最大筋力が低下するなど）、②疲労感（疲れたという自覚症状）、③生理的な変化が挙げられます。

疲労はだるいとか重たいなどの症状となって現れますが、様々な疾患から

2　疲労回復には

全身の疲労、局所的疲労、精神的な疲労の疲労回復について説明していきます。

疲労の種類	回復方法
全身の疲労	休憩・睡眠
局所的疲労	ストレッチ マッサージ
精神的な疲労	気分転換 リラックス

食事での回復には
炭水化物（ご飯、麺、パン）
ビタミンB1（豚肉、大豆製品、緑黄色野菜）
ビタミンC（オレンジ、キウイ、グレープフルーツ）
好きなものを食べてリラックス

3　自分で行う疲労回復について

リートまで幅広く行われています。ストレッチを行う際のポイントは、1動作につき30秒間くらい行うこと、心地よい痛みを感じるくらいの強さで伸ばすこと、呼吸を止めずにリラックスしながら行うことです。ケガをしてからストレッチを行ってもよいか分からない時は、必ず医師や専門家に相談しましょう。

自分で行うことのできる疲労回復の方法として、代表的なものにストレッチがあります。ストレッチの効果は筋肉の緊張を和らげ、血液循環を促進し、柔軟性を高めることです。そのことによって、スポーツ活動で生じた疲労を回復することができます。現在ストレッチはスポーツ愛好家からトップアス



参考文献
月間トレーニング・ジャーナル9月号

JR西焼津駅北口駐車場
（有）入山一
TEL & FAX 054-628-7383

レッカー作業24時間対応
M・K/Cars co. RS24
TEL 054-625-1722
焼津市三衛門新田379-1
㈲エム・ケイ自動車

パソコン資格の強い見方！
Microsoft Office Specialist
（教育訓練給付金指定講座あります）
パソコンのことならお任せください
TOKAIパソコン教室島田校
島田市御仮屋町7454-1 (0547)34-3529

警備保障
ACM 株式会社 中央防犯

拡げます
デジタルネットワーク
共立印刷株式会社

YAIZU FUTSAL倶楽部
ICHIMARU SPORTS VILLA
〒425-0052　焼津市田尻1122
お問い合せ　054（625）0011（代）
ご予約　0120－210812
ICHIMARU SPORTS VILLA

めざせ ワールドカップ
清水屋スポーツ
藤枝市本町3丁目6－8
☎(054)641－1358
フットボールギア
藤枝市前島1丁目6－3
☎(054)636－6108

ビジネスホテル
シルビア
〒426-0022 静岡県藤枝市稲川1丁目11－48
TEL 054－643－0500(代)

中西部
ヤングサッカーニュース
2004 11
発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部支部長　鎌田昌治　企画構成編集責任者／滝本義三郎

第39回 東海社会人サッカーリーグ1部
矢崎バレンテFC 優勝！

東海社会人リーグの1部は10月9日に全日程を終了し、矢崎バレンテFCが4年ぶり2度目の優勝を飾った

1試合を残して2位につけていた矢崎バレンテは、10月31日に行われたチームの最終戦に臨んだ　相手は大学FC　勝った方が優勝というまさに優勝決定戦となったこの戦で、矢崎バレンテは積極的な試合運びを見せ、後半3分に遠藤のシュートで先制すると、24分にも安池が決めてリードを広げた　終盤は相手の反撃で1点差に詰め寄られたが、その後のピンチもしのいで逃げ切り、2対1で勝利　逆転優勝を決めた


大塚監督を胴上げする矢崎イレブン

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失差
1	矢崎バレンテFC	8	5	1	29	13
2	中京大学FC	9	1	4	28	11
3	静岡FC	7	1	6	22	11
4	藤枝市役所	6	4	4	22	4
5	中央防犯	5	2	7	17	−6
6	ホンダ鈴鹿FC	5	2	7	17	−15
7	コニカミノルタSC豊川	4	4	6	16	−4
8	芙蓉クラブ	2	1	11	7	−14

第28回全国地域リーグ決勝大会
矢崎バレンテFCが出場

全国の地域社会人リーグから日本フットボールリーグ（JFL）への昇格をかけて争われる、全国地域リーグ決勝大会が11月26日に開幕する　東海リーグからは優勝した矢崎バレンテFCが、3位の静岡FC（2位の中京大学FCは辞退）と共に出場する　鹿児島県と高知県で開催される1次ラウンドでは、JFL入り希望の大学1チームを含めた参加12チームが、4組に分かれてリーグ戦を行い、各組1位が決勝ラウンドに進む　決勝ラウンドは12月3日から兵庫県で行われ、4チームによるリーグ戦で争われる　そして、上位2チームがJFLへ自動昇格もしくは入替戦を実施する（12月6日以降に決定）

Aグループ	流通経済大学	(大学連盟)
	TDK	(東北)
Bグループ	海自厚木基地マーカス	(関東2)
	ホンダロック	(九州)
	企沢SC	(北信越)
Cグループ	ノルブリッツ北海道FC	(北海道)
	三菱自動車水島	(中国)
	静岡FC	(東海2)
	ASLaranjaKyoto	(関西1)
Dグループ	ホンダルミノッツ狭山FC	(関東1)
	南国高知FC	(四国)
	矢崎バレンテFC	(東海1)

組み合わせ

1次ラウンド(Dグループ)　〈会場〉高知県春野総合運動公園球技場

11/26(金)	13:15	ホンダルミノッツ狭山FC	−	南国高知FC
11/27(土)	13:15	ホンダルミノッツ狭山FC	−	矢崎バレンテFC
11/28(日)	13:15	南国高知FC	−	矢崎バレンテFC

決勝ラウンド　〈会場〉五色台運動公園アスハ五色(兵庫県)

12/3(金)	11:00	A1位−B1位	13:15	C1位−D1位	
12/4(土)	11:00	A1位−C1位	13:15	B1位−D1位	
12/5(日)	11:00	A1位−D1位	13:15	B1位−C1位	

「中西部ヤングサッカーニュース」17年の歴史が一冊の本に

200号記念誌を発刊



1988年(昭和63年)4月に発刊された月刊新聞「中西部ヤングサッカーニュース」が、平成17年1月号で200号を刊行します　「蘇れ、サッカーのまち、藤枝」を発刊当時のスローガンとし、サッカーマンの夢を育てる、子供たちを健全に育成する、地域の誇りと活性化を図る等を合言葉に11人の編集委員を中心に歩んで来ました

第1号の記念すべき紙面には藤枝市役所・日本リーグ2部昇格、藤枝FC・全日本少年大会準優勝、西益津中・全国中学校大会第3位等、輝かしい記事が載っています

1993年、サッカー界が大変革したJリーグの誕生　1998年仏W杯で日本代表の主役として初ゴールをあげた中山雅史(ジュビロ)、同大会で活躍した名波浩(ジュビロ)、Jリーグで長年にわたり中心選手として活躍している渡辺毅(レイソル)、2006年ドイツW杯日本代表候補の山田暢久(レッズ)、そして、今季のヤマザキナビスコカップで「ニューヒーロー賞」を受賞した長谷部誠(レッズ)選手等の記事や写真が掲載されています

また、1990年(平成2年)藤枝中・全日本ジュニアユース大会優勝、1992年(平成4年)・1998年(平成10年)藤枝東高・全日本ユース大会優勝、全国自治体優勝の常連、藤枝市役所　その他、数多くのサッカーマン・各種大会等の活躍の記事や写真を一冊の本にまとめてみました

＊書式　　A4判　一部カラーの写真入、450ページ
＊発行予定日　平成17年3月上旬
＊県サッカー協会中西部支部登録チーム及び個人定期購読者に1冊を無料配布。
＊一般購入の申し込みについて
・1冊(2,000円)・送料(500円)で、現金書留にてお申し込み下さい。
・申込受付期間　平成16年12月1日(水)〜平成17年1月31日(月)
・申し込み先　〒426-0041　藤枝市高柳1−18−23
共立印刷㈱　ヤングサッカーニュース担当　清水俊哉　宛
TEL 054−635−4651

第83回 全国高校サッカー選手権大会 静岡県大会

全国高校サッカー選手権静岡県大会は10月24日に第2次リーグが終了し、4組の各上位2校、計8校が決勝トーナメントに進出した　10月31日に決勝トーナメント1回戦が行われ、7日の準々決勝には特別シード4校が登場した

藤枝東 準決勝進出

特別シードの藤枝東は、準々決勝で東海大翔洋と対戦した　終始ボールを支配し優位に進めるも、守りを固めカウンターを狙う翔洋になかなかゴールが奪えないまま前半38分、赤星の左CKをニアサイドで中村が2勝1敗の勝点6で並んだが、得失点差で常葉橘が一歩リードし1位となり、藤枝明誠と袋井が得失点差、総得点でも並んだため、直接対決で敗れている藤枝明誠は3位という結果に終わり、涙をのんだ


藤枝北　VS　日大三島


焼津中央　V-S　榛原


藤枝明誠　V-S　常葉橘

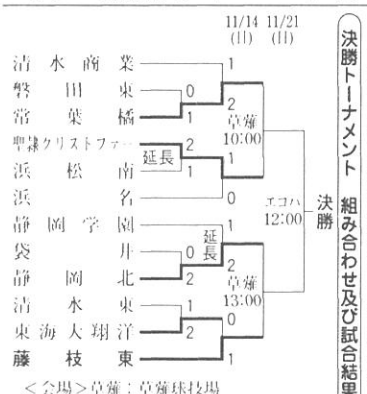
藤枝東 準決勝進出

特別シードの藤枝東は、準々決勝で東海大翔洋と対戦した　終始ボールを支配し優位に進めるも、守りを固めカウンターを狙う翔洋になかなかゴールが奪えないまま前半38分、赤星の

中西部勢は第2次リーグ突破ならず

中西部勢では藤枝明誠、焼津中央、藤枝北、榛原の4校が第2次リーグに臨んだが、残念ながら共に決勝トーナメント進出はならなかった　混戦となったブロックでは、藤枝明誠を含む3校

決勝トーナメント 組み合わせ及び試合結果



＜会場＞草薙：草薙球技場
エコパ：静岡スタジアム・エコパ

ゴール裏から——

各種大会の運営を終えて

(財)静岡県サッカー協会
中西部支部　支部長
鎌田　昌治

今年度の中西部支部の重点目標に「国際・全国大会を成功させる」ということをあげた　今年度は、例年になく大きな大会が藤枝総合運動公園サッカー場を中心に実施されたからである

7月22日から開催された全国高校総体サッカー選手権大会は、地元の藤枝市役所と大井川町役場が出場したことで、大いに盛り上がりを見せた　特に優勝候補の藤枝市役所は、予想通りに決勝戦に進み、秋田市役所を5対0で破り、34回大会中22回目の優勝を飾った

9月11日から18日までは、世界大会のアジア予選であるAFC U−17サッカー選手権大会が行われた　予選ラウンドの日本代表戦も2試合行われたが、結果的には日本は決勝トーナメントには進めず、それが大会の盛り上がりを左右してしまった感がある　日本が予選ラウンドで勝った中国の優勝で幕を閉じたが、運営に携わった協会の一人としては、今までに経験のない多忙さを味わった

9月25日からは、藤枝東高校が出場した高円宮杯全日本ユース(U−18)サッカー選手権大会が行われ初日に藤枝東対国見という好カードのため、会場は地元のファンでスタンドを埋めた結果的に2位で勝点の差で惜々決勝へは進出できなかったが、選手権県大会を勝ち抜き、全国大会で戦える手ごたえを十分に感じることができたのではないかと思う

最後に、大会を実施するにあたり、支部協会の役員・藤枝市協会ボランティア・エコパスタッフ・藤枝市協会ボランティアの方々をはじめ、補助員として活躍をしてくれた高校生と中学生に感謝をしたいと思います　特に、AFC U−17で個人日程にて(財)サッカーをしてくれた藤枝明誠高校サッカー部には敬意を表したいと思います

ありがとうございました

第2次リーグ試合結果（中西部勢のブロックのみ）

Bブロック	聖隷	翔洋	藤枝北	日大三島	勝点	得点	失点	得失点差	順位
聖隷クリストファー		○2−1	○2−1	△1−1	7	5	3	2	1
東海大翔洋	●1−2		○1−0	○5−0	6	7	2	5	2
藤枝北	●1−2	●0−1		○6−2	3	7	5	2	3
日大三島	△1−1	●0−5	●2−6		1	3	12	−9	4

Cブロック	磐田東	榛原	静岡北	焼津中央	勝点	得点	失点	得失点差	順位
磐田東		○9−0	●0−2	○4−1	6	13	3	10	2
榛原	●0−9		●0−6	●0−1	0	0	16	−16	4
静岡北	○2−0	○6−0		○4−1	9	12	1	11	1
焼津中央	●1−4	○1−0	●1−4		3	3	8	−5	3

Dブロック	藤枝明誠	清水工業	常葉橘	袋井	勝点	得点	失点	得失点差	順位
藤枝明誠		○3−2	○1−0	●0−1	6	4	3	1	3
清水工業	●2−3		●0−3	●0−1	0	2	7	−5	4
常葉橘	●0−1	○3−0		○3−2	6	6	3	3	1
袋井	○1−0	○1−0	●2−3		6	4	3	1	2

※2・3位は当該チームの対戦結果による

第1回日本ハム杯 2004東海ユースU−11 8人制サッカー大会 静岡県大会

FC島田　準優勝　東海大会出場



東海ユースU−11・8人制サッカー大会静岡県大会が10月30日、31日の両日に行われ、FC島田が準優勝し、上位2チームにうえられる東海大会の出場権を獲得した。

準決勝で浜松JFCと対戦したFC島田は、サイドから攻められるが、相手シュートは体を張ってブロック、0対0で前半を終える。後半11分に先制を許したが、ロスタイムに上本のセンタリングを真木が頭で押し込み同点として、延長戦へ突入した。島田は3人目からサドンデスとなるPK戦へ突入したが、1人目からサドンデスとなり、4人目を6K上野が止め、3対2で勝利、決勝進出を決めた。

決勝の相手は清水FC中盤でボールを奪われ劣勢になり、前後半に1点ずつ許し、1点ビハインドで後半終了間際にPKを与えてしまった。

神谷監督は「個人の能力を上げることと、ゴールに向かう姿勢、自分がやるという積極性がほしい」と課題を挙げた。

榛原FC　第3位

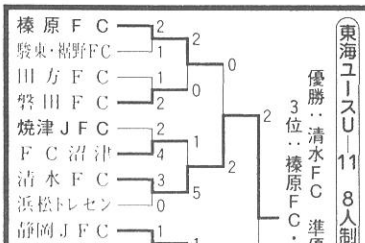
準決勝に進んだ榛原FCは清水FCと対戦、前半に2点を奪われると、後半は縦のボールで前線の飛び出しを狙ったが跳ね返され、そのまま終了、3位となった。

8人制に移行

昨年から東海大会では8人制で実施されたこの大会、今回から静岡県大会でも8人制の大会として行われることになった。また「前半と後半のスターティングメンバーは総入れ替えする」という規定で、多くの選手に出場機会が与えられた。

東海ユースU−11　8人制　県大会　試合結果

優勝：清水FC　準優勝：FC島田
3位：榛原FC・浜松JFC



第1回日本ハム杯 2004 東海ユースU−11・U−12 8人制サッカー大会

FC島田が出場



U−11とU−12の部に分かれて行われる東海ユースU−11・U−12の部に、県大会で準優勝したFC島田が出場する。

東海大会では、12分を3セット行う3ヒリオド制で行われる。また、第1ヒリオドと第2ヒリオドでは選手を入れ替えし、両方に出場することはできないが、より多くの選手に出場機会がうえられる（第3ヒリオドは制限なし）。

U−11の部　組み合わせ

11/28(日)

四日市トレセン	（三重1）	C1 10:15
東濃トレセン	（岐阜2）	
西三河トレセン	（愛知2）	A1 12:30
清水FC	（静岡1）	C2 10:15
西濃トレセン	（岐阜1）	A2 15:30
FC島田	（静岡2）	C1 11:15
津トレセン	（三重2）	A2 13:30
知多トレセン	（愛知1）	C2 11:15

〈会場〉A1・2：静岡スタジアム・エコパ（2面）
C1・2：エコパ多目的運動広場（2面）

平成16年度 東海地区大学女子サッカー選手権大会

第13回全日本大学女子サッカー選手権大会東海地区予選

静岡産業大学 全国大会出場



東海地区大学女子サッカー選手権大会が10月16日、23日に愛知県口論義運動公園で行われ、初戦で中京大学と対戦した静岡産業大学は、10人で武合に臨みながらも、中盤を支配し優位に進める。そして、前半19分にFKを堀江が直接決めて先制点を奪った。バランスが悪くなりスペースをうえてしまったところを使われ、11分に同点とされるも、FKから田原が頭で押し込み、決勝点となる2点目をゲット。決勝進出と同時に全国切符を手にした。

中京女子大学と対戦した決勝は、前半に1点を奪われると、後半にも3点を失い、0対4で敗れた。

なお、全国大会は12月18日から神戸市で行われる。

東海大会　試合結果

優勝：中京女子大学
準優勝：静岡産業大学

中京女子大学	14	4	
常葉学園大学	0		
中京大学	1	0	
静岡産業大学	2		

第40回 全国社会人サッカー選手権大会

第60回国民体育大会サッカー競技リハーサル大会

来年の岡山国体のリハーサル大会となる全国社会人サッカー選手権大会が、10月16日から20日まで岡山県で行われ、中央防犯がベスト8となった。

全国9地域の代表32チームが参加して、トーナメント方式で争われたこの大会に、中西部勢では中央防犯と矢崎バレンテFCの2チームが出場した。

中央防犯はT1回戦でジェフユナイテッド市原アマチュアと対戦し、1対1から後半に決勝点を挙げ、2回戦へ駒を進めた。続くニューウェーブ北九州戦では6得点を奪って快勝、準々決勝進出を決めた。

準々決勝で優勝した中央防犯は、優勝したホンダルミノッソ狭山FCと対戦した。前半を0対0で折り返したが、後半に6点を失って敗れ、準決勝進出はならなかった。

矢崎バレンテFCは初戦のT1回戦で、前半に先制するも後半に追いつかれると、延長戦では決着がつかず、PK戦の結果4対5で惜敗した。

●試合結果（中西部勢の試合のみ）

〈1回戦〉
中央防犯　2−1　ジェフユナイテッド市原アマチュア
T1　1−1　ニューウェーブ北九州
矢崎バレンテFC　（PK5−4）

〈2回戦〉
中央防犯　6−0　九州

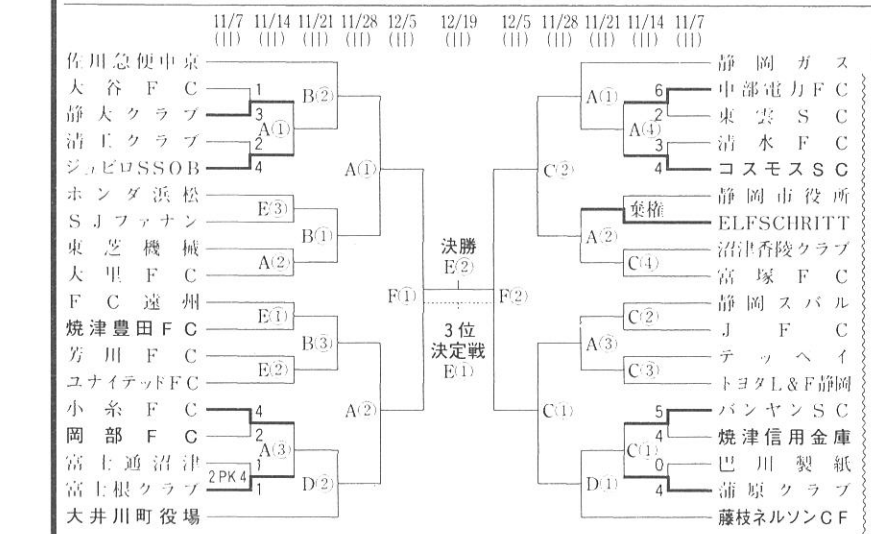
〈準々決勝〉
中央防犯　6−0　ホンダルミノッソ狭山
矢崎バレンテFC　0−6　中央防犯

第5回 静岡県社会人サッカーリーグ トーナメント大会 開幕

静岡県社会人サッカーリーグトーナメント大会が11月7日に始まった。県社会人リーグ1〜3部に所属する全チームで争う大会だが、今回は静岡市役所が集権のため35チームで争う。

県社会人サッカー選手権大会東海地域大会への出場権を得るのは、県リーグから東海リーグへの昇格如何によってはこの限りではない。

なお、優勝チームは、来年度の全国社会人サッカー選手権大会東海地域大会への出場権を得るほか、県リーグ1〜3部に所属する上位決定戦は12月19日に行われる。



〈会場〉A：蒲原Aグラウンド　B：蒲原Bグラウンド　C：蒲原Cグラウンド
D：大井川町河川敷多目的グラウンド　E：エコパ補助競技場　F：草薙球技場
〈時間〉1日4試合＝①9：30　②11：15　③13：00　④14：45
1日3試合及び2試合＝①10：00　②11：45　③13：30

平成16年度 中西部トレーニングセンター（後期）開講

U−12（小6）

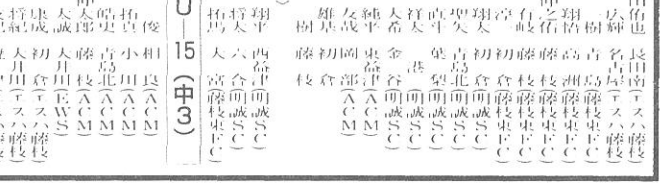
小学6年生から中学3年生までを対象とした中西部トレーニングセンターは、10月26日に開講式を行い、後期の活動をスタートさせた。藤枝明誠高校を会場に、火曜日を練習日として、2月22日まで計14回、実施される。



U−13（中1）



U−14（中2）



U−15（中3）

2004 東海小学生女子8人制サッカー大会 静岡県大会

10月30日㈯・31日㈰　〈榛原町営グラウンド〉

各支部トレセンが参加

●試合結果●

中西部 1−0 東部
中西部 1−1 中東部
中西部 1−0 中東部
中西部 2−0 西部

【順位】
(1)中西部　(2)中東部　(3)西部　(4)東部　(5)中東部

※1・2・5位は得失点差による

平成16年度 中西部中学生新人サッカー大会 始まる

中学生新人サッカー大会は各地区予選が11月6日までに終了し、それぞれの代表16チームによる中西部大会が13日に始まった。トーナメント方式で争われ、11月27日に準決勝、決勝、3位決定戦が行われる。この大会は、来年1月に行われるキンバラカップ県新人大会の予選となり、上位3チームが出場権を獲得する

〈決勝〉
焼津TMB・FC 2―1 港 中
延長

〈3位決定戦〉
EWS・FC 4―3 大 富 中

〈5位決定戦〉
大井川中 2―1 大村・小川中

※上位5チームが中西部大会出場

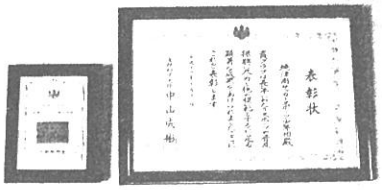
焼津南サッカースポーツ少年団「生涯スポーツ優良団体」受賞

焼津南代表　服部　美明

10月8日、中山文部科学大臣より「平成16年度生涯スポーツ優良団体」として表彰されました

特別に他団と変わりない活動を続けてきただけではありますが、団設立以来33年間、地元の少年達にサッカーを中心に指導し、今日のサッカー普及に寄与してきた事、又、サッカー以外の活動にも積極的に参加し、ルールやマナーを学び、仲間との協力、思いやりの大切さを実感させ、子供達の健全育成に貢献してきた事が評価されたものと思っています

今後も中西部の皆様と共に、地道な活動を通し、地域スポーツの発展と、心身の健全な少年達を育てるべく努力していきたいと思っていますので、何とぞよろしくお願いいたします



焼津・大井川地区大会　試合結果

予選リーグ順位

〈Aブロック〉
①焼津TMB・FC ②大富中 ③大村・小川中 ④豊田中 ⑤和田中

〈Bブロック〉
①港中 ②EWS・FC ③大井川中 ④焼津中 ⑤東益津中

決勝トーナメント

〈1回戦〉
焼津TMB・FC 1―1 EWS・FC
（PK5―4）
港 中 5―2 大 富 中

〈決勝〉
焼津TMB・FC 1―1 港 中
（PK5―4）

〈3位決定戦〉
大富中 4―3 EWS・FC

〈5位決定戦〉
大井川中 2―1 大村・小川中

※上位5チームが中西部大会出場

榛原地区大会

○中体連・榛原秋季大会の上位3チームにエスハルス榛原を加えた4チームで対戦

〈1回戦〉
青山中 4―2 榛 原 中
エスハルス榛原 3―1 金 谷 中

〈決勝〉
エスハルス榛原 3―0 青山中

〈3位決定戦〉
榛 原 中 1―1 金 谷 中
（PK4―2）

※上位3チームが中西部大会出場

島田地区大会

	六合	島田一	初倉	島田二	附属島田	勝点	順位
六合中		○3－0	△2－2	○2－0	△1－1	8	2
島田一中	●0－3		●0－2	●0－2	○2－1	3	4
初倉中	△2－2	○2－0		○2－0	○4－0	10	1
島田二中	●0－2	○2－0	●0－2		○2－0	6	3
附属島田中	△1－1	●1－2	●0－4	●0－2		1	5

※上位2チームが中西部大会出場

藤枝・岡部地区大会

予選リーグ順位

〈Aブロック〉
①藤枝明誠SC ②藤枝中 ③瀬戸谷・西益津中

〈Bブロック〉
①青島中 ②エスハルス藤枝 ③葵梨中

〈Cブロック〉
①青島北中 ②岡部中 ③ACM ブルックスFC

〈Dブロック〉
①藤枝東FC ②大洲中 ③高洲中 ④広幡中

1位トーナメント

〈1回戦〉
青島中 2―1 藤枝明誠SC
藤枝東下 1―1 青島北中
（PK6―5）

〈決勝〉
藤枝東下 1―0 青島中

〈5・6位決定戦〉
大洲中 3―1 エスハルス藤枝
※上位6チームが中西部大会出場

2位トーナメント

〈1回戦〉
エスハルス藤枝 2―1 藤枝中
大洲中 1―1 岡部中
（PK5―4）

さなるカップ争奪 第25回静岡県中学一年生サッカー大会

10月17日(日)・23日(土)・11月3日(祝)

試合結果

中体連の部

さなるウィナーズカップ

常葉橋中学校

常葉橋	8	5						
島田第一	0	0	2					
御殿場原中	1	0						
袋井周南	3	0	0					
富士岳陽	0	0		1				
藤枝	3 PK 0	0	0					
清水第四	0	0		6				
浜松開誠館	0	5						
東海大翔洋	8	1						
稲生沢・下田	1	0	1					
神久路	0	7		1				
静岡学園	10	1						
静岡豊田	0	1	0					
暁秀	1	0						
浜松江南	1	1						
焼津港	1 PK 3	1						

Vコール

ジュビロ浜北

4 PK 2	1	1						
4PK5	1	1	0					
	0	4		0				
	2	0	0					
	3	1		0				
	1	0						
	5	0	0					
	0	2						
5PK6	0	0	0					
	4	0						
	0	1	0					
	2	5						
	0	0						

クラブの部

太陽FC
マツバラSC
Honda FC
藤枝東FC
静岡クラブ
ジュビロ沼津
ジュビロ掛川
清水エスパルス
OSADA・FC
聖隷JY SC
ジュビロ磐田
藤枝明誠SC
静岡・城内FC
清水FC
ジュビロ浜北
ASKA FC

平成16年度　中西部中学生新人サッカー大会

第20回キンバラカップ静岡県中学ジュニアユース新人サッカー大会
中西部支部予選　組み合わせ

	11/13(土)	11/23(祝)	11/27(土)
焼津TMB FC（焼大1）	A 1		
エスハルス藤枝（焼岡6）		A 1	
青島中（藤岡2）	A 2		
榛原中（榛原3）			C 1
藤枝明誠SC（藤岡3）	A 3		
六合中（島田2）		A 2	
EWS・FC（焼大4）	A 4		
エスハルス榛原（榛原1）			C 13:00
初倉中（島田1）	B 4		C 14:10
大洲中（藤岡5）		A 3	
青島北中（藤岡4）	B 3		
港中（焼大2）			C 2
青田中（榛原2）	B 2		
大富中（焼大3）		A 4	
大井川中（焼大5）	B 1		
藤枝東FC（藤岡1）			

＜会場＞A：島田二中　B：初倉中　C：六合中
＜時間＞①9：00　②10：10　③11：20　④12：30

第10回 たっけんカップ少年サッカー大会（U―8）

11月3日(祝)



藤枝SS

優勝　藤枝SS

予選リーグ順位

〈Aブロック〉
①青島 ②藤枝中央 ③瀬戸谷

〈Bブロック〉
①高洲 ②青島北 ③西益津

〈Cブロック〉
①青島東 ②高洲南 ③葵梨

〈Dブロック〉
①藤枝 ②大井川FC ③大洲

決勝トーナメント

藤枝 2 0 PK 1 2 青島東
2 3 PK 2 0 高洲
3 0 2 青島
1 藤枝

藤枝SS2年　大井　弥有士

たっけんカップゆうしょう、とてもうれしかったです。しあいをしたチームは、どこも強かったけど、みんなで力を合わせて勝ました。これからも、みんなで一生けんめいにれんしゅうをして、もっと強くなりたいです。

第27回 大井川町スポーツ少年団大会（サッカー競技の部）

10月10日(日)・11日(祝)

優勝　岡部SS



岡部SS

第2回静岡県クラブユースリーグ（U―15）新人戦2004

試合結果（中西部勢の試合のみ）10月10日(日)～31日(日)

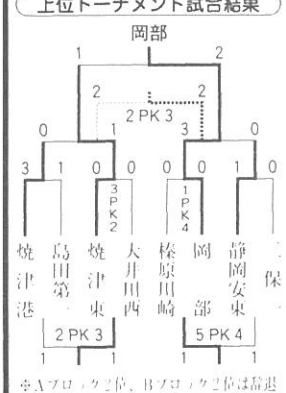
〈1部〉
藤枝東FC 4―1 ACMブルックスA
藤枝明誠SC 2―1 エスハルス藤枝
ジュビロ磐田 1―0 EWS・FC
ACMブルックスA 1―1 聖隷JY SC
ジュビロ磐田 1―0 エスハルス藤枝
藤枝東FC 0―0 FC キッズ
ジュビロ沼津 2―0 EWS・FC
ジュビロ沼津 1―0 藤枝明誠SC
ジュビロ磐田 1―0 藤枝東FC
藤枝明誠SC 2―1 聖隷JY SC
ジュビロ磐田 1―0 エスハルス藤枝
ジュビロ磐田 1―0 ACMブルックスA
藤枝東FC 1―0 ジュビロ沼津
ジュビロ沼津 3―1 藤枝東FC
藤枝東FC 1―1 藤枝明誠SC
ジュビロ沼津 1―1 エスハルス藤枝
ジュビロ浜北 1―0 FEWS・FC
藤枝東FC 1―1 清水エスパルス
藤枝明誠SC 1―0 藤枝東FC
ジュビロ沼津 1―0 藤枝明誠SC
ジュビロ磐田 2―0 EWS・FC
ジュビロ沼津 1―0 エスハルス藤枝
藤枝明誠SC 1―0 エスハルス藤枝
ジュビロ磐田 1―0 藤枝東FC
ジュビロ磐田 1―0 エスハルス藤枝
藤枝東FC 0―0 FC キッズ
ジュビロ磐田 1―0 エスハルス藤枝
ACMブルックスA 1―1 聖隷JY SC
藤枝明誠SC 2―1 エスハルス藤枝
ジュビロ磐田 1―0 EWS・FC
藤枝東FC 4―1 ACMブルックスA

〈3部〉
天竜FC 6―0 焼津TMB FC
ジュビロ沼津 1―0 藤枝明誠SC
ジュビロ浜北 1―0 FEWS・FC
藤枝東FC 1―1 清水エスパルス
ジュビロ沼津 3―1 エスハルス藤枝
藤枝東FC 1―1 a Fc Honda
藤枝東FC 1―1 エスハルス藤枝
ジュビロ沼津 1―0 藤枝明誠SC
ジュビロ沼津 2―0 EWS・FC
藤枝明誠SC 1―0 エスハルス藤枝
ジュビロ沼津 1―0 藤枝東FC
ジュビロ磐田 1―0 エスハルス藤枝
ジュビロ磐田 1―0 藤枝東FC
ジュビロ磐田 1―0 エスハルス藤枝
藤枝東FC 0―0 FC キッズ
ジュビロ磐田 1―0 エスハルス藤枝
ACMブルックスA 1―1 聖隷JY SC
藤枝明誠SC 2―1 エスハルス藤枝
ジュビロ磐田 1―0 EWS・FC
藤枝東FC 4―1 ACMブルックスA

〈1部〉
エスハルス榛原 9―0 FC雄踏
ACMブルックスB 1―2 田原FC
エスハルス榛原 5―0 田原FC
エスハルス榛原 10―0 FC ケヒト
エスハルス榛原 5―0 Fukuroi FC
ACMブルックスB 1―2 森FCアルコス
焼津TMB FC 3―1 ASKA
焼津TMB FC 7―0 長泉アミーゴス
エスハルス榛原 1―0 FC雄踏
エスハルス榛原 9―0 ファルコンズ
ACMブルックスB 1―0 御殿場・小山SC
焼津TMB FC 2―0 N FC
エスハルス榛原 9―0 御殿場・小山SC
ACMブルックスB 1―0 森FCアルコス
ACMブルックスB 1―0 焼津TMB FC
エスハルス榛原 5―0 Fukuroi FC
ACMブルックスB 2―0 田原FC
エスハルス榛原 1―0 ファルコンズ
ACMブルックスB 1―0 焼津TMB FC
エスハルス榛原 2―0 OSADA・FC
ACMブルックスB 6―0 レゾン袋井FC
焼津TMB FC 3―1 マーレS
エスハルス榛原 7―0 ASKA
焼津TMB FC 1―0 長泉アミーゴス
エスハルス榛原 2―2 FC雄踏

〈3部〉
ACMブルックスB 2―2 FC雄踏

上位トーナメント試合結果



※Aブロック2位、Bブロック2位は最選

予選リーグ順位

〈Aブロック〉
①焼津港 ②六合東 ③保 ④大井川南

〈Bブロック〉
①焼津東 ②吉田庄吉 ③岡部 ④東源台

〈Cブロック〉
①榛原川崎 ②大井川西 ③大富 ④静岡安西

〈Dブロック〉
①静岡安東 ②島田第一 ③朝比奈 ④大井川東

第6回 フットサル施設交流会

（小学3年生の部）

10月16日(土)

Aブロック

1位 焼津フットサル倶楽部A

焼津フットサル倶楽部A 2―2 ACEO NE・A
焼津フットサル倶楽部A 3―3 エスヘランサA
焼津フットサル倶楽部A 5―3 エスヘランサA
焼津フットサル倶楽部A 1―0 ACEO NE・B
焼津フットサル倶楽部A 3―3 エスヘランサA
焼津フットサル倶楽部A 3―2 Hero SP・A
焼津フットサル倶楽部A 5―3 エスヘランサA
焼津フットサル倶楽部A 1―0 Hero SP・A
焼津フットサル倶楽部A 3―3 エスヘランサA

Bブロック

1位 エスペランサB

焼津フットサル倶楽部A 0―7 エスヘランサB
焼津フットサル倶楽部A 1―0 ACEO NE・B
焼津フットサル倶楽部A 3―1 Hero SP・B
焼津フットサル倶楽部A 7―0 エスヘランサB
焼津フットサル倶楽部A 3―2 ACEO NE・A
焼津フットサル倶楽部A 3―2 Hero SP・A
焼津フットサル倶楽部A 1―0 Hero SP・A
焼津フットサル倶楽部A 3―1 Hero SP・B
焼津フットサル倶楽部A 3―2 ACEO NE・B
焼津フットサル倶楽部A 5―3 ACEO NE・B

2004 第1回 指導者講習会・講演会 開催

藤枝市サッカー協会の主催により、第1回指導者講習会として、清水エスパルスより講師を招いて講演会を開催する。指導者の資格有無に関わらず、また指導者だけでなく、藤枝市のみならず広く地域の皆さんで学習していこうと企画されたものなので、関心のある方はご参加下さい。

＜日　時＞　平成16年度12月18日㈯
15：00～16：30（受付14：30～）
＜会　場＞　藤枝市生涯学習センター　大ホール
＜講　師＞　清水エスパルスメディカルチーム理学療法士
斉藤　和快　氏
「ジュニア年代におけるスポーツ傷害とその予防」
＜その他＞　アンケートに協力して頂くため、筆記具持参。
＜問合せ先＞　藤枝市サッカー協会技術委員長　下田友規
携帯電話080－3624－6454

第10回 静岡県ユース(U－15)フットサル大会

10月24日㈰　浜松アリーナ

中西部勢　決勝トーナメント進出ならず

予選リーグ　試合結果（中西部勢のブロックのみ）

Aリーグ	丸塚中	榛原中	VALOR	勝点	得失点差	順位
浜松丸塚中		○4－0	●0－3	3	1	2
榛原中	●0－4		●0－3	0	－7	3
VALOR・A	○3－0	○3－0		6	6	1

Dリーグ	六合中	キューズ	与進中B	勝点	得失点差	順位
六合中		●2－5	○5－3	3	－1	3
キューズFC	○5－2		●5－8	3	0	2
浜松与進中B	●3－5	○8－5		3	1	1

藤北クラブ　優勝！

平成16年度 中西部社会人サッカーリーグ1部リーグ 最終成績

順位	1部リーグ	勝	分	負	勝点	得失点差
1	藤北クラブ	6	2	1	20	19
2	志太SC	6	1	2	19	12
3	JIOVINEZZA	5	2	2	17	7
4	FC・FARRAGO	5	2	2	17	5
5	瀬戸谷S.C	4	2	3	14	－4
6	ダイレクトスターズ	4	1	4	13	0
7	焼津FC	2	3	4	9	－5
8	FCベアーズ	2	2	5	8	－6
9	K.F.LUZA	1	2	6	5	－11
10	S.K.YOSHIDA	0	3	6	3	－17

平成16年度 静岡県社会人リーグ入替戦　5支部リーグ 開幕

藤北クラブ 県リーグ復帰 目指す

県内5支部の各社会人リーグ優勝チームが県リーグへの昇格を目指して争う5支部リーグが、11月14日に開幕した。中西部からは1部リーグで優勝した藤北クラブが出場している。上位2チームが県3部リーグに自動昇格し、県リーグから東海リーグへの昇格チームがあるか否かにより、3位チームの自動昇格もしくは県3部10位との入替戦に臨むかが決まる。

参加チーム
東部　FC BRIEN
中東部　ベイビーズ
中部　JR東海静岡FC
中西部　藤北クラブ
西部　浜松大学FC

期日	会場	時間	対戦カード
11/14㈰	愛鷹スポーツ広場	10:00	東部 － 中部
		12:00	中西部 － 中東部
11/21㈰	藤枝総合運動公園サッカー場	10:00	中西部 － 東部
		12:00	中部 － 西部
11/28㈰	蛇塚北グラウンド	10:00	中東部 － 東部
		12:00	中西部 － 西部
12/5㈰	県営浜松球技場	10:00	西部 － 中東部
		12:00	中部 － 中西部
12/12㈰	草薙球技場	10:00	中部 － 中東部
		12:00	東部 － 西部

鈴村路子の もっと知りたいサッカー No.56

埼玉ってすごい

今年は、Jリーグでもフロ野球でも、優勝したり優勝争いに残ったチームの親会社関連の不祥事が、大きな話題になった。浦和レッズも実はその一つだが、逆風をものともしない快進撃だった。レッズは、前身の日本リーグ二部・菱重工業サッカー部、次いで三菱自動車工業サッカー部の時代から、静岡県出身選手やフロント関係者が多い、オランダに渡った小野も最初はレッズの選手だった。今も藤枝出身の2選手が大活躍しているのがうれしい。

それにしても、スタジアム全体を覆いつくすレッズのサポーターの応援は、圧倒的な迫力である。埼玉、広島、静岡は古くから"サッカー御三家"などと呼ばれるが、埼玉は、静岡よりはるか以前からサッカーが盛んであり、静岡よりはるか以前からサッカーが盛んであった。昭和58年に発行された「輝く埼玉サッカー75年の歩み」の中に引用されている新聞記事には"県技"という文字さえある。

埼玉のサッカーは、静岡などと同じように、学校体育から始まる。明治29年（1896）、埼玉師範（現埼玉大学教育学部）の教師が、生徒と一緒にボールを蹴った、という記録があるらしいが詳細は不明。本格的にサッカー（当時はフットボールとなっている）を指導したのは、明治41年同校に赴任した細木志朗先生で、部を創設し、後に浦和中、不動岡中でも指導され、その後転勤した愛知県の刈谷中学（全て旧制）のサッカーも創始されたという。

浦和レッズのエンブレムの中に描かれている建物（鳳翔閣）は、埼玉サッカー発祥の旧埼玉師範学校校舎である。埼玉サッカー百年の歴史は、浦和レッズに脈々と受け継がれている。

静岡県社会人リーグ 10月24日・31日

（1部）藤枝ネルソンCF　3－0　テッペイ

社会人女子ユニシア リーグ戦

（中西部勢の試合結果）

芳川FC　2－0　大井川町役場
〈2部〉
中部電力　5－4　コスモスSC
沼津香陵クラブ　3－2　焼津信用金庫
〈3部〉
焼津豊田FC　5－2　清水クラブ

静岡県シニアリーグ 10月31日

〈シニア40〉
榛原シニア　3－1　F.C沼津シニア
新星クラブ　3－2　焼津飛魚クラブ

静岡県女子リーグ 10月24日・31日

清水FC　4－1　藤枝FCアミーガ
静岡産業大学　5－0　藤枝姉妹FC
藤原クラブ　2－1　藤枝FCアミーガ

中西部女子リーグ 10月24日

島田ブリーンセス　1－0　六合中学
藤枝FCバンビーノ　1－0　焼津クイーンズ

11・12月のその他の予定

- 静岡県女子リーグ　・中西部女子リーグ
- 第35回松永杯争奪中西部サッカー選手権大会
社会人・高校の部決勝大会
12月12日㈰　＜藤枝総合運動公園陸上競技場＞
- 第2回静岡県クラブユースリーグ(U－15)新人戦2004
- 第20回しずぎんカップ静岡県ジュニアサッカー大会
島田地区予選　11月14日㈰、20日㈯
志太地区予選　11月14日㈰、21日㈰
藤枝地区予選　11月20日㈯、21日㈰、23日㈫、27日㈯
榛原地区予選　11月21日㈰、12月23日㈭
- 第23回松永臻杯争奪静岡県中西部支部少年サッカー選手権大会
12月5日㈰、11日㈯　＜吉田河川敷他＞
- 中西部理事会　12月10日㈮　・中西部審判委員会　12月12日㈰
- 3級レフリーリフレッシュ講習会
11月14日㈰、28日㈰　＜大井川町多目的ホール＞
- 平成16年度第1回リフレッシュ研修会（公認指導者研修会）
12月4日㈯　＜藤枝総合運動公園＞
- 平成16年度第2回㈶日本サッカー協会公認D級コーチ養成講習会
12月17日㈮～19日㈰　＜藤枝明誠高校＞
- キッズ指導者養成スクール
12月18日㈯　＜シーガルドーム(焼津市)＞

㈶静岡県サッカー協会中西部支部　事務局
〒421-0206　大井川町上新田292-1　大井川高校内・鎌田昌治支部長
TEL054-622-3411　FAX054-622-3472
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

コンディショニングアドバイスV

ストレッチングについて

前回、疲労回復にはストレッチングが効果的と説明しました。今回はストレッチングについて詳しく説明していきます。ストレッチングは日常のコンディションの調整で幅広く行われています。

1 ストレッチングとは？

ストレッチングとは筋肉を伸展（しんてん）させることにより、筋肉及び関節の柔軟性を広げる体操の総称です。筋肉（きんにく）、靭帯（じんたい）、腱（けん）、関節のケガやスポーツ障害を予防すること、疲労回復にも効果があります。

2 ストレッチングの種類とは？

ストレッチングはスタティック・ストレッチング（静止した状態を保持して、筋肉をゆっくり伸展させ関節の柔軟性を広げる）と、ダイナミック・ストレッチング（スポーツ種目で実際に使う動きを取り入れ、反動をつけて筋肉を伸展させる）が代表的です。その他にも目的にあったストレッチングの種類がたくさんあります。

3 スタティック・ストレッチングについて

スタティック・ストレッチングは、一般的に最も行われているストレッチングです。

◆効果は
①筋肉の緊張を和らげること
②血液循環を促進すること
③筋肉や腱、関節の柔軟性を高めること
④疲労回復

◆方法、注意点は
①反動をつけないで行う
②10～30秒保持すること
③呼吸は止めないこと
④筋肉をはっきりと意識して行う
⑤痛みを感じるまで伸ばさないで行う

◆利点は
①ひとりでもできる
②どこでもできる（グランド、風呂、立位、座位）
③いつでもできる（場所を選ばず、道具が無くてもできる）

ストレッチングはウォーミングアップ、クールダウンの時だけでなく、お風呂上りに体が温まった状態で行うとさらに効果が増します。練習や試合でよいプレーをするために、日頃からストレッチングを十分に行い体をベストな状態にするように心がけましょう。

参考文献
ハートナーストレッチング（山海堂）

JR西焼津駅北口駐車場
（有）入山一
TEL & FAX 054-628-7383

レッカー作業24時間対応
M・K/Cars co. RS24
TEL 054-625-1722
焼津市三衛門新田379-1
㈲エム・ケイ自動車

パソコン資格の強い見方！
Microsoft Office Specialist
（教育訓練給付金指定講座あります）
パソコンのことならお任せください
TOKAIパソコン教室島田校
島田市御仮屋町7454-1 (0547)34-3529

警備保障 ACM 株式会社 中央防犯

拡げます デジタルネットワーク
共立印刷株式会社

YAIZU FUTSAL倶楽部
ICHIMARU SPORTS VILLA
〒425-0052　焼津市田尻1122
お問い合せ　054（625）0011（代）
ご予約　0120－210812
ICHIMARU SPORTS VILLA

めざせ ワールドカップ
清水屋スポーツ
藤枝市本町3丁目6－8
☎(054)641－1358
フットボールギア
藤枝市前島1丁目6－3
☎(054)636－6108

ビジネスホテル シルビア
〒426-0022 静岡県藤枝市稲川1丁目11－48
TEL 054－643－0500(代)

中西部
ヤングサッカーニュース
2004 12
発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部支部長　鎌田昌治　企画構成編集責任者／滝本義三郎

第83回　全国高校サッカー選手権大会静岡県大会
藤枝東　優勝!!　2年連続で全国へ

全国高校サッカー選手権静岡県大会、決勝に進んだ藤枝東は、常葉橋を1対0で下し連覇を達成、21度目の全国行きを決めた。

11月21日、静岡スタジアム・エコパで行われた決勝、藤枝東の相手は1・2年生のみで勝ち進み勢いに乗る常葉橋。その勢いは決勝でも続き、前半は相手の早い寄せにパスをつなげられず、中盤でボールを奪われ攻め込まれる。GKと1対1の場面を作られたりもしたが、GK碓井の好セーブなどで無失点でしのいだ。後半は藤枝東がペースをつかみ、7分に相手コールキックを赤星がヘッドで跳ね返し前線へボールを送ると、三輪が1人の間を抜けてドリブルでしがりシュートを決めた。その後も優位に進めた藤枝東は、決勝点となったこの1点で常葉橋を退けた。

●――試合結果――●

（準決勝）
藤枝東　5―0　静岡北
（決勝）
藤枝東　1―0　常葉橋



全国大会初戦は12月31日

藤枝東の全国大会初戦は、12月31日に埼玉スタジアム2002で行われる1回戦で、佐賀県代表の佐賀東と対戦する。ここを突破し優勝を目指して頑張ってほしい。

なお、決勝戦は1月10日に国立競技場で行われる準決勝ではボールを回し

■増田洋平主将

グラウンドを広く使えたが、決勝ではプレスをかけきれず苦しんだ。マークの確認やプレスなど守備面の強化と、決定力をつけていきたい。全国では初戦で勝つ事を心がけて勝ち上がっていきたい


DF
原田 圭輔
藤枝東1年

最優秀新人


FW
中村 祐輝
藤枝東2年

得点王（3点）
ベストイレブン


MF
赤星 貴文
藤枝東3年

最高殊勲選手
ベストイレブン


MF
増田 洋平
藤枝東3年

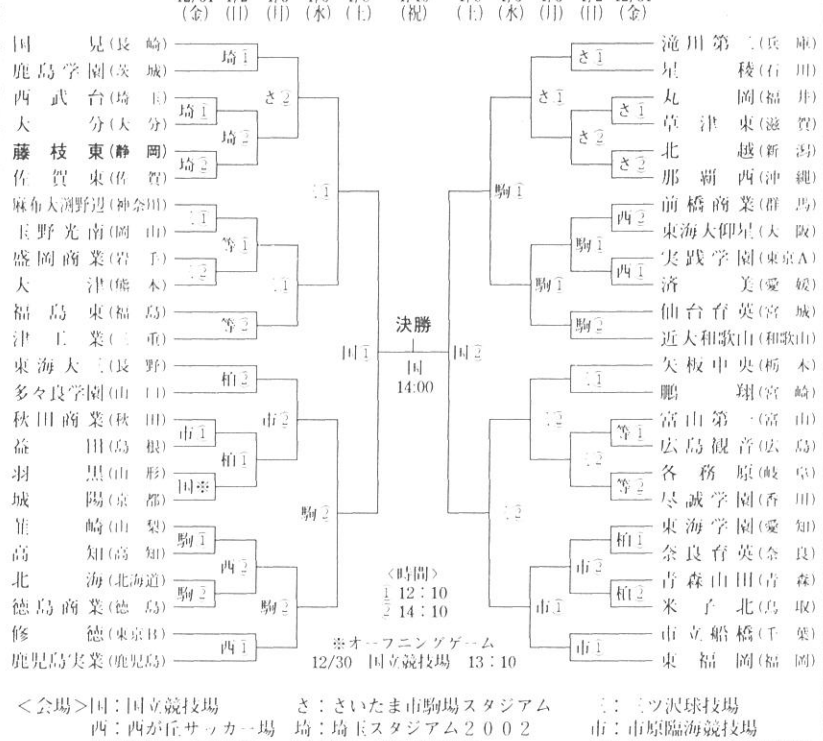

MF
柴田 公章
藤枝東3年


DF
小関 佑典
藤枝東3年


GK
碓井 健平
藤枝東2年

ベストイレブン

第83回全国高校サッカー選手権大会　組み合わせ



静岡県選抜　中西部勢12人選出

静岡県選抜（中西部勢）

位置	氏名	所属チーム	学年
GK	柴田　彩佳	藤枝順心高校	1
DF	杉山　紫乃	藤枝順心高校	2
DF	伊藤　暁香	藤枝順心高校	2
DF	名取　麻耶	藤枝順心高校	3
MF	長谷川絵梨	藤枝順心高校	2
MF	八木　美郷	藤枝順心高校	2
MF	福岡　美波	藤枝順心高校	1
MF	杉山　拓香	藤枝順心高校	1
MF	江上　成美	藤枝西高校	1
FW	石神　麻耶	藤枝順心高校	3
FW	北原　佳奈	藤枝順心高校	1
FW	杉本　恵理	藤枝順心高校	1

JOCジュニアオリンピックカップ
第8回全日本女子ユース（U―18）サッカー選手権大会

全日本女子ユース（U―18）サッカー選手権大会が、12月22日から28日まで磐田市で開催される。今回、静岡県選抜は開催県代表で地区予選を免除されての出場。全国9地域の代表15チームと合わせて16チームが、4組に分かれてグループリーグを行い、各組1位が決勝トーナメントに進み順位を決定する。

静岡県選抜には24人が登録され、中西部からは12人が選出された。前回、初優勝を果たした静岡県選抜連覇を目指して頑張ってほしい

組み合わせ

Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
大阪府選抜	神奈川県選抜	愛知県選抜	兵庫県選抜
埼玉県選抜	静岡県選抜	広島県選抜	宮城県選抜
鹿児島県選抜	高知県選抜	山形県選抜	福井県選抜
北海道選抜	福岡県選抜	東京都選抜	

グループリーグ（Bグループ）

日程	時間	対戦チーム				会場
12/23	10:00	神奈川県	―	静岡県		サ
木	10:00	高知県	―	福岡県		多
12/24	10:00	静岡県	―	高知県		サ
金	10:00	神奈川県	―	福岡県		多
12/25	10:00	静岡県	―	神奈川県		サ
土	10:00	福岡県	―	高知県		多

<会場>サ：サッカー場　多：ゆめりあ多目的グラウンド

決勝トーナメント

●準決勝　12月27日(月)
（会場）ゆめりあサッカー場・同多目的グラウンド2試合共に10時
（時間）10時

●決勝　12月28日(火)
会場　ヤマハスタジアム
時間　10時

※組み合わせはグループリーグ終了後に抽選

第1回日本ハム杯
2004東海ユースU―11・U―12 8人制サッカー大会

東海ユースU―11・U―12 8人制サッカー大会が11月28日に小笠山運動公園で行われ、U―11の部に出場したFC島田が3位になった。また、フェアプレー賞も受賞した。

初戦で岐阜2位の西濃トレセンと対戦したFC島田は、12分を3セット行う第1ピリオドから積極的な攻めをみせるが、センタリングの精度を欠き、ミドルシュートはGKの正面をつくなどで得点できない。すると、第2ピリオドに相手FWにドリブル突破を許し先制される。それでも、進一退となった第3ピリオドにPKを得ると真木が決めて同点とした。試合はこのまま延長でも決着がつかずPK戦へ突入。3人ずつが蹴るなかで、GK上野が相手3人目をとめて3対2で勝利。準決勝に進んだ。

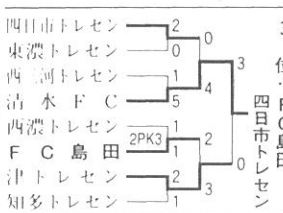
決勝は、第1ピリオドに真木が押し込んで先制。だが第2ピリオドで2失点し逆転を許すと、第3ピリオド5分にも3点目を奪われるがこのまま1点に止めるがこのままタイムアップ。決勝進出はならなかった。



U-11の部

FC島田　第3位
フェアプレー賞受賞

U―11の部　試合結果



優勝：清水FC
準優勝：津トレセン
3位：FC島田
四日市トレセン

ゴール裏から―

現在、島田市サッカースポーツ少年委員会に所属しているチームは10チームあります。前年度までは11チームで活動していましたが、今年に入り1チーム減り、また更に来年度には1チーム減る動きがあります。これもテレビや新聞紙上で報道されている「少子化問題」の影響を受けてのことだと感じています。島田市に限らず全国各地に於いても同様な傾向がみられ、長年指導をしてきた私にとってはとても淋しい出来事と言えます。

そんな厳しい状況下において、島田市サッカー協会では何らかの対策を立てなければと思案し、キッズU―6（幼稚園児対象）の人会を開催することに目を向けました。会長を初めとする関係者一同が平成14年度よりスタートさせ、今年度第3回大会を迎えることになりました。例年、沢山の子供達の参加があり盛大に行われており、子供達にサッカーの楽しさ、向上心を伝えるという目的は達成されていると感じています。

が、本来の目的である、団員数の増加、またチーム数の減少の歯止めにはつながっていない現状があります。

私は少年団の指導を始め20年が早や経とうとしています。一日でも長く、多くの子供達とサッカーを続けていければと感じています。スポーツ少年団を取り巻く環境は年々厳しくなる一方ですが、サッカーを楽しむ事を忘れずに、これからも子供達とボールを追い掛けていきたいと思います。

島田担当編集委員
柳原　三郎

第13回 全日本大学女子サッカー選手権大会

静岡産業大学 4年連続出場

12月18日から24日まで神戸市で開催される全日本大学女子サッカー選手権大会に、静岡産業大学が出場する。全国9地域の代表16チームが参加し、4組に分かれてリーグ戦を行った後、各組1位による決勝トーナメントで優勝を争う。4年連続出場の静岡産業大学は、まずは決勝トーナメント進出を目指す。

グループ分け

グループA	日本体育大学	（関東1）
	武庫川女子大学	（関西2）
	北海道浅井学園大学	（北海道）
	東京女子体育大学	（関東2）
グループB	大阪体育大学	（関西1）
	中京女子大学	（東海1）
	信州大学	（北信越）
	早稲田大学	（関東1）
グループC	神奈川大学	（関東3）
	静岡産業大学	（東海2）
	福岡大学	（九州）
グループD	山形大学	（東北）
	武蔵丘短期大学	（関東2）
	愛媛大学	（四国）
	吉備国際大学	（中国）
	大阪教育大学	（関西3）

決勝トーナメント組み合わせ

12/23㈭ 12/24㈮

A1位
B1位 11:00
C1位 12:00
D1位 13:30

<会場>神戸ユニバー記念競技場

グループリーグ（静岡産業大学の試合日程）

日程	時間	対戦チーム	会場
12/19㈰	12:00	神奈川大学 － 静岡産業大学	し
12/20㈪	13:00	静岡産業大学 － 山形大学	ユ
12/21㈫	12:00	静岡産業大学 － 福岡大学	補

<会場>し：しあわせの村運動広場
ユ：神戸ユニバー記念競技場
補：神戸ユニバー記念競技場補助グラウンド

第35回 松永臻杯争奪 中西部支部サッカー選手権大会

優勝 藤枝東高校



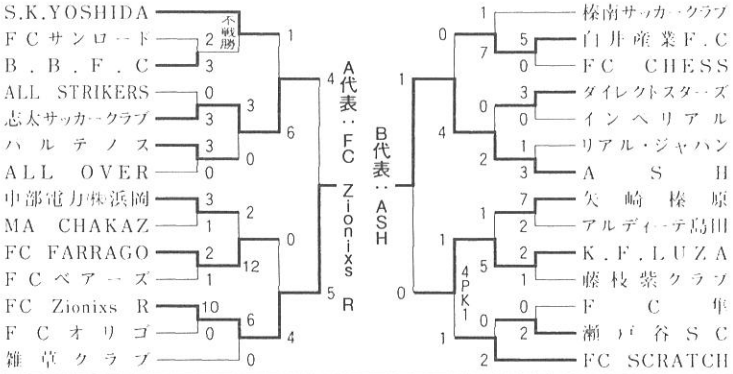
松永臻杯争奪中西部支部サッカー選手権大会は、社会人の部と高校の部でそれぞれに予選トーナメントが行われ、高校の部は11月13日に、社会人の部は翌14日に代表2チームずつが決まった。そして、両代表が対戦する決勝大会が、12月12日に藤枝総合運動公園陸上競技場で行われた。

準決勝は共に逆転で決勝に進んだ勢いが勝利して決勝に進んだ第1試合は、前半に永田の2ゴールでFC・Zionixsが、その後藤枝明誠高校がリードした相手に対し運動量の落ちた藤枝明誠高校は大石の2得点で追いつき、杉山聡が決勝点を挙げた。第2試合は、ASHが前半8分に加藤のシュートで先制しかし、藤枝東高は山本翔が同点弾を決めると、太谷が2得点を挙げ一気に突き放した藤枝明誠高校と藤枝東高校の対戦となった決勝は、ボールへの寄せなどスピードで勝る藤枝東高が前半で4得点、7分に大谷、14分に山本翔、21分に木野が決めるとロスタイムには仁科のFKをまたも山本翔が頭で押し込んだ藤枝東高は後半にも斉藤が決めてダメ押しの5点目を奪い、優勝を飾った藤枝明誠高はミスもあり攻撃の形を作りきれなかった。

決勝大会 試合結果

FC Zionixs R	2	0	藤枝東高校	
藤枝明誠高校	3	1	A S H	
A S H	1	5	藤枝東高校	
藤枝東高校	3			

社会人の部 試合結果



第28回 全国地域リーグ決勝大会

矢崎バレンテFC 決勝ラウンド進出ならず

日本フットボールリーグ（JFL）への昇格をかけた全国地域リーグ決勝大会は、11月26日から28日までの3日間で1次ラウンドが行われた。12チームが4組に分かれてリーグ戦で争われ、矢崎バレンテFCは1勝1敗のグループ2位となり、決勝ラウンド進出はならなかった。

1次ラウンド試合結果

〈Dグループ〉

ホンダルミノフソ狭山	1－0	南国高知FC
ホンダルミノフソ狭山	2－1	矢崎バレンテFC
矢崎バレンテFC	2－1	南国高知FC

K－MIX CUP争奪 第10回 全日本フットサル選手権静岡県大会

Estrelado／焼津フットサル倶楽部 初優勝

東海大会へ出場



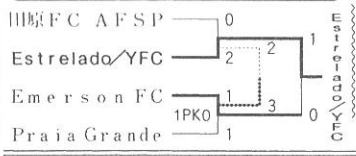
全日本フットサル選手権静岡県大会が11月14日に小笠山運動公園・静岡アリーナで行われ、Estrelado／焼津フットサル倶楽部（YFC）が初優勝した。各支部予選を勝ち上がった12チームが参加して、4組に分かれて1次リーグを戦い、各組1位のチームが決勝トーナメントに進んだ。それと同時に、上位2チームにうえられる東海大会の出場権を獲得したEstrelado／YFCは、1次リーグから準決勝・決勝と東海リーグ勢を撃破し、初の栄冠を手にした。それと同時に、上位2チームにうえられる東海大会の出場権を獲得した。

1次リーグ試合結果（中西部勢のブロックのみ）

Bブロック	MATO G.	Estrelado	ジュビロ	勝点	順位
MatoGrosso（東部2）		●1－2	●0－3	0	3
Estrelado/YFC（中西部1）	○2－1		○2－1	6	1
ジュビロ磐田FS（西部3）	○3－0	●1－2		3	2

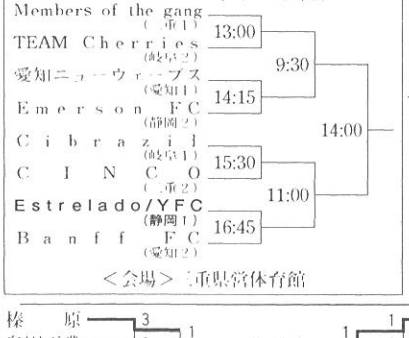
Cブロック	Emerson	H. F. C	KAIDO	勝点	順位
EmersonFC（西部2）		○3－1	○3－1	6	1
Hero Futsal Club（中西部2）	●1－3		△1－1	1	2
KAIDO FC（中東部1）	●1－3	△1－1		1	2

決勝トーナメント試合結果

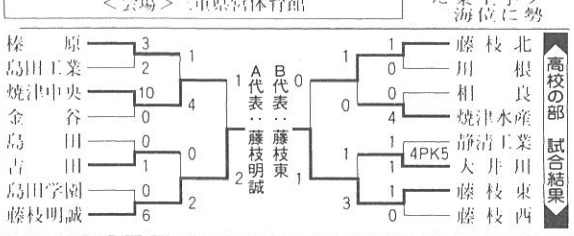


第10回 全日本フットサル選手権東海大会

上位2チームが全国大会（2月）に出場



高校の部 試合結果



平成16年度 静岡県高校サッカー新人大会 中部地区大会

静岡県高校サッカー新人大会中部地区大会が12月18日に始まる。35校が参加して1次リーグと2次トーナメントで争われ、12校にうえられる県大会の出場権獲得を目指す。

今年度の実績などから8校が特別シードに選出され、2次トーナメント2回戦から登場。中西部では藤枝東、藤枝明誠の2校が選ばれた。1次リーグは27校（西、中西部勢14校）が8組に分かれて争われる。そして、2次トーナメントには前年度まで各組の1位のみが進んでいたが、今年度からは各組上位2校の16校が進むことになった。これに特別シード8校を合わせた24校で県大会出場枠を争う。

1次リーグは12月23日まで行われ、1月9日に2次トーナメントが始まり、23日に順位が決定する。

A	藤枝北	清水南	静岡工業	
B	榛原	城南静岡	金谷	聖光学院
C	静岡	静岡南	大井川	焼津水産
D	静岡東	相良	島田学園	
E	清水工業	静岡商業	島田	
F	吉田	静清工業	静岡市立	静岡西
G	静岡中央	庵原	藤枝西	
H	焼津中央	川根	島田工業	

1次リーグ 組み合わせ

〈時間〉①10：00 ②11：30 ③13：00

◆12月18日㈯◆
（B）榛原 － 聖光学院
〈会場：榛原〉

（C）静岡 － 焼津水産
〈会場：静岡南〉

（B）城南静岡 － 金谷
〈会場：島田学園〉

（D）島田学園 － 相良
〈会場：吉田〉

（A）清水南 － 静岡工業
〈会場：藤枝北〉

（C）静岡南 － 大井川
〈会場：大井川〉

（F）吉田 － 静清工業
〈会場：焼津中央〉

（G）藤枝西 － 庵原
〈会場：藤枝西〉

（H）島田工業 － 川根
〈会場：島田工業〉

◆12月19日㈰◆
（C）静岡 － 大井川
〈会場：大井川〉

（C）静岡南 － 焼津水産
〈会場：静岡南〉

（B）榛原 － 金谷
〈会場：榛原〉

（B）城南静岡 － 聖光学院
〈会場：静岡工業〉

（D）静岡東 － 島田学園
〈会場：静岡西〉

（A）静岡工業 － 藤枝北
〈会場：静岡工業〉

（G）静岡西 － 藤枝西
〈会場：静岡市立〉

（F）静清工業 － 静岡市立
〈会場：清水工業〉

（A）藤枝北 － 清水南
〈会場：藤枝北〉

（D）静岡東 － 相良
〈会場：吉田〉

（F）吉田 － 静清工業
〈会場：静岡市立〉

（E）清水工業 － 島田
〈会場：清水工業〉

◆12月23日㈷◆
（H）焼津中央 － 島田工業
〈会場：焼津中央〉

（E）島田 － 静岡商業
〈会場：静岡南〉

（B）榛原 － 焼津水産
〈会場：静岡南〉

（C）静岡 － 金谷
〈会場：大井川〉

（C）大井川 － 聖光学院
〈会場：大井川〉

（B）金谷 － 聖光学院
〈会場：静岡工業〉

（C）静岡南 － 静岡
〈会場：静岡〉

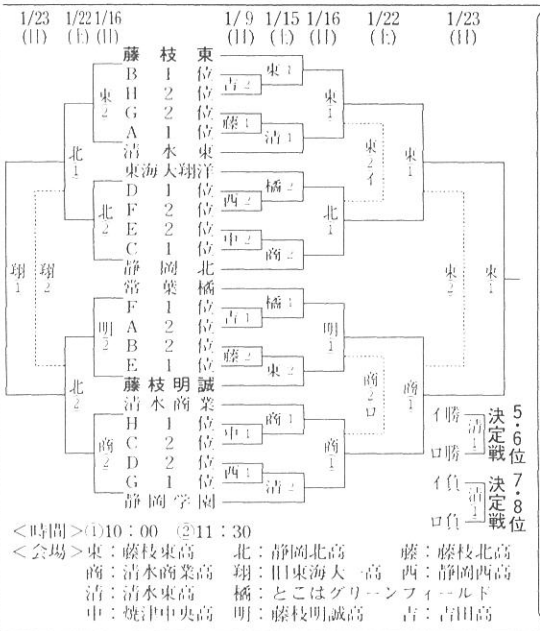
（B）榛原 － 城南静岡
〈会場：静岡南〉

（C）静岡南 － 大井川
〈会場：焼津中央〉

（H）焼津中央 － 川根
〈会場：焼津中央〉

（E）清水工業 － 静岡商業
〈会場：静岡南〉

2次トーナメント 組み合わせ



平成16年度 中西部中学生新人サッカー大会

エスパルス榛原 初優勝 3チームが県大会出場

中西部中学生新人サッカー大会は11月27日にベスト4が激突し、県大会に出場する3チームが決まった。準決勝、エスパルス榛原とエスパルス藤枝の一戦は、エスパルス榛原が3点を奪って勝利。藤枝東FCと港中の対戦は、優位に進めた藤枝東FCが後半に決勝点を挙げた。これにより、エスパルス榛原と藤枝東FCが決勝進出と同時に県大会出場を決めた。

エスパルス藤枝と港中が対戦した3位決定戦は、パスをつなぐ港中が前半に本多のクロスを福地が決めて先制。後半には赤星のCKを八木が押し込んで2点目をゲット。港中が勝利し、3枚目の県切符を手にした。

決勝は中盤を支配した藤枝東FCが前半7分に吉田のゴールで先取点を奪ったが、その後攻め切れずにいると、後半にエスパルス榛原が反撃。10分に大石剛、13分に植田が決めて逆転し勝利を果たした。ここから藤枝東FCも盛り返し、ロスタイムに吉田のミドルシュートで同点とした。勝負はPK戦に持ち込まれ、エスパルス榛原が3対2で競り勝ち、初優勝を果たした。

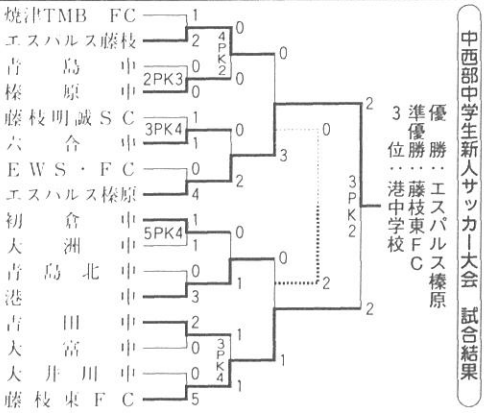

エスパルス榛原


藤枝東FC


港中学校

中西部中学生新人サッカー大会 試合結果

優勝…エスパルス榛原
準優勝…藤枝東FC
3位…港中学校



第5回 静岡県社会人サッカーリーグ トーナメント大会

中西部勢 準決勝進出ならず

試合結果（中西部勢の試合のみ）

（2回戦）
FC.VERDURE 2―1 焼津豊田FC
中部電力 1―2 コスモスSC

（3回戦）
富士根クラブ 1―0 大井川町役場
藤枝ネルソンCF 6―1 浦原クラブ

（準々決勝）
静岡スバル 2―1 藤枝ネルソンCF

第20回 キンパラカップ 静岡県中学ジュニアユース新人サッカー大会

中西部3チームが出場

キンパラカップ静岡県中学ジュニアユース新人サッカー大会が、1月8日にスタートする。今回からリーグ戦が導入され、各支部代表16チームが4組に分かれて予選リーグを行う。そして、各組1位4チームが決勝トーナメントに進み優勝を争う。なお、優勝チームは3月5日に開催される東海大会の出場権を得る。

中西部からはエスパルス榛原、藤枝東FC、港中学校の3チームが出場する。

	A組	B組	C組	D組
1	静岡学園中	清水エスパルス	西部1位	リベルダージFC
2	FC.VERDURE	西部2位	太陽FC	エスパルス榛原
3	西部3位	ジュビロ沼津	藤枝東FC	清水FC
4	港中	常葉橋中	吉原北中	西部4位

ブロック分け

決勝トーナメント組み合わせ

1/29(日)
A1位 D1位 サッカー場9:30
B1位 C1位 多目的G9:30
サッカー場12:30

＜会場＞ゆめりあサッカー場
ゆめりあ多目的グラウンド

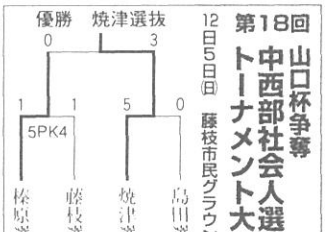
予選リーグ組み合わせ

	時間	ゆめりあ サッカー場	ゆめりあ 多目的G
1／8(土)	9:30	A1－4	A2－3
	10:45	B1－4	B2－3
	12:00	C1－4	C2－3
	13:15	D1－4	D2－3
1／15(土)	9:30	A1－3	A2－4
	10:45	D1－3	D2－4
	12:30	A1－2	A3－4
	13:45	D1－2	D3－4
1／15(土)	9:30	B1－3	B2－4
	10:45	C1－3	C2－4
	12:30	B1－2	B3－4
	13:45	C1－2	C3－4

（ゆめりあ 1／15 時間：県営浜松球技場 メイン／サブ）

第18回 山口杯争奪 中西部社会人選抜トーナメント大会

12日5日(日) 藤枝市民グラウンド



第23回 松永臻杯争奪 静岡県中西部支部少年サッカー選手権大会

12月5日(日)
11日(土)

優勝 焼津南
準優勝：住吉
第3位：金谷・藤枝

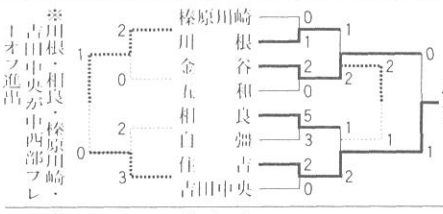


初倉・六合東が県大会出場

	勝	分	負	勝点	順位
初倉	9	0	0	27	1
六合東	7	0	2	21	2
島田三	6	1	2	19	3
島田五	5	2	2	17	4
島田二	5	1	3	16	5
島田一	3	1	5	10	6
六合	3	0	6	9	7
島田四	2	1	6	7	8
初倉南	1	1	7	4	9
神座	0	1	8	1	10

※島田一・島田五は中西部プレーオフ進出

島田地区予選



※川根・相良・榛原川崎・吉田中央が中西部プレーオフ進出

榛原地区予選

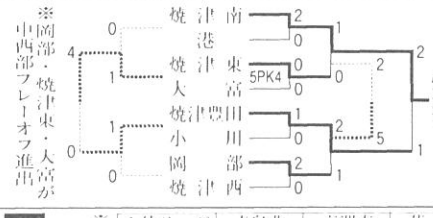
決勝トーナメント

住吉・金谷が県大会出場

志太地区予算

決勝トーナメント

焼津南・焼津豊田が県大会出場



※岡部・焼津東・大富が中西部プレーオフ進出

第36回 静岡県サッカースポーツ少年団大会

NTT西日本静岡グループカップ

各地区予選 試合結果

県大会出場11チームが決定

藤枝地区予選

藤枝・青島北が県大会出場

順位決定リーグ

1位リーグ	青島北	高洲南	藤枝	勝点	点差	順位
青島北		○3－2	●0－2	3	－1	2
高洲南	●2－3		●1－4	0	－4	3
藤枝	○2－0	○4－1		6	5	1

2位リーグ	青島	菓梨	広幡	勝点	点差	順位
青島		●0－2	△0－0	1	－2	6
菓梨	○2－0		○2－1	6	3	4
広幡	△0－0	●1－2		1	－1	5

※高洲南・菓梨・広幡は中西部プレーオフ進出

中西部プレーオフ

島田二・榛原川崎・焼津東が県大会出場

予選リーグ

（Aブロック）
島田二 2―1 大富
相良 1―0 島田一

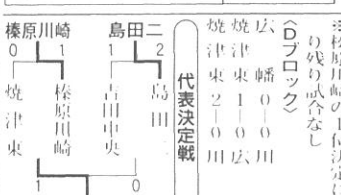
（Bブロック）
吉田中央 1―0 岡部
菓梨 2―1 焼津西

（Cブロック）
榛原川崎 2―0 高洲南
島田五 1―0 広幡

※榛原川崎の1位決定にまり残り試合なし

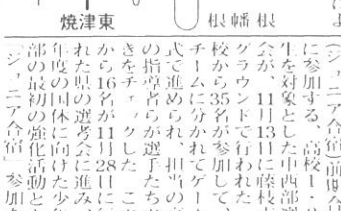
（Dブロック）
広幡 0―0 川根
焼津東 2―0 川根

代表決定戦



ジュニア合宿中西部選考会

12月に実施される「強化指定選手拠点整備事業サッカー競技（ジュニア合宿）」前期合宿に参加する、高校1・2年生を対象とした中西部選考会が、11月13日に藤枝市民グラウンドで行われた。3校から35名が参加して、3チームに分かれてゲーム形式で進められ、担当の高校の指導者らが選手たちの動きをチェックした。この中から16名が11月28日に行われた県の選考会に進み、次年度の国体に向けた少年の部の最初の強化活動となるジュニア合宿に参加を目指した。



藤枝市制50周年 藤枝市体育協会創立50周年記念 第13回 藤枝市長杯争奪 ジュニアユースサッカー大会

藤枝市長杯争奪ジュニアユースサッカー大会が県内外のクラブチームやトレセン、選抜チームを招いて、12月25日から27日までの3日間、藤枝総合運動公園などで開催される。参加16チームが4組に分かれて予選リーグを行い、その順位ごとにトーナメント戦が行われる。中西部からは中西部トレセンや各地区のトレセンチームが出場する。

	Aリーグ	Bリーグ	Cリーグ	Dリーグ
イ	藤枝選抜	中西部トレセン	ヴィヴァイオ船橋	名古屋トレセン
ロ	宇南トレセン	京都洛北FC	札幌トレセン	前橋トレセン
ハ	松任市選抜	岡崎トレセン	相模原FC	富山県選抜
ニ	神奈川県県北トレセン	榛原トレセン	島田トレセン	焼津トレセン

決勝トーナメント組み合わせ（1～4位トーナメント共通）

12月27日(日)
13:00
9:00 10:00
A B C D

＜会場＞
1位T：藤枝総合サッカー場
2位T：藤枝総合陸上競技場
3位T：藤枝市民グラウンド
4位T：中央防犯宮原グラウンド

予選リーグ組み合わせ（各リーグ共通）

日程	時間	対戦	日程	時間	対戦
12／25(土)	10:00	イ－ロ	12／26(日)	9:30	イ－
	11:30	ハ－ニ		12:30	ロ－ニ
	14:30	ロ－ハ		14:00	イ－ハ

＜会場＞A：藤枝総合運動公園サッカー場
B：藤枝総合運動公園陸上競技場
C：藤枝市民グラウンド
D：中央防犯宮原グラウンド

鈴村路子の もっと知りたいサッカー No.87

玉井真吾 vs. 川田菊一

レッズの試合会場の横断幕に、赤き血のイレブン”という文字を見て、ああ、浦和と言えば、今もやっぱりこれなんだな、と改めて思った「赤き血のイレブン」は、昭和45～46年代に少年キングに連載された蹴カー」という漫画が少年ジャンプに連載された。これは望月三起也によるもので、藤枝東は、国枝東となっていて、主人公は川田菊一。

ここで藤枝東が出たので、藤枝東がモデルとなった漫画のことも紹介しておきたい。昭和47年、「ザ・キッ

手権では秋田商業と決勝で引き分け、同校優勝とはいえ、二冠を成し遂げている。

藤枝東出身の、玉井真吾は、浦和市立南高校の永井良和氏がモデルとされる。浦和高校、浦和市立高校と、浦和西高校、浦和南高校、浦和市（当時）は日本の高校サッカーの一時代を築いてきた。永井氏はその後日本リーグの古河電工業で最多の二七試合に出場、日本代表FWとしても活躍し、監督としては日本代表FWとしても活躍し、監督としては日本代表FWとしても活躍し、監督としては